

## 平成22年度つくば市一般会計予算執行の概要について

平成22年度は、新庁舎が開庁、また、つくば駅前広場の再整備が完了し、まちづくりの拠点性や機能性が強化された年となりました。これらを契機に、これまでの様々な弊害を是正し、健康で健全な「つくば」の創造に向け、「環境・地球温暖化対策」、「少子・高齢化対策」、「安心安全な地域づくり」、「教育日本一への取組」、「自律都市づくり」などを主要施策の柱とし、まちづくりに取り組みました。

予算については、人口増加や高齢化の進展などにより行財政需要が増加する中、景気低迷の影響により歳入の増加が見込めないという極めて厳しい財政状況下であったため、従来にも増して施策の厳選を徹底し、限られた財源の重点的かつ効率的な配分に努めました。

決算については、歳入が68,930,559千円（前年度比5.4%、3,925,255千円減）、歳出が66,320,787千円（前年度比4.2%、2,937,336千円減）となり、歳入歳出ともに前年度を下回る決算規模となりました。これは、新庁舎建設事業及び健康づくり拠点整備事業といった大規模事業や定額給付金事業の完了によるものです。

歳入面での特徴を見ますと、市税については、課税免除の減少などにより固定資産税が増加しましたが、個人及び法人市民税の減収により、前年度比0.4%、138,127千円減の37,842,148千円となりました。また、子ども手当負担金などにより、国庫支出金が前年度比5.2%、403,506千円増の8,132,626千円、県支出金が前年度比29.7%、817,638千円増の3,570,655千円となりました。

市債は、大規模事業の完了に伴い、前年度比48.3%、4,672,977千円減の5,002,931千円となっています。

歳出面では、民生費と諸支出金が大幅に増加しており、民生費は、子ども手当給付事業により、前年度比22.6%、4,024,135千円増の21,806,577千円、諸支出金については、財政調整基金、学校教育施設整備基金などの積立金の増加により、前年度比307.9%、1,290,026千円増の1,708,939千円となっています。また、3月に発生した東日本大震災対応のため、災害復旧費が皆増の69,140千円となっています。

大幅に減少したのは、総務費で、新庁舎建設事業及び定額給付金事業の完了により、前年度比53.2%、7,481,611千円減の6,590,872千円となっています。

この結果、収支状況は、実質収支が減少し、単年度収支及び実質単年度収支は、ともに赤字となりました。また、経常収支比率は90.2%、公債費負担比率は13.3%となっています。

以上、平成22年度つくば市一般会計決算の概要であります。主要な施策の成果その他予算執行の実績の主なものは、次のとおりです。

平成22年度 一般会計決算収支の状況

(単位:千円)

区 分	平成22年度 A	平成21年度 B	差引増減額 A - B	増 減 率
歳 入 総 額 C	68,930,559	72,855,814	3,925,255	5.4
歳 出 総 額 D	66,320,787	69,258,123	2,937,336	4.2
歳入歳出差引額 (C - D) E	2,609,772	3,597,691	987,919	27.5
翌年度に繰り越すべき財源 F	785,704	901,707	116,003	12.9
実 質 収 支 (E - F) G	1,824,068	2,695,984	871,916	32.3
単 年 度 収 支 H	871,916	863,607	1,735,523	—
積 立 金 I	562,449	86,292	476,157	551.8
繰 上 償 還 額 J	169,947	0	169,947	皆増
積立金取崩し額 K	692,682	162,765	529,917	325.6
実質単年度収支 (H+I+J - K) L	832,202	787,134	1,619,336	—

款 別 歳 入 決 算 額 比 較 表

(単位:千円)

科 目	年度	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	予 算 現 額 に 対 する 増 減 額	収入割合		
						予 算 対	調 定 対	歳 入 計
市 税	22	37,550,001	41,889,869	37,842,148	292,147	100.8%	90.3%	54.9%
	21	37,150,203	41,855,759	37,980,275	830,072	102.2%	90.7%	52.1%
地 方 譲 与 税	22	1,033,700	1,010,383	1,010,383	23,317	97.7%	100.0%	1.5%
	21	1,097,100	1,036,418	1,036,418	60,682	94.5%	100.0%	1.4%
利 子 割 交 付 金	22	125,100	105,389	105,389	19,711	84.2%	100.0%	0.1%
	21	157,400	115,194	115,194	42,206	73.2%	100.0%	0.2%
配 当 割 交 付 金	22	31,700	47,873	47,873	16,173	151.0%	100.0%	0.1%
	21	48,900	37,078	37,078	11,822	75.8%	100.0%	0.1%
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	22	44,600	18,329	18,329	26,271	41.1%	100.0%	0.0%
	21	19,800	21,146	21,146	1,346	106.8%	100.0%	0.0%
地 方 消 費 税 交 付 金	22	1,889,300	2,050,606	2,050,606	161,306	108.5%	100.0%	3.0%
	21	2,158,500	2,054,134	2,054,134	104,366	95.2%	100.0%	2.8%
ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	22	88,772	89,373	89,373	601	100.7%	100.0%	0.1%
	21	99,981	104,735	104,735	4,754	104.8%	100.0%	0.1%
自 動 車 取 得 税 交 付 金	22	241,200	220,272	220,272	20,928	91.3%	100.0%	0.3%
	21	288,200	261,044	261,044	27,156	90.6%	100.0%	0.4%
地 方 特 例 交 付 金	22	395,964	395,964	395,964	0	100.0%	100.0%	0.6%
	21	453,040	453,040	453,040	0	100.0%	100.0%	0.6%
地 方 交 付 税	22	1,238,856	1,519,818	1,519,818	280,962	122.7%	100.0%	2.2%
	21	1,462,493	1,818,863	1,818,863	356,370	124.4%	100.0%	2.5%
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	22	45,000	41,547	41,547	3,453	92.3%	100.0%	0.1%
	21	45,000	43,429	43,429	1,571	96.5%	100.0%	0.1%
分 担 金 及 び 負 担 金	22	1,187,099	1,348,877	1,181,954	5,145	99.6%	87.6%	1.7%
	21	1,196,903	1,338,203	1,170,693	26,210	97.8%	87.5%	1.6%
使 用 料 及 び 手 数 料	22	1,291,400	1,484,321	1,258,816	32,584	97.5%	84.8%	1.8%
	21	1,288,689	1,485,312	1,276,116	12,573	99.0%	85.9%	1.8%
国 庫 支 出 金	22	8,639,391	8,380,357	8,132,626	506,765	94.1%	97.0%	11.8%
	21	8,919,873	8,721,523	7,729,120	1,190,753	86.7%	88.6%	10.6%
県 支 出 金	22	3,781,010	3,686,655	3,570,655	210,355	94.4%	96.9%	5.2%
	21	2,909,042	2,764,900	2,753,017	156,025	94.6%	99.6%	3.8%
財 産 収 入	22	108,495	123,654	123,606	15,111	113.9%	100.0%	0.2%
	21	78,655	100,630	100,582	21,927	127.9%	100.0%	0.1%
寄 附 金	22	4,701	5,392	5,392	691	114.7%	100.0%	0.0%
	21	5,994	8,714	8,714	2,720	145.4%	100.0%	0.0%
繰 入 金	22	1,180,432	1,039,295	1,039,295	141,137	88.0%	100.0%	1.5%
	21	2,003,436	2,003,436	2,003,436	0	100.0%	100.0%	2.7%
繰 越 金	22	3,597,691	3,597,692	3,597,692	1	100.0%	100.0%	5.2%
	21	2,331,256	2,331,256	2,331,256	0	100.0%	100.0%	3.2%
諸 収 入	22	1,713,389	1,752,030	1,675,890	37,499	97.8%	95.7%	2.4%
	21	1,873,303	1,950,186	1,881,616	8,313	100.4%	96.5%	2.6%
市 債	22	5,728,952	5,002,931	5,002,931	726,021	87.3%	100.0%	7.3%
	21	10,931,572	9,675,908	9,675,908	1,255,664	88.5%	100.0%	13.3%
歳 入 合 計	22	69,916,753	73,810,627	68,930,559	986,194	98.6%	93.4%	100.0%
	21	74,519,340	78,180,908	72,855,814	1,663,526	97.8%	93.2%	100.0%

## 市 税 収 入 実 績 比 較 表

(単位:千円)

科 目	年度	区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	徴 収 率
市 民 税	22	現年課税分	17,703,072	17,866,021	17,499,545	197	368,078	97.9%
		滞納繰越分	175,244	1,581,000	209,269	111,452	1,260,336	13.2%
		計	17,878,316	19,447,021	17,708,814	111,649	1,628,414	91.1%
	21	現年課税分	18,309,853	18,831,974	18,384,834	697	447,898	97.6%
		滞納繰越分	165,661	1,422,283	177,208	107,649	1,137,516	12.5%
		計	18,475,514	20,254,257	18,562,042	108,346	1,585,414	91.6%
固 定 資 産 税	22	現年課税分	16,619,121	17,311,378	16,817,130	9,316	486,167	97.1%
		滞納繰越分	190,708	1,945,586	310,767	129,795	1,505,115	16.0%
		計	16,809,829	19,256,964	17,127,897	139,111	1,991,282	88.9%
	21	現年課税分	15,635,290	16,827,937	16,307,563	1,127	519,676	96.9%
		滞納繰越分	200,844	1,740,328	229,910	84,040	1,426,513	13.2%
		計	15,836,134	18,568,265	16,537,473	85,167	1,946,189	89.1%
軽自動車税	22	現年課税分	257,063	276,166	259,904	21	16,257	94.1%
		滞納繰越分	5,651	51,830	6,536	5,673	39,636	12.6%
		計	262,714	327,996	266,440	5,694	55,893	81.2%
	21	現年課税分	235,580	265,696	250,652	21	15,036	94.3%
		滞納繰越分	6,389	48,317	6,902	4,610	36,812	14.3%
		計	241,969	314,013	257,554	4,631	51,848	82.0%
市 た ば こ 税	22	現年課税分	1,195,376	1,260,103	1,260,103	0	0	100.0%
		滞納繰越分	0	0	0	0	0	-
		計	1,195,376	1,260,103	1,260,103	0	0	100.0%
	21	現年課税分	1,218,009	1,223,254	1,223,254	0	0	100.0%
		滞納繰越分	0	0	0	0	0	-
		計	1,218,009	1,223,254	1,223,254	0	0	100.0%
特 別 土 地 保 有 税	22	現年課税分	0	0	0	0	0	-
		滞納繰越分	1	406	150	0	256	36.9%
		計	1	406	150	0	256	36.9%
	21	現年課税分	1	1,380	975	0	406	70.7%
		滞納繰越分	0	0	0	0	0	-
		計	1	1,380	975	0	406	70.7%
入 湯 税	22	現年課税分	7,770	8,118	7,659	0	459	94.3%
		滞納繰越分	1	456	87	0	369	19.1%
		計	7,771	8,574	7,746	0	828	90.3%
	21	現年課税分	8,640	8,041	7,584	0	456	94.3%
		滞納繰越分	0	245	245	0	0	100.0%
		計	8,640	8,286	7,829	0	456	94.5%
都 市 計 画 税	22	現年課税分	1,386,542	1,493,896	1,450,578	817	42,611	97.1%
		滞納繰越分	9,452	94,909	20,420	3,251	71,244	21.5%
		計	1,395,994	1,588,805	1,470,998	4,068	113,855	92.6%
	21	現年課税分	1,361,935	1,422,944	1,378,236	97	44,648	96.9%
		滞納繰越分	8,001	63,360	12,912	196	50,263	20.4%
		計	1,369,936	1,486,304	1,391,148	293	94,911	93.6%
合 計	22	現年課税分	37,168,944	38,215,682	37,294,919	10,351	913,572	97.6%
		滞納繰越分	381,057	3,674,187	547,229	250,171	2,876,956	14.9%
		計	37,550,001	41,889,869	37,842,148	260,522	3,790,528	90.3%
	21	現年課税分	36,769,308	38,581,226	37,553,098	1,942	1,028,120	97.3%
		滞納繰越分	380,895	3,274,533	427,177	196,495	2,651,104	13.0%
		計	37,150,203	41,855,759	37,980,275	198,437	3,679,224	90.7%

収入済額には、還付未済額 3,329,004円を含む。

内訳 現年課税分：市民税 1,800,320円、固定資産税 1,235,421円、軽自動車税 16,400円、都市計画税 108,279円  
滞納繰越分：市民税 56,984円、固定資産税 90,879円、軽自動車税 14,200円、都市計画税 6,521円

都市計画税を充当した事業の実施状況

(単位:千円)

区 分		平成 22 年度 決 算 額	財 源 内 訳			
			特 定 財 源			一 般 財 源
			国庫・県支出金	地 方 債	そ の 他	
街 路	建設事業費	78,624	8,000	43,500	0	27,124
	地方債償還金	31,001	0	0	0	31,001
公 園	建設事業費	147,000	49,000	88,200	0	9,800
	地方債償還金	126,602	0	0	0	126,602
市街地 開 発	建設事業費	758,726	0	637,470	0	121,256
	地方債償還金	238,693	0	0	0	238,693
その他	建設事業費	1,207,422	0	607,200	0	600,222
	地方債償還金	1,305,857	0	0	0	1,305,857
下水道	建設事業費	3,492,057	787,472	2,136,500	341,617	226,468
	地方債償還金	5,062,037	0	1,381,600	0	3,680,437
合 計	建設事業費	5,683,829	844,472	3,512,870	341,617	984,870
	地方債償還金	6,764,190	0	1,381,600	0	5,382,590
	計	12,448,019	844,472	4,894,470	341,617	(A) 6,367,460
一般財源のうち都市計画税						(B) 1,470,998
充当割合 $\frac{(B)}{(A)} \times 100$ (%)						23.1%

款 別 歳 出 内 訳

(単位:千円)

区 分	平成 22 年度 決 算 額	構 成 比 (%)	平成 21 年度 決 算 額	構 成 比 (%)	平成 22 年度と 平成 21 年度の 増 減 額	増 減 比 (%)
議 会 費	377,100	0.6	385,830	0.6	8,730	2.3
総 務 費	6,590,872	9.9	14,072,483	20.3	7,481,611	53.2
民 生 費	21,806,577	32.9	17,782,442	25.7	4,024,135	22.6
衛 生 費	4,266,351	6.4	4,142,093	6.0	124,258	3.0
労 働 費	114,060	0.2	55,398	0.1	58,662	105.9
農 林 水 産 業 費	2,014,836	3.0	2,766,270	4.0	751,434	27.2
商 工 費	683,353	1.0	709,550	1.0	26,197	3.7
土 木 費	9,036,472	13.6	9,159,767	13.2	123,295	1.3
消 防 費	3,032,404	4.6	3,070,516	4.4	38,112	1.2
教 育 費	9,755,329	14.7	9,675,286	14.0	80,043	0.8
災 害 復 旧 費	69,140	0.1	0	0.0	69,140	皆増
公 債 費	6,865,354	10.4	7,019,575	10.1	154,221	2.2
諸 支 出 金	1,708,939	2.6	418,913	0.6	1,290,026	307.9
予 備 費	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合 計	66,320,787	100.0	69,258,123	100.0	2,937,336	4.2

職 員 数 及 び 人 件 費 の 調

区 分	職 員 数 (人)					職員に要した 人件費(千円)
	一 般 職	単 労 職	教 育 職	医 療 職	計	
議 会 関 係	11				11	92,379
総 務 関 係	237 (2)	6			243 (2)	3,756,675
税 務 関 係	74				74	499,586
民 生 関 係	396 (2)	24		27	447 (2)	3,097,851
衛 生 関 係	70 (1)	11		29	110 (1)	837,228
労 働 関 係	2				2	16,657
農 林 関 係	48 (1)				48 (1)	364,295
商 工 関 係	28				28	223,310
土 木 関 係	116	1			117	844,430
消 防 関 係	315				315	2,471,225
教 育 関 係	111 (1)	52	88	1	252 (1)	2,351,382
合 計	1,408 (7)	94	88	57	1,647 (7)	14,555,018

職員数は、平成22年4月1日現在

職員数欄の( )内は、再任用短時間勤務職員数を外書き

地 方 債 借 入 先 別 現 在 高 と 償 還 状 況

(単位:千円)

借 入 先	21年度末現在高	22年度発行額	22年度償還額		22年度末現在高
			元 金	利 子	
財 政 融 資 資 金	28,794,903	3,673,261	3,368,104	460,746	29,100,060
旧 郵 政 公 社 資 金	8,244,035	0	648,655	141,852	7,595,380
地方公共団体金融機構	8,265,427	0	676,580	189,003	7,588,847
ゆうちょ銀行・かんぽ生命保険	1,862,800	0	0	38,467	1,862,800
市 中 銀 行	2,319,231	1,095,800	206,652	22,131	3,208,379
そ の 他 の 金 融 機 関	5,783,142	24,600	624,902	76,170	5,182,840
共 済 等	565,484	0	52,770	6,194	512,714
そ の 他	4,306,447	209,270	349,580	3,548	4,166,137
計	60,141,469	5,002,931	5,927,243	938,111	59,217,157

財政融資資金には、資金運用部資金を含む。

22年度発行額には、前借分を含む。

## 平成 22 年度 歳入 予算 執行 状況

(単位:千円,%)

款	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率				
01	01	01	一般	64,118,000	3,212,398	2,586,355	69,916,753	73,810,627	68,930,559	98.6				
			市税	37,555,626		5,625	37,550,001	41,889,869	37,842,148	100.8				
				01	市民税	18,419,208		540,892	17,878,316	19,447,021	17,708,814	99.1		
					個人	14,103,886		540,892	13,562,994	15,282,300	13,632,893	100.5		
					01	現年課税分	本年度	13,936,145		13,395,253	13,778,940	13,433,425	100.3	
						前年度	13,741,184		13,741,184	14,397,393	13,973,878	101.7		
						比較	194,961		540,892	345,931	618,453	540,453		
					02	滞納繰越分	本年度	167,741		167,741	1,503,360	199,468	118.9	
						前年度	156,415		156,415	1,354,430	170,167	108.8		
						比較	11,326		11,326	148,930	29,301			
					02	法人	4,315,322			4,315,322	4,164,721	4,075,921	94.5	
					01	現年課税分	本年度	4,307,819		4,307,819	4,087,081	4,066,120	94.4	
						前年度	4,568,669		4,568,669	4,434,581	4,410,956	96.5		
						比較	260,850		260,850	347,500	344,836			
					02	滞納繰越分	本年度	7,503		7,503	77,640	9,801	130.6	
						前年度	9,246		9,246	67,853	7,041	76.2		
						比較	1,743		1,743	9,787	2,760			
					02	固定資産税	16,274,562		535,267	16,809,829	19,256,964	17,127,897	101.9	
					01	固定資産税	16,007,805		535,267	16,543,072	18,990,205	16,861,138	101.9	
						01	現年課税分	本年度	15,817,097		16,352,364	17,044,619	16,550,371	101.2
						前年度	15,369,539		15,369,539	16,562,184	16,041,810	104.4		
						比較	447,558		535,267	982,825	482,435	508,561		
						02	滞納繰越分	本年度	190,708		190,708	1,945,586	310,767	163.0
			前年度	200,844		200,844	1,740,328	229,910	114.5					
			比較	10,136		10,136	205,258	80,857						
		02	国有資産等所在市	266,757			266,757	266,759	266,759	100.0				
			01	現年課税分	本年度	266,757		266,757	266,759	100.0				
			前年度	265,751		265,751	265,753	265,753	100.0					
			比較	1,006		1,006	1,006	1,006						
		03	軽自動車税	262,714			262,714	327,996	266,440	101.4				
			01	軽自動車税	262,714			262,714	327,996	266,440	101.4			
				01	現年課税分	本年度	257,063		257,063	276,166	259,904	101.1		
			前年度	235,580		235,580	265,696	250,652	106.4					
			比較	21,483		21,483	10,470	9,252						
			02	滞納繰越分	本年度	5,651		5,651	51,830	6,536	115.7			
			前年度	6,389		6,389	48,317	6,902	108.0					
			比較	738		738	3,513	366						
		04	市たばこ税	1,195,376			1,195,376	1,260,103	1,260,103	105.4				
			01	市たばこ税	1,195,376			1,195,376	1,260,103	105.4				
				01	現年課税分	本年度	1,195,376		1,195,376	1,260,103	105.4			
			前年度	1,218,009		1,218,009	1,223,254	1,223,254	100.4					
			比較	22,633		22,633	36,849	36,849						
		05	特別土地保有税	1			1	406	150	15000.0				
			01	特別土地保有税	1			406	150	15000.0				
				×	現年課税分	本年度								
				前年度	1		1	1,380	975	97500.0				
				比較	1		1	1,380	975					
			01	滞納繰越分	本年度	1		1	406	150	15000.0			
			前年度											
			比較	1		1	406	150						
		06	入湯税	7,771			7,771	8,574	7,746	99.7				
			01	入湯税	7,771			7,771	8,574	7,746	99.7			
				01	現年課税分	本年度	7,770		7,770	8,118	7,659	98.6		
			前年度	8,640		8,640	8,041	7,584	87.8					
			比較	870		870	77	75						
			02	滞納繰越分	本年度	1		1	456	87	8700.0			
			前年度					245	245					
			比較	1		1	211	158						
		07	都市計画税	1,395,994			1,395,994	1,588,805	1,470,998	105.4				
			01	都市計画税	1,395,994			1,395,994	1,588,805	1,470,998	105.4			
				01	現年課税分	本年度	1,386,542		1,386,542	1,493,896	1,450,578	104.6		
			前年度	1,361,935		1,361,935	1,422,944	1,378,236	101.2					
			比較	24,607		24,607	70,952	72,342						
			02	滞納繰越分	本年度	9,452		9,452	94,909	20,420	216.0			
			前年度	8,001		8,001	63,360	12,912	161.4					
			比較	1,451		1,451	31,549	7,508						

## 平成 22 年度 歳入予算執行状況

(単位:千円,%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率
02				地方譲与税	1,033,700			1,033,700	1,010,383	1,010,383	97.7
	01			地方揮発油譲与税	272,400			272,400	297,374	297,374	109.2
		01		地方揮発油譲与税	272,400			272,400	297,374	297,374	109.2
			01	地方揮発油譲与税	272,400			272,400	297,374	297,374	109.2
				本年度	272,400			272,400	297,374	297,374	109.2
				前年度	170,730			170,730	167,302	167,302	98.0
				比較	101,670			101,670	130,072	130,072	
	02			自動車重量譲与税	761,300			761,300	713,009	713,009	93.7
		01		自動車重量譲与税	761,300			761,300	713,009	713,009	93.7
			01	自動車重量譲与税	761,300			761,300	713,009	713,009	93.7
				本年度	761,300			761,300	713,009	713,009	93.7
				前年度	826,100			826,100	754,246	754,246	91.3
				比較	64,800			64,800	41,237	41,237	
	x			地方道路譲与税							
		x		地方道路譲与税							
			x	地方道路譲与税							
				本年度							
				前年度	100,270			100,270	114,870	114,870	114.6
				比較	100,270			100,270	114,870	114,870	
03				利子割交付金	125,100			125,100	105,389	105,389	84.2
	01			利子割交付金	125,100			125,100	105,389	105,389	84.2
		01		利子割交付金	125,100			125,100	105,389	105,389	84.2
			01	利子割交付金	125,100			125,100	105,389	105,389	84.2
				本年度	125,100			125,100	105,389	105,389	84.2
				前年度	157,400			157,400	115,194	115,194	73.2
				比較	32,300			32,300	9,805	9,805	
04				配当割交付金	31,700			31,700	47,873	47,873	151.0
	01			配当割交付金	31,700			31,700	47,873	47,873	151.0
		01		配当割交付金	31,700			31,700	47,873	47,873	151.0
			01	配当割交付金	31,700			31,700	47,873	47,873	151.0
				本年度	31,700			31,700	47,873	47,873	151.0
				前年度	48,900			48,900	37,078	37,078	75.8
				比較	17,200			17,200	10,795	10,795	
05				株式等譲渡所得割	44,600			44,600	18,329	18,329	41.1
	01			株式等譲渡所得割	44,600			44,600	18,329	18,329	41.1
		01		株式等譲渡所得割	44,600			44,600	18,329	18,329	41.1
			01	株式等譲渡所得割	44,600			44,600	18,329	18,329	41.1
				本年度	44,600			44,600	18,329	18,329	41.1
				前年度	19,800			19,800	21,146	21,146	106.8
				比較	24,800			24,800	2,817	2,817	
06				地方消費税交付金	1,889,300			1,889,300	2,050,606	2,050,606	108.5
	01			地方消費税交付金	1,889,300			1,889,300	2,050,606	2,050,606	108.5
		01		地方消費税交付金	1,889,300			1,889,300	2,050,606	2,050,606	108.5
			01	地方消費税交付金	1,889,300			1,889,300	2,050,606	2,050,606	108.5
				本年度	1,889,300			1,889,300	2,050,606	2,050,606	108.5
				前年度	2,158,500			2,158,500	2,054,134	2,054,134	95.2
				比較	269,200			269,200	3,528	3,528	
07				ゴルフ場利用税交	90,339		1,567	88,772	89,373	89,373	100.7
	01			ゴルフ場利用税交	90,339		1,567	88,772	89,373	89,373	100.7
		01		ゴルフ場利用税交	90,339		1,567	88,772	89,373	89,373	100.7
			01	ゴルフ場利用税交	90,339		1,567	88,772	89,373	89,373	100.7
				本年度	90,339		1,567	88,772	89,373	89,373	100.7
				前年度	118,000		18,019	99,981	104,735	104,735	104.8
				比較	27,661		16,452	11,209	15,362	15,362	
08				自動車取得税交付	241,200			241,200	220,272	220,272	91.3
	01			自動車取得税交付	241,200			241,200	220,272	220,272	91.3
		01		自動車取得税交付	241,200			241,200	220,272	220,272	91.3
			01	自動車取得税交付	241,200			241,200	220,272	220,272	91.3
				本年度	241,200			241,200	220,272	220,272	91.3
				前年度	288,200			288,200	261,044	261,044	90.6
				比較	47,000			47,000	40,772	40,772	
		x		旧法による自動車							
			x	旧法による自動車							
				取得税交付金							
				本年度							
				前年度	26,000		26,000				
				比較	26,000		26,000				
09				地方特例交付金	464,983		69,019	395,964	395,964	395,964	100.0
	01			地方特例交付金	464,983		69,019	395,964	395,964	395,964	100.0
		01		地方特例交付金	464,983		69,019	395,964	395,964	395,964	100.0
			01	地方特例交付金	464,983		69,019	395,964	395,964	395,964	100.0
				本年度	464,983		69,019	395,964	395,964	395,964	100.0
				前年度	199,300		49,729	249,029	249,029	249,029	100.0
				比較	265,683		118,748	146,935	146,935	146,935	
	x			特別交付金							
		x		特別交付金							
			x	特別交付金							
				本年度							
				前年度	197,100		6,911	204,011	204,011	204,011	100.0
				比較	197,100		6,911	204,011	204,011	204,011	



## 平成 22 年度 歳入 予算 執行 状況

(単位:千円,%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率
10				地方交付税	1,622,000		383,144	1,238,856	1,519,818	1,519,818	122.7
	01			地方交付税	1,622,000		383,144	1,238,856	1,519,818	1,519,818	122.7
		01		地方交付税	1,622,000		383,144	1,238,856	1,519,818	1,519,818	122.7
			01	地方交付税	1,622,000		383,144	1,238,856	1,519,818	1,519,818	122.7
				本年度	1,622,000		383,144	1,238,856	1,519,818	1,519,818	122.7
				前年度	1,369,000		93,493	1,462,493	1,818,863	1,818,863	124.4
				比較	253,000		476,637	223,637	299,045	299,045	
11				交通安全対策特別	45,000			45,000	41,547	41,547	92.3
	01			交通安全対策特別	45,000			45,000	41,547	41,547	92.3
		01		交通安全対策特別	45,000			45,000	41,547	41,547	92.3
			01	交通安全対策特別	45,000			45,000	41,547	41,547	92.3
				本年度	45,000			45,000	41,547	41,547	92.3
				前年度	45,000			45,000	43,429	43,429	96.5
				比較					1,882	1,882	
12				分担金及び負担金	1,178,146		8,953	1,187,099	1,348,877	1,181,954	99.6
	01			分担金	1			1			
		01		農林水産業費分担	1			1			
			01	農業費分担金	1			1			
				本年度	1			1			
				前年度	62,237			62,237	58,663	58,663	94.3
				比較	62,236			62,236	58,663	58,663	
	02			負担金	1,178,145		8,953	1,187,098	1,348,877	1,181,954	99.6
		01		総務費負担金	312			312	242	242	77.6
			01	選挙費負担金	312			312	242	242	77.6
				本年度	312			312	242	242	77.6
				前年度	443			443	419	419	94.6
				比較	131			131	177	177	
		02		民生費負担金	1,160,521		11,302	1,171,823	1,333,673	1,166,750	99.6
			01	社会福祉費負担金	36,935			36,935	37,552	37,259	100.9
				本年度	36,935			36,935	37,552	37,259	100.9
				前年度	37,009		120	37,129	38,085	37,791	101.8
				比較	74		120	194	533	532	
			02	児童福祉費負担金	1,123,586		11,302	1,134,888	1,296,121	1,129,491	99.5
				本年度	1,123,586		11,302	1,134,888	1,296,121	1,129,491	99.5
				前年度	1,033,463		37,625	1,071,088	1,216,399	1,049,182	98.0
				比較	90,123		26,323	63,800	79,722	80,309	
		03		衛生費負担金	2,349		2,349				
			01	衛生費負担金	2,349		2,349				
				本年度	2,349		2,349				
				前年度	2,357			2,357	2,358	2,358	100.0
				比較	8		2,349	2,357	2,358	2,358	
		x		農林水産業費負担							
			x	農林水産業費負担							
				本年度							
				前年度	8,002		684	8,686	7,318	7,318	84.3
				比較	8,002		684	8,686	7,318	7,318	
		04		土木費負担金	14,963			14,963	14,962	14,962	100.0
			01	共同溝維持管理費	14,963			14,963	14,962	14,962	100.0
				本年度	14,963			14,963	14,962	14,962	100.0
				前年度	14,963			14,963	14,962	14,962	100.0
				比較							
13				使用料及び手数料	1,297,811		6,411	1,291,400	1,484,321	1,258,816	97.5
	01			使用料	733,758		4,887	728,871	907,674	686,500	94.2
		01		総務使用料	18,495			18,495	22,965	22,965	124.2
			01	情報センター使用	140			140	70	70	50.0
				料	140			140	99	99	70.7
				本年度	140			140	70	70	50.0
				前年度	140			140	99	99	70.7
				比較					29	29	
			02	行政財産使用料	17,899			17,899	21,505	21,505	120.1
				本年度	17,899			17,899	21,505	21,505	120.1
				前年度	2,561			2,561	2,843	2,843	111.0
				比較	15,338			15,338	18,662	18,662	
			03	公舎使用料	456			456	268	268	58.8
				本年度	456			456	268	268	58.8
				前年度	228			228	266	266	116.7
				比較	228			228	2	2	
			04	サイエンス・インフォ					1,122	1,122	
				メーションセンター							
				使用料							
				本年度					1,122	1,122	
				前年度							
				比較					1,122	1,122	
		02		民生使用料	12,937		4,887	8,050	7,776	7,767	96.5
			01	福祉センター使用	1,416			1,416	1,370	1,370	96.8
				料	1,416			1,416	1,370	1,370	96.8
				本年度	1,416			1,416	1,370	1,370	96.8
				前年度	1,713			1,713	1,939	1,939	113.2
				比較	297			297	569	569	
			02	児童福祉使用料	502			502			
				本年度	502			502			
				前年度	529			529	657	657	124.2
				比較	27			27	657	657	
			03	障害者センター使	9,777		4,420	5,357	5,018	5,009	93.5
				用料	9,777		4,420	5,357	5,018	5,009	93.5
				本年度	9,777		4,420	5,357	5,018	5,009	93.5
				前年度	10,471			10,471	9,827	9,810	93.7
				比較	694		4,420	5,114	4,809	4,801	

## 平成 22 年度 歳入予算執行状況

(単位:千円,%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率		
13	01	02	04	行政財産使用料	本年度			775	1,388	1,388	179.1		
					前年度	1,242		80	1,262	1,262	1577.5		
					比較	1,162		467	695	126	126		
				03		衛生使用料		72,482		72,482	67,513	67,513	93.1
				01	保健衛生使用料	本年度				71,850	67,338	67,338	93.7
			前年度			71,850		69,900	68,480	68,480	98.0		
			比較			1,950		1,950	1,142	1,142			
				02	行政財産使用料	本年度	632			632	175	175	27.7
			前年度			417		417	254	233	55.9		
			比較			215		215	79	58			
				04		農林水産業使用料		53,491		53,491	45,992	45,992	86.0
				01	ゆかりの森施設使用料	本年度				19,790	18,653	18,653	94.3
			前年度			19,790		19,265	20,201	20,201	104.9		
			比較			525		525	1,548	1,548			
				02	ふれあいの里施設使用料	本年度	33,661			33,661	27,257	27,257	81.0
			前年度			32,949		32,949	31,943	31,943	96.9		
			比較			712		712	4,686	4,686			
				03	行政財産使用料	本年度	40			40	82	82	205.0
			前年度			30		30	33	33	110.0		
			比較			10		10	49	49			
				05		商工使用料		53,200		53,200	48,551	48,551	91.3
				01	筑波山駐車場使用料	本年度				35,000	36,226	36,226	103.5
			前年度			35,000		35,000	35,796	35,796	102.3		
			比較						430	430			
				02	行政財産使用料	本年度	50			50	175	175	350.0
			前年度			50		50	165	165	330.0		
			比較						10	10			
				03	産業振興センター使用料	本年度	18,150			18,150	12,150	12,150	66.9
			前年度			7,562		7,562	11,128	11,128	147.2		
			比較			10,588		10,588	1,022	1,022			
				06		土木使用料		407,368		407,368	602,193	381,068	93.5
				01	公園使用料	本年度				5,586	6,047	6,047	108.3
			前年度			4,150		1,540	5,690	6,622	6,622	116.4	
			比較			1,436		1,540	104	575	575		
				02	広場使用料	本年度	15,700			15,700	15,890	15,890	101.2
			前年度			15,900		15,900	15,861	15,861	99.8		
			比較			200		200	29	29			
				03	駐車場使用料	本年度	72,334			72,334	64,035	64,035	88.5
			前年度			63,167		63,167	59,424	59,424	94.1		
			比較			9,167		9,167	4,611	4,611			
				04	駅前広場使用料	本年度	5,460			5,460	9,115	9,115	166.9
			前年度			4,380		4,380	4,983	4,983	113.8		
			比較			1,080		1,080	4,132	4,132			
				05	市営住宅使用料	本年度	218,288			218,288	411,952	191,085	87.5
			前年度			218,193		218,193	402,103	201,234	92.2		
			比較			95		95	9,849	10,149			
				06	道路占用使用料	本年度	90,000			90,000	95,084	94,826	105.4
			前年度			90,000		90,000	92,991	92,991	103.3		
			比較						2,093	1,835			
				07	行政財産使用料	本年度					70	70	
			前年度						73	73			
			比較						3	3			
				07		消防使用料		148		148	152	152	102.7
				01	行政財産使用料	本年度	148			148	152	152	102.7
			前年度			148		148	159	159	107.4		
			比較						7	7			
				08		教育使用料		115,637		115,637	112,532	112,492	97.3
				×	教職員住宅使用料	本年度							
			前年度			3,456		3,456	2,691	2,691	77.9		
			比較			3,456		3,456	2,691	2,691			
				01	幼稚園使用料	本年度	86,906			86,906	82,939	82,939	95.4
			前年度			90,247		90,247	87,833	87,806	97.3		
			比較			3,341		3,341	4,894	4,867			
				02	公民館使用料	本年度	436			436	380	380	87.2
			前年度			517		517	352	352	68.1		
			比較			81		81	28	28			

## 平成 22 年度 歳入予算執行状況

(単位:千円,%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率					
13	01	08	03	市民ホール使用料	本年度	8,197		8,197	9,859	9,819	119.8					
				前年度	8,637		8,637	7,925	7,925	91.8						
				比較	440		440	1,934	1,894							
			04	視聴覚使用料	本年度	2,532		2,532	2,572	2,572	101.6					
				前年度	3,128		3,128	2,482	2,482	79.3						
				比較	596		596	90	90							
			05	体育館使用料	本年度	11,964		11,964	10,682	10,682	89.3					
				前年度	11,964		11,964	12,607	12,607	105.4						
				比較				1,925	1,925							
			06	テニスコート使用料	本年度	2,796		2,796	2,722	2,722	97.4					
				前年度	2,796		2,796	3,164	3,164	113.2						
				比較				442	442							
			07	野球場使用料	本年度	2,088		2,088	1,942	1,942	93.0					
				前年度	2,088		2,088	2,182	2,182	104.5						
				比較				240	240							
			08	ソフトボール場使用料	本年度	144		144	150	150	104.2					
				前年度	144		144	142	142	98.6						
				比較				8	8							
			09	サッカー場使用料	本年度	240		240	327	327	136.3					
				前年度	6,240		6,240	5,279	5,279	84.6						
				比較	6,000		6,000	4,952	4,952							
			10	行政財産使用料	本年度	334		334	959	959	287.1					
				前年度	130		130	895	885	680.8						
				比較	204		204	64	74							
			02				手数料		564,053	1,524	562,529	576,647	572,316	101.7		
							01	総務手数料		81,525		81,525	83,324	83,324	102.2	
								01	戸籍住民登録手数料	本年度	42,625		42,625	43,181	43,181	101.3
									前年度	45,955		45,955	44,481	44,481	96.8	
							比較		3,330		3,330	1,300	1,300			
							02	事務手数料	本年度	21,400		21,400	20,588	20,588	96.2	
前年度	22,200							22,200	21,082	21,082	95.0					
比較	800							800	494	494						
03	徴税手数料	本年度					16,000		16,000	18,101	18,101	113.1				
	前年度	16,000						16,000	18,978	18,978	118.6					
	比較								877	877						
04	自動車臨時運行許可手数料	本年度					1,500		1,500	1,454	1,454	96.9				
	前年度	1,875						1,875	1,635	1,635	87.2					
	比較	375						375	181	181						
02	民生手数料						528		528	551	551	104.4				
	01	民生手数料					本年度	528		528	551	551	104.4			
		前年度								234	234					
比較		528						528	317	317						
03	衛生手数料						453,192		453,192	463,139	458,808	101.2				
	01	廃棄物処理手数料					本年度	447,352		447,352	457,402	453,071	101.3			
		前年度					574,379	110,000	464,379	470,070	461,817	99.4				
比較		127,027					110,000	17,027	12,668	8,746						
02	畜犬登録等事務手数料	本年度					5,600		5,600	5,737	5,737	102.4				
	前年度	5,040						5,040	6,125	6,125	121.5					
	比較	560						560	388	388						
03	公害対策事務手数料	本年度					240		240							
	前年度						240	240								
	比較	240					240									
04	商工手数料						230		230	270	270	117.4				
	01	商工手数料					本年度	230		230	270	270	117.4			
		前年度	190		190	236	236	124.2								
比較		40		40	34	34										
05	土木手数料		26,598	1,524	25,074	28,067	28,067	111.9								
	01	土木手数料	本年度	25,746	1,524	24,222	26,930	26,930	111.2							
		前年度	21,966		21,966	27,150	27,150	123.6								
比較		3,780	1,524	2,256	220	220										
02	駐車場手数料	本年度	852		852	1,137	1,137	133.5								
	前年度	852		852	935	935	109.7									
	比較				202	202										
06	消防手数料		1,980		1,980	1,296	1,296	65.5								
	01	消防手数料	本年度	1,980		1,980	1,296	1,296	65.5							
		前年度	2,272		2,272	1,728	1,728	76.1								
比較		292		292	432	432										

## 平成 22 年度 歳入予算執行状況

(単位:千円,%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率
14				国庫支出金	7,479,743	1,092,744	66,904	8,639,391	8,380,357	8,132,626	94.1
	01			国庫負担金	6,184,635		274,515	5,910,120	5,757,392	5,757,392	97.4
		01		民生費国庫負担金	6,184,635		274,515	5,910,120	5,757,392	5,757,392	97.4
			01	心身障害者福祉費負担金	本年度 666,734 前年度 534,213 比較 132,521		3,443 103,312 99,869	670,177 637,525 32,652	621,624 636,108 14,484	621,624 636,108 14,484	92.8 99.8
			02	児童手当負担金	本年度 129,390 前年度 744,650 比較 615,260		1,637 14,125 12,488	131,027 758,775 627,748	130,835 756,055 625,220	130,835 756,055 625,220	99.9 99.6
			03	児童福祉費負担金	本年度 499,562 前年度 434,663 比較 64,899		10,715 21,776 11,061	510,277 456,439 53,838	504,193 438,220 65,973	504,193 438,220 65,973	98.8 96.0
			04	生活保護費負担金	本年度 1,196,079 前年度 1,190,134 比較 5,945		1,072 1,072 1,072	1,197,151 1,190,134 7,017	1,100,407 1,074,277 26,130	1,100,407 1,074,277 26,130	91.9 90.3
			05	国民健康保険事業費負担金	本年度 52,232 前年度 52,233 比較 1		16,590 16,590 16,590	68,822 52,233 16,589	68,823 52,408 16,415	68,823 52,408 16,415	100.0 100.3
			06	児童扶養手当負担金	本年度 197,943 前年度 197,067 比較 876			197,943 188,641 8,426	197,551 188,642 8,909	197,551 188,642 8,909	99.8 100.0
			07	社会福祉費負担金	本年度 4,008 前年度 4,407 比較 399			4,008 4,407 399	3,238 4,290 1,052	3,238 4,290 1,052	80.8 97.3
			08	子ども手当負担金	本年度 3,438,687 前年度 比較 3,438,687		307,972 307,972	3,130,715 3,130,715	3,130,721 3,130,721	3,130,721 3,130,721	100.0
	02			国庫補助金	1,199,210	1,092,744	330,195	2,622,149	2,522,673	2,274,942	86.8
		01		総務費国庫補助金	2,400	536,541	52,889	591,830	538,186	536,541	90.7
			01	総務管理費補助金	本年度 2,400 前年度 比較 2,400	3,000 3,000	755 755	4,645 4,645	4,645 4,645	3,000 3,000	64.6
			04	地域活性化臨時交付金	本年度 前年度 比較	533,541	820,893	533,541 820,893 287,352	533,541 902,006 368,465	533,541 368,465 165,076	100.0 44.9
			05	地域活性化交付金	本年度 前年度 比較		53,644	53,644			
			×	選挙費補助金	本年度 1,000 前年度 比較 1,000			1,000 1,000	945 945	945 945	94.5
			×	定額給付金給付費補助金	本年度 前年度 比較	3,183,299	3,183,299	3,183,299	3,092,899	3,092,899	97.2
			×	街路交通調査費補助金	本年度 前年度 比較		3,000	3,000	3,000		
			02	民生費国庫補助金	162,491	2,500	19,132	184,123	175,701	168,872	91.7
			01	社会福祉費補助金	本年度 72,867 前年度 54,750 比較 18,117		3,885 15,864 19,749	68,982 70,614 1,632	66,453 76,765 10,312	66,453 76,765 10,312	96.3 108.7
			02	児童福祉費補助金	本年度 39,218 前年度 87,268 比較 48,050	2,500 2,500	7,803 31,759 39,562	49,521 55,509 5,988	48,480 56,059 7,579	48,480 53,559 5,079	97.9 96.5
			03	老人福祉費補助金	本年度 50,406 前年度 6,000 比較 44,406		15,214 6,000 21,214	65,620 6,000 65,620	60,768 60,768	53,939 53,939	82.2
			×	子育て応援特別手当補助金	本年度 前年度 比較	51,064		51,064	49,224	45,856	89.8
			03	衛生費国庫補助金	30,733		58,540	89,273	83,884	83,884	94.0
			01	保健衛生費補助金	本年度 30,733 前年度 14,140 比較 16,593		58,540 26,741 31,799	89,273 40,881 48,392	83,884 36,849 47,035	83,884 36,849 47,035	94.0 90.1

## 平成 22 年度 歳入 予算 執行 状況

(単位:千円,%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率		
14	02	04		土木費国庫補助金	288,711	146,092	11,823	422,980	412,252	388,079	91.7		
			01	土木費補助金	本年度	127,100	38,515	17,600	148,015	148,015	123,842	83.7	
				前年度	99,350	47,300	22,763	169,413	179,413	140,898	83.2		
				比較	27,750	8,785	40,363	21,398	31,398	17,056			
			02	都市計画費補助金	本年度	73,000			73,000	73,000	73,000	100.0	
				前年度	79,000	89,200		168,200	168,200	168,200	100.0		
				比較	6,000	89,200		95,200	95,200	95,200			
			03	住宅費補助金	本年度	88,611	107,577	5,777	201,965	191,237	191,237	94.7	
				前年度	312,390	27,000	12,615	326,775	223,065	219,198	67.1		
				比較	223,779	80,577	18,392	124,810	31,828	27,961			
			×	河川費補助金	本年度								
				前年度			770	770	800	800	800	103.9	
		比較				770	770	800	800				
		05		消防費国庫補助金	28,493			28,493	28,493	28,493	100.0		
			01	消防費補助金	本年度	28,493			28,493	28,493	28,493	100.0	
				前年度	32,882		966	31,916	31,916	31,916	100.0		
		比較		4,389		966	3,423	3,423	3,423				
		06		教育費国庫補助金	686,382	405,863	211,457	1,303,702	1,284,157	1,069,073	82.0		
			01	小学校費補助金	本年度	308,881	244,623	93,653	647,157	646,908	563,042	87.0	
				前年度	1,124		274,096	275,220	307,261	62,638	22.8		
				比較	307,757	244,623	180,443	371,937	339,647	500,404			
	02		中学校費補助金	本年度	184,651	138,462	138,441	461,554	442,734	326,658	70.8		
			前年度	100,016		173,550	273,566	285,772	147,310	53.8			
			比較	84,635	138,462	35,109	187,988	156,962	179,348				
	03		幼稚園費補助金	本年度	23,840	12,650		36,490	35,991	35,991	98.6		
			前年度	22,338		13,030	35,368	37,481	24,831	70.2			
			比較	1,502	12,650	13,030	1,122	1,490	11,160				
	04		社会教育費補助金	本年度	169,010	10,128	20,637	158,501	158,524	143,382	90.5		
			前年度	35,538		500	35,038	35,038	24,910	71.1			
		比較	133,472	10,128	20,137	123,463	123,486	118,472					
	07		商工費国庫補助金		1,748		1,748						
		01	観光費補助金	本年度		1,748		1,748					
			前年度	2,835			2,835	1,748					
比較	2,835		1,748		1,087	1,748							
03		委託金	95,898		11,224	107,122	100,292	100,292	93.6				
	01	総務費委託金	19,350			19,350	19,011	19,011	98.2				
		01	総務管理費委託金	本年度	19,350			19,350	19,011	19,011	98.2		
			前年度	16,500			16,500	18,983	18,983	115.0			
	比較		2,850			2,850	28	28					
	02	民生費委託金	74,154		11,224	85,378	79,107	79,107	92.7				
		01	国民年金事務委託金	本年度	57,845			57,845	50,654	50,654	87.6		
			前年度	57,831			57,831	54,536	54,536	94.3			
	比較		14			14	3,882	3,882					
	02	児童福祉費委託金	本年度	16,309		11,224	27,533	28,453	28,453	103.3			
		前年度	350			350	345	345	98.6				
		比較	15,959		11,224	27,183	28,108	28,108					
×	市民生活対策費委託金	本年度											
	前年度			9,332	9,332	7,372	7,372	79.0					
	比較			9,332	9,332	7,372	7,372						
03		土木費委託金	2,394			2,394	2,174	2,174	90.8				
	01	河川費委託金	本年度	2,394			2,394	2,174	2,174	90.8			
		前年度	2,345			2,345	1,846	1,846	78.7				
比較		49			49	328	328						
15		県支出金	3,584,630	11,883	184,497	3,781,010	3,686,655	3,570,655	94.4				
	01		県負担金	1,730,044		20,906	1,750,950	1,749,735	1,749,735	99.9			
		01	民生費県負担金	1,730,044		20,906	1,750,950	1,749,735	1,749,735	99.9			
			01	社会福祉費負担金	本年度	1,880			1,880	724	724	38.5	
				前年度	1,025		1,048	2,073	341	341	16.4		
		比較		855		1,048	193	383	383				
		02	児童福祉費負担金	本年度	249,780		5,358	255,138	252,803	252,803	99.1		
			前年度	217,331		10,888	228,219	218,292	218,292	95.7			
			比較	32,449		5,530	26,919	34,511	34,511				
		03	児童手当負担金	本年度	67,152		2,530	69,682	69,490	69,490	99.7		
前年度	387,525			8,212	395,737	395,510	395,510	99.9					
比較	320,373			5,682	326,055	326,020	326,020						

## 平成 22 年度 歳入予算執行状況

(単位:千円,%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率				
15	01	01	04	生活保護費負担金	本年度	23,400			23,400	35,343	35,343	151.0			
				前年度	23,400			23,400	33,435	33,435	142.9				
				比較					1,908	1,908					
			05	国民健康保険事業負担金	本年度	427,229		56,011	483,240	483,240	483,240	483,240	100.0		
				前年度	312,937		19,982	292,955	293,043	293,043	293,043	100.0			
				比較	114,292		75,993	190,285	190,197	190,197					
			06	障害福祉費負担金	本年度	316,906		3,104	320,010	309,555	309,555	309,555	96.7		
				前年度	249,941		53,850	303,791	288,754	288,754	288,754	95.1			
				比較	66,965		50,746	16,219	20,801	20,801					
			07	後期高齢者医療事業負担金	本年度	156,071		278	156,349	156,350	156,350	156,350	100.0		
				前年度	140,653		8,382	149,035	149,036	149,036	149,036	100.0			
				比較	15,418		8,104	7,314	7,314	7,314					
			08	子ども手当負担金	本年度	487,626		46,375	441,251	442,230	442,230	442,230	100.2		
				前年度											
				比較	487,626		46,375	441,251	442,230	442,230					
			02			県補助金	1,303,419	11,883	193,428	1,508,730	1,375,271	1,259,271	83.5		
			02	01	01	総務費県補助金		176			176	181	181	102.8	
						01	総務管理費補助金	本年度	93			93	81	81	87.1
							前年度	114			114	93	93	81.6	
							比較	21			21	12	12		
						02	統計調査費補助金	本年度	43			43	55	55	127.9
							前年度	41			41	42	42	102.4	
							比較	2			2	13	13		
						03	戸籍住民基本台帳費補助金	本年度	40			40	45	45	112.5
前年度	10							10	34	34	340.0				
比較	30							30	11	11					
02						民生費県補助金	1,030,238	6,240	98,072	1,134,550	1,071,556	955,556	84.2		
01	社会福祉費補助金	本年度				37,251		19,093	56,344	90,185	90,185	160.1			
	前年度	30,269					4,996	35,265	49,628	49,628	140.7				
	比較	6,982					14,097	21,079	40,557	40,557					
02	老人福祉費補助金	本年度				158,765		20,600	138,165	119,557	3,557	2.6			
	前年度	4,855						4,855	4,719	4,719	97.2				
	比較	153,910					20,600	133,310	114,838	1,162					
03	心身障害者福祉費補助金	本年度				3,614			3,614	2,312	2,312	64.0			
	前年度	4,020						4,020	2,990	2,990	74.4				
	比較	406						406	678	678					
04	医療福祉費補助金	本年度				459,430		500	459,930	420,001	420,001	91.3			
	前年度	447,298						447,298	417,767	417,767	93.4				
	比較	12,132					500	12,632	2,234	2,234					
05	児童福祉費補助金	本年度				371,178	6,240	99,079	476,497	439,501	439,501	92.2			
	前年度	107,251		64,958	172,209	174,271	168,031	97.6							
	比較	263,927	6,240	34,121	304,288	265,230	271,470								
03			衛生費県補助金	98,584		48,286	146,870	93,957	93,957	64.0					
01	保健衛生費補助金	本年度	98,584		48,286	146,870	93,957	93,957	64.0						
	前年度	74,673		128,553	203,226	78,652	78,652	38.7							
	比較	23,911		80,267	56,356	15,305	15,305								
04			農林水産業費県補	101,732		6,081	95,651	103,543	103,543	108.3					
01	農業費補助金	本年度	59,587		6,431	53,156	60,260	60,260	113.4						
	前年度	84,571		3,967	80,604	77,535	77,535	96.2							
	比較	24,984		2,464	27,448	17,275	17,275								
02	畜産費補助金	本年度	17		678	695	633	633	91.1						
	前年度	17		1,278	1,295	1,259	1,259	97.2							
	比較			600	600	626	626								
03	林業費補助金	本年度	42,128		328	41,800	42,650	42,650	102.0						
	前年度	55,739		8,151	47,588	46,261	46,261	97.2							
	比較	13,611		7,823	5,788	3,611	3,611								
05			労働費県補助金	52,742		59,075	111,817	85,860	85,860	76.8					
01	労働諸費補助金	本年度	52,742		59,075	111,817	85,860	85,860	76.8						
	前年度														
	比較	52,742		59,075	111,817	85,860	85,860								
06			土木費県補助金	6,500			6,500	5,392	5,392	83.0					
01	都市計画費補助金	本年度	6,500			6,500	5,392	5,392	83.0						
	前年度	8,000		1,541	6,459	6,459	6,459	100.0							
	比較	1,500		1,541	41	1,067	1,067								
×	住宅費補助金	本年度													
	前年度	1,000		1,000											
	比較	1,000		1,000											

平成 22 年度 歳入予算執行状況

(単位:千円,%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率		
×	×	×	×	河川費補助金									
				本年度									
				前年度			770	770	800	800	103.9		
				比較			770	770	800	800			
			07	消防費県補助金	493	3,365	150	3,708	3,406	3,406	91.9		
			01	消防費補助金	本年度	493	3,365	150	3,708	3,406	3,406	91.9	
					前年度	750		2,195	2,945	3,365			
					比較	257	3,365	2,345	763	41	3,406		
			08	教育費県補助金	12,954	2,278	5,774	9,458	9,628	9,628	101.8		
			01	社会教育費補助金	本年度	2,954	2,278	1,938	3,294	2,992	2,992	90.8	
					前年度	6,944		1,683	5,261	8,574	6,296	119.7	
					比較	3,990	2,278	255	1,967	5,582	3,304		
			02	小学校費補助金	本年度	10,000		5,936	4,064	3,379	3,379	83.1	
					前年度	10,000			10,000	8,876	8,876	88.8	
					比較			5,936	5,936	5,497	5,497		
			03	教育総務費補助金	本年度			2,100	2,100	2,102	2,102	100.1	
					前年度	14,169		325	14,494	14,401	14,401	99.4	
					比較	14,169		1,775	12,394	12,299	12,299		
			04	保健体育費補助金	本年度					1,155	1,155		
					前年度					1,793	1,793		
					比較					638	638		
			09	商工費県補助金					1,748	1,748			
			01	観光費補助金	本年度					1,748	1,748		
					前年度								
					比較					1,748	1,748		
×				労働費県補助金									
	×		×	労働諸費補助金	本年度								
					前年度			48,294	48,294	26,488	26,488	54.8	
					比較			48,294	48,294	26,488	26,488		
			03	委託金	551,167		29,837	521,330	561,649	561,649	107.7		
			01	総務費委託金	本年度	541,506		28,907	512,599	553,428	553,428	108.0	
					01	総務管理費委託金	本年度	18,516		18,516	17,536	17,536	94.7
							前年度	17,698			17,698	18,440	18,440
			比較	818					818	904	904		
			02	徴税费委託金	本年度	297,568		297,568	339,603	339,603	114.1		
					前年度	292,430			292,430	329,224	329,224	112.6	
					比較	5,138			5,138	10,379	10,379		
			03	戸籍住民登録費委託金	本年度	173		173	183	183	105.8		
					前年度	173			173	175	175	101.2	
					比較					8	8		
			04	統計調査費委託金	本年度	99,149		13,230	85,919	85,685	85,685	99.7	
					前年度	26,204			26,204	22,966	22,966	87.6	
					比較	72,945		13,230	59,715	62,719	62,719		
			05	選挙費委託金	本年度	126,100		15,677	110,423	110,421	110,421	100.0	
					前年度	141,082		57,421	83,661	83,675	83,675	100.0	
					比較	14,982		41,744	26,762	26,746	26,746		
			02	民生費委託金	9,500		930	8,570	8,054	8,054	94.0		
			01	心身障害者福祉費委託金	本年度	8,880		930	7,950	7,440	7,440	93.6	
					前年度	9,120		580	8,540	7,830	7,830	91.7	
					比較	240		350	590	390	390		
			02	社会福祉費委託金	本年度	620			620	614	614	99.0	
					前年度	25			25	3	3	12.0	
					比較	595			595	611	611		
×				農林水産業費委託									
	×		×	農地費委託金	本年度								
					前年度	200			200				
					比較	200			200				
			03	商工費委託金	97			97	97	97	100.0		
			01	商工費委託金	本年度	97		97	97	97	100.0		
					前年度	97			97	97	97	100.0	
					比較								
			04	土木費委託金	44			44	44	44	100.0		
			01	土木費委託金	本年度	44		44	44	44	100.0		
					前年度	36			36	44	44	122.2	
					比較	8			8				

## 平成 22 年度 歳入 予算 執行 状況

(単位:千円,%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率
15	03	05		教育費委託金	20			20	26	26	130.0
			01	教育費委託金	20			20	26	26	130.0
				本年度	20			20	26	26	130.0
				前年度	20			20	26	26	130.0
				比較							
16				財産収入	78,936		29,559	108,495	123,654	123,606	113.9
	01			財産運用収入	25,923		4,159	30,082	32,715	32,667	108.6
		01		財産貸付収入	19,818			19,818	22,458	22,410	113.1
			01	土地建物貸付収入	19,818			19,818	22,458	22,410	113.1
				本年度	19,818			19,818	22,458	22,410	113.1
				前年度	10,643			10,643	13,691	13,643	128.2
				比較	9,175			9,175	8,767	8,767	
		02		利子及び配当金	6,105		4,159	10,264	10,257	10,257	99.9
			01	利子及び配当金	6,105		4,159	10,264	10,257	10,257	99.9
				本年度	6,105		4,159	10,264	10,257	10,257	99.9
				前年度	14,858		3,141	17,999	18,158	18,158	100.9
				比較	8,753		1,018	7,735	7,901	7,901	
	02			財産売払収入	53,013		25,400	78,413	90,939	90,939	116.0
		01		不動産売払収入	5,001		5,400	10,401	14,062	14,062	135.2
			01	土地売払収入	5,001		5,400	10,401	14,062	14,062	135.2
				本年度	5,001		5,400	10,401	14,062	14,062	135.2
				前年度	2,001			2,001	12,968	12,968	648.1
				比較	3,000		5,400	8,400	1,094	1,094	
		02		物品売払収入	48,012		20,000	68,012	76,877	76,877	113.0
			01	物品売払収入	48,012		20,000	68,012	76,877	76,877	113.0
				本年度	48,012		20,000	68,012	76,877	76,877	113.0
				前年度	78,012		30,000	48,012	55,813	55,813	116.2
				比較	30,000		50,000	20,000	21,064	21,064	
17				寄附金	4,001		700	4,701	5,392	5,392	114.7
	01			寄附金	4,001		700	4,701	5,392	5,392	114.7
		01		一般寄附金	1			1			
			01	一般寄附金	1			1			
				本年度	1			1			
				前年度	1			1			
				比較							
		02		アイラブつくばま	4,000		700	4,700	5,392	5,392	114.7
			01	アイラブつくばま ちづくり寄附金	4,000		700	4,700	5,392	5,392	114.7
				本年度	4,000		700	4,700	5,392	5,392	114.7
				前年度	1		5,989	5,990	8,714	8,714	145.5
				比較	3,999		5,289	1,290	3,322	3,322	
		×		民生費寄附金							
			×	民生費寄附金							
				本年度							
				前年度	1			1			
				比較	1			1			
		×		環境衛生費寄附金							
			×	環境衛生費寄附金							
				本年度							
				前年度	1			1			
				比較	1			1			
		×		教育費寄附金							
			×	教育費寄附金							
				本年度							
				前年度	1			1			
				比較	1			1			
18				繰入金	135,216		1,045,216	1,180,432	1,039,295	1,039,295	88.0
	01			基金繰入金	135,212		694,832	830,044	829,058	829,058	99.9
		01		基金繰入金	135,212		694,832	830,044	829,058	829,058	99.9
			01	基金繰入金	135,212		694,832	830,044	829,058	829,058	99.9
				本年度	135,212		694,832	830,044	829,058	829,058	99.9
				前年度	1,297,061		342,128	1,639,189	1,639,189	1,639,189	100.0
				比較	1,161,849		352,704	809,145	810,131	810,131	
	02			特別会計繰入金	4		350,384	350,388	210,237	210,237	60.0
		01		国民健康保険特別	1		308,190	308,191	168,040	168,040	54.5
			01	国民健康保険特別 会計繰入金	1		308,190	308,191	168,040	168,040	54.5
				本年度	1		308,190	308,191	168,040	168,040	54.5
				前年度	1		293,053	293,054	293,054	293,054	100.0
				比較			15,137	15,137	125,014	125,014	
		02		老人保健特別会計	1		2,428	2,429	2,429	2,429	100.0
			01	老人保健特別会計 繰入金	1		2,428	2,429	2,429	2,429	100.0
				本年度	1		2,428	2,429	2,429	2,429	100.0
				前年度	1		24,579	24,580	24,580	24,580	100.0
				比較			22,151	22,151	22,151	22,151	
		03		後期高齢者医療特	1		9,136	9,137	9,137	9,137	100.0
			01	後期高齢者医療特 別会計繰入金	1		9,136	9,137	9,137	9,137	100.0
				本年度	1		9,136	9,137	9,137	9,137	100.0
				前年度			7,601	7,601	7,601	7,601	100.0
				比較			1,535	1,536	1,536	1,536	



## 平成 22 年度 歳入 予算 執行 状況

(単位:千円,%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率	
18	02	04		介護保険事業特別	1		30,630	30,631	30,631	30,631	100.0	
			01	介護保険事業特別	1		30,630	30,631	30,631	30,631	100.0	
				会計繰入金			39,012	39,012	39,012	39,012	100.0	
				比較	1		8,382	8,381	8,381	8,381		
19				繰越金	1,500,000	901,707	1,195,984	3,597,691	3,597,692	3,597,692	100.0	
	01			繰越金	1,500,000	901,707	1,195,984	3,597,691	3,597,692	3,597,692	100.0	
		01		繰越金	1,500,000	901,707	1,195,984	3,597,691	3,597,692	3,597,692	100.0	
			01	繰越金	本年度	1,500,000	901,707	1,195,984	3,597,691	3,597,692	3,597,692	100.0
				前年度	1,500,000	498,879	332,377	2,331,256	2,331,256	2,331,256	100.0	
				比較		402,828	863,607	1,266,435	1,266,436	1,266,436		
20				諸収入	1,670,246		43,143	1,713,389	1,752,030	1,675,890	97.8	
	01			延滞金,加算金及	36,203			36,203	55,765	55,715	153.9	
		01		延滞金	36,152			36,152	55,565	55,565	153.7	
			01	延滞金	本年度	36,152		36,152	55,565	55,565	153.7	
				前年度	36,152			36,152	56,371	56,371	155.9	
				比較				806	806			
		02		加算金及び過料	51			51	200	150	294.1	
			01	加算金及び過料	本年度	51		51	200	150	294.1	
				前年度	51		1,091	1,142	1,142	1,142	100.0	
				比較			1,091	1,091	942	992		
	02			市預金利子	5,400			5,400	2,957	2,957	54.8	
		01		市預金利子	5,400			5,400	2,957	2,957	54.8	
			01	市預金利子	本年度	5,400		5,400	2,957	2,957	54.8	
				前年度	13,000			13,000	7,293	7,293	56.1	
				比較	7,600			7,600	4,336	4,336		
	03			貸付金元利収入	71,639			71,639	93,397	68,561	95.7	
		01		民生費貸付金元利	493			493	25,249	413	83.8	
			01	障害者住宅整備貸	本年度	133		133	133	133	100.0	
				付金元利収入	前年度	320		320	320	320	100.0	
				比較	187			187	187	187		
			02	住宅新築資金等貸	本年度	360		360	25,115	280	77.8	
				付金元利収入	前年度	360		360	24,104	540	150.0	
				比較				1,011	260			
		02		農林水産業費貸付	10,146			10,146	10,143	10,143	100.0	
			01	しいたけ生産振興	本年度	10,146		10,146	10,143	10,143	100.0	
				貸付金元利収入	前年度	10,182		10,182	10,143	10,143	99.6	
				比較	36			36				
		03		商工費貸付金元利	61,000			61,000	58,005	58,005	95.1	
			01	自治金融預託金元	本年度	58,000		58,000	58,005	58,005	100.0	
				利収入	前年度	55,000		55,000	55,006	55,006	100.0	
				比較	3,000			3,000	2,999	2,999		
			02	コンベンション開	本年度	3,000		3,000				
				催資金貸付金元利	前年度	3,000		3,000				
				収入	比較							
		x		土木費貸付金元利								
			x	花室西部土地区画	本年度							
				整理組合無利子貸	前年度	94,000		94,000	94,000	94,000	100.0	
				付金元利収入	比較	94,000		94,000	94,000	94,000		
04				受託事業収入	58,270		31,691	89,961	72,029	72,029	80.1	
		01		受託事業収入	58,270		31,691	89,961	72,029	72,029	80.1	
			01	後期高齢者医療制	本年度	31,000	5,000	26,000	14,856	14,856	57.1	
				度健診実施受託事	前年度	30,950		30,950	16,068	16,068	51.9	
				業収入	比較	50	5,000	4,950	1,212	1,212		
			x	流域貯留浸透施設	本年度							
				整備受託事業収入	前年度	34,381	49,865	981	83,265	83,265	83,265	100.0
				比較	34,381	49,865	981	83,265	83,265	83,265		
		02		理科支援員等配置	本年度	2,828		2,828	727	727	25.7	
				事業受託事業収入	前年度	2,828		2,828	2,645	2,645	93.5	
				比較				1,918	1,918			
		03		学校支援地域本部	本年度	3,602	1,348	2,254	1,383	1,383	61.4	
				事業受託事業収入	前年度	3,811	2,301	6,112	2,018	2,018	33.0	
				比較	209	3,649	3,858	635	635			
		04		県給食受託事業収	本年度	16,345		16,345	15,261	15,261	93.4	
				入	前年度	11,153		11,153	11,739	11,739	105.3	
				比較	5,192			5,192	3,522	3,522		

## 平成 22 年度 歳入 予算 執行 状況

(単位:千円,%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率			
20	04	01	05	不登校解消モデル	本年度	1,035			1,035	1,028	1,028	99.3		
				事業受託事業収入	前年度			1,035	1,035	1,035	947	91.5		
				比較	1,035		1,035		7	81				
			×	電子黒板活用教育	本年度									
					調査研究事業受託	前年度			5,870	5,870	5,659	5,659	96.4	
				比較			5,870		5,870	5,659	5,659			
			06	認知症地域支援体	本年度	3,460		571	2,889	2,426	2,426	84.0		
					制構築等推進事業	前年度			3,460	3,460	1,655	1,655	47.8	
				比較	3,460		4,031	571	771	771				
			08	学びの広場サポー	本年度			1,110	1,110	1,068	1,068	96.2		
					トプラン事業受託	前年度								
				比較			1,110	1,110	1,068	1,068				
			09	緑の分権改革推進	本年度			37,500	37,500	35,280	35,280	94.1		
					事業受託事業収入	前年度								
				比較			37,500	37,500	35,280	35,280				
			05			雑入		1,498,734		11,452	1,510,186	1,527,882	1,476,628	97.8
			01			雑入		1,498,734		11,452	1,510,186	1,527,882	1,476,628	97.8
			01	01	総務費雑入	本年度	70,016		2,671	72,687	87,409	87,409	120.3	
						前年度	64,863			64,863	79,965	79,965	123.3	
				比較	5,153		2,671	7,824	7,444	7,444				
02	民生費雑入	本年度	199,562		5,075	204,637	243,947	204,145	99.8					
		前年度	194,136		7,145	201,281	241,809	209,681	104.2					
	比較	5,426		2,070	3,356	2,138	5,536							
03	衛生費雑入	本年度	181,728		8,114	189,842	183,605	183,420	96.6					
		前年度	90,804		82,132	172,936	173,572	173,572	100.4					
	比較	90,924		74,018	16,906	10,033	9,848							
04	労働費雑入	本年度	182			182	275	275	151.1					
		前年度	183			183	238	238	130.1					
	比較	1			1	37	37							
05	農林水産業費雑入	本年度	14,620		2,108	16,728	21,881	21,881	130.8					
		前年度	12,343		7,758	20,101	19,275	19,275	95.9					
	比較	2,277		5,650	3,373	2,606	2,606							
06	商工費雑入	本年度	6,644			6,644	5,409	5,409	81.4					
		前年度	5,951		1,000	6,951	7,557	7,557	108.7					
	比較	693		1,000	307	2,148	2,148							
07	土木費雑入	本年度	26,150			26,150	24,331	24,327	93.0					
		前年度	26,003			26,003	25,463	25,463	97.9					
	比較	147			147	1,132	1,136							
08	消防費雑入	本年度	33,361		4,472	28,889	29,276	29,276	101.3					
		前年度	50,392		11,381	39,011	39,514	39,514	101.3					
	比較	17,031		6,909	10,122	10,238	10,238							
09	教育費雑入	本年度	966,471		2,044	964,427	931,749	920,486	95.4					
		前年度	961,352		22,793	984,145	990,329	977,538	99.3					
	比較	5,119		24,837	19,718	58,580	57,052							
21	01	×	市債	本年度	4,045,723	1,206,064	477,165	5,728,952	5,002,931	5,002,931	87.3			
				市債	4,045,723	1,206,064	477,165	5,728,952	5,002,931	5,002,931	87.3			
	×	総務債												
	×	新庁舎建設事業債	本年度											
	前年度		3,510,200		324,500	3,185,700	3,185,700	3,185,700	100.0					
	比較	3,510,200		324,500	3,185,700	3,185,700	3,185,700							
01	01	農林水産業債	本年度	62,000		31,100	93,100	71,500	71,500	76.8				
			農林水産業債	前年度	62,000		31,100	93,100	71,500	71,500	76.8			
	比較	566,600		27,000	539,600	539,600	539,600	100.0						
	比較	504,600		58,100	446,500	468,100	468,100							
02	01	道路事業債	本年度	75,600	17,100	11,100	81,600	64,200	64,200	78.7				
			前年度	64,000	30,400	26,300	68,100	51,000	51,000	74.9				
	比較	11,600	13,300	15,200	13,500	13,200	13,200							
02	都市計画事業債	本年度	642,362	954,564	123,835	1,473,091	1,391,670	1,391,670	94.5					
		前年度	22,500			22,500	19,000	19,000	84.4					
	比較	619,862	954,564	123,835	1,450,591	1,372,670	1,372,670							
×	都市計画事業債	本年度												
		前年度	2,638,675	322,136	96,800	2,864,011	1,889,547	1,889,547	66.0					
	比較	2,638,675	322,136	96,800	2,864,011	1,889,547	1,889,547							
×	住宅事業債	本年度												
		前年度	123,800		9,800	114,000	114,000	114,000	100.0					
	比較	123,800		9,800	114,000	114,000	114,000							

## 平成 22 年度 歳入予算執行状況

(単位:千円,%)

款	項	目	節	科目名称	当初予算額	前年度繰越額	補正予算額	予算現額	調定額	収入済額	執行率
×	×	×		消防債							
			×	消防債							
				本年度							
				前年度	84,300		10,400	73,900	73,800	73,800	99.9
				比較	84,300		10,400	73,900	73,800	73,800	
		03		教育債	922,900	234,400	162,400	994,900	389,300	389,300	39.1
		01		学校建設事業債							
				本年度	922,900	230,400	162,400	990,900	385,300	385,300	38.9
				前年度	149,000		128,100	277,100	23,500	23,500	8.5
				比較	773,900	230,400	290,500	713,800	361,800	361,800	
		02		社会教育事業債							
				本年度		4,000		4,000	4,000	4,000	100.0
				前年度	35,200		16,000	19,200	12,300	12,300	64.1
				比較	35,200	4,000	16,000	15,200	8,300	8,300	
		×		保健体育事業債							
				本年度							
				前年度	1,501,400		76,800	1,424,600	1,424,600	1,424,600	100.0
				比較	1,501,400		76,800	1,424,600	1,424,600	1,424,600	
		04		臨時財政対策債	2,342,861		743,400	3,086,261	3,086,261	3,086,261	100.0
		01		臨時財政対策債							
				本年度	2,342,861		743,400	3,086,261	3,086,261	3,086,261	100.0
				前年度	1,728,000		614,861	2,342,861	2,342,861	2,342,861	100.0
				比較	614,861		128,539	743,400	743,400	743,400	

事業名：議員報酬等に要する経費

議会事務局

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
01	01	01	01	本年	257,217		5,578		251,639	250,725	99.6	
				前年	271,144		13,711		257,433	256,344	99.6	
				比較	13,927		8,133		5,794	5,619		

【事業の目的】

議会運営を円滑に進めるため(地方自治法により設置された議会等への出席に対する経費)

【事業の概要】

定例会(6,9,12,3月),臨時会,常任委員会,特別委員会等の開催。議員数32名

【事業の成果及び効果】

議会活動状況(平成22年4月~平成23年3月) (単位:件)

区 分	回 数 (回)	会議実 日数(日)	付 議 件 数	左のうち		
				可 決	否 決	継 続
定 例 会	4	22	130	129	1	
臨時会	1	1	1	1		
議運・常任委員会	45	53				
特別委員会	31	31				
全員協議会	4	4				
その他の会議	18	18				
合 計	103	129	131	130	1	

請願・陳情

(単位:件)

受付件数	内 訳							
	採 択	一 部 採 択	趣 旨 採 択	不採択	継 続 審 査	撤 回	審 議 未 了	陳 情
26	3			9	1			13

事業名：議会運営に要する経費

議会事務局

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
01	01	01	11	本年	47,063		7,940		39,123	33,996	86.9	
				前年	51,112		6,528		44,584	37,862	84.9	
				比較	4,049		1,412		5,461	3,866		

【事業の目的】

議会運営を円滑に進め、議会活動の周知と議会に対する市民意識の向上を図るため

【事業の概要】

- (1) 市民への議会活動の周知のため、「市議会だより」を定例会毎及び正月号の年5回発行して、審議状況等を広報。発行部数は、70,000から71,500部(うち新聞折込みは67,250部から69,000部)
- (2) 会議録の作成及び公開。定例会・臨時会50部,委員会を2部作成している。会議録の公開については、議会ホームページで公開するとともに、中央図書館で本会議会議録を閲覧できる。

【事業の成果及び効果】

- (1) 議会運営と議会活動の周知
- (2) 議会だより
 

第112号(12ページ)	5/15発行	第115号( 2ページ)	1/ 1発行
第113号(10ページ)	8/15発行	第116号(10ページ)	2/15発行
第114号(10ページ)	11/15発行		

事業名：文書管理に要する経費

総務部 総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
02	01	01	11	本年	38,892		3,783	19	35,090	33,623	95.8	
				前年	12,518		1,259	441	13,336	11,725	87.9	
				比較	26,374		5,042	422	21,754	21,898		

【事業の目的】

文書事務を適切かつ正確に行うため

【事業の概要】

- (1) 文書ファイリングシステムの研修及び維持管理実地指導の実施
- (2) 文書ファイリングシステムを維持管理するための用品の購入
- (3) 文書事務の指導及び改善
- (4) 文書の整理, 保管, 保存, 引継ぎ及び廃棄
- (5) 文書電子化の推進

【事業の成果及び効果】

- (1) 文書ファイリングシステムの研修及び維持管理実地指導の実施

研修

平成23年1月6日及び7日に保育所職員49名を対象に文書ファイリング実務研修を行った。

維持管理実地指導

平成22年10月13日から15日の3日間で、計18課等の文書ファイリング実地指導を行い、十分な維持管理指導が図られた。

	午 前	午 後
10月13日	国際課・生活安全課・地籍調査課	市民課・高齢福祉課・健康増進課
10月14日	二の宮児童館・二の宮小学校 二の宮保育所	上郷保育所・上郷幼稚園 障害者センター豊里
10月15日	土地改良課・法務課・議会総務課	並木中学校・桜南小学校 上広岡保育所

- (2) 文書ファイリングシステムを維持管理するための用品の購入

随時、在庫確認し、必要以上の用品購入を控えることと、再利用の徹底により経費削減が図られた(予算額現額に対し、約16%の削減)。

- (3) 文書事務の指導及び改善

文書管理主任及び新任職員への研修を通して、収受、起案などの文書事務の指導及び改善が図られた。

- (4) 文書の整理, 保管, 保存, 引継ぎ及び廃棄

平成22年9月に豊里庁舎の書棚設置(収納可能箱数7,750箱)が完成し、その後平成23年2月に、各庁舎に分散していた保存文書(約6,000箱)を移動し、一元管理することができた。

- (5) 文書電子化の推進

平成21年度から引き続き、6課に対し、スキャナーを活用した申請書の電子化の推進及び指導が図られた。

事業名：通信運搬に要する経費

総務部 総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	01	12	本年	20,599			19	20,618	18,599	90.2	
				前年	21,931		2,800	441	19,572	19,572	100.0	
				比較	1,332		2,800	422	1,046	973		

【事業の目的】

迅速かつ的確な文書の取扱いを実施するため

【事業の概要】

- (1) 文書の收受
- (2) 文書の発送
- (3) 文書の集配
- (4) 郵便料金(後納料金,切手・はがき)の管理

【事業の成果及び効果】

- (1) 文書の收受  
市に到着した郵便物等の文書を,本庁舎文書集配室で受領し,速やかに各部等メールボックスへ仕分けできた。また,書留や金券も,書留等收受簿に記載し,適切に配付した。
- (2) 文書の発送  
平成22年7月から,郵便料金計器を導入し,文書郵送の迅速化を図った。
- (3) 文書の集配  
毎日,午後に各窓口センター及び消防本部を巡回し,適正に集配業務ができた。
- (4) 郵便料金(後納料金・切手・はがき)の管理  
郵便料金計器の導入により,各課支出状況集計時間の短縮が図られた。また,区内特別などの割引制度を利用し,経費削減を図った。

事業名：法制・法務に要する経費

総務部 法務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	01	13	本年	11,354				11,354	10,459	92.1	
				前年	13,024		1,500		11,524	10,170	88.3	
				比較	1,670		1,500		170	289		

【事業の目的】

法に基づく行政の執行に寄与するため

【事業の概要】

- (1) 条例,規則その他法令の審査,指導及び助言
- (2) 不服申立て,訴訟等の助言
- (3) つくば市例規集の編集
- (4) つくば市法務情報通信「あっとほーむ」による情報の提供

【事業の成果及び効果】

条例 35件,規則 62件,告示 573件,訓令 21件  
つくば市例規集 追録 2,545ページ

事業名：総合賠償保険に要する経費

総務部 総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	01	14	本年	3,305				3,305	3,291	99.6	
				前年	3,259				3,259	3,243	99.5	
				比較	46				46	48		

【事業の目的】

市が、利用者に対し施設の瑕疵や業務遂行上の過失に起因する法律上の損害賠償責任を負う場合の損害を保険金により補填するため

【事業の概要】

(1) 保険の内容

賠償責任保険

市が管理する施設の瑕疵や、市が行う業務上の過失に起因する事故について、市に法律上の賠償責任が生じることによって被る損害を補填する。

補償保険

市が主催する行事又は市民団体によるボランティア活動に参加している住民の偶発的な事故について、市の法律上の賠償責任の有無に関係なく、市が支払う補償金を補填する。

(2) 保険期間 平成22年4月1日から平成23年3月31日までの1年間

(3) 市の業務

加入業務

事故発生時の保険会社への連絡

事故報告書等の必要書類作成

示談等の手続き

【事業の成果及び効果】

市からの一時的及び多額な損害賠償金支払いを防ぎ、財政の安定性に寄与する。

平成22年度保険金の支払実績

No.	事故発生日	担当課	保険金支払月	保険種目	保険金額
1	平成22年2月	健康増進課	平成22年6月	対物賠償	284,722 円
2	平成22年4月	吾妻西児童館	平成22年8月	対人賠償	9,150 円
3	平成22年7月	都市施設課	平成22年8月	入院通院補償	5,000 円
4	平成22年8月	都市施設課	平成22年12月	対物賠償	25,200 円

事業名：庶務に要する経費

総務部 総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	01	15	本年	296				296	220	74.3	
				前年	922				922	469	50.9	
				比較	626				626	249		

【事業の目的】

行政相談及び定例議会等の開催時における総合調整等の業務を行うため

【事業の概要】

(1) 行政相談の開催

(2) 専決処分手続き、定例議会、臨時議会

【事業の成果及び効果】

効率的な行政運営に寄与する。

< 平成22年度実績 >

(1) 行政相談開催 国・県・市総合相談(年1回・5月)、定例相談(年3回)

開 催 日	会 場
平成22年 5月26日(水)	つくば市役所
平成22年 7月15日(木)	豊里公民館
平成22年10月14日(木)	荃崎公民館
平成23年 1月27日(木)	谷田部公民館

- (2) 専決処分手続き …………… 11件  
(3) 議会定例会 …………… 4回  
(4) 議会臨時会 …………… 1回

**事業名：情報公開等に要する経費**

総務部 総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
02	01	01	16	本年	388				388	14	3.6	
				前年	388				388	118	30.4	
				比較						104		

【事業の目的】

情報公開条例・個人情報保護条例の施行による、情報の公開・個人情報の自己開示等の実施及び個人情報の保護を図るため  
不服申立てが提起された場合、審査会の事務局業務を行うため

【事業の概要】

- (1) 情報公開事務  
情報公開請求に対する相談業務  
公開・非公開決定の調整、各課との連絡調整  
不服申立書受理に関する事務
- (2) 個人情報保護事務  
自己開示等請求に対する相談業務  
個人情報の適正管理の届出及び指導業務  
開示・非開示等決定の調整、各課との連絡調整
- (3) 情報公開等審査会に関する事務(不服申立てがあった場合)  
審査会への諮問書の受理  
審査会の調整、各課との連絡調整  
会議録の作成

【事業の成果及び効果】

情報公開事務、個人情報保護事務を行うことにより、行政の説明責任の明確化、行政運営の透明性の向上など、地方自治の本旨に即した市政の実現に寄与する。

<平成22年度情報公開・個人情報開示の実績>

- (1) 情報公開事務  
情報公開請求書の受付件数  
請求書受付件数 99件(市内68件・市外31件)  
請求者実人数 41人(市内25人・市外16人)  
情報公開請求に対する処理内容及び件数

処 理 内 容	件 数
公 開	95 件
一 部 公 開	48 件
非 公 開	7 件
請求却下(対象文書不存在等)	30 件
合 計 (延べ)	180 件



情報公開の実施状況

公開の方法	件数
閲覧による公開	17件
写しの交付による公開	124件
未 来 庁	2件

(2) 個人情報保護事務

個人情報開示請求書の受付件数

請求書受付件数 19件(市内10件・市外9件)

請求者実人数 15人(市内10人・市外5人)

個人情報開示請求に対する処理内容及び件数

処 理 内 容	件 数
開 示	9 件
一 部 開 示	9 件
不 開 示	0 件
請求却下(対象文書不存在)	1 件
合 計 (延べ)	19 件

個人情報開示の実施状況

開 示 の 方 法	件 数
閲覧による開示	0 件
写しの交付による開示	18 件

(3) 情報公開等審査会に関する事務

不服申立て件数 0件

情報公開審査会について

諮 問 案 件 0件

会議の開催回数 0回

事業名：公平委員会共同設置に要する経費

総務部 法務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
02	01	01	17	本年	512				512	512	100.0	
				前年	517				517	517	100.0	
				比較	5				5	5		

【事業の目的】

地方公務員法第7条第4項の規定により共同設置したつくば市等公平委員会の経費を負担するため

【事業の概要】

つくば市、つくばみらい市、かすみがうら市及び新治地方広域事務組合の計4団体による共同設置

【事業の成果及び効果】

経費の負担  $1,673人 \times 300円 + 10,000円 = 511,900円$   
 均等割額 団体数  $\times 10,000円$   
 職員割額 団体職員数  $\times 300円$

負担金を支出したことにより、つくば市等公平委員会の管理運営するための予算を確保し、公平委員会を共同運営することができた。

事業名：すぐ対応室に要する経費

総務部 総務課すぐ対応室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	01	18	本年	4,210				4,210	4,175	99.2	
				前年	4,706				4,706	4,686	99.6	
				比較	496				496	511		

【事業の目的】

現地対応については、誠意を持って対応し、市民の満足度を向上させるため

【事業の概要】

市民からの要望・要請・苦情等に対して、速やかに対応することにより、不安・不満等をなくすよう努力し市民のサービス向上を図る。

【事業の成果及び効果】

- (1) 要望・要請等に対して、早急に現地に出向き、市民の話をよく聞き、敏速に処理することによって、行政サービスの向上を図ることに努力した。
- (2) 道路の補修については、道路の安全確保に努めた。
- (3) 蜂の駆除要望は、その場で巣を撤去するため、市民から大変喜ばれている状況である。

(単位:件)

	受付件数	うち、道路補修	うち、蜂の処理
平成22年度	1,012( 847)	206( 202)	710( 613)
平成21年度	1,107( 911)	297( 284)	713( 575)

( )内の件数は、すぐ対応室処理件数を示す。

事業名：政治倫理審査会に要する経費

総務部 法務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	01	19	本年	350				350	210	60.0	
				前年	350				350	220	62.9	
				比較						10		

【事業の目的】

政治倫理の確立に寄与するため

【事業の概要】

- (1) 会議の開催(委員数 6名)
- (2) 資産等報告書の審査結果を報告する。
- (3) 市民からの審査請求に対する調査、回答及び勧告に関する事務を行う。
- (4) 市長の諮問に対する調査、答申、勧告及び建議に関する事務を行う。

【事業の成果及び効果】

- (1) 会議開催 4回
- (2) 資産等報告書の審査結果を市長へ報告した。  
厳格かつ正確な資産等報告書の審査を行うことで、行政運営の透明性を保ち、公正で開かれた市政の発展に寄与した。  
資産等報告書の閲覧 1件

事業名： 私学振興に要する経費

総務部 総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
02	01	01	20	本年	416				416	112	26.9	
				前年	416				416	84	20.2	
				比較						28		

【事業の目的】

構造改革特別区域法により認定を受けた「つくば市教育特区」における株式会社立の学校の認可等及び認可校の評価を行うため

【事業の概要】

つくば市教育特区学校審議会の運営

- (1) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第4条第1項の規定による認可に係る事項
- (2) 学校教育法第13条の規定による閉鎖命令に係る事項
- (3) 学校教育法第14条の規定による変更命令に係る事項
- (4) 法第12条第5項の規定による学校の評価に関する事項

【事業の成果及び効果】

つくば市教育特区学校審議会を開催し、「つくば市教育特区」における認可校の教育内容、管理状況、経営状況の把握及び指導を行った。

事業名： (仮称)自治基本条例に要する経費

総務部 総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
02	01	01	21	本年	4,311				4,311	2,950	68.4	767
				前年	2,227				2,227	727	32.6	
				比較	2,084				2,084	2,223		767

【事業の目的】

(仮称)自治基本条例を制定し、住民自治の一層の促進を図るため

【事業の概要】

- (1) 平成22年8月に市民委員16名による「つくば市自治基本条例市民ワーキングチーム」が発足  
新しい検討のスタイルとして、「市民ワーキングチーム」と「地域別・テーマ別ワークショップ」という2つの話し合いの場を設け、多くの市民の考えや思いを聞きあいながら「つくば市らしい自治の在り方」を検討していくという市民参加型のスタイルを進める。  
平成23年12月を目途に市民骨子案を策定し市長に提言  
平成24年1月から市民・議会・行政の代表による条例策定委員会を発足させ、平成24年度条例施行を目指す。
- (2) 自治基本条例制定の取り組みをしている、先進地の視察を行う。

【事業の成果及び効果】

- (1) キックオフイベント1回、キックオフ・ワークショップ1回、市民ワーキングチームを12回、市民ワークショップを2回開催した。  
市民ワーキングチームの自治基本条例づくりに向けた気運、協力体制が、会議の回を追うごとに高まってきた。骨格と主要なキーワードが抽出され、今後の検討を行うための基礎ができあがってきた。
- (2) 自治基本条例制定の取り組みをしている、先進地の視察を行った(先進地視察先・・・三田市)。

事業名：土地開発公社に要する経費

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
02	01	01	22	本年	200				200			
				前年	200				200	139	69.5	
				比較						139		
<p>【事業の目的】 土地開発公社の健全な運営を確保するため</p> <p>-----</p> <p>【事業の概要】 土地開発公社への運営費補助(事務従事者の労災保険料及び法人市・県民税分)を実施 なお、事務従事者は、財政課職員が兼任</p> <p>-----</p> <p>【事業の成果及び効果】 土地開発公社より、補助金交付の申請がされなかったため、執行しなかった。</p>												

事業名：特別職報酬等審議会運営に要する経費

総務部 人事課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
02	01	02	11	本年	100				100			
				前年	100				100			
				比較								
<p>【事業の目的】 議員報酬及び政務調査費の額並びに市長及び副市長の給料の額について審議し、適正な額を維持するため</p> <p>-----</p> <p>【事業の概要】 (1) 議員報酬及び政務調査費の額並びに市長及び副市長の給料の額の改定について、市長から諮問を受けたとき、特別職報酬等審議会を開催する。 (2) 特別職報酬等審議会で決定した内容を市長に答申する。</p> <p>-----</p> <p>【事業の成果及び効果】 平成22年度は、市長からの諮問がなかったので、特別職報酬等審議会が開催されなかった。</p>												

事業名：給与事務に要する経費

総務部 人事課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
02	01	02	12	本年	128				128	84	65.6	
				前年	128			5	133	100	75.2	
				比較				5	5	16		
<p>【事業の目的】 職員の生活基盤を支える給与等の支給や保険等控除事務を円滑に進めることで、就労意欲の向上を図るため</p> <p>-----</p> <p>【事業の概要】 人事院勧告の内容調整や給与制度の理解増進を図ることで、例月給与、期末・勤勉手当、子ども手当支給及び社会保険料等各種控除事務を円滑に進める。</p> <p>-----</p> <p>【事業の成果及び効果】 &lt; 成果 &gt; (1) 平成22年度支給対象職員数:1,777人 (2) 平成22年人事院の給与勧告に伴う給与改定実施内容 ・期末勤勉手当支給割合の引き下げ改定(4.15月分 3.95月分) ・月例給の引き下げ(平均改定率0.1%) ・55歳を超える(5級以上)職員の俸給及び特別調整額の1.5%減額改定</p>												

< 効果 >

人事院勧告に基づく給与改定事務の実施  
市給与制度の円滑な改正を実施

事業名：職員研修に要する経費

総務部 人事課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	02	13	本年	13,849				13,849	11,729	84.7	
				前年	13,849				13,849	12,244	88.4	
				比較						515		

【事業の目的】

高度化・多様化する市民ニーズへの的確な対応が求められており、当市を取り巻く環境の変化に即応した研修を実施し、地方分権時代に対応する質の高い、市民感覚を備えた職員の育成を図るため

【事業の概要】

- (1) 基本研修 10課程 指定人数 433人  
各職層ごとに共通した知識及び技能の習得
- (2) 特別研修 13課程 指定人数 998人  
管理職特別(人事評価者訓練)研修, 先進地調査研修, 政策課題研究研修, 行政対象暴力等対応研修, 接遇リーダー養成研修, 文書管理主任研修, 法務研修, 情報主管・情報調整主管研修, O A 研修, 市民協働まちづくり研修, ストレス対処法研修, クレーム対応研修, ユニバーサルデザイン研修
- (3) 派遣研修 34課程 指定人数 58人  
国等の機関(経済産業省, 国土交通省, (財)地方自治研究機構), 都市再生機構, (株)つくば研究支援センター, 茨城県, 荒川区, 自治大学校, 国土交通大学校, (財)全国市町村国際文化研究所, 公務人材開発協会, 安全運転中央研修所, (社)日本経営協会, (株)地域科学研究会, (財)日本人行政研究所, 公害等調整委員会事務局, (財)地方公務員安全衛生推進協会, (社)文教施設協会, (財)建築保全センター, (社)街づくり区画整理協会
- (4) 通信教育研修 6課程 指定人数 8人  
職場のメンタルヘルス対策, 労働法入門, 民法入門コース, 働く人の法律100, 最新ビジネスボールペン字, 発想力・想像力でビジョンを練り上げる。

【事業の成果及び効果】

< 成果 >

- (1) 基本研修 10課程 修了人数 415人(修了率 95.8%)
- (2) 特別研修 13課程 修了人数 927人(修了率 92.8%)
- (3) 派遣研修 34課程 修了人数 58人(修了率 100.0%)
- (4) 通信教育研修 6課程 修了人数 8人(修了率 100.0%)

< 効果 >

- (1) 基本研修  
各職層に応じた知識を習得させるとともに、政策形成能力の向上に努めた。また、管理職層における組織管理能力、指導職層における組織管理の補佐業務及び調整能力を養うことに効果があった。
- (2) 特別研修  
業務遂行に必要な実務能力(法務・文書)の向上や、高度な政策形成能力の養成につながった。
- (3) 派遣研修  
高度な専門知識の習得に効果があり、また、他自治体・関係機関との情報交換ができた。
- (4) 通信教育研修  
実務遂行に必要なスキルの向上が図られた。

事業名：職員福利厚生に要する経費

総務部 人事課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	02	14	本年	15,370				15,370	14,500	94.3	
				前年	16,348		1,400	5	17,743	16,813	94.8	
				比較	978		1,400	5	2,373	2,313		

【事業の目的】

職員が安心して公務に専念できるよう、地方公務員法第42条に定められた職員の保健、元気回復、その他の厚生事業に関する事業等を実施するため

【事業の概要】

茨城県市町村職員共済組合、茨城県市町村総合事務組合に関する事務及び職員健康診断等の各種事業を実施、職員を側面からバックアップし公務の効率化を図る。

【事業の成果及び効果】

- (1) 共済組合に関する事業： 年金の請求・保険給付・組合員証の更新等の事務の実施
- (2) 総合事務組合に関する事業： 職員の届出・退職手当金請求事務71名の実施
- (3) 公務災害： 公務遂行中に発生した災害5件の補償請求事務
- (4) 作業服支給： 職員作業服支給基準により、夏服124着、冬服54着、防寒服52着を支給
- (5) 体育事業： 官公庁野球大会、共済球技大会等に参加
- (6) 健康診断等： 健康診断629人、人間ドック1,070人受診、ぶらり健康相談に109名、健康教室に38名参加

職員及び家族の生活の安定と福祉の向上、体育事業、健康診断により健康の保持増進を図り、職務の効率的運営を図った。

事業名：人事管理に要する経費

総務部 人事課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	02	15	本年	6,030				6,030	4,579	75.9	
				前年	11,906				11,906	10,191	85.6	
				比較	5,876				5,876	5,612		

【事業の目的】

職員の任用、分限及び懲戒、人事評価その他公務能率の向上のための施策により、適切な人事管理を行うため

【事業の概要】

- (1) 職員の採用
- (2) 人事異動の実施
- (3) 職員の分限処分及び懲戒処分
- (4) 人事評価の実施
- (5) 人事交流の実施

【事業の成果及び効果】

- (1) 採用職員数

		募集人員	受験者	合格者	倍率
平成22年度 カッコ内は、 平成21年度	事務職	26名 (18名)	439名 (400名)	30名 (20名)	14.6(20.0)
	専門職	18名 (21名)	137名 (180名)	19名 (22名)	7.2(8.2)
	計	44名 (39名)	576名 (580名)	49名 (42名)	11.8(13.8)

退職者補充及び専門職の確保のため、昨年度より5名多い44名を募集したところ、576名が受験し、倍率は11.8で昨年度より2ポイント減少した。

- (2) 人事異動

人事異動に関しては、総数486名の異動(消防本部を除く。)を行い、市民サービスの向上を目指した適材適所の人事配置に努めた。

- (3) 分限処分者数及び懲戒処分者数

平成22年度中に分限処分を受けた職員数は、すべて分限休職で17人であり、前年度に比べ

て1人減少した。

平成22年度中に懲戒処分を受けた職員数は2名であり、前年度に比べて1名増加した。

処分者数を種類別にみると、停職1名、減給1名である。

(4) 人事評価の実施状況

休職中及び育児休業中の職員を除く1,681名の人事評価が行われ、成績区分別の職員数は、評価「A」10人(0.6%)、評価「B」296人(17.6%)、評価「C」1,353人(80.5%)、評価「D」20人(1.2%)、評価「E」2人(0.1%)であった。この人事評価の結果に基づき、初めて昇給号給数に反映させた。

(5) 国との人事交流、実務研修及び公益的法人等への派遣者数

国との人事交流として、国から2名の職員を採用した。

職員の資質向上及び意識改革を図るため総務省、経済産業省に各1名ずつ研修生を派遣したほか、茨城県、茨城租税債権管理機構、茨城県後期高齢者医療広域連合、公益的法人等その他団体に17名の職員を派遣した。

その他、茨城県から1名、初めて民間から1名を受入れ、組織の活性化に向けた取組を実施した。

**事業名：臨時職員に要する経費**

総務部 人事課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	02	16	本年	136,150		27,724		163,874	160,413	97.9	
				前年	115,594		2,840	541	118,975	118,553	99.6	
				比較	20,556		24,884	541	44,899	41,860		

【事業の目的】

職員の補助・補充として雇用している臨時職員等の適切な管理を図るため

【事業の概要】

- (1) 臨時職員等が安心して公務に専念し、公務能率の向上が図れるよう各種保険の加入や健康診断等を実施する。
- (2) 年度中途に長期療養及び育児休業に入った職員の欠員補充に対処するため、臨時職員の雇用に係る予算を一元的に管理し、必要に応じて各課に予算を令達する。

【事業の成果及び効果】

- (1) 臨時職員の社会保険の資格取得190件、喪失150件、雇用保険の資格取得270件、喪失230件の手続き事務の実施  
 労災保険・非常勤公務災害補償制度に加入し、公務中に発生した災害10件の補償手続き事務  
 臨時職員390人の健康診断の実施、生活習慣病予防健診へ78人申込み
- (2) 臨時職員賃金として、13課に14,199,777円を令達した。

**事業名：秘書業務に要する経費**

市長公室 秘書課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	03	11	本年	15,293				15,293	9,917	64.8	
				前年	17,454				17,454	10,757	61.6	
				比較	2,161				2,161	840		

【事業の目的】

市長統括のもと、関係各部局課相互の連携を図り、一体的に行政機能を発揮するため

【事業の概要】

- (1) 市長・副市長の秘書業務
- (2) 交際に関すること
- (3) 市長会に関すること

【事業の成果及び効果】

関係各部局課との円滑な調整に基づく市政運営を行った。

事業名：表彰・褒賞・儀式関係に要する経費

市長公室 秘書課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	03	12	本年	85				85			
				前年	85				85	10	11.8	
				比較						10		

【事業の目的】

市民生活と文化の向上等に特に功績のあった方を讃え、市民の福祉の増進と市政の発展に資するため

【事業の概要】

叙勲・一般表彰等に関する事務手続き

【事業の成果及び効果】

	平成22年度	平成21年度
つくば名誉市民	0 件	0 件
死亡叙勲	1 件	1 件
高齢者叙勲	0 件	0 件
春の叙勲	0 件	0 件
秋の叙勲	0 件	1 件
叙位叙勲	0 件	0 件
叙位	0 件	0 件
つくば市長賞	15 件	13 件

事業名：広報広聴活動に要する経費

市長公室 広報広聴課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	04	11	本年	45,238		2,272		42,966	37,355	86.9	
				前年	46,192				46,192	41,751	90.4	
				比較	954		2,272		3,226	4,396		

【事業の目的】

各種広報媒体の作成を通じ、行政情報を迅速かつ正確に提供するため。また、広聴活動を通して市民ニーズを的確に把握し、市政に反映するとともに、市民参加がより一層進展するよう働きかけるため

【事業の概要】

(1) 広報事業

- 「広報つくば」の発行
- 「つくば市民べんり帳」の発行
- 「マイシティつくば」の発行
- ケーブルテレビ広報番組「つくば市広報タイム」放送
- FMラジオ広報番組「つくば市広報ステーション」放送
- 写真等を電子データ化しアーカイブを作成
- 情報提供スペース(庁舎1階, イーアスつくば)への刊行物設置の管理運営

(2) 広聴事業

- 市民の声支援システムの運用
- 市政地区別懇談会の開催
- 市政モニター制度の実施

【事業の成果及び効果】

(1) 広報事業

印刷物や放送メディアを活用し、市政情報を的確に提供した。また、平成22年度末には、東日本大震災に係る情報を災害対策本部と連携して提供した。



#### 「広報つくば」の発行

発行部数：75,000～100,000部、配布部数：約69,000～86,000部、その他公的施設等に設置  
毎月1回発行

市内全世帯への配布を目標に、6月に新聞折り込みからポスティングに変更した。

「広報つくば」の点訳及び録音版を作成し、視聴覚障害者に配布した。

#### 「つくば市民べんり帳」の発行

発行部数：100,000部 区会配布及び公的施設等に設置

A4判、行政情報のほかに、市民の生活に密着した生活情報や地域情報を掲載し、利便性の高い情報誌を作成(民間事業者と協働で事業実施)

#### 「マイシティつくば」の発行

発行部数：50,000部 市内転入者・訪問者などに配布

A4サイズ(A1八折り)で、表面に行政情報、裏面に市の地図を掲載し、つくば市をわかりやすく紹介するガイドとして作成

#### ケーブルテレビ広報番組「つくば市広報タイム」放送

放送回数：1回15分で、1日5回 番組制作は週1回

#### FMRラジオ広報番組「つくば市広報ステーション」放送

放送回数：1回15分で、1日3回放送

番組収録は週1回で、内容により職員参加により作成

#### 写真等を電子データ化しアーカイブを作成

紙ベースやネガの状態で作成されている写真の電子データ化と元データの整理保存を実施

#### 情報提供スペース(庁舎1階、イーアスつくば)への刊行物設置の管理運営

行政各課からのチラシやポスターの設置。市内研究機関のチラシなども設置し、いつでも、市内の情報が入手できるようにするため、関係各機関に呼びかけた。

## (2) 広聴事業

要望等に対する回答書を通して、市民満足度及び市政の向上を図った。

#### 市民の声支援システムの運用

要望等件数は543件で、内訳は一般要望124件、市長へのたより108件、市長へのメール257件、相談カード53件、市政モニター通信票1件。ほかに平成22年度末には東日本大震災関係で106件の要望等があった。

要望等は、各課に回付後、住所氏名のわかっている要望は文書で回答し、文書回答できない匿名や住所不明の要望にも担当課で目を通し、市政運営の参考とした。

#### 市政地区別懇談会の開催

中学校区を単位に7回実施。延べ参加者数：176人

市長が市政の現状を説明し、参加者から市政に対する提言や地域の課題等について懇談し、市政運営の参考とした。

#### 市政モニター制度の実施

モニター：10人。公募、地域・各種団体を代表する方

課題(地域コミュニティの活性化方策、広報紙、まつりつくば)についての提案や市政で気がついた意見をいただき、市政運営の参考とした。

事業名： 予算事務に要する経費

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
02	01	05	11	本年	1,297				1,297	705	54.4	
				前年	1,297				1,297	627	48.3	
				比較						78		

【事業の目的】

つくば市総合計画に定める「健康で健全なまち・つくばの創造」の実現を目指し、適正な財政措置を講ずるため

【事業の概要】

- (1) 各会計(一般会計及び7特別会計)について予算編成を行う。  
現年度予算について、制度変更や財政状況の変化に対応すべく、補正予算の編成を行う。  
次年度の年間総合予算としての当初予算の編成を行う。
- (2) 予算の推移や予算概要について、市民への情報提供を実施する。

【事業の成果及び効果】

- (1) 各会計の予算編成について  
平成22年度予算について、限りある財源の効果的で効率的な活用を図りながら、補正予算編成を行った。  
補正予算実施回数：一般会計7回、国民健康保険特別会計3回、下水道事業特別会計4回、老人保健特別会計2回、後期高齢者医療特別会計3回、公平委員会特別会計1回、介護保険事業特別会計4回  
実施計画等との整合性を図りながら、全会計の平成23年度当初予算を編成した。
- (2) 市ホームページを活用して、当初予算書、予算の経年変化に関する資料等を公開し、市民への情報提供に努めた。また、庁内情報システムに予算書データを掲示することで、予算書印刷部数を減らし、経費の節減に努めた。

事業名： 決算事務に要する経費

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
02	01	05	12	本年	709				709	367	51.8	
				前年	772				772	416	53.9	
				比較	63				63	49		

【事業の目的】

地方自治法第233号第3項及び5項の規定に基づき、決算の概要とその資料及び主要な施策の成果を説明する資料を作成し、事業の成果、効果を明らかにすることで、議会及び市民への説明責任を果たすため

【事業の概要】

- (1) 地方自治法第233条第5項に定める「主要施策の成果及び予算執行の実績報告書」を調製する。  
会計管理者の調製する決算書と合わせて、監査委員の決算審査に付し、議会に対する決算認定の提案にかかわる一連の事務を行う。
- (2) 地方財政状況調査や財政健全化比率の算定を行い、財政状況に関する資料を作成する。
- (3) 新公会計制度による連結財務諸表を作成し、市民に公表する。

【事業の成果及び効果】

- (1) 平成21年度の全事業の実績について、「主要施策の成果及び予算執行の実績報告書」として取りまとめ、平成21年度歳入歳出決算認定の付属資料として9月議会に提出し、認定を受けた。また、市民への情報開示として、「主要施策の成果及び予算執行の実績報告書」をPDF化し、つくば市ホームページに掲載した。
- (2) 決算事務を通して予算と執行過程、実績を把握し、事業の評価を念頭に経費対効果などを検証するとともに、決算から算出される財政指標をもとに、財政運営の健全化に努めた。

(3) 連結財務諸表を作成し、公表することにより、既存の決算資料では把握されていない市全体の財政状況が整理できた。

**事業名：理財事務に要する経費**

**財務部 財政課**

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
02	01	05	13	本年	299				299	200	66.9	
				前年	299				299	202	67.6	
				比較						2		

**【事業の目的】**

地方交付税、基金及び各種交付金など歳入の確保と資金調整に関連する事務処理を通して、財源の計画的な確保を図るため

**【事業の概要】**

- (1) 市債の同意申請、借入、償還事務の執行
- (2) 地方交付税(普通交付税、特別交付税)、地方譲与税、交付金の管理
- (3) 基金の総合調整
- (4) 債務負担行為の管理

**【事業の成果及び効果】**

- (1) 市債(一般会計債)の借入額 (前年度繰越分を含む)

	平成22年度	平成21年度
政府資金、銀行等からの借入額(同意要)	4,793,661千円	9,388,461千円
茨城県からの借入額(同意不要)	209,270千円	287,447千円
借入額合計	5,002,931千円	9,675,908千円

新庁舎建設及び健康づくり拠点整備といった大規模事業が平成21年度に終了し、平成22年度の借入額は、前年度と比べ約47億円減少した。

- (2) 地方交付税の交付額

	平成22年度	平成21年度
普通交付税	1,045,322千円	1,392,493千円
特別交付税	474,496千円	426,370千円

- (3) 基金の総合調整

健全な財政運営の観点から政策的積立を実施した。  
(財政調整基金、公共施設整備基金、学校教育施設整備基金等)  
政策的な基金について、教育施設や公共事業等の財源として活用した。  
基金の適正管理に努めた。

- (4) 債務負担行為の内容について、担当部署に確認し、台帳を更新した。

**事業名：出納事務に要する経費**

**会計課**

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
02	01	06	11	本年	14,284				14,284	10,662	74.6	
				前年	14,006			18	14,024	13,264	94.6	
				比較	278			18	260	2,602		

**【事業の目的】**

出納事務をとおして、予算の公正な執行を図るため

**【事業の概要】**

会計事務の検査及び指導を行うとともに、現金の出納と保管、公金預金の管理を行う。

**【事業の成果及び効果】**

収入については、速やかに収納するとともに、支出にあつては、支払調書等を厳正に審査し、適正で正確な事務処理を行った。

**事業名：決算事務に要する経費**

会計課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	06	12	本年	494				494	270	54.7	
				前年	494			18	476	278	58.4	
				比較				18	18	8		

【事業の目的】

歳入歳出予算の執行状況を正確に把握し、決算書を調製して行財政運営の資料とするため

【事業の概要】

前年度の歳入歳出の決算内容を確認するとともに、決算に関わる資料を徴して決算書を調製する。

【事業の成果及び効果】

監査委員の審査及び議会の審議を経て、決算の内容が厳密に検証され、財務の効率化、適正化に資することができた。

**事業名：共同物品調達に要する経費**

会計課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	06	13	本年	16,629				16,629	14,226	85.5	
				前年	16,088				16,088	13,881	86.3	
				比較	541				541	345		

【事業の目的】

共同物品(コピー用紙、封筒等)について、一括購入のメリットを生かし、コスト削減に努めるため

【事業の概要】

市役所で使用する共同物品の発注、保管及び頒布を一元的に行う。

【事業の成果及び効果】

共同物品購入状況

	平成22年度	平成21年度
コピー用紙(A3 A4 B4 B5)	12,820,000枚	13,525,000枚
封筒(角0 角1 角2 角3)	456,750枚	347,000枚

封筒購入枚数の増加は、新庁舎対応等によるものである。

**事業名：庁舎維持管理に要する経費**

総務部 管財課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	07	11	本年	315,571	63,415	75,106	13,599	467,691	403,369	86.2	54,000
				前年	273,149		130,067		403,216	295,018	73.2	63,415
				比較	42,422	63,415	54,961	13,599	64,475	108,351		9,415

【事業の目的】

各庁舎の保全と施設等の適正な維持管理を図り、庁舎内の秩序維持を保つため

【事業の概要】

各庁舎の建物及び設備等の修繕及び維持管理

空調設備保守点検業務、清掃業務、警備業務、冷暖房運転業務、消防設備点検業務、空気環境測定業務、エレベーター保守点検業務、受水槽高架水槽清掃業務、大穂庁舎駐車場整備 ほか

【事業の成果及び効果】

各庁舎の施設を保守、修繕することで効率的に利用できるように努めた。

事業名：市有土地建物の管理に要する経費

総務部 管財課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
02	01	07	12	本年	4,375		4,314		8,689	7,528	86.6	
				前年	6,560				6,560	6,414	97.8	
				比較	2,185		4,314		2,129	1,114		

【事業の目的】

公有財産(普通財産)を良好な状態に維持管理するとともに、経済的価値を十分に発揮するよう運用するため

【事業の概要】

- (1) 公有財産管理委員会の開催
- (2) 普通財産(土地)の管理(除草等)及び処分(払い下げ)
- (3) 普通財産(建物)の維持管理
- (4) 土地境界立会

【事業の成果及び効果】

- (1) 公有財産管理委員会の開催数 2回
- (2) 市有地の除草等を実施することで荒廃を防止し、生活環境を保全する等適正に管理した。  
また、希望者には一時貸付を実施する等有効に活用した。  
一般競争入札により、普通財産の処分を実施した。

事業名：車両管理に要する経費

総務部 管財課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
02	01	07	13	本年	112,814			7,368	105,446	95,570	90.6	
				前年	118,542				118,542	91,450	77.1	
				比較	5,728			7,368	13,096	4,120		

【事業の目的】

公用自動車の維持管理を適正かつ効率的に図るため

【事業の概要】

- (1) 公用自動車の修理及び車検整備
- (2) 公用自動車のリース
- (3) 公用自動車の任意保険への加入

【事業の成果及び効果】

公用自動車の修理及び整備,リース車の導入により,事務事業が効率的かつスムーズに遂行できた。

事業名：事務機器管理に要する経費

総務部 管財課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
02	01	07	14	本年	26,038			8,082	17,956	17,077	95.1	
				前年	26,246		3,290		29,536	27,340	92.6	
				比較	208		3,290	8,082	11,580	10,263		

【事業の目的】

事務機器を適正に管理することで、各部署の事務事業が効率的に遂行できるようにするため

【事業の概要】

事務機器の管理：複合機(コピー・プリンタ兼用) 30台,印刷機 3台,シュレッダー 11台

【事業の成果及び効果】

事務機器の適正配置及び管理によって、効率的な事務事業の遂行に寄与した。

事業名：事業契約に要する経費

総務部 契約検査課

款	項	目	事業年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	07	15	本年	4,868			4,868	4,305	88.4	
			前年	5,082			5,082	4,646	91.4		
			比較	214			214	341			

【事業の目的】

入札参加希望業者に係る資格審査及び情報の登録・管理，並びに入札・契約に関する各種委員会の運営等を適正に実施することにより，公正かつ円滑な入札・契約事務の執行を図るため

【事業の概要】

- (1) 入札参加資格登録の申請受付，資格審査，情報の登録及び管理
- (2) 入札審査委員会の開催
- (3) 入札の実施，契約の締結
- (4) 入札事務評価委員会の開催
- (5) いばらき電子入札共同利用システムの運営委託
- (6) 業者管理システムの保守管理委託

【事業の成果及び効果】

- (1) 入札参加資格審査申請受付件数

平成22年度		平成21年度	
22年9月(追加)	23年2月(追加)	21年9月(追加)	22年2月(定期)
176社(者)	405社(者)	77社(者)	3,240社(者)

- (2) 入札審査委員会開催

平成22年度	平成21年度
12回(月1回)	12回(月1回)

- (3) 入札実施件数〔不調を除く〕

方法	平成22年度	平成21年度
一般競争入札	54件	61件
指名競争入札	721件	811件

- (4) 入札事務評価委員会の開催

平成22年度	平成21年度
年2回(22年7月・23年2月)	年2回(21年7月・22年2月)

- (5) いばらき電子入札共同利用システムの運営委託

電子入札実施件数

方法	平成22年度	平成21年度
一般競争入札	34件	41件
指名競争入札	3件	2件

- (6) 業者管理システムの保守管理委託

業者管理システムは，入札・契約事務で用いる各種様式へのデータアウトプットに利用するほか，庁内イントラネットを通じ，事業担当各課が業者選定時に活用している。

事業名：業務検査に要する経費

総務部 契約検査課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	07	16	本年	453				453	231	51.0	
				前年	150				150	109	72.7	
				比較	303				303	122		

【事業の目的】

市が発注する建設工事及びこれに附随する設計の適正な履行を確認するため

【事業の概要】

工事請負契約約款及びつくば市工事等検査規程等に基づいた検査を実施する。契約金額が1件130万円以上の建設工事及びこれに附随する設計についての検査(完成・完了検査, 出来高検査及び中間検査)等を行う。

【事業の成果及び効果】

繰越し分等を除く建設工事等の検査をすべて実施した結果, 適正な履行の確認ができた。  
なお, 22年度における検査実施件数は, 以下のとおり。

	建設工事	設計委託業務	合計
完成・完了検査	288件	71件	359件
出来高検査	3件	0件	3件
中間検査	32件	2件	34件
計	323件	73件	396件

事業名：駐車場維持管理に要する経費

総務部 管財課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	07	17	本年	14,125		900	1,851	16,876	16,693	98.9	
				前年								
				比較	14,125		900	1,851	16,876	16,693		

【事業の目的】

つくば市庁舎駐車場条例及びつくば市職員等の駐車場の使用について(伺定)に基づき, 駐車場の適正な管理を行うため

【事業の概要】

来庁者・職員駐車場の維持管理及び駐車料金の徴収

【事業の成果及び効果】

来庁者駐車場・職員駐車場について適正な管理を実施した。

事業名：行政経営に要する経費

(市長公室 企画経営課)  
企画部 行政経営課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	08	11	本年	6,965		4,300		2,665	1,357	50.9	
				前年	5,226		1,498		3,728	3,126	83.9	
				比較	1,739		2,802		1,063	1,769		

【事業の目的】

長期的展望に立った効率的, 効果的な行政経営を推進し, 「計画, 実施, 評価, 改善」のPDCAマネジメントサイクルの確立及び行政改革に取り組むため

【事業の概要】

実施計画の策定, 行政改革の推進, 行政評価, パブリックコメント(市民と行政が共に施策をつくる手続制度), 職員提案制度等を実施し, 行政経営改革に取り組む。

【事業の成果及び効果】

各事業に取り組むことで効率的、効果的な行政経営を推進するとともに、市民に対する説明責任を果たすため各種情報の公開に努めた。

(1) 総合計画実施計画

第3次つくば市総合計画・後期基本計画(平成21年度作成)で定められた主要な各施策について具体的な実施方法を定め、計画的な行財政運営を推進するための指針として、平成23年度～25年度までの3年間の実施計画を策定した。

(2) 行政改革

行政改革実施計画(集中改革プラン)の平成18～21年度まで4年間の取組結果を取りまとめた。4年間の計画期間で122の実施項目に取り組んだ。

実施項目 達成:101項目,一部達成:11項目,未達成:10項目, 達成率 87.3%

4年間の縮減効果額 歳入額(収入増加額):53億1,400万円,歳出縮減額:53億6,300万円

(3) 行政評価

平成21年度事務事業の中から50事業を抽出し、行政評価を実施した。

行政経営懇談会を8回開催し、行政評価及び行政改革について意見をいただいた。

(4) パブリックコメント

パブリックコメント実施状況 案件10件(条例案2件,計画案等8件),意見数69人,287件

(5) 職員提案制度

職員提案制度等実施状況 提案31件(事務事業提案11件,身近な提案20件),業務改善報告5件

(6) 指定管理者

指定管理者候補者選定検討会議を開催し、平成23年4月から指定管理者として管理運営する4施設(新規3施設,更新1施設)の指定管理者候補者を選定した。

(総務部 情報システム課)  
企画部 情報政策課

事業名： 地域情報化に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	08	12	本年	12,829				12,829	11,580	90.3	
				前年	14,088				14,088	14,000	99.4	
				比較	1,259				1,259	2,420		

【事業の目的】

つくば市IT推進プラン(つくば市情報化基本計画)に策定されている各施策を推進し、電子自治体を構築するため。そして、行政手続きの効率化、行政サービスの品質向上を図り、自治体経営の効率化及び市民生活の向上を実現するため

【事業の概要】

- (1) 電子申請・届出の推進
- (2) GISの整備
- (3) いばらきブロードバンドネットワークの活用
- (4) 市内ブロードバンド化
- (5) 情報セキュリティの向上

【事業の成果及び効果】

- (1) いばらき電子申請・届出サービスを適正に運営した。  
電子申請・届出が可能な手続は、16手続  
平成22年度の申請・届出件数は982件(内簡易申請733件)
- (2) 茨城県域統合型GISのレイヤー管理及び各課利用支援を行った。
- (3) いばらきブロードバンドネットワークを有効活用した。
- (4) 市内のブロードバンド・ゼロ地域を解消するため、関係機関へ要望活動を行った。
- (5) 職員を対象に情報リテラシー研修を実施した。



事業名：情報ネットワークセンター運営に要する経費 (総務部 企画部 情報ネットワークセンター)

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
02	01	08	13	本年	12,982				12,982	11,207	86.3	
				前年	12,253				12,253	10,879	88.8	
				比較	729				729	328		

【事業の目的】

地域情報化に関する計画の策定及び推進を図り、市民生活の利便性の向上及び市の情報発信に関する事務を推進していくため

【事業の概要】

- (1) 市民開放端末の設置
- (2) 市民等を対象とした研修室・会議室等の運営及び情報リテラシーの向上やデジタル・デバインド等への支援

【事業の成果及び効果】

- (1) 市民開放端末を市内各施設に設置し、市民生活の利便性の向上を図った。
- (2) 施設において市民等を対象としたパソコン研修室及びメディア会議室の運営や、自由にインターネットを閲覧できるコーナーなど、情報リテラシー(情報を管理、活用する能力)の向上やデジタル・デバインド(情報格差)等への支援を行った。経費は、これら施設の維持管理費用である。

< 来館者数 >

1階各種体験コーナー	6,349人(前年度:8,425人)
2階パソコン研修室	研修室利用回数: 37回(内訳:一般利用 8回, 公用利用 29回) 研修室利用者数: 493人(内訳:一般利用117人, 公用利用376人)
メディア会議室	会議室利用回数: 17回(内訳:一般利用 11回, 公用利用 6回) 会議室利用者数: 97人(内訳:一般利用 49人, 公用利用 48人)

事業名：情報通信ネットワークシステム運用に要する経費 (総務部 企画部 情報システム課 情報政策課)

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
02	01	08	14	本年	151,900	498		1,780	150,618	127,601	84.7	
				前年	114,556		10,904		125,460	116,758	93.1	498
				比較	37,344	498	10,904	1,780	25,158	10,843		498

【事業の目的】

市民生活の利便性に寄与するため、情報発信の基盤となる情報ネットワークシステムを運営し、情報発信に関する事務を推進していくため。また、庁舎及び出先機関における情報化を進めるための基盤ネットワークの維持管理を行い、円滑な事務執行及び事務の効率化を図るため

【事業の概要】

- (1) 本庁舎を中心とし情報ネットワークセンターを補完施設として、市内に点在する約200施設を広域ネットワークで結び構築した全庁ネットワークの保守及び管理運営を行う。
- (2) ホームページを使った様々な情報提供サービスを展開し、利便性の高い先進的な情報を随時市民に提供する。
- (3) 公共施設予約管理システム, 粗大ごみ収集受付システム, 図書館システム等の、市民が必要に応じて24時間いつでも利用できるサービスを提供するため、ネットワーク機器及び専用アプリケーションの管理運用を行う。

【事業の成果及び効果】

- (1) ネットワークトラブル(メンテナンス等の計画停止を除く)による市民サービスへの影響(サービス停止)は、年間総稼働時間の約0.5%以内に留めることができた。
- (2) 本庁舎開庁や窓口センター設置、並びに旧庁舎廃止に伴う出先機関のネットワーク再編整備及び

一部出先機関において利用していた無線通信機器の老朽化に伴う接続方法の見直し(無線 有線)を行った。

- (3) つくば市公式ホームページについて、市民ニーズにあった、利用しやすく、Webアクセシビリティ、ユーザビリティに配慮したもとして運営した。
- (4) 平成22年度において、インターネット上からつくば市のネットワークへの不正侵入・攻撃等を試された件数は約89千件/年(前年度比46%増)、コンピュータウイルス付メール約1,381件/年(前年度比90%減)、スパムメール約1,887千件/年(前年度比20%増)で、これらに対して、セキュリティシステムは有効に機能した。
- (5) 情報ネットワークセンターを核として、市内の公共施設(スポーツ及び文化施設等)に関してインターネットを利用した予約管理サービスを市民に提供した。

つくば市公共施設予約管理システム登録カード発行者数(平成23年3月31日現在)

個人カード20,450枚(1,976枚) + 団体カード2,510枚(219枚) = 合計22,960枚(2,195枚)

( )内の数字は平成22年度登録分

平成22年度予約状況

窓口受付:81,033件,インターネット受付:32,659件(うち携帯受付4,230件)

**事業名: ISO9001事業に要する経費**

(市長公室 企画経営課)  
企画部 行政経営課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	08	15	本年	3,770				3,770	3,389	89.9	
				前年	2,996				2,996	2,937	98.0	
				比較	774				774	452		

**【事業の目的】**

品質に関する国際標準規格であるISO9001の認証を維持し、行政サービスの質的向上や市民満足度を高めながら、「市民に信頼され親しまれる市役所づくり」を目指していくため

**【事業の概要】**

- (1) 市長見直し(マネジメントレビュー)実施
- (2) 新庁舎移転に伴う認証変更審査受審
- (3) システム運用研修, 内部監査員研修の実施
- (4) 行政サービス向上システムの内部監査実施
- (5) 市民満足度を把握するための市民アンケート窓口調査実施
- (6) ISO9001認証維持のため審査登録機関による審査受審

**【事業の成果及び効果】**

- (1) 市長見直し(マネジメントレビュー)を行い、新庁舎開庁における業務執行方針を行政サービス向上方針に追加し、さらなる業務改善に取り組んだ。
- (2) 新庁舎移転に伴い、事務局他3部署において認証変更審査を受審した。
- (3) 各係長を行政サービス向上推進員に指名し、システム運用研修を受講させ、システムの浸透・定着を図った。
- (4) 行政サービス向上システムの適切な運用を維持するために内部監査を実施した。
- (5) 市民満足度を把握するための市民アンケート窓口調査を年3回実施した。
- (6) 審査登録機関による審査を受審し、全72部署におけるISO9001の認証を維持した。

上記事業を実施した結果、是正処置・予防措置の取り組みが増加し、行政サービスの質的向上につながり、また、市民アンケート窓口調査も回を重ねるごとに増加し、市民満足度を高めることができた。

事業名：東京事務所に要する経費

市長公室 つくば市東京事務所

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	08	16	本年	32,275				32,275	31,475	97.5	
				前年	29,808				29,808	29,389	98.6	
				比較	2,467				2,467	2,086		

【事業の目的】

東京事務所を適切に維持管理することにより、つくばエクスプレス沿線地域を中心とする都内及び首都圏に向けたつくば市のシティセールス前線拠点とするため。また、市内研究機関及び企業等関係者に打ち合わせスペースを貸し出すことにより、都内での活動を支援し、交流の促進とあわせて筑波研究学園都市の発展に資するため

【事業の概要】

- (1) 事務所の賃貸借契約に基づく、維持管理に係る清掃委託及び光熱費等の支払い
- (2) 事務所の付加価値を高めるため、事務所に『研究交流サロン』を設置し、利用登録の受付や貸し出し等の運営を行う。
- (3) 事務所の今後の運営方針を策定するため『つくば市東京事務所運営検討会議』を立ち上げ、各界から委嘱した構成員より広く意見を伺う。

【事業の成果及び効果】

- (1) 事務所の賃貸借契約に基づき、維持管理に係る清掃委託及び光熱費等の支払いを適切に執行する。
- (2) 『研究交流サロン』を設置・運営することにより、市内研究者等が打ち合わせなどで多数回利用した。これにより都内における活動支援として寄与できた。  
研究交流サロン利用実績 平成22年度 利用回数:288回 利用人数:778人
- (3) 『つくば市東京事務所運営検討会議』を立ち上げ、会議を運営することにより、「東京事務所の目指すべき方向性」「将来に向けた課題と展望」など忌憚のない意見を伺い、運営方針の機軸を構築するうえでの参考になった。  
会議開催実績 第1回:平成22年10月14日 第2回:平成23年1月17日

事業名：シティセールスに要する経費

市長公室 つくば市東京事務所

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	08	17	本年	11,711				11,711	9,585	81.8	
				前年	15,936				15,936	12,684	79.6	
				比較	4,225				4,225	3,099		

【事業の目的】

つくばエクスプレス開業により、首都圏からつくばへのアクセスが向上したことを最大限活用し、つくばの情報の受・発信、各種PR、保有資源の活用、及び商品の販売促進等を展開し、つくばのイメージアップ及び経済波及効果を図ることを目的とするため

【事業の概要】

- (1) 誘客・定住のための情報発信PR事業
  - ・つくば市観光情報、イベント情報の発信(通年)
  - ・昆虫の感覚と行動の不思議(港区対象)の開催(7月24日)
  - ・ロボット出前授業の開催(足立区:11月18日・千代田区:12月21日)
  - ・サンケイリビングとのタイアップ誘客事業(つくばサイエンス体験)の開催(8月1日, 22日, 30日)
  - ・TX秋葉原駅構内でのつくばPRブースの設置  
(夏の筑波山:7月1日～10日, 秋のつくば:10月21日, 梅まつり:2月10日～3月10日)
  - ・都内における梅まつりPRキャンペーンの開催  
(浅草:2月10日, 足立・荒川区役所:2月15日, 秋葉原:2月20日)
  - ・梅まつりモニターツアー(足立区対象)の開催(2月19日)

- ・秋葉原TXプラザを活用したつくばPRイベント開催  
(ブルーベリーPR・販売:6月15日～21日,7月16日～22日,  
つくば市物産フェア:10月1日～7日)
  - ・つくば市情報集「ファクトブック」の作成
  - ・J:COM台東「つくばエクスプレスで行く!リフレッシュサイクリング」放映(20分×16回)
  - ・東京ケーブルネットワーク「あらぶんちょ!春はつくばを満喫しよう」放映(30分×28回)
- (2) 地域間交流促進事業
- ・荒川区「川の手荒川まつり」への出展(4月29日)
  - ・荒川区「ふるさと朝市in日暮里」への出展(5月8日)
  - ・荒川区「スポーツ交流」の実施(サッカー:9月18日,野球:10月11日)
  - ・港区「シロカネ・グローバル・フェスタ」への出展(5月15日・16日)
  - ・港区「みなと区民まつり」への出展(10月9日・10日)
  - ・港区「港区商店街と地方都市との交流物産展」への出展(11月5日・6日)
  - ・足立区「小学校校外学習」の支援(皿沼小学校)
  - ・板橋区「エコポリスセンター講座等のつくば研修」支援(2月20日・3月6日)
- (3) 企業立地促進・産学官連携促進事業
- ・「第4回つくば産産学連携促進市inアキバ」の開催(2月8日)
  - ・東京都「産業交流展2010」への出展(11月10日～12日)
  - ・板橋区「いたばし産業見本市」への出展(11月18日～20日)
  - ・企業訪問の実施(通年:17件)
  - ・中国「無錫新区代表団つくば視察」の支援(2月23日)
- (4) 市内各種団体等との連携促進事業
- ・NPO小田地域振興協議会主催「宝篋山ハイキング」の支援(5月16日)
  - ・シティセールス会議(市内の研究機関・各種団体で構成)の開催(10月25日)

-----  
【事業の成果及び効果】

- (1) 「誘客・定住のための情報発信PR事業」  
メディア(地域情報誌等)とのタイアップ事業を初めて実施し,広くPR出来たこともあり190人の誘客に繋がった。  
また,観光関係のPRキャンペーンは,これまでのTX秋葉原駅コンコースに加え,秋葉原ダイビル前や浅草で実施したことで,従前よりも対象が拡がり広範囲にPRすることが出来た。  
さらに,「つくば市ファクトブック」を市内の研究機関や団体等の協力を得ながら作成したことで,オールつくばでのシティセールスに向けて機運醸成を図れた。
- (2) 「地域間交流促進事業」について  
荒川区や港区において様々なイベントに出展し,連携交流を行ったことに加え,足立区の校外学習や遠足の誘致,板橋区が主催する区民向け講座つくば研修の実現など,交流から発展し誘客事業に繋げることが出来た。
- (3) 「企業立地促進・産学官連携促進事業」  
筑波大学・産総研と連携し,つくば産産学連携促進市inアキバを開催した。325人の参加者があり,見積依頼5件,受注成立2件という実績を残した。  
また,17件の企業訪問を行い,つくばの住み良さや魅力を発信するとともに,企業との情報交換を行うことが出来た。
- (4) 「市内各種団体等との連携促進事業」  
シティセールス会議を通して,研究機関等と協力関係を築くとともに,それぞれの立場や視点からファクトブックに活用できるつくばの魅力の提案を得ることが出来た。

## 事業名：政策審議に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	08	18	本年	10,685			505	11,190	9,944	88.9	
				前年	45,051		2,706	218	47,539	44,814	94.3	
				比較	34,366		2,706	723	36,349	34,870		

## 【事業の目的】

市政に関する各種重要施策の調整を行うことで、市政の円滑な推進を図るため

## 【事業の概要】

- (1) 庁議の開催に関する事 (6) 都市再生に関する事  
 (2) 筑波研究学園都市整備に関する事 (7) 中央要望や各種要望に関する事  
 (3) 構造改革特区に関する事 (8) 茨城ゴールデンゴールズとの連携に関する事  
 (4) まちづくり事業に関する事 (9) その他、各種重要事項の連絡調整に関する事  
 (5) 市内大学との連携に関する事

## 【事業の成果及び効果】

庁議の開催や各種重要事項の調整を図ることで、市政の円滑な運営を図った。

## 事業名：つくば市OB人材活動支援事業に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	08	19	本年	3,325				3,325	2,523	75.9	
				前年	4,988		100	10	4,898	4,647	94.9	
				比較	1,663		100	10	1,573	2,124		

## 【事業の目的】

大学、研究機関が集積し専門的能力の高い人材が多いというつくば市の特質を背景に、退職者等の生きがい対策とともに、一般への知識の普及を図ることにより、人材の定着及び地域社会・経済の活性化を図るため

## 【事業の概要】

OB人材のさまざまな社会参加・活動を支援し、いつまでも社会発展の牽引力となって活躍できる事業モデルを構築する中で、子どもたちや一般市民の方々に講義をしていただけるOBの方々に登録したりスットを作成し、公民館講座をはじめとした登録OB人材の活動の場を調整していく。

## 【事業の成果及び効果】

登録者数や活躍の場の増加を図るため、登録者を講演が出来る人に限定せず、様々な特殊技能を有する高齢者スペシャリスト全体を対象とし事業展開の拡大を実施した。その結果、登録者数が100名を超え、講演依頼は26講座(講義回数63)、活動OBは延べ26人、それによる受講者数は概ね850人になった。

事業名： 研究学園地区土地利用に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	08	20	本年	6,881				6,881	6,703	97.4	
				前年	4,082		6,762	500	11,344	10,455	92.2	
				比較	2,799		6,762	500	4,463	3,752		

【事業の目的】

研究学園地区については、概成して約30年が経過し、公共施設等の老朽化や国家公務員宿舎の一部廃止への対応など新たな課題も顕在化していることから、建設時の計画標準の理念を継承し、緑豊かなゆとりある環境の保全に努めるため。また、平成21年度に策定された「新たなつくばのランドデザイン」を基に、研究学園地区を中心とした地区の具体的なまちづくりビジョンを策定し、そのビジョンに沿ったまちづくりを進めるため

【事業の概要】

- (1) 平成19年度廃止の国家公務員宿舎跡地における地区計画の決定および平成20年度廃止の国家公務員宿舎跡地における規制誘導方策の検討
- (2) 学識経験者等により組織する研学地区等まちづくり検討会を設置し、研学地区等まちづくりビジョンを策定する。

【事業の成果及び効果】

- (1) 平成19年度廃止の国家公務員宿舎跡地について、これまでに培われてきた緑豊かなゆとりある都市環境を継承し、魅力ある都市環境の形成を図ることを目的に地区計画を決定した。また、平成20年度廃止の国家公務員宿舎跡地についても、規制誘導方策の検討を行った結果、地区計画による規制誘導を行うこととした。
- (2) 研学地区等まちづくりビジョンを策定するために、検討会を設置し開催した。研学地区等におけるまちづくりの課題の抽出や整理を行った。平成23年度も引き続き検討会を実施する。

事業名： 自転車のまちづくり推進に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	08	21	本年	9,160	9,240	1,325		17,075	10,959	64.2	5,691
				前年	5,133		4,500		9,633	48	0.5	9,240
				比較	4,027	9,240	5,825		7,442	10,911		3,549

【事業の目的】

低炭素化社会を実現させる「つくば環境スタイル」の一環として、自動車中心の交通手段を適切に自転車へ転換させるまちづくりの推進を図るため

【事業の概要】

- (1) 自転車のまちつくば推進委員会等の開催
- (2) 自転車のまちつくば行動計画(案)の策定
- (3) 自転車の普及促進するためのイベント開催

【事業の成果及び効果】

- (1) 自転車のまちつくば推進委員会等の開催  
自転車のまちつくば推進委員会幹事会2回開催(幹事会8名で構成)  
自転車のまちつくば推進委員会2回開催(委員会26名で構成)
- (2) 自転車のまちつくば行動計画の策定は、基本計画の策定期間が7月となり、その後、個別施策の関係機関等との調整に時間を要し、次年度へ繰越し
- (3) 自転車の普及促進するためのイベント開催  
10月下旬、環境フェスティバルと協賛し、自転車のまちつくば基本計画のPR、珍しい自転車の試乗会や古田敦也講演会を実施

事業名：(仮称)総合ネットワークセンターに要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	08	22	本年	12,363			1,524	13,887	11,782	84.8	
				前年	12,524				12,524	9,057	72.3	
				比較	161			1,524	1,363	2,725		
【事業の目的】 (仮称)総合ネットワークセンターを整備・活用し、つくば市全体の情報化を推進し先端産業分野のベンチャー企業の側面支援を行うことで、つくば市の情報ネットワークの発展・情報化推進、及び産業振興を図るため												
【事業の概要】 (独)情報通信研究機構が所有する「つくば連携実験施設」を賃借し、(仮称)総合ネットワークセンターとして活用している。本事業により建物の施設賃借料を支払い、清掃、植栽管理、電気料等の支払いなどの施設の維持管理を実施している。												
【事業の成果及び効果】 (1) 現在、1階部分は新庁舎電算バックアップ施設として、新庁舎のオンライン系バックアップ機能及びバッチ基幹業務を担い、つくば市の電算業務処理に貢献している。 (2) 2階部分は「つくば市産業振興センター」として平成21年から、つくば発の将来有望なベンチャー企業等の受け皿施設として活用し、企業の市内定着及び経営基盤強化につなげることで、市の産業活性化に寄与している。												

事業名：環境都市推進に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	08	23	本年	8,303		200		8,503	5,600	65.9	
				前年	7,006	5,754	1,424	500	13,684	12,428	90.8	
				比較	1,297	5,754	1,224	500	5,181	6,828		
【事業の目的】 地球温暖化の要因となっている二酸化炭素排出量の大幅削減を図るため												
【事業の概要】 「つくば環境スタイル」の推進を図る。 つくば環境スタイルは、2030年までに市民一人当たりの二酸化炭素排出量を50%削減することを目標に掲げた計画で、「市民等の協働の実践体制の構築」と「二酸化炭素削減技術の開発・実験」とを統合して国内・世界へ発信・普及を図ることを基本コンセプトにしている。												
【事業の成果及び効果】 (1) つくば市環境都市推進懇話会:1回 つくば環境スタイルの取り組み状況と、参加各機関が進める低炭素社会づくりの個別の取り組みについての情報交換を行った。参加各機関においての情報が共有化された。 (2) つくば市環境都市推進委員会:4回 つくば環境スタイル行動計画の進捗管理や、つくば市地球温暖化対策地方公共団体実行計画(案)の検討を行った。これらにより、つくば環境スタイルの計画的推進に寄与した。 (3) 国の低炭素都市推進協議会・ワーキンググループへの参加 国や環境モデル都市その他自治体との情報交換や交流、研究を進めた。第3回都市・地域の低炭素化施策WGを本市で開催して、つくば環境スタイルの取り組み内容や現地を紹介し、PRを図った。 (4) 市民への啓発事業 各イベント等でパンフレット・リーフレットの配布やポスター掲示等を通じた広報、PR、啓発等を行った。												

つくばエクスプレス沿線広告・駅掲示ポスター(300枚),中吊りリーフレット(1,500枚)  
 家庭用省エネ促進チラシ(5,000部)  
 つくば環境スタイル概要版(5,000部)  
 つくば環境スタイルパンフレット(10,000部),同英語版(3,000部)  
 つくば環境スタイル・クリーンエネルギー展パンフレット(20,000部)  
 広報つくば特集号1回,ホームページ

(5) 情報発信事業

各種フォーラム・シンポジウム,勉強会等での講演:8回  
 国交省「エコまちづくり研究会」,経産省「スマートシティ自治体勉強会」,JSTシンポジウム  
 「グリーンイノベーションと社会実験」など  
 エコプロダクツ2010への出展

(6) クリーンエネルギーを活用した低炭素交通社会システムの共同実証プロジェクト

5月12日にオープニングセレモニーを実施。電気自動車を,市公用車として活用し普及啓発を図った。カーシェアリングとしても実用することで,実際に市民が体験できる機会を提供した。

(7) つくば3Eフォーラムとの連携

第4回3Eフォーラムやエネルギーシステム・評価タスクフォースの中で実験タウンDコンセプトの作成を通じた連携を進めた。

(8) コンソーシアムや研究会への参加

つくば環境スタイル実験低炭素タウンの推進のための連携方法や推進方策を探るため,藻類産業創成コンソーシアムや水素・燃料電池研究会(県),低炭素街区づくりの検討会等に参加して,情報の収集を行った。

(9) つくば環境スタイル クリーンエネルギー展の開催

今すぐ使える身近な技術・製品から未来型エネルギーシステムの展示や,「つくば環境スタイル」の紹介,セグウェイ・電動アシスト自転車の試乗,足湯体験など,市民に楽しみながら最先端の技術に触れる機会を創出して,理解と啓発を図った。

場所:つくば市中央公園(レストハウス)

期間:23年1月15日~2月16日(43日間)

来場者数:約5,400人

(10) その他のつくば環境スタイル推進活動

視察の対応や機関誌等への投稿,取材の対応など,年間を通じて広報活動を実施した。

主な対応:ドイツバイエルン州視察団,国内市町村議会視察団,新聞・雑誌への取材対応等

事業名: 地域連携・交流の促進に要する経費

(市長公室 政策審議室)  
 企画部 科学技術振興課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	08	24	本年	743			180	563	119	21.1	
				前年	1,586		1,108	478	263	55.0		
				比較	843		1,108	180	85	144		

【事業の目的】

市内研究機関と基本協定を結ぶことにより,互いの活動に関して,相互連携を推進し,市民の安心・安全を確保するとともに,市民の良好な生活環境が確保された地域社会の持続的な発展に資するため  
 また,市町村との情報交換・事業連携等の手法により,企画・観光・教育分野等々,広範囲での交流を実現するため

【事業の概要】

- (1) 市内各機関のそれぞれの特徴を生かしながら連携事業を展開する。
- (2) 大子町,土浦市,荒川区等との情報交換,人事交流,事業連携を推進する。

【事業の成果及び効果】



- (1) 市内2機関と基本協定を締結した。  
 独立行政法人 物質・材料研究機構(平成22年4月)  
 大学共同利用機関法人 高エネルギー加速器研究機構(平成22年8月)
- (2) 地域住民との相互の理解・親近感が醸成された。

(市長公室 政策審議室)  
 企画部 企画課

事業名：新庁舎竣工式典に要する経費

款	項	目	事業年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額	
02	01	08	25	本年	3,948	180		325	3,803	3,801	99.9	
				前年			268	208	476	232	48.7	180
				比較	3,948	180	268	533	3,327	3,569		180

【事業の目的】

新庁舎建設事業に尽力いただいた関係者を招待し、新庁舎の完成を祝う竣工式及び記念祝賀会を開催するため

【事業の概要】

竣工式招待状500通、竣工記念パンフレット500部の作成業務

【事業の成果及び効果】

新庁舎における環境に配慮した庁舎について、よりわかりやすく記載したパンフレットが作成できた。

事業名：つくばサイエンス・インフォメーションセンターに要する経費

(市長公室部 つくばサイエンス・インフォメーションセンター)  
 企画部 つくばサイエンス・インフォメーションセンター

款	項	目	事業年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額		
02	01	08	26	本年	31,788				31,788	26,096	82.1		
				前年									
				比較	31,788				31,788	26,096			

【事業の目的】

我が国最大規模で試験研究機関が集積する筑波研究学園都市に関する情報等を発信するため。また、本市の学術及び産業の振興に資するため

【事業の概要】

- (1) 筑波研究学園都市の成り立ち等に係る情報の展示・提供
- (2) 市内に集積する試験研究機関等の科学技術に係る情報の展示・提供
- (3) 市勢情報の提供
- (4) 外国人への情報提供
- (5) 交流サロン及び会議室の管理・貸出

【事業の成果及び効果】

平成22年度来館者目標数 20,000人  
 平成22年度来館者数 20,472人  
 内訳 展示見学者等 13,473人  
 会議室利用 209件 6,999人  
 展示機関 12機関

平成22年7月にリニューアルオープンし、各試験研究機関等の協力による展示の拡充や、市勢情報提供の充実、外国人対応等、「科学のまちなか情報館」としての機能を果たした。また、会議室の一般への貸出を開始したことにより、市民や企業等に利用いただき、平成22年度の来館者目標を達成した。

事業名： 緑の分権改革推進事業に要する経費

(市長公室 政策審議室 環境都市推進室)  
環境生活部 環境都市推進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	08	27	本年			37,500		37,500	35,280	94.1	
				前年								
				比較			37,500		37,500	35,280		

【事業の目的】

地域主権型及び低炭素型の地域づくりに向けたシステム構築等を検討するため

【事業の概要】

総務省の「緑の分権改革」推進事業の採択を受けて、国からの受託事業として行う。地域資源であるクリーンエネルギーを最大限活用するため、クリーンエネルギー賦存量等の把握とともに、エコポイント制度化実証調査やDCモデルグリッド実証実験等を実施する。

【事業の成果及び効果】

(1) つくば市クリーンエネルギー賦存量等調査

市内における太陽光、太陽熱、バイオマス等のクリーンエネルギー資源の賦存量、利用可能量、二酸化炭素(CO2)削減量の調査を行った。市が目標とする2030年までの二酸化炭素半減を達成する施策を検討する上での基礎データを収集することができた。

対象エネルギー	賦存量	利用可能量	CO2削減量
【電力利用】			
太陽光	350,457,159,000kWh	415,172,928kWh	134,516t
小水力	331,741kWh	331,741kWh	107t
バイオマス	-	23kWh	0.007t
その他(廃棄物)	-	24,169,116kWh	7,830t
【熱利用】			
太陽熱	1,261,646,772GJ	334,034GJ	22,881t
温度差熱利用	419,500GJ	-	-
バイオマス	-	100,598GJ	6,894t
その他(廃棄物)	-	719,750GJ	49,303t

(2) つくば市エコポイント制度化実証調査

クリーンエネルギーの利用促進及び市民等のエコアクション促進を目的に、市独自のエコポイント事業として「つくば環境スタイル・トライアル」を実施し、その効果等を検証調査した。エコアクションの促進への市民の関心を喚起することができた。

トライアル参加者総数:6,773人

ポイント交換者総数:818人

二酸化炭素削減量に関する実証調査(エコ通勤・エコドライブ・エコ宣言): 1063.07kg  
( 20.84kg / 人)

(3) つくば市DCモデルグリッド実証調査

筑波大学と共同で、太陽光発電・純水素燃料電池等の分散型電源を活用した直流(DC)エネルギーネットワーク「未来型エネルギーシステム」を構築して実証調査を行った。市民の憩いの場である中央公園に設置して「見える化」を図った。また、実証実験により発生したクリーンエネルギーは、市民に対して、セグウェイや電動アシスト自転車の試乗、足湯の利用ができるようにして、体験の機会を提供した。

(調査結果の概要)

燃料電池発電効率 50.56% (Av)

燃料電池熱回収効率 13.23% (Av)

二酸化炭素削減量 削減量:27.8kg-CO2(Total) 削減率:14.6% (Av)

社会受容性

市民にアンケートを行い、その回答者の約9割が、未来型エネルギーシステムに高い関心

を示した。太陽光、蓄電池、電動アシスト自転車に対しても高い導入意向が表れた。

(4) クリーンエネルギーを活用した地方と都市部の連携手法調査

北海道下川町、奈良県、堺市、京都市との共同で行った。海外事例や国の制度を参考に、地域特性を踏まえたクリーンエネルギービジネスモデルや導入推進施策の調査を実施した。適用の参考となる先行事例を整理することができた。

(5) クリーンエネルギービジネスモデルの導入施策関連調査

研究機関からの排出量削減方法の一つとして、新たなカーボンオフセット制度の検討のための調査を行った。産業技術総合研究所を例に太陽光発電の研究開発の成果をもとにした二酸化炭素削減量を試算(定量化)した。今後の定量化のための基本的な課題が整理できた。

(総務部 情報システム課)  
企画部 情報政策課

事業名：電子情報システムの管理に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	09	11	本年	102,283				102,283	100,063	97.8	
				前年	50,316				50,316	48,887	97.2	
				比較	51,967				51,967	51,176		

【事業の目的】

電子市役所の実現に向け、本庁舎及び出先機関における情報化を進めるとともに、本庁舎に新たに構築されたOA環境を活用し事務の効率化を図るため

【事業の概要】

イントラネット(端末の導入台数は、現在約1,300台)の導入により、現在約200ヶ所の拠点をネットワークで結び、約30のシステム(掲示板、スケジュール、行事予定表、予約、個人・課メール、職員名簿、電子書庫、文書管理システム、電子決裁、休暇等請求・時間外申請、出退勤入退庁管理等)の円滑な運営・管理

【事業の成果及び効果】

庁内グループウェアを活用し、情報の共有化、意思決定の迅速化を図り、一体的行政運営の実現を推進するとともに、本庁舎においてセキュリティを重視した新しいシステムを導入した。

- (1) 本庁舎で利用する情報系端末にシンクライアント端末を導入しセキュリティの向上をはかった。
- (2) 庁内グループウェアを利用した出退勤管理システムを導入した。また、あらかじめ登録をする事で、職員以外の入退庁を管理出来る外部入庁者管理システムを導入した。
- (3) 複合機を導入し、コピー、プリンタ、FAX、スキャナを一括管理し、省スペース等効率化に寄与した。また、複合機の利用時にICカードでのログイン認証を行うことにより、印刷物の取り違い防止等、セキュリティが向上した。

(総務部 情報システム課)  
企画部 情報政策課

事業名：基幹電算業務の運営に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	10	11	本年	402,417			255	402,672	391,640	97.3	
				前年	335,873		17,521		353,394	345,600	97.8	
				比較	66,544		17,521	255	49,278	46,040		

【事業の目的】

汎用コンピュータを中心に各課オンライン業務及び各課電算業務に関する管理・運営を行うため

【事業の概要】

- (1) オンライン業務約20件(住民記録、外国人登録、各種税・収納関係等)のシステム管理、機器管理
- (2) ホストコンピュータ方式からサーバー方式への移行を行えるようシステムの改修作業の実施

【事業の成果及び効果】

- (1) 新庁舎及び、バックアップ施設として整備したNictビルでオンラインシステム及びバッチシステムの運用を行った。
- (2) ホスト連携サーバーの仮想化を行い、セキュリティの向上とレスポンスの向上を行った。サーバ仮想化により、物理サーバを減らすことが出来、サーバ資源の有効利用が可能になった。

事業名： オンブズマン事務に要する経費

オンブズマン事務局

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	01	11	11	本年	4,057				4,057	3,812	94.0	
				前年	5,130				5,130	4,894	95.4	
				比較	1,073				1,073	1,082		

【事業の目的】

市民の市政に関する苦情を公平公正な立場で迅速に処理し、市民の権利利益の保護を図ることにより、開かれた市政の一層の推進と、市政に対する市民の信頼性を高めるため

【事業の概要】

(1) オンブズマン2名による相談日に苦情等対応

(相談日: 毎月第1～第4木曜日の午後1時から午後5時まで)

- ・オンブズマンが、苦情申立人に代わって苦情の内容を調査し、必要な場合は市の機関に対して、サービスの内容を是正するよう意見をいったり、注意を喚起したりする。
- ・調査結果や是正措置等の報告を、苦情申立人に通知する。

(2) 平成21年度における活動状況を市長及び議会に報告する。

活動報告書を作成し、市長、議長へ報告後、広報つくば及びつくば市ホームページに掲載、また、各窓口センターや各公民館等に設置し、一般に公表する。

【事業の成果及び効果】

(1) 苦情申立、相談の受付、処理状況

- 受付件数 29件
- ・苦情申立によるもの 3件
  - ・苦情申立によらないオンブズマン相談 7件
  - ・事務局への相談 19件

所管別件数(1件で複数課にまたがる場合もあった。)

保健福祉部	教育委員会	都市建設部	市長公室	
8件	5件	2件	2件	
環境生活部	総務部	財務部	茨城県	その他
1件	1件	1件	8件	3件

主な内容

- ・運動公園の照明に関すること
- ・ごみ集積場に関すること
- ・後援名義に関すること
- ・土壌汚染について
- ・職員の対応に関すること
- ・税の還付に関すること など

処理結果

- ・調査結果通知件数 1件
- ・改善に向けての意見 1件
- ・次年度へ繰り越したものの 2件

(2) 報告・公表

市長への報告 4月15日

議会への報告 4月15日(議長へ報告し、報告書を6月定例会時に各議員に配布)

公 表 市長、議長へ報告後、広報つくば・ホームページに掲載

情報公開室・中央図書館・各窓口センター・各公民館等にて閲覧用として配布

(3) 苦情申立により改善されたもの

市民がより活用しやすいサービスの提供や安心・安全・快適に暮らせる街づくりなどが改善された。また、各事業担当部署が業務を遂行する上で、市民との対応について十分配慮するようになり、法令遵守の徹底などが図られてきた。

事業名：自衛官募集事務に要する経費

市民部 市民課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
02	01	12	11	本年	166				166	155	93.4	
				前年	166				166	149	89.8	
				比較						6		
【事業の目的】 自衛隊法及び地方自治法の規定に基づき自衛官の募集に関する広報活動を推進することにより、自衛隊並びに自衛官に関する市民の理解を深め、入隊希望者増による優秀な入隊者の安定した確保を図るため												
【事業の概要】 自衛官の募集に関する広報活動の推進及び自衛官募集相談員活動の支援												
【事業の成果及び効果】 平成22年度つくば市自衛官募集状況 受験者数 134名 合格者 28名 入隊者数 22名 去年に比べ入隊者数 11名増												

事業名：固定資産評価審査委員会に要する経費

財務部 納税課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
02	02	01	11	本年	852				852	84	9.9	
				前年	889				889	807	90.8	
				比較	37				37	723		
【事業の目的】 固定資産課税台帳に登録された、価格に対する審査申出を審査・決定する行政委員会を運営するため												
【事業の概要】 (1) 固定資産評価審査委員会総会の開催 (2) 審査・決定する合議体の開催												
【事業の成果及び効果】 (1) 固定資産評価審査委員会総会 1回開催 (2) 審査申出がなかったため、合議体の開催なし												

事業名：資産税事務に要する経費

財務部 資産税課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
02	02	01	12	本年	1,715				1,715	1,466	85.5	
				前年	1,715				1,715	1,312	76.5	
				比較						154		
【事業の目的】 固定資産税事務の円滑な運営を図るため												
【事業の概要】 県市町村課、県税事務所、県地方税務協会等の県内組織及び(財)資産評価システム研究センター等の全国組織等への連絡及び調整並びに研修会への参加												
【事業の成果及び効果】 茨城県都市税務協議会等の総会・役員会及び各研修会等への出席												

区 分	出席延べ人数
茨城県都市税務協議会	3 人
茨城県税務行政連絡協議会	1 人
土浦地区税務協議会	2 人
土浦県税事務所	1 人
茨城県市町村課(新任事務職員研修会)	3 人
(財)資産評価システム研究センター(研修会等)	7 人
(社)日本経営協会 他(新任研修・土地家屋評価研修等)	14 人

**事業名：市民税事務に要する経費**

財務部 市民税課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
02	02	01	13	本年	11,645				11,645	9,685	83.2	
				前年	10,230				10,230	9,482	92.7	
				比較	1,415				1,415	203		

【事業の目的】

関係機関との連絡調整を円滑に進めるとともに、税務事務の一層の充実を図るため。また、申告相談受付のスムーズな進行を図るため

【事業の概要】

- (1) 各協議会等の役員会(幹事会), 総会, 研修会等への出席
- (2) 申告相談受付事務の臨時職員16人の雇用  
臨時職員の事務内容
  - ・給与支払報告書受付,
  - ・給与支払報告書点検, 取りまとめ
  - ・申告相談受付事務
  - ・申告書等の綴込み作業
- (3) 申告相談に向けた研修会の参加

【事業の成果及び効果】

- (1) 各協議会等の役員会(幹事会), 総会, 研修会等への出席

協議会区分	参加延べ人数
茨城県地方税務協会土浦支部	1 人
土浦地区税務協議会	52 人
茨城県都市税務協会	3 人
土浦税務署管内租税教育推進協議会	6 人
土浦税務署・茨城県土浦県税事務所	2 人

- (2) 申告相談受付事務の臨時職員 16人の雇用
- (3) 租税教育推進協議会の事業による租税教育講師派遣

期 日	実施学校	学 年	派遣人数(延べ)
11月30日	沼崎小学校	6年生	7人(補助員・打合せ含む)
12月15日	栗原小学校	6年生	7人(補助員・打合せ含む)

事業名：収税事務に要する経費

財務部 納税課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	02	01	14	本年	1,513				1,513	1146	75.7	
				前年	1,410				1,410	726	51.5	
				比較	103				103	420		

【事業の目的】

収税事務の円滑な運営を図るため、税務関係機関との連携や調整を図るとともに、収税事務に必要な研修及び図書等を確保するため

【事業の概要】

国・県等の税務関係機関や各種税務協議会への連絡、調整と各種研修会への参加

【事業の成果及び効果】

土浦地区税務協議会や土浦税務署管内納税貯蓄組合連合会の総会及び各研修会等への出席

区	分	内	容	出席延べ人数
土浦地区税務協議会		役員会	2回	10人
土浦税務署管内納税貯蓄組合連合会等		総会・表彰式・講演会		2人
茨城租税債権管理機構		徴収実務一般研修他		7人
土浦県税事務所		徴収保全対策会議他		6人

事業名：資産税賦課に要する経費

財務部 資産税課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	02	02	11	本年	154,590	9,870			164,460	144,773	88.0	
				前年	121,061		7,443		113,618	91,177	80.2	9,870
				比較	33,529	9,870	7,443		50,842	53,596		9,870

【事業の目的】

固定資産税・都市計画税の適正かつ公平な課税、財源の安定確保に努めるため

【事業の概要】

平成22年度の主な事業

- (1) 固定資産評価システム事業
- (2) 不動産鑑定評価事務
- (3) 償却資産申告指導の強化及び実地調査
- (4) 都市計画税の課税

【事業の成果及び効果】

- (1) 固定資産評価システム事業

谷田部地区の家屋登記簿照合業務、家屋図の整備等の市全域に関する評価資料の見直し・収集並びに情報内容の水準の均質化を図った。

- (2) 不動産鑑定評価事務

平成24年評価替のための標準宅地の鑑定を818地点実施

平成23年の適正な価格を評価額に反映させるため、市内に設定してある約800地点の標準宅地の価格から下落率を求め評価額の時点の修正に活用する。

平成24年度の評価替えに向けて、前評価替えからの情勢の変化を踏まえ、現状の変化等の調査や資料収集を行い評価方法の検討、状況類似地区等の見直しを行うことができた。また、近年の地価下落の動向を反映した的確な土地価格の算定を含めた評価事務を行うことができた。

- (3) 償却資産について、申告指導や実態調査を実施することで、申告内容の正確性がより向上した。
- (4) 都市計画税において、新たに賦課区域となった地区の対象物件を精査し課税を行った。

固定資産税及び都市計画税の課税客体の状況

- ・土地 約392,200筆,うち都市計画税課税対象 約68,700筆
- ・家屋 約101,180棟(うち新增築約1,350棟),うち都市計画税課税対象 約76,400棟
- ・償却資産申告件数 約6,000件

事業名：市民税賦課に要する経費

財務部 市民税課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	02	02	12	本年	37,477		1,720		39,197	33,570	85.6	
				前年	34,355				34,355	32,543	94.7	
				比較	3,122		1,720		4,842	1,027		

【事業の目的】

市財源の安定的確保のため、適正かつ公平な賦課事務に努めるため

【事業の概要】

- (1) 収集した課税資料に基づく適正な賦課  
各事業所より提出された給与支払報告書及び公的年金支払報告書の内容確認  
確定申告書電子データの処理(平成23年度より国税連携システムによるデータ授受)  
申告相談  
未申告受付  
被扶養者の確認事務
- (2) 年金特別徴収制度対象者への適正な賦課
- (3) 特別徴収実施の勧奨(市内事業所)
- (4) 軽自動車等課税客体の適正な把握
- (5) 登録法人の申告受付、内容審査及び指導並びに現地実態調査

【事業の成果及び効果】

- (1) 収集した課税資料に基づく適正な賦課  
給与支払報告書の内容確認 211,261件 (eL T A Xでのデータ受信 3,629件)  
確定申告書電子データ処理件数 36,178件  
期間前申告相談(2月1日～15日)  
3会場(本庁・市民ホールつくばね・荳崎保健センター)1,782件  
申告相談(2月16日～3月15日)1会場 18,267件  
確定申告自主作成(PC)コーナー(2月16日～3月11日) 臨時職員7人の雇用 1,285件  
未申告受付(9月8日～10日)322件  
被扶養者の確認事務 752件(税額異動のあった者)
- (2) 年金特別徴収制度対象者への適正な賦課  
公的年金から住民税の特別徴収対象者 29,903人 徴収者数 7,250人  
特別徴収中止による普通徴収への切替件数 301件  
年金過払い等に伴う年金特徴過誤納付金の還付処理件数 148件
- (3) 特別徴収実施の勧奨(市内事業所)  
勧奨チラシを市内98事業所に送付,うち41事業所を訪問。6事業所が特別徴収実施申出
- (4) 軽自動車等の登録台数58,894台のうち新規,廃車及び名義変更等 約21,105台
- (5) 法人市民税申告書の送付及び受付 8,522件 (eL T A Xでのデータ受信 318件)



事業名：訴訟に要する経費

財務部 資産税課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	02	02	13	本年	2,376				2,376	1,265	53.2	
				前年			1,261		1,261	996	79.0	
				比較	2,376		1,261		1,115	269		

【事業の目的】

平成21年12月都市計画税賦課処分の取消を求めることについて、勝訴するため

【事業の概要】

都市計画税賦課処分の取消を求めることについて、平成21年12月水戸地方裁判所に提訴され、平成22年12月9日に原告の請求を棄却する旨の判決の言い渡しがあったが、これを不服として控訴がなされ引き続き係争中である。

【事業の成果及び効果】

訴訟行為を弁護士に委託することにより円滑に進められる。

事業名：徴収に要する経費

財務部 納税課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	02	03	11	本年	201,027				201,027	184,307	91.7	
				前年	204,438		274,215		478,653	424,478	88.7	
				比較	3,411		274,215		277,626	240,171		

【事業の目的】

市歳入の根幹をなす市税の納付の利便性を図るとともに、市税滞納者の徴収を実施することにより、税の公平の原則を維持し、納税者の税に対する信頼を確保するため

【事業の概要】

収納率の向上を図るための具体的な対策を定め、市税の確保にあたる。

- (1) 大口滞納者の対策を重点に考えて滞納整理にあたり、財産等の差押えや抵当権設定により租税債権を確保する。さらに、現年課税分の新規大口滞納事案には早期に着手し、高額事案の圧縮を図る。
- (2) 新規滞納者の発生を防ぐため、現年分滞納者に催告書の送付や特別滞納整理(財務部税四課職員による滞納整理)を実施する。
- (3) 口座振替制度への加入を促進する。
- (4) 市税の還付金歳出業務を円滑に実施する。

【事業の成果及び効果】

納税義務の適正な実現を通じ、市歳入の根幹を担う市税の確保に努めた。

(1) 滞納処分

差押

	件数	滞納額	備考
差押	228件	270,026千円	特別収納対策課扱い分 114件
参加差押	13件	23,287千円	特別収納対策課扱い分 8件
合計	241件	293,313千円	

抵当権設定

	件数	滞納額	備考
抵当権設定	43件	100,174千円	特別収納対策課扱い分 36件

## (2) 市税滞納整理状況

項 目	回数	延べ件数	徴収税額
催告書(現年課税分・滞納繰越分)	7	33,446件	344,684千円
四税課滞納整理(訪問)	1	1,530件	3,292千円
合 計	8	34,976件	347,977千円

(3) 口座振替加入 40,799人 23.70%

(4) 市税還付金歳出予算執行額 1,753件 143,076千円  
(前年 379,580千円)(財務部 特別収納対策課)  
財務部 納税課

## 事業名：特別収納対策事業に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額	
02	02	03	12	本年	2,112				2,112	37	1.8		
				前年									
				比較	2,112				2,112	37			

## 【事業の目的】

景気低迷の長期化並びに諸制度の改正などにより滞納額が増加する中で、市税と国民健康保険税の徴収困難事案を一元管理し、公売などの換価手法を駆使して累積滞納額を削減するため

## 【事業の概要】

当該事業は、平成20年4月に発足した特別収納対策課の必要経費を納税課予算(02020311徴収に要する経費)の中で確保していたものを22年度(発足3年目)から別建てとした。

(1) 悪質事案に対しては、不動産公売・インターネット公売により租税債権の換価を実施する。

(2) 22年度においては、公売の円滑な執行のため差押不動産(大区画宅地等)の分筆を行う。

## 【事業の成果及び効果】

22年度においては当初に想定したような事案(公売に適した物件)が無かったため、不動産公売・インターネット公売は実施せず。

## 事業名：戸籍住民基本台帳事務に要する経費

市民部 市民課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
02	03	01	11	本年	56,982	8,348	1,022		64,308	64,103	99.7	
				前年	53,540		16,210		69,750	59,668	85.5	8,348
				比較	3,442		17,232		5,442	4,435		8,348

## 【事業の目的】

適正な戸籍住民基本台帳事務を遂行するため

## 【事業の概要】

住民記録、印鑑登録、身分を公証する戸籍事務等市民生活の基本的な事務の執行

## 【事業の成果及び効果】

平成22年度末のつくば市の常住人口は、214,541名となり2,133名の増となった。

住民異動届出件数は23,820件、戸籍届出受理件数は7,032件となっている。住民票の写し・戸籍謄抄本・印鑑登録証明書の交付件数は、281,901件である。

事業名：住居表示に要する経費

市民部 市民課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
02	03	01	12	本年	77				77	76	98.7	
				前年	77				77	37	48.1	
				比較						39		
<p>【事業の目的】 適正な住居表示事務を遂行するため</p> <p>-----</p> <p>【事業の概要】 字の区域及び名称の変更事務 地区案内看板の管理修繕</p> <p>-----</p> <p>【事業の成果及び効果】 街区案内看板修繕(清掃を含む) 9箇所</p>												

事業名：旅券事務に要する経費

市民部 市民課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額				
02	03	01	13	本年	8,880				8,880	8,666	97.6					
				前年	9,013		126		8,887	8,519	95.9					
				比較	133		126		7	147						
<p>【事業の目的】 適正な旅券事務を遂行するため</p> <p>-----</p> <p>【事業の概要】 県からの旅券事務の権限移譲を受け、旅券の申請受付及び交付事務を行う。 (平成20年6月から業務開始)</p> <p>-----</p> <p>【事業の成果及び効果】 事業の主体はつくば市であるが、経費については事務処理特例交付金(申請件数に応じた割合と、定額分)が県から交付になる。 交付実績</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>平成22年度</td> <td>平成21年度</td> </tr> <tr> <td>10,032件</td> <td>9,791件</td> </tr> </table>													平成22年度	平成21年度	10,032件	9,791件
平成22年度	平成21年度															
10,032件	9,791件															

事業名：委員会運営に要する経費

選挙管理委員会事務局

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
02	04	01	11	本年	1,195				1,195	982	82.2	
				前年	2,153				2,153	1,886	87.6	
				比較	958				958	904		
<p>【事業の目的】 地方公共団体が処理する選挙に関する事務及びこれに関係のある事務を行うため</p> <p>-----</p> <p>【事業の概要】 (1) 定例の委員会の開催(3月, 6月, 9月, 12月における選挙人名簿登録抹消等) (2) 臨時の委員会の開催(6回) (3) 選挙時の委員会の開催(2回)(参議院議員通常選挙, 茨城県議会議員一般選挙時)</p> <p>-----</p> <p>【事業の成果及び効果】 選挙人名簿及び在外選挙人名簿への登録抹消の適正なる処理が図られた。</p>												

事業名：選挙啓発に要する経費

選挙管理委員会事務局

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	04	02	11	本年	773				773	773	100.0	
				前年	888				888	569	64.1	
				比較	115				115	204		

【事業の目的】

啓発活動を通し、選挙のことを正しく理解し大切な一票を有効に生かしていただくことで、明るい選挙の推進を図るため

【事業の概要】

- (1) 選挙啓発紙「白ばら」の発行
- (2) 市内小中学校生に選挙啓発ポスターの募集
- (3) 選挙時啓発(明るい選挙推進協議会・茨城県選挙管理委員会と一緒)の推進

【事業の成果及び効果】

- (1) 選挙啓発紙「白ばら」のポスティングにより、期日前投票等の制度をより多くの市民に周知することができた。
- (2) 市内小中学校生に選挙啓発ポスターを募集し、代表作品を茨城県選挙管理委員会へ進達した。  
応募者数 小学校:9校 28点, 中学校:5校 19点  
小中校生への「選挙啓発ポスター募集」は、ポスターを作成することで将来選挙権を得て投票する際、「一票の大切さ」を考えるキッカケを持つ機会になった。

事業名：参議院議員通常選挙に要する経費

選挙管理委員会事務局

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	04	03	11	本年	34,800		5,558		29,242	29,229	100.0	
				前年								
				比較	34,800		5,558		29,242	29,229		

【事業の目的】

参議院議員任期満了に伴い、中央選挙管理委員会及び茨城県選挙管理委員会の委託を受け、選挙事務を執行するため

【事業の概要】

選挙にかかるポスター掲示場(公営)設営及び選挙公報の配布並びに投開票事務

【事業の成果及び効果】

平成22年7月11日執行

(1) 投票状況

参議院議員通常選挙(茨城県選挙区:定数2人) 立候補者数7人

区分	有権者数(人)	投票者数(人)	投票率(%)	前回の投票率(%)
男	82,469	45,133	54.73	53.34
女	79,293	41,331	52.12	51.02
計	161,762	86,464	53.45	52.21

参議院議員通常選挙(茨城県比例代表選挙)

区分	有権者数(人)	投票者数(人)	投票率(%)	前回の投票率(%)
男	82,469	45,131	54.72	53.34
女	79,293	41,330	52.12	51.01
計	161,762	86,461	53.45	52.20

- (2) ポスター掲示箇所 460箇所(74投票区), 選挙公報配布部数 69,000部(新聞折込)

(3) 開票状況 開票開始時刻 午後9時00分  
 開票終了時刻 午前1時30分(前回 午前2時20分)  
 成果:ポスター掲示場設置及び選挙公報の配布により投票率の向上が図れた。  
 開票に従事する職員の見直し等により開票事務時間の短縮が図れた。

**事業名：茨城県議会議員一般選挙に要する経費**

選挙管理委員会事務局

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額	
02	04	04	11	本年	27,800		5,832		21,968	21,951	99.9		
				前年									
				比較	27,800		5,832		21,968	21,951			

【事業の目的】

茨城県議会議員任期満了に伴い、茨城県選挙管理委員会の委託を受け選挙事務を執行するため

【事業の概要】

選挙にかかるポスター掲示場(公営)設置及び選挙公報の配布並びに投票事務

【事業の成果及び効果】

平成22年12月12日執行

(1) 投票状況

茨城県議会議員一般選挙(定数4人) 立候補者数 6人

区分	有権者数(人)	投票者数(人)	投票率(%)	前回の投票率(%)
男	81,999	37,193	45.36	43.03
女	78,989	36,552	46.27	45.65
計	160,988	73,745	45.81	44.31

(2) ポスター掲示箇所 460箇所(74投票区), 選挙公報配布部数 85,000部(ポスティング)

(3) 開票状況 開票開始時刻 午後9時00分

開票終了時刻 午後10時14分(前回 午後10時47分)

成果:ポスター掲示場設置及び選挙公報の配布により投票率の向上が図れた。

開票に従事する職員の見直し等により開票事務時間の短縮が図れた。

**事業名：真瀬土地改良区総代総選挙に要する経費**

選挙管理委員会事務局

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	04	05	11	本年	69				69	41	59.4	
				前年								
				比較	69				69	41		

【事業の目的】

真瀬土地改良区総代任期満了に伴い、選挙事務を執行するため

【事業の概要】

立候補予定者の立候補届出受付事務及び選挙会等

【事業の成果及び効果】

平成22年9月28日執行

選挙すべき人員 34人 立候補者数 34人

真瀬土地改良区総代総選挙は、立候補者が選挙すべき人員を超えなかったため投票は行われなかった。

事業名：南筑波土地改良区総代総選挙に要する経費

選挙管理委員会事務局

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額	
02	04	06	11	本年	243				243	200	82.3		
				前年									
				比較	243				243	200			

【事業の目的】

南筑波土地改良区総代任期満了に伴い、選挙事務を執行するため

【事業の概要】

立候補予定者の立候補届出受付事務及び選挙会等

【事業の成果及び効果】

平成23年3月7日執行

選挙すべき人員 57人 立候補者数 57人

選挙区	定数	選挙区域	選挙区	定数	選挙区域
第1選挙区	19人	大穂地区	第4選挙区	5人	谷田部地区
第2選挙区	25人	豊里地区	第5選挙区	1人	下妻市柳原地区
第3選挙区	7人	筑波地区			

南筑波土地改良区総代総選挙は、立候補者が選挙すべき人員を超えなかったため投票は行わなかった。

事業名：統計調査員に要する経費

(市長公室 企画経営課)  
企画部 行政経営課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
02	05	01	11	本年	3,498				3,498	2,331	66.6	
				前年	2,820			70	2,750	2,279	82.9	
				比較	678			70	748	52		

【事業の目的】

統計調査員に対し、統計調査の啓発の普及に寄与させるとともに、各種統計調査及び行政施策に必要な統計資料の作成に協力を得るため、統計調査員の資質の向上を図るため

【事業の概要】

- (1) つくば市統計調査員連絡協議会研修会等の開催
- (2) 統計つくば等の編集

【事業の成果及び効果】

- (1) 研修会等を通じ統計調査員の資質の向上を図るとともに、各種統計調査の正確性、迅速性の確保に努めた。

つくば市統計調査員連絡協議会総会の開催

つくば市統計調査員連絡協議会研修会の開催(参加者190名)

- (2) 関係機関から各種資料を収集し、統計つくば等を編集し、適切な統計資料の提供に努めた。

事業名：工業統計調査に要する経費

(市長公室 企画経営課)  
企画部 行政経営課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	05	02	11	本年	544				544	508	93.4	
				前年	530				530	512	96.6	
				比較	14				14	4		

【事業の目的】

製造業を営む事業所の実態を把握し、生産活動に関する基礎資料を得るため

【事業の概要】

調査員12名を配置し市内の製造業に属するすべての事業所に対して、製造品出荷額、原材料使用額等について調査を実施

【事業の成果及び効果】

対象事業所319事業所について調査票等を審査、取りまとめ、県へ提出した。

事業名：茨城県消費者物価調査に要する経費

(市長公室 企画経営課)  
企画部 行政経営課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	05	02	12	本年	2,395				2,395	2,343	97.8	
				前年	2,878				2,878	2,544	88.4	
				比較	483				483	201		

【事業の目的】

商品の小売価格、サービス料金及び家賃を調査し、物価水準の動向を明らかにし、各種行政施策の基礎資料を得るため

【事業の概要】

市内の物品小売業者、サービス業者及び借家世帯を対象に、毎月、調査員(4名)による聞き取り調査を実施

【事業の成果及び効果】

237品目(4月,9月は242品目)について、毎月調査票等を審査、取りまとめ、県へ提出した。

事業名：平成22年国勢調査に要する経費

(市長公室 企画経営課)  
企画部 行政経営課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額	
02	05	02	13	本年	97,105		13,634		83,471	82,190	98.5		
				前年									
				比較	97,105		13,634		83,471	82,190			

【事業の目的】

5年ごとに行われる国の最も基本的な調査で、外国人を含めた我が国に居住するすべての人を対象とし、人口や世帯の実態を明らかにするため

【事業の概要】

調査員1,100人、指導員156人を要し、市内を1,576の調査区に分け、そこに居住する世帯に調査票を配布及び回収し審査する。

【事業の成果及び効果】

88,337世帯(人口214,660人:2/25速報)から調査票を回収し、取りまとめ、審査後に県へ提出した。

事業名：2010年農林業センサス審査に要する経費

(市長公室 企画経営課)  
企画部 行政経営課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	05	02	14	本年	46				46			
				前年								
				比較	46				46			

【事業の目的】

平成22年2月1日に実施した2010年農林業センサス調査票の審査・整理をするため

【事業の概要】

調査票の補完、未提出票の回収のため非協力者に対して協力依頼をする。

【事業の成果及び効果】

県に提出した調査票に対する疑義・問い合わせがなかったため、予算を支出しなかった。

事業名：監査委員に要する経費

監査委員事務局

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	06	01	11	本年	4,149			31	4,118	4,012	97.4	
				前年	4,027				4,027	3,946	98.0	
				比較	122			31	91	66		

【事業の目的】

監査委員が、財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理について監査等を実施するため

【事業の概要】

年間監査計画に基づく例月出納検査、定期監査、工事監査、決算審査・財政健全化に関する審査及び財政援助団体等監査の実施

【事業の成果及び効果】

年間監査計画に基づく監査等を実施することにより、効率的な行政運営の確保に寄与した。

- (1) 例月出納検査(12日)
- (2) 定期監査(9日)
- (3) 工事監査(1日)
- (4) 決算審査・財政健全化に関する審査(6日)
- (5) 財政援助団体等審査(2日)
- (6) 住民監査請求(1件) 結果は却下

事業名：監査事務運営に要する経費

監査委員事務局

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
02	06	01	12	本年	1,246			31	1,277	1,142	89.4	
				前年	1,287				1,287	1,081	84.0	
				比較	41			31	10	61		

【事業の目的】

監査委員が監査等を円滑に実施するため

【事業の概要】

年間監査計画に基づく例月出納検査、定期監査、工事監査、決算審査、財政健全化に関する審査及び財政援助団体等監査を円滑に実施するための事務局経費(印刷製本代、委託料、加除式法規集の追録代ほか)と、各種協議会負担金

【事業の成果及び効果】

年間監査計画に基づき、効率的かつ効果的な監査等が実施できた。

また、各種協議会の研修会及び、(社)日本経営協会の講習会に参加し、事務局職員の資質の向上を



図った。

- (1) 印刷製本代 決算審査意見書印刷製本（一般・特別会計，公営企業会計）(206千円)
- (2) 委託料 工事監査委託料(土木工事1件)(118千円)
- (3) 各種負担金
  - 全国都市監査委員会負担金他（164千円）
  - 講習会受講料（61千円）
- (4) 加除式法規集の追録代他（593千円）

事業名：社会福祉推進に要する経費

保健福祉部 社会福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	01	11	本年	196,996		11,563		208,559	200,507	96.1	
				前年	184,181		8,602	386	193,169	178,174	92.2	
				比較	12,815		2,961	386	15,390	22,333		

【事業の目的】

つくば市地域福祉計画に基づき、地域福祉の充実を図り、法令等に基づく援護が受けられない生活困窮者の福祉の増進を図るため。また、中国残留邦人等の老後の生活の安定を図り、地域での生き生きとした生活の実現を図ることや、住宅喪失者等の生活の安定を図るため

【事業の概要】

- (1) つくば市地域福祉計画に基づく事業(以下の事業を社会福祉協議会に委託)  
 地域ケアシステム推進事業  
 地域福祉推進事業(ボランティア育成・支援研修事業, 住民参加型福祉サービス拡大事業, 福祉相談事業)  
 財政基盤の安定を図るため、地域福祉推進の中核を担うつくば市社会福祉協議会及び自殺防止を目的とする茨城いのちの電話への補助金交付
- (2) 援護を求めてきた者に対し、医療費の援助や旅費等の支給
- (3) 中国残留邦人等支援法(「中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律の一部を改正する法律」平成19年法律第127号)に基づく生活相談, 生活支援等
- (4) 住宅手当緊急特別措置事業 平成21年10月から実施  
 支給限度額 単身世帯35,400円, 複数世帯46,000円, 支給期間限度 6ヶ月間(延長3か月間)

【事業の成果及び効果】

- (1) つくば市地域福祉計画に基づく事業  
 地域ケアシステム推進事業を実施することにより、誰もが安心して暮らせる福祉コミュニティづくりの推進を図った。

在宅ケアチーム 67チーム, 専門ケア会議 4回開催

地域福祉推進事業(ボランティア育成・支援研修事業, 住民参加型福祉サービス拡大事業, 福祉相談事業)を実施することにより、小地域単位での支え合いシステムの構築支援, ボランティア活動の支援, 市民の自発的参加・協力による在宅支援を行い、地域福祉の増進を図ることができた。

・ボランティア育成・支援研修事業

ボランティア団体登録数 128団体, ボランティア人数 5,823人

・住民参加型福祉サービス拡大事業(さわやかサービス事業)

協力会員数 22人, 利用会員数 40人

利用回数 790回, 利用時間数 1,303時間

・福祉相談事業

財産・相続相談(司法書士) 12回 48件

福祉法律相談(弁護士) 36回 158件

子育て・子どもの悩みごと相談(学識経験者) 26回 43件

社会福祉団体への助成による地域福祉の増進

社会福祉団体補助金 (単位:円)

	平成22年度	平成21年度	平成20年度
社会福祉協議会	154,857,094	158,401,252	163,165,663
茨城いのちの電話	100,000	100,000	100,000

- (2) 法外援護費を支給し、生活困窮者等の人道的支援

法外援護費支給実績

年度	医療費		交通費		弁当代	
	件数	支給金額	件数	至急金額	件数	支給金額
平成22年度	-	-	6件	39,120円	-	-
平成21年度	-	-	4件	6,790円	-	-

- (3) 本市に在住する中国残留邦人2名に対して生活支援給付金等を支給し、生活相談を行うことにより、安定した生活基盤の構築に努めた。
- (4) 住宅手当緊急特別措置事業を実施し、住宅喪失者等の住宅確保に努め、常用就職に向けた就労相談を実施した。

支給対象者 43名 支給総額 8,848,400円

**事業名：民生委員推薦会に要する経費**

保健福祉部 社会福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	01	12	本年	301				301	191	63.5	
				前年	301				301	91	30.2	
				比較						100		

【事業の目的】

民生委員法第5条第2項の規定に基づき、多様化する福祉ニーズや急速に進む高齢化社会、児童問題等に対応できる民生委員児童委員民生委員児童委員候補者の推薦を行うため

【事業の概要】

つくば市民生委員推薦会委員は、民生委員法第8条第2項に基づき、市議会議員、民生委員、社会福祉事業の実施に関係のある者、社会福祉関係団体の代表者、教育に関係のある者、関係行政機関の職員並びに学識経験者から2名ずつ計14名で構成する。

3年に1度の一斉改選時の推薦及び任期途中で欠員補充時の推薦を行う。

【事業の成果及び効果】

民生委員推薦会を開催し、256名の推薦を行った。

**事業名：民生委員活動に要する経費**

保健福祉部 社会福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	01	13	本年	28,527				28,527	28,521	100.0	
				前年	28,530				28,530	28,526	100.0	
				比較	3				3	5		

【事業の目的】

民生委員児童委員の活動を援助し、資質の向上を図ることによって、多様化する福祉ニーズに的確に対応した相談、指導、援助等の民生委員活動が円滑に行えるようにするため

【事業の概要】

- (1) 地区民生委員児童委員協議会の活動を支援し、民生委員児童委員の資質向上を図り、多様化する福祉ニーズに的確に対応する。
- (2) 各地区の会長、副会長等で構成するつくば市民生委員児童委員連絡協議会を開催し、各地区協議会の情報交換を行い連携を緊密にし、各地区協議会活動及び主任児童委員活動の向上を図る。

【事業の成果及び効果】

- (1) 各地区協議会とも事業計画に基づき、月1回の定例会、事項別研修等を実施し、民生委員児童委員活動が円滑に行われた。
- (2) つくば市民生委員児童委員連絡協議会においても、事業計画に基づき、理事会、全体研修会等を開催し、民生委員活動の向上を図った。

	平成22年度	平成21年度	平成20年度
民生委員・児童委員数	255人	255人	255人
民生委員児童委員連絡協議会市補助金	28,440,000円	28,440,000円	28,440,000円

平成22年度一斉改選により、1名の増員。平成23年3月末現在1名欠員

事業名： 行旅死病人取扱いに要する経費

保健福祉部 社会福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額								
03	01	01	14	本年	1,892				1,892	242	12.8									
				前年	1,037		2,096		3,133	734	23.4									
				比較	855		2,096		1,241	492										
<p>【事業の目的】</p> <p>行旅病人及行旅死亡人取扱法の規定に基づき、行旅病人の救護及び行旅死亡人の埋火葬を行うため。また、墓地、埋葬等に関する法律第9条の規定に基づき、埋火葬を行う者がいない死亡者の埋火葬を行うため</p> <p>-----</p> <p>【事業の概要】</p> <p>行旅病人、行旅死亡人が発生した場合、行旅病人及行旅死亡人取扱法の規定に基づき、速やかに所要の手続きを行い、行旅病人の救護又は行旅死亡人の埋火葬を行う。</p> <p>また、死体の埋火葬を行うものがないとき、又は判明しないときは、墓地、埋葬等に関する法律第9条の規定に基づき、死体の埋火葬を行う。</p> <p>-----</p> <p>【事業の成果及び効果】</p> <p>行旅病人及行旅死亡人取扱法及び墓地、埋葬等に関する法律の規定に基づき、1件の火葬を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>平成22年度</th> <th>平成21年度</th> <th>平成20年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>火葬件数</td> <td>1 件</td> <td>3 件</td> <td>1 件</td> </tr> </tbody> </table>													年 度	平成22年度	平成21年度	平成20年度	火葬件数	1 件	3 件	1 件
年 度	平成22年度	平成21年度	平成20年度																	
火葬件数	1 件	3 件	1 件																	

事業名： 遺族等援護に要する経費

保健福祉部 社会福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
03	01	01	15	本年	3,383				3,383	2,864	84.7	
				前年	3,538				3,538	2,896	81.9	
				比較	155				155	32		
<p>【事業の目的】</p> <p>戦傷病者、戦没者遺族等に対する援護活動を通じて、戦没者等への追悼の意を表すとともに、恒久平和を祈念するため。また、国の給付金に係る請求受付事務、遺族連合会が行う戦没者慰霊事業への助成を通じて、戦没者遺族等の福祉の増進を図るため</p> <p>-----</p> <p>【事業の概要】</p> <p>(1) 戦傷病者戦没者遺族等援護法等に基づき、戦傷病者、戦没者遺族等の援護事務(戦没者遺族等に対する特別弔慰金や特別給付金の請求受付事務、戦傷病者特別援護法に基づく請求書等及び戦傷病者乗車券類引換証交付請求書の受付事務等)を行う。</p> <p>(2) 遺族連合会が行っている戦没者慰霊事業に対し、補助金を交付する。</p> <p>(3) 先の大戦において尊い犠牲となられた戦没者に対し、追悼の誠を捧げるとともに、遺族の労苦に対し深い敬意を表し、併せて恒久の平和を祈念し、戦没者追悼式を挙げる。</p> <p>-----</p> <p>【事業の成果及び効果】</p> <p>(1) 戦傷病者、戦没者遺族等の援護事務を適正に行い、戦傷病者、戦没者遺族等の福祉増進を図った。</p> <p>戦傷病者乗車券類引換証交付請求書の受付進達 9件 第九回特別給付金の受付進達 1件</p> <p>(2) 遺族連合会が行った戦没者慰霊事業に補助金を交付し、戦没遺族の福祉増進を図った。</p> <p>補助金額 916,040円</p> <p>(3) 平成22年度つくば市戦没者追悼式を10月15日に市民ホールやたべで挙行し、戦没者に対し、追悼の意を表すとともに、不戦の誓いを新たにすることができた。</p> <p>しかし、遺族会会員の高齢化が進み、年々参加者が減少している。</p>												

戦没者追悼式参加者実績 来賓関係者含む

	平成22年度	平成21年度	平成20年度	平成19年度
参加者数	616 人	641 人	649 人	717 人
前年度比較	96.1 %	98.8 %	90.5 %	96.4 %

事業名：国民健康保険事業特別会計に要する経費

保健福祉部 国保年金課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
03	01	01	16	本年	1,334,579		168,121		1,502,700	1,502,700	100.0	
				前年	1,134,115		122,974		1,257,089	1,257,089	100.0	
				比較	200,464		45,147		245,611	245,611		

【事業の目的】

一般会計から繰り出し、国民健康保険財政の基盤の安定を図るため

【事業の概要】

		平成22年度	平成21年度	前年度比較
国民健康保険特別会計繰出金		1,502,700 千円	1,257,089 千円	119.5 %
内 訳	保険基盤安定繰出分	736,084 千円	460,600 千円	159.8 %
	職員給与費繰出分	156,506 千円	141,863 千円	110.3 %
	出産一時金繰出分	76,000 千円	89,547 千円	84.9 %
	財政安定化繰出分	50,000 千円	50,000 千円	100.0 %
	その他繰出分	484,110 千円	515,078 千円	94.0 %

【事業の成果及び効果】

国保財政の安定化が図られた。

事業名：難病対策に要する経費

保健福祉部 社会福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
03	01	01	17	本年	22,176		2,310		24,486	23,802	97.2	
				前年	21,528				21,528	20,397	94.7	
				比較	648		2,310		2,958	3,405		

【事業の目的】

難病に罹患した者(一般特定疾患患者に限る)の生活を支援し、福祉の増進を図るため

【事業の概要】

つくば市難病患者福祉金支給要綱に基づき、茨城県が指定する56種類の一般特定疾患の承認を受けた者に対し、月額3,000円の福祉金を毎年9月及び3月にそれぞれ当月分までを支給する。

一般特定疾患数45種 56種(平成21年10月改訂)

【事業の成果及び効果】

支給実績

年 度	平成22年度	平成21年度	平成20年度	平成19年度	平成18年度
支給総額	23,802,000円	20,397,000円	19,119,000円	18,036,000円	15,858,000円
前年度比較	116.6 %	106.7 %	106.0 %	101.2 %	112.3 %

事業名：福祉施設管理に要する経費

保健福祉部 社会福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	01	18	本年	18				18			
				前年	22				22	22	100.0	
				比較	4				4	22		

【事業の目的】

保健福祉施設がスムーズに運営できるようにするため

【事業の概要】

主管課の予算令達により、保健福祉施設である保育所(23ヶ所)、児童館(18ヶ所)、老人福祉センター(2ヶ所)、障害者センター(4ヶ所)、保健センター(6ヶ所)、健康増進施設(1ヶ所)の維持管理及び修繕工事等を行う。

【事業の成果及び効果】

各施設の実態を良く把握し、施設の事業運営に支障が起こらないよう、早期解決に努め、効率の良い予算執行に努めた。

(令達予算執行状況)

(単位:千円)

事業名	執行額	うち修繕等
桜老人センター管理に要する経費	2,163	修繕料:2,162
谷田部老人センター管理に要する経費	2,501	修繕料:1,609 修繕工事:609
障害者センター桜管理に要する経費	3,709	修繕料:1,340 建設工事:49 修繕工事:1,490
障害者センター谷田部管理に要する経費	505	修繕料:150 修繕工事:356
障害者センター豊里管理に要する経費	1,408	修繕料:910
障害者センター筑波管理に要する経費	8,334	修繕料:1,127 解体工事:6,962
保育所管理に要する経費	48,197	修繕料:8,153 建築工事:4,900 修繕工事:19,519
放課後児童対策に要する経費	855	修繕料:63
児童館管理に要する経費	31,200	修繕料:3,635 修繕工事:20,286
いきいきプラザ管理に要する経費	1,152	修繕料:340
保健センター管理に要する経費	5,595	修繕料:2,128 修繕工事:1,182
合計	105,619	修繕料:21,617 建築工事:4,949 修繕工事:43,442 解体工事:6,962

事業名：福祉バスに要する経費

保健福祉部 社会福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	01	19	本年	4,747		814		3,933	3,428	87.2	
				前年	6,322		2,007		4,315	3,886	90.1	
				比較	1,575		1,193		382	458		

【事業の目的】

保健福祉部が実施する保健福祉事業に配車することにより、高齢者の生きがい対策事業や健康増進事業の充実を図るとともに、公共施設の有効利用を図るため

【事業の概要】

40人乗りバス2台を福祉バスとして保有し、福祉及び行政目的に使用するため、配車・管理を行う。  
 運転業務は、民間業者に委託する。 契約額 1日当たり13,650円  
 燃料代、車検代、修繕費等経費は、平成20年度より管財課管理

【事業の成果及び効果】

保健福祉部が実施する保健福祉事業に配車することにより、高齢者の生きがい対策事業や健康増進

事業に活用し、保健福祉の増進に寄与した。

平成22年度運行実績 延べ248日

委託実績

年 度	平成22年度	平成21年度
運行台数	2 台	2 台
委託(運行)総額	3,426,150 円	3,880,800 円

**事業名：在宅老人対策に要する経費**

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
03	01	02	11	本年	14,446		3,175	10	11,261	9,300	82.6	
				前年	16,919		5,691		11,228	7,947	70.8	
				比較	2,473		2,516	10	33	1,353		

【事業の目的】

在宅のひとり暮らしや高齢者世帯の要介護高齢者に対して生活支援サービスを提供することで、自立した生活を支援するため

【事業の概要】

生活支援サービス

(1) 軽度生活援助事業

(経済的に困窮し介護サービスを受けられない高齢者等に軽度なサービスを提供)

(2) 布団丸洗い乾燥事業(各人年3回まで利用可能)

(3) 日常生活用具給付事業(電磁調理器・自動消火器)

(4) 高齢者住宅用防災警報器購入費助成事業(購入費の一部を助成)

(5) 高齢者日常生活支援事業(1世帯助成券年5枚まで利用可能,自己負担あり)

【事業の成果及び効果】

(1) 軽度生活援助事業 利用者1名

(2) 布団丸洗い乾燥事業 助成券交付者592名

布団丸洗い乾燥 掛布団1,030枚,敷布団1,020枚,毛布989枚

布団貸出し 掛布団21枚,敷布団26枚,毛布19枚

(3) 日常生活用具給付等事業 電磁調理器4名・自動消火器2名

(4) 高齢者住宅用防災警報器 助成券交付者数48名,利用枚数11枚

購入費助成事業費

(5) 高齢者日常生活支援事業 助成券交付者282名

**事業名：老人ホーム入所措置に要する経費**

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
03	01	02	12	本年	9,765		1,448		8,317	7,874	94.7	
				前年	11,571		3,092		8,479	7,972	94.0	
				比較	1,806		1,644		162	98		

【事業の目的】

老人福祉法に基づき、環境上の理由及び経済的理由で居宅での養護を受けることが困難な高齢者を養護老人ホームに措置入所させるため

【事業の概要】

(1) 入所者負担分費用徴収

(2) 入所者の市負担分入所措置費の負担

(3) 入所各施設を訪問し、状況調査実施

【事業の成果及び効果】

継続入所者4名

事業名：ひとり暮らし老人福祉に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	02	13	本年	8,839		1,890		6,949	4,618	66.5	
				前年	11,821		767		11,054	9,135	82.6	
				比較	2,982		1,123		4,105	4,517		

【事業の目的】

ひとり暮らし高齢者の病気や災害の際の不安解消と、安否の確認や孤独感の解消を図るため

【事業の概要】

- (1) 緊急通報システム設置事業(ペンダント型無線発信機や緊急通報装置を貸与し、つくば市消防本部と協力して24時間体制で通報を受ける。これに付随して、機器の定期点検を実施)
- (2) 愛の定期便事業(牛乳販売店などの協力で、乳製品を配達し、安否確認を行う。)

【事業の成果及び効果】

- (1) 緊急通報システム設置事業 新規設置台数41台、延設置台数305台
- (2) 愛の定期便事業 配付世帯数128件

事業名：老人生きがい対策に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	02	14	本年	32,077				32,077	28,550	89.0	
				前年	31,728				31,728	29,919	94.3	
				比較	349				349	1,369		

【事業の目的】

高齢者の心身の健康保持と身体の状態を高めるため

【事業の概要】

- (1) いばらきねりんスポーツ大会(5種目のスポーツ大会)
- (2) 高齢者生きがい活動支援事業(社会参加活動、生きがいと健康保持のための支援事業)
- (3) いきいきサロン事業(生きがいと健康保持のための各種講座の開催)
- (4) シルバー人材センター補助(就労の場を提供する団体への助成)

【事業の成果及び効果】

- (1) いばらきねりんスポーツつくば市大会(6月2～3日 荃崎運動公園で開催)  
382名(100チーム)参加(種目:グラウンドゴルフ, ゲートボール, クロケター, ペタンク, 輪投げ)
- (2) いばらきねりんスポーツ茨城大会(11月10日実施)  
50名参加(種目:グラウンドゴルフ, ゲートボール, クロケター, ペタンク, 輪投げ)
- (3) 高齢者生きがい活動支援事業  
シルバークラブ大会, いきいきまつり, シニアライフ発見物語ほか
- (4) シルバー人材センター  
補助額 11,916,000円 会員数675名



事業名： 敬老事業に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	02	15	本年	83,894		5,020	24	78,850	75,211	95.4	
				前年	80,649		5,908		74,741	71,257	95.3	
				比較	3,245		888	24	4,109	3,954		

【事業の目的】

高齢者の長寿を祝福し敬老の意を表するため

【事業の概要】

- (1) 敬老福祉大会
- (2) 敬老祝金の給付
- (3) 長寿をたたえる事業

【事業の成果及び効果】

- (1) 敬老福祉大会  
場 所 9月20日市民ホールやたべ・とよさと・くまざき及びエポカルつくば  
参加者 3,218名 (出席率13.8%)
- (2) 敬老祝金の給付  
対象者 8月1日現在市内に1年以上居住し、年度内に75歳以上、88歳、100歳以上の誕生日をむかえる方  
75歳以上 16,576名(商品券 3,000円 / 人)  
88歳到達者 497名(祝金 10,000円 / 人)  
100歳達成者 26名(祝金 30,000円 / 人)  
101歳以上 37名(祝金 20,000円 / 人)
- (3) 長寿をたたえる事業  
対象者 8月1日現在88歳達成者及び100歳以上の方。ほう状等を贈呈  
88歳到達者 509名  
100歳達成者 26名  
101歳以上 37名

事業名： 老人援護に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	02	16	本年	13,739		1,745	24	15,508	11,527	74.3	
				前年	13,499				13,499	9,151	67.8	
				比較	240		1,745	24	2,009	2,376		

【事業の目的】

高齢者及び家族の経済的負担の軽減を図り、家族の扶養意識の高揚を図るため

【事業の概要】

- (1) あん摩、マッサージ、指圧、はり及びきゅう施術費助成事業(70歳以上の高齢者に1,000円の助成券8枚を限度に支給)
- (2) 理髪料助成事業(ねたきり老人に対し、居宅において受ける理髪料の一部を助成、4,000円の助成券2枚を限度に支給)
- (3) 福祉タクシー助成事業(移動手段のないひとり暮らし高齢者等にタクシー初乗り料金利用券24枚を支給、利用券は、1回乗車に1枚を使用)

【事業の成果及び効果】

- (1) あん摩、マッサージ、指圧、はり及びきゅう施術費助成事業 助成券交付者数 630名
- (2) 理髪料助成事業 助成券交付者数 116名
- (3) 福祉タクシー助成事業 助成券交付者数 1,227名

事業名：シルバークラブ助成に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	02	17	本年	14,156				14,156	13,182	93.1	
				前年	14,701				14,701	13,806	93.9	
				比較	545				545	624		
【事業の目的】												
単位シルバークラブ及び市シルバークラブ連合会が行う社会奉仕活動，趣味教養活動，健康増進活動などを助成し，健全なシルバークラブの育成を図るため												
【事業の概要】												
(1) シルバークラブ連合会補助 連合会事業に必要な経費の一部を補助する。 (2) 単位シルバークラブ補助 単位シルバークラブ活動に必要な経費の一部を補助する。 1シルバークラブ当たり補助単価 会員100名以上 67,600円 会員50名以上100名未満 62,600円 会員30名以上50名未満 57,600円 会員30名未満 20,000円												
【事業の成果及び効果】												
(1) シルバークラブ連合会補助金 3,000,000円 (2) 単位シルバークラブ補助金 67,600円 × 3クラブ = 202,800円 62,600円 × 90クラブ = 5,634,000円 57,600円 × 72クラブ = 4,147,200円 20,000円 × 6クラブ = 120,000円 計 171クラブ 10,104,000円												

事業名：ふれあい元気広場管理に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	02	18	本年	1,070				1,070	900	84.1	
				前年	1,170				1,170	887	75.8	
				比較	100				100	13		
【事業の目的】												
クロッキー及びニュースポーツを通じ，高齢者の交流促進，健康増進を図るため												
【事業の概要】												
ふれあい元気広場(クロッキーコート，管理棟など)の管理運営												
【事業の成果及び効果】												
(1) クロッキーコート利用実績:毎週水曜日2団体，毎週火曜日，土曜日，日曜日各1団体 (2) クロッキー大会開催(年6回)，グラウンドゴルフ大会(年1回)												

事業名：食事サービスに要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	02	19	本年	16,851				16,851	15,360	91.2	
				前年	21,201		5,278		15,923	14,773	92.8	
				比較	4,350		5,278		928	587		
【事業の目的】 日常生活に支障のあるひとり暮らしや高齢者世帯の高齢者の安否確認と健康保持を図るため												
【事業の概要】 (1) 日常生活に支障のあるひとり暮らしなどの高齢者に夕食を宅配 (2) 調理を市内の特養等10ヶ所に委託。配食は、市社協と老健等4ヶ所に委託												
【事業の成果及び効果】 利用者数169名，延配食数23,017食(平成23年3月31日現在)												

事業名：介護保険事業特別会計に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	02	20	本年	1,314,548		2,735		1,317,283	1,317,283	100.0	
				前年	1,290,430		29,225		1,261,205	1,261,205	100.0	
				比較	24,118		31,960		56,078	56,078		
【事業の目的】 平成12年度から実施している介護保険制度に係る事務を円滑に執り行うため												
【事業の概要】 一般会計から介護保険事業特別会計への介護給付費，職員給与等，事務費及び地域支援事業費の繰り出し。 市町村の一般会計における負担割合は，介護保険法第124条により，介護給付及び予防給付に要する経費の12.5%，包括的支援事業等支援額の20%と定められている。												
【事業の成果及び効果】 事業の安定運営を図るため，以下のとおり繰出した。 (1) 介護給付費(介護給付費12.5%) 1,028,194,000円 (2) 職員給与等(平成22年度職員給与繰入分) 127,375,000円 (3) 事務費(平成22年度事務費繰入金) 111,989,000円 (4) 新予防給付職員関係経費(平成22年度新予防給付職員給与繰入分) 7,743,000円 (5) 介護予防事業交付対象(地域支援事業費の介護予防の12.5%) 4,980,000円 (6) 包括的支援事業・任意事業交付対象 34,002,000円 (地域支援事業費の包括的支援・任意事業の20%)												

事業名：介護保険低所得者負担対策に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	02	21	本年	1,926				1,926	144	7.5	
				前年	2,046				2,046	223	10.9	
				比較	120				120	79		
<p>【事業の目的】 真に利用者負担額を負担することが困難な低所得者について、経過的に利用者負担の助成を行い、介護保険制度の円滑な導入に資するため</p> <p>-----</p> <p>【事業の概要】 国の特別対策 低所得者で特に生計が困難であるものに対して、介護サービスの提供を行う社会福祉法人が利用者負担を減免する場合の支援措置</p> <p>-----</p> <p>【事業の成果及び効果】 利用者負担を軽減した2事業所(該当者37人)に対して補助金を交付した。 負担率:市1/4, 県・国3/4</p>												

事業名：高齢者福祉計画の策定に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	02	22	本年	4,856				4,856	268	5.5	2,461
				前年	185				185	7	3.8	
				比較	4,671				4,671	261		2,461
<p>【事業の目的】 つくば高齢者保健福祉計画及び介護保険計画を策定し、高齢者対策や介護保険等の計画的な推進を図るため</p> <p>-----</p> <p>【事業の概要】 第5期計画(平成24年度から平成26年度までの3ヵ年計画)策定に向けて、アンケート調査を実施した。</p> <p>-----</p> <p>【事業の成果及び効果】 アンケート調査の結果を計画策定に向けた課題検討の資料とする。</p>												

事業名：老人福祉施設整備に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	02	23	本年	205,144		7,081		198,063	52,739	26.6	122,829
				前年	6,497				6,497	6,157	94.8	
				比較	198,647		7,081		191,566	46,582		122,829
<p>【事業の目的】 地域密着型サービスの施設整備を進めることにより、高齢者が要介護状態となっても、できる限り住み慣れた地域で生活を継続できるようにするため、認知症ケアの充実を図り、地域に開かれた良質なサービスの提供を確保する。また、在宅介護が困難な要介護者のために必要な介護保険施設の整備を図るため</p> <p>-----</p> <p>【事業の概要】 (1) 施設整備事業 地域密着型サービス施設整備を進めることにより、高齢者一人一人が住み慣れた地域で安全で安心して、尊厳ある生活ができるようにするためのサービス提供を確保する。また、在宅介護が困難な要介護者のために必要な介護保険施設の計画的な整備を図る。 (2) 高齢者健康遊具設置事業 高齢者の外出支援・健康増進、寝たきり予防、介護予防等の健康維持を図るため、健康遊具を</p>												

設置する。

【事業の成果及び効果】

- (1) 事業所更新のため、地域密着型運営委員会を開催した。  
特別養護老人ホーム1施設と小規模特別養護老人ホーム1施設の公募を行い選定した。
- (2) 梅園公園、大池公園に、以下の高齢者用健康遊具を設置した。  
梅園公園：  
背のばしベンチ(上半身のストレッチ、つぼ押し)、バランス円盤(下半身の柔軟)、飛び石(足首、ひざの柔軟)、ステップ(下半身の筋力アップ)、腕のばしテスト(足腰のバランスを計測)  
大池公園：  
健康快道(足裏の刺激・マッサージ)、パネルラダーステーション(全身のストレッチ、筋力アップ)、バランス円盤、飛び石、ステップ、腕のばしテスト

事業名： 認知症地域支援体制構築等推進事業に要する経費 保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	02	24	本年	3,460		571		2,889	2,426	84.0	
				前年			3,460		3,460	1,655	47.8	
				比較	3,460		4,031		571	771		

【事業の目的】

認知症の人が在宅でも安心して暮らせるよう、地域ぐるみで認知症の本人とその家族を支援する体制を構築するため

【事業の概要】

茨城県からの受託事業であり、県がモデル地域を指定し、地域の実情に応じた認知症の人への地域支援体制を構築するため、地域資源マップの作成や徘徊SOSネットワーク構築などの事業を進める。

【事業の成果及び効果】

- (1) 認知症地域支援コーディネーターの選定・配置によるネットワーク形成の推進 1名
- (2) 認知症ケアの研修会開催による認知症ケアの高度化 1回
- (3) 認知症キャラバンメイト連絡会の組織化 113人

事業名： 地域包括ケア推進事業に要する経費 保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額	
03	01	02	25	本年			1,695		1,695	959	56.6		
				前年									
				比較			1,695		1,695	959			

【事業の目的】

介護保険サービスの詳細な情報や利用方法などの必要な情報を発信し、地域包括支援ネットワークの拡大を推進するため

【事業の概要】

平成21年度から認知症地域支援体制等構築推進事業に取り組んでおり、地域の関係団体との協働によりネットワークの形成を進めている。地域包括ケア・認知症地域支援推進会議を設置し、ネットワークの構築に向けて関係機関との協議を進める。

【事業の成果及び効果】

- (1) 地域包括支援センター広域連携会議の開催 1回
- (2) 地域包括を考える連続講座の開催  
第1回 参加者 157名  
第2回 参加者 112名

事業名：訴訟に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額	
03	01	02	26	本年				679	679	679	100.0		
				前年									
				比較				679	679	679			
<p>【事業の目的】 行政訴訟に係る事務を弁護士に委任するため</p> <p>-----</p> <p>【事業の概要】 平成22年度に提起された行政訴訟に係る事務を弁護士に委任する。</p> <p>-----</p> <p>【事業の成果及び効果】 裁判に遺漏のない対応のため</p>													

事業名：身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳に要する経費

保健福祉部 障害福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額																																
03	01	03	11	本年	5,044				5,044	4,889	96.9																																	
				前年	4,707			131	4,838	4,524	93.5																																	
				比較	337			131	206	365																																		
<p>【事業の目的】 身体に障害のある方へ身体障害者手帳を交付することで、様々な援助を受けられる状態とし、障害を持つ方や介護をする方の負担を軽減し、身体障害者の自立と社会経済活動への参加を促進させることで身体障害者の福祉の増進を図るため。また、精神に障害を持つ方に精神保健福祉手帳を交付することで、在宅生活の支援サービスを受けやすくし、障害のある方や介護をする方の負担軽減を図るため</p> <p>-----</p> <p>【事業の概要】</p> <p>(1) 身体障害者手帳の交付 身体障害者手帳交付事務は法律上県が行うこととなっているが、茨城県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例(平成11年茨城県条例第44号)により、平成16年度から権限がつくば市に移譲されたため、現在はつくば市が行っている。 申請者から提出された身体障害者福祉法第15条第1項に規定する指定医の診断書・意見書を審査し、身体障害者福祉法別表に該当するのか、また、該当する場合、身体障害者福祉法施行規則の別表5号の級別について審査を行い、決定した場合申請者へ手帳の交付を行う。 市審査で認定が困難なケースについては、茨城県社会福祉審議会へ諮問し、答申を基に手帳の交付を行う。</p> <p>(2) 診断書料補助 身体障害者手帳交付申請時に、必ず指定医の診断書が必要となっており、1障害区分について1度のみ診断書料の補助を行っている。(原則として半額補助、補助上限額は3,500円まで) 精神障害者保健福祉手帳取得時の診断書料に対し半額補助(上限3,500円まで)を行い、手帳取得時の負担の軽減を図る。</p> <p>-----</p> <p>【事業の成果及び効果】</p> <p>(1) 身体障害者手帳交付者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成22年度</th> <th>平成21年度</th> <th>平成20年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 級</td> <td>184 名</td> <td>176 名</td> <td>145 名</td> </tr> <tr> <td>2 級</td> <td>59 名</td> <td>48 名</td> <td>55 名</td> </tr> <tr> <td>3 級</td> <td>64 名</td> <td>81 名</td> <td>83 名</td> </tr> <tr> <td>4 級</td> <td>88 名</td> <td>76 名</td> <td>93 名</td> </tr> <tr> <td>5 級</td> <td>21 名</td> <td>15 名</td> <td>12 名</td> </tr> <tr> <td>6 級</td> <td>28 名</td> <td>20 名</td> <td>30 名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>444 名</td> <td>416 名</td> <td>418 名</td> </tr> </tbody> </table>														平成22年度	平成21年度	平成20年度	1 級	184 名	176 名	145 名	2 級	59 名	48 名	55 名	3 級	64 名	81 名	83 名	4 級	88 名	76 名	93 名	5 級	21 名	15 名	12 名	6 級	28 名	20 名	30 名	計	444 名	416 名	418 名
	平成22年度	平成21年度	平成20年度																																									
1 級	184 名	176 名	145 名																																									
2 級	59 名	48 名	55 名																																									
3 級	64 名	81 名	83 名																																									
4 級	88 名	76 名	93 名																																									
5 級	21 名	15 名	12 名																																									
6 級	28 名	20 名	30 名																																									
計	444 名	416 名	418 名																																									

< 身体障害者手帳交付に伴う制度利用 >

	平成22年度	平成21年度	平成20年度
補装具費助成	292 人	284 人	275 人
日常生活用具の助成	319 人	334 人	262 人
有料道路割引申請	771 人	853 人	695 人
特別駐車券交付者数	667 人	669 人	550 人
住宅リフォーム補助	4 件	11 件	7 件

(2) 診断書料補助

	平成22年度	平成21年度	平成20年度
身体障害者	504 人	447 人	478 人
補助額	1,653,365 円	1,476,640 円	1,557,512 円
精神障害者	161 人	168 人	157 人
補助額	442,187 円	437,415 円	416,604 円

そのほか、公共交通機関の割引や市県民税、所得税の控除、公共施設の利用料割引などがある。

事業名：補装具の援助に要する経費

保健福祉部 障害福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	03	12	本年	39,150		11,146		50,296	49,794	99.0	
				前年	37,791				37,791	33,360	88.3	
				比較	1,359		11,146		12,505	16,434		

【事業の目的】

身体障害者(児)に対し、補装具の交付及び修理するための費用を給付することにより、身体障害者(児)の日常生活や社会生活(職業生活)の質の向上を図るため

【事業の概要】

障害者自立支援法第76条の規定に基づき、身体の失われた部分や障害のある部分を補って、日常生活や働くことを容易にする用具(補装具)を交付・修理するための費用を支給する。

利用者負担は原則1割で、9割が公費負担である。

【事業の成果及び効果】

補装具の交付・修理申請件数

	平成22年度	平成21年度	平成20年度
肢体不自由関係	311 件	294 件	260 件
視覚障害関係	10 件	18 件	5 件
聴覚障害関係	98 件	87 件	88 件
合計	419 件	399 件	353 件
事業に係る公費負担額	47,512,191 円	33,305,507 円	33,204,669 円

肢体不自由関係:義肢,装具,座位保持装置,車いす,電動車いす,歩行器,歩行補助つえ,  
重度障害者用意思伝達装置など

視覚障害関係:盲人安全つえ,義眼,眼鏡など

聴覚障害関係:補聴器

事業名：日常生活の援助に要する経費

保健福祉部 障害福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	03	13	本年	28,375		4,393		32,768	27,452	83.8	
				前年	29,834			131	29,703	27,269	91.8	
				比較	1,459		4,393	131	3,065	183		

【事業の目的】

在宅の身体及び知的障害児(者)に対し、住宅改修費の助成、貸付、特殊寝台等の日常生活用具を給付、又は貸与することにより、日常生活の便宜を図り、福祉の増進に資するため

【事業の概要】

日常生活用具給付

対象:身障手帳おおむね1.2級または療育手帳<sup>㊤</sup>, Aの在宅の方

給付内容:特殊寝台, 便器, 盲人用時計, 聴覚障害者用屋内信号装置, ファクシミリ, 透析液加湿器, 特殊マット, 頭部保護帽, ストマ装具, 紙おむつ等  
なお, 各用具によって障害程度, 世帯状況等により制限がある。

自己負担額:かかった費用の1割であるが, 種目によって基準額が定められている。

【事業の成果及び効果】

(1)身体障害者住宅リフォーム助成(段差解消工事等)実績

	平成22年度	平成21年度	平成20年度
助成件数	4 件	11 件	7 件
公費負担額	1,048,000 円	2,708,797 円	2,092,785 円

(2)身体障害者(児)及び知的障害者の日常生活用具給付実績

	平成22年度	平成21年度	平成20年度
申請件数	2,616 件	2,523 件	2,312 件
公費負担額	26,335,494 円	24,479,627 円	21,085,384 円

事業名：社会参加の促進に要する経費

保健福祉部 障害福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	03	14	本年	13,768				13,768	12,209	88.7	
				前年	14,030			150	13,880	12,540	90.3	
				比較	262			150	112	331		

【事業の目的】

在宅の障害者(児)がスポ - ツやレクリエ - ション, 芸術活動等を通じて, 障害者自らが生きがいを高めることにより, 社会参加への意欲と意識の高揚を図る。また施設整備においてもユニバーサルデザインの実現を目指し, 人にやさしいまちづくりの充実を図るため

【事業の概要】

- (1)「おひさまサンサンいきいきまつり」の実施
- (2)「チャレンジア - トフェスティバル」の実施
- (3) 体験乗馬療法事業
- (4) 市内6か所の公共施設にある椅子式階段昇降機の定期的な保守点検
- (5) 障害者スポ - ツ教室
- (6) 各種奉仕員養成事業 等

【事業の成果及び効果】

おひさまサンサンいきいきまつり及びチャレンジア - トフェスティバルは, つくば市社会福祉協議会に委託し事業を効率的に運営することができ, 経費の縮減を図ることができた。

- (1) 高齢者いきいきまつりと合同開催により, おひさまサンサンいきいきまつり(10月16日・豊里多目的



広場)として事業を実施し、参加・来場者は、合計2,370名であった。

- (2) チャレンジア - トフェスティバル(2月22日～2月27日の6日間、つくば美術館で作品展示、つくばカピオで舞台発表)は454点の作品の出展、16団体の舞台発表があり、合わせて3,169名の来場者があった。
- (3) 体験乗馬療法事業は、障害者(児)・一般児童合わせて、509名に実施した。
- (4) 市内6か所の公共施設にある椅子式階段昇降機の定期的な保守点検を実施し、オストメイト対応トイレの設置については、桜保健センターに設置した。

**事業名：特別障害者手当等支給に要する経費**

保健福祉部 障害福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	03	15	本年	61,579		3,487		58,092	55,840	96.1	
				前年	63,794		5,719		58,075	55,366	95.3	
				比較	2,215		2,232		17	474		

**【事業の目的】**

身体または精神に重度の障害を有する在宅の障害者(児)、及び障害児を養育している父母または養育者に手当を支給することで、日常生活における負担を軽減し、かつ障害者福祉の増進を図るため

**【事業の概要】**

- |               |               |                  |
|---------------|---------------|------------------|
| (1) 特別障害者手当   | 月額26,440円     | 支給月 2, 5, 8, 11月 |
| (2) 障害児福祉手当   | 月額14,380円     | 支給月 2, 5, 8, 11月 |
| (3) 経過的福祉手当   | 月額14,380円     | 支給月 2, 5, 8, 11月 |
| (4) 在宅障害児福祉手当 | 月額 5,000円     | 支給月 4, 8, 12月    |
| (5) 特別児童扶養手当  | 月額50,750円(1級) | 支給月 4, 8, 12月    |
|               | 月額33,800円(2級) | 支給月 4, 8, 12月    |

認定請求等各種受付・認定・その他各種業務

**【事業の成果及び効果】**

< 支給実績 >

	平成22年度	平成21年度	平成20年度
(1) 特別障害者手当	65 名	65 名	70 名
(2) 障害児福祉手当	114 名	105 名	102 名
(3) 経過的福祉手当	6 名	7 名	6 名
(4) 在宅障害児福祉手当	250 名	251 名	265 名
(5) 特別児童扶養手当	304 名	275 名	315 名

人数はそれぞれ各年度末現在

在宅の障害者(児)、及び障害児を養育している父母または養育者に手当を支給することにより、日常生活においての負担を軽減し、かつ障害者福祉の増進がなされた。

事業名： 障害福祉サービスに要する経費

保健福祉部 障害福祉課

款	項	目	事業年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	03	16	本年	1,168,730		60,649		1,229,379	1,184,985	96.4
			前年	916,649		226,319		1,142,968	1,097,416	96.0	
			比較	252,081		165,670		86,411	87,569		

【事業の目的】

障害者及び障害児が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、障害福祉サービスに係る給付等の支援を行い、障害者及び障害児の福祉の増進を図るため

【事業の概要】

(1) 利用までの流れ

障害者等が市及び相談支援事業者にサービス支給申請を行い、市は認定調査と医師意見書を基に障害程度区分認定審査会において区分1から区分6までの判定を行うとともに、障害福祉サービス支給量の決定を行い、受給者証の交付を行います。交付を受けた障害者等が、指定障害福祉サービス事業者と契約を結び、サービスの提供を受ける。

(2) サービスの内容

サービスの内容は、大別すると介護給付と訓練等給付に分けられ、介護給付には居宅介護・重度訪問介護・行動援護・児童デイサービス・重度障害者等包括支援・療養介護・生活介護・共同生活介護・施設入所支援(旧法施設支援含む)があり、訓練等給付には自立訓練(機能)(生活)・就労移行支援・就労継続支援(雇用型)(非雇用型)・共同生活援助のサービスがある。

(3) 費用負担割合

費用負担については、原則1割が利用者負担(所得により月額負担上限額の設定あり)のほか、残り9割を国が1/2、県が1/4、市が1/4の負担となる。

【事業の成果及び効果】

(1) 障害程度区分認定

	平成22年度	平成21年度	平成20年度
審査会開催回数	14 回	22 回	17 回
審査判定件数	195 件	234 件	130 件

(2) サービス支給決定件数

	平成22年度	平成21年度	平成20年度
居宅介護	142 件	126 件	135 件
重度訪問介護	16 件	16 件	18 件
行動援護	4 件	3 件	3 件
重度障害者等包括支援	0 件	0 件	0 件
療養介護	1 件	1 件	1 件
生活介護	192 件	161 件	90 件
児童デイサービス	198 件	202 件	164 件
短期入所	312 件	311 件	252 件
共同生活介護	41 件	29 件	24 件
施設入所支援	145 件	123 件	163 件
共同生活援助	35 件	28 件	15 件
自立訓練(宿泊型)	1 件	0 件	0 件
自立訓練(機能)	1 件	1 件	0 件
自立訓練(生活)	41 件	46 件	49 件
就労移行支援	88 件	88 件	47 件
就労継続支援(雇用型)	1 件	2 件	0 件
就労継続支援(非雇用型)	117 件	90 件	70 件
合計	1,335 件	1,227 件	1,031 件

人数はそれぞれ各年度末現在

事業名：心身障害者扶養共済に要する経費

保健福祉部 障害福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	03	17	本年	8,880		930		7,950	7,440	93.6	
				前年	9,120		580		8,540	8,030	94.0	
				比較	240		350		590	590		

【事業の目的】

障害のある方を扶養している保護者(加入者)の方々の連帯と相互扶助の精神に基づき、障害のある方の生活の安定と福祉の増進に資するとともに、障害のある方の将来に対し、保護者が抱く不安の軽減を図るため

【事業の概要】

障害のある方を扶養している保護者(加入者)が、自ら生存中に毎月一定の掛金を納めることにより、保護者に万が一(死亡・重度障害)のことがあったとき、障害のある方に終身一定額の年金を支給する制度で、1口加入の方は月額2万で年額24万、2口加入の方は月額4万で年額48万が支払われる。

【事業の成果及び効果】

- (1) 障害者年金とともに障害者の生活の安定基盤を支えるものであり、必要なものとなっている。
- (2) 3月31日現在で加入者は51名となっている。
- (3) また、保護者(加入者)が死亡した場合に支払われる年金は、28名に毎月合計620,000円である。

事業名：地域生活支援事業に要する経費

保健福祉部 障害福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	03	18	本年	71,845		923		72,768	71,083	97.7	
				前年	69,344		463	150	69,957	65,051	93.0	
				比較	2,501		460	150	2,811	6,032		

【事業の目的】

障害者等が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、生活上必要な訓練・指導等、本人活動支援などを行うことにより、生活の質的向上を図り、障害者の自立及び社会参加を支援するため

【事業の概要】

地域生活支援事業

障害者自立支援法施行に伴い、平成18年10月から第77条に規定する地域生活支援事業として、地域の実情により市町村が行う事業を実施している。

- (1) 訪問入浴サービス利用費助成金支給事業
- (2) 移動支援事業
- (3) 日中一時預支援事業
- (4) コミュニケーション支援事業
- (5) 障害者福祉タクシー利用料金助成事業
- (6) 地域活動支援センター事業

【事業の成果及び効果】

地域生活支援事業

- (1) 訪問入浴サービス利用費助成金支給事業  
支給決定者 22名 実利用者 21名(延べ 897回)
- (2) 移動支援事業  
支給決定者 62名 実利用者 36名(延べ 2,533時間 延べ回数730回)
- (3) 日中一時預支援事業  
支給決定者259名 実利用者131名(延べ23,655時間 延べ回数6,137回)
- (4) コミュニケーション支援事業(登録者数 56名)  
・手話通訳実績  
利用延べ回数199件 派遣通訳者延べ人数260名 派遣延べ時間787時間39分

・要約筆記実績

利用延べ回数 47件 派遣通訳者延べ人数 69名 派遣延べ時間185時間12分

(5) 障害者福祉タクシー利用料金助成事業

交付冊数618冊 利用件数4,952件(枚)

(6) 地域活動支援センター I型及び II型機能強化事業

社会福祉法人2箇所と業務委託契約を締結し、精神障害者に対する日中活動の場における生産的活動や創作的活動等の事業を実施した。

・委託先: I型 社会福祉法人創志会ライフサポートセンターみどりの  
実利用者 76名(延べ 6,241名)

・委託先: II型 社会福祉法人ゆっくら地域活動支援センターわかば  
実利用者 31名(延べ 4,418名)

事業名： 自立支援医療等に要する経費

保健福祉部 障害福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	03	19	本年	120,036		14,533		105,503	102,349	97.0	
				前年	100,896		16,328		117,224	106,283	90.7	
				比較	19,140		30,861		11,721	3,934		

【事業の目的】

身体障害者(児)に対して、その障害を軽減するための医療費を助成することにより、自立した日常生活又は社会生活を営むことを推進し、もって福祉の増進を図るため

【事業の概要】

身体障害者手帳に記載されている障害原因と因果関係があり、医療を行うことによってその障害が改善される、または、機能の維持が保たれるなどの効果が期待されるものについて医療費の助成を行う。  
 具体的には、視覚障害者 水晶体摘出・網膜剥離手術等、  
 聴覚障害者 鼓膜剥離・耳管開通処置等、  
 言語障害者 形成術・暗示療法等、  
 肢体不自由者 人工関節置換術・切断形成術等、  
 内部障害 人工透析・ペースメーカー埋め込み術等が該当となる。

【事業の成果及び効果】

今年度の更生医療の実績は、申請 45件、給付総額は 96,850,075円だった。  
 給付の対象としては、じん臓機能障害 36件(免疫抑制療法,人工透析等),  
 免疫機能障害 9件(抗HIV療法)であった。

事業名：福祉相談コーナーに要する経費

保健福祉部 障害福祉課

款	項	目	事業年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	03	20	本年	9,281		217		9,064	8,402	92.7
			前年	8,438		882		9,320	8,343	89.5	
			比較	843		1,099		256	59		

【事業の目的】

障害福祉課相談係において、多岐・雑多な福祉全般の相談を受け、問題・課題の整理や提供可能な制度・窓口の案内等相談のワンストップサービスをするため

【事業の概要】

- (1) 社会福祉士，精神保健福祉士，看護師などの専門職員を配置し，地域の民生委員・児童委員や各種相談員及び保健センター等の関係者と庁舎内外のネットワーク化を図り，福祉全般の相談事業を促進する。
- (2) 障害者の自立した日常生活や社会生活を支援するため，障害者や介護者などからの相談に応じ，必要な情報を提供しながら相談窓口等の充実に努める。
- (3) 相談支援事業者による相談窓口の機能強化や障害者自立支援懇談会と連携して，地域の相談支援体制と関係機関等のネットワークを活用し相談支援の充実に努める。

【事業の成果及び効果】

福祉相談コーナー 窓口相談，訪問相談件数

		平成22年度	平成21年度	平成20年度	平成19年度
窓	来所	376件	483件	441件	353件
	電話	1,460件	978件	736件	384件
口	その他(メール等)	2件	9件	6件	0件
	訪問	147件	165件	322件	231件
計		1,985件	1,635件	1,505件	968件

事業名：老人医療給付に要する経費

保健福祉部 国保年金課

款	項	目	事業年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	04	11	本年	1,415,471		43,743		1,459,214	1,444,490	99.0
			前年	1,302,405		23,564		1,325,969	1,296,925	97.8	
			比較	113,066		20,179		133,245	147,565		

【事業の目的】

老人保健及び後期高齢者医療の円滑な運営を目的とし、公費負担金を繰り出すなどして制度の安定化を図るため

【事業の概要】

- (1) 老人保健特別会計への繰出金の支出
- (2) 後期高齢者医療特別会計への繰出金の支出及び茨城県後期高齢者医療広域連合への負担金の支出

【事業の成果及び効果】

老人保健及び後期高齢者医療に関して、円滑に事務を執行することができた。

	平成22年度	平成21年度
老人保健特別会計への繰出金	127,000円	1,217,000円
後期高齢者医療特別会計への繰出金	275,922,000円	262,594,000円
後期高齢者医療広域連合負担金	1,145,466,317円	1,011,598,679円
被保険者数	16,595人	16,046人

事業名：医療福祉費支給に要する経費

保健福祉部 国保年金課

款	項	目	事業年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	05	11	本年	1,325,458		4,050	1,329,508	1,265,089	95.2	
				前年	1,304,066			1,304,066	1,205,736	92.5	
				比較	21,392		4,050	25,442	59,353		

【事業の目的】

医療費の一部を助成し、経済的な負担の軽減を図ることにより、疾病の早期発見・早期治療を促進し、健康の保持及び健康育成を図るため

【事業の概要】

- (1) 小児(0歳から小学校3年生まで)・ひとり親家庭・妊産婦・重度心身障害者の医療費の一部を助成する茨城県の制度(所得制限あり)
- (2) 0歳から小学校就学前のお子様で、所得基準により茨城県制度が該当にならない方については、つくば市独自制度により助成をしている。
- (3) 市独自制度により、外来自己負担金の助成をしている。
- (4) 医療機関から請求となるレセプト(診療報酬明細書)の審査及び医療福祉費の支払いを審査支払機関に委託し、それに伴う手数料の支払いをしている。

【事業の成果及び効果】

	平成22年度	平成21年度
県制度受給者数	21,241 人	17,240 人
県制度助成額	982,605,058 円	943,008,382 円
審査支払手数料	23,862,167 円	21,390,434 円

	平成22年度	平成21年度
市制度受給者数	4,936 人	4,997 人
市制度助成額	235,224,138 円	222,878,502 円
審査支払手数料	6,924,834 円	6,311,092 円

少子化対策充実また子育てしやすい環境づくりのため、未就学児については所得制限を撤廃し、申請すれば受給できる制度となっており、医療費にかかる経済的負担の軽減をし、疾病の早期発見、早期治療を促進し健康の保持及び健全育成を図っている。

事業名：国民年金に要する経費

保健福祉部 国保年金課

款	項	目	事業年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	06	11	本年	5,261		630	4,631	4,130	89.2	
				前年	4,879		227	4,652	3,796	81.6	
				比較	382		403	21	334		

【事業の目的】

国民年金制度の適正化を推進するとともに、国民年金受給権の確保と制度の基盤強化を図るため

【事業の概要】

- (1) 適用対策事務 第1号・若年層に対する適用促進
- (2) 裁定請求事務 老齢基礎年金, 障害基礎年金, 遺族基礎年金, 寡婦年金, 死亡一時金
- (3) 一般免除事務
- (4) 学生納付特例申請事務

【事業の成果及び効果】

国民年金の受給権確保

- (1) 適用対策事務 13,476件(平成21年度:15,437件)

## (2) 裁定請求事務

	老齢基礎年金	障害基礎年金	遺族基礎年金	寡婦年金	死亡一時金
平成22年度	55件	83件	6件	2件	26件
平成21年度	102件	97件	4件	2件	53件

(3) 一般免除事務 3,429件(平成21年度:3,543件)

(4) 学生納付特例申請事務 3,981件(平成21年度:3,700件)

## 事業名：民間団体活動に要する経費

市民部 地域改善対策室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	07	11	本年	4,389				4,389	4,389	100.0	
				前年	4,441				4,441	4,441	100.0	
				比較	52				52	52		

## 【事業の目的】

部落の完全解放と基本的人権の確立のため、同和問題の正しい理解と認識を深める啓発活動を推進する民間運動団体に対し補助を行い、人権・同和問題の早期解決と差別意識の解消に寄与するため

## 【事業の概要】

- (1) 民間運動団体の実施する啓発活動を積極的に支援する。
- (2) 団体の主催する研修会・学習会等を支援し、同和問題の早期解決と差別意識の解消を図る。

## 【事業の成果及び効果】

## 民間運動団体補助

部落解放愛する会茨城県連合会つくば支部	2,379,000円
全日本同和会茨城県連合会谷田部支部	900,000円
全日本同和会茨城県連合会桜支部	810,000円
茨城県地域人権運動連合会つくば支部	300,000円

## 事業名：地域改善対策事業に要する経費

市民部 地域改善対策室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	07	12	本年	1,577				1,577	1,119	71.0	
				前年	1,586				1,586	1,036	65.3	
				比較	9				9	83		

## 【事業の目的】

人権・同和問題の早期解決(差別意識の解消)を図り、差別のない明るい社会を創出するため。また、職員の人権意識の高揚を図り、もって人権・同和問題の早期解決に寄与するため

## 【事業の概要】

- (1) 啓発活動
  - 人権・同和問題の早期解決を図る啓発活動を推進する。
- (2) 全職員を対象として各種研修会等への参加
  - 積極的な参加により、人権意識の高揚を図る。

## 【事業の成果及び効果】

## (1) 啓発活動

人権・同和問題研修会(企業1回,民生委員3回,職員1回)  
 同和問題に関する相談  
 人権啓発ポスター掲示  
 同和問題啓発リーフレット・えせ同和行為対応冊子配布等

- (2) 全職員を対象に同和問題の早期解決と差別意識解消に向けて、下記の研修会に積極的に参加
- |                              |    |     |
|------------------------------|----|-----|
| 部落解放愛する会主催                   | 6回 | 46名 |
| 全国人権連(茨城県地域人権運動連合会)主催        | 3回 | 15名 |
| 全日本同和会主催                     | 3回 | 6名  |
| 部落解放同盟全国連合会主催                | 1回 | 2名  |
| その他 国・県・市町村主催 研修会・学習会・講演会に参加 |    |     |

**事業名：桜老人福祉センター運営に要する経費**

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	08	11	本年	25,661				25,661	22,642	88.2	
				前年	27,317		3,169		24,148	21,959	90.9	
				比較	1,656		3,169		1,513	683		

【事業の目的】

高齢者の健康増進,教養の向上,レクリエーション活動の場を提供するとともに,各種相談に応じる。  
また,施設を良好な状態に維持し,利用者の利便性の向上と効率的な運営を図るため

【事業の概要】

- (1) 老人福祉センターの管理運営
- (2) 各種活動等への施設貸出し

【事業の成果及び効果】

延利用者数 20,411名

**事業名：谷田部老人福祉センター運営に要する経費**

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	08	12	本年	39,136		39,395		78,531	75,951	96.7	
				前年	41,615		3,835		45,450	40,323	88.7	
				比較	2,479		35,560		33,081	35,628		

【事業の目的】

高齢者の健康増進,教養の向上,レクリエーション活動の場を提供や各種相談の対応を図るため。また,施設を良好な状態に維持し,利用者の利便性の向上と効率的な運営を図るため

【事業の概要】

- (1) 老人福祉センターの管理運営
- (2) 各種活動等への施設貸出し
- (3) 教養講座の実施(ヨガ10月より毎月1回実施,1回当たり15名参加)

【事業の成果及び効果】

延利用者数48,579名



事業名： 茎崎憩いの家管理に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
03	01	08	13	本年	4,922				4,922	4,646	94.4	
				前年	5,095				5,095	4,672	91.7	
				比較	173				173	26		
【事業の目的】 高齢者の健康増進, 教養の向上, レクリエーション活動の場を提供するとともに, 施設を良好な状態に維持し, 利用者の利便性の向上と効率的な運営を図るため												
【事業の概要】 (1) 憩いの家の管理運営 (2) 憩いの家貸出し業務												
【事業の成果及び効果】 延利用者数 1,318名												

事業名： 茎崎老人福祉センター運営に要する経費

保健福祉部 高齢福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
03	01	08	14	本年	21,890		263		22,153	20,648	93.2	
				前年	21,834			232	22,066	21,135	95.8	
				比較	56		263	232	87	487		
【事業の目的】 高齢者の健康増進, 教養の向上, レクリエーション活動の場を提供や各種相談の対応を図るため。また, 施設を良好な状態に維持し, 利用者の利便性の向上と効率的な運営を図るため												
【事業の概要】 (1) 茎崎老人福祉センター(障害者センター茎崎含む)及び茎崎農村高齢者交流センターの管理運営 (2) 各種活動等への施設貸出し												
【事業の成果及び効果】 延利用者数 25,274名												

事業名： 障害者センター桜運営に要する経費

保健福祉部 障害者センター桜

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
03	01	09	11	本年	55,069		1,408		53,661	50,688	94.5	
				前年	54,259		1,222		53,037	50,790	95.8	
				比較	810		186		624	102		
【事業の目的】 在宅の身体・知的障害者に対し, 創作的活動又は生産活動の機会の提供, 社会との交流促進その他の便宜を供与することにより, 障害者の生きがいづくりを支援し福祉の増進を図るため。また, 児童デイサービスは, 在宅の言葉に遅れがある児童, コミュニケーションをとるのが苦手な児童, 肢体に不自由がある児童等に対し, 日常生活における基本的な動作の指導, 集団生活への適応訓練, 言語訓練等の各種サービスを提供し福祉の増進を図るため												
【事業の概要】 (1) 地域活動支援サービス 障害者自立支援法に規定される地域活動支援センター 型の位置づけで地域活動支援サービスの実施 定員 45名, 利用登録者(身体) 21名 (知的) 15名												

(2) 児童デイサービス

平成18年4月より障害者自立支援法に規定される児童デイサービスの事業所指定を受け、利用者への各種サービスの提供

定員 20名, 利用登録者 82名

【事業の成果及び効果】

サービスの提供実績

	平成22年度	平成21年度	平成20年度
地域活動支援サービス	4,918 人	5,265 人	5,896 人
(内訳)身体障害者	2,121 人	2,153 人	2,643 人
知的障害者	2,797 人	3,112 人	3,253 人
児童デイサービス	2,288 人	2,434 人	2,857 人

事業名： 障害者センター谷田部運営に要する経費

保健福祉部 障害者センター谷田部

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
03	01	09	12	本年	14,282		202		14,080	12,586	89.4	
				前年	13,958				13,958	13,003	93.2	
				比較	324		202		122	417		

【事業の目的】

地域活動支援サービス

在宅の身体・知的障害者に対し、創作的活動又は生産活動の機会の提供、社会との交流その他の便宜を供与することにより、障害者の生きがいづくりを支援し福祉の増進を図るため

【事業の概要】

地域活動支援サービス

障害者自立支援法に規定される地域活動支援センター 型の位置づけで地域活動支援サービスの実施

定員 20名, 利用登録者(身体)7名 (知的)9名

年度中に身体利用登録者1名が利用辞退

【事業の成果及び効果】

サービスの提供実績

	平成22年度	平成21年度	平成20年度
地域活動支援サービス	1,899 人	2,052 人	2,315 人
(内訳)身体障害者	609 人	593 人	655 人
知的障害者	1,290 人	1,459 人	1,660 人

事業名： 障害者センター豊里運営に要する経費

保健福祉部 障害者センター豊里

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
03	01	09	13	本年	32,020				32,020	28,246	88.2	
				前年	32,646		3,500		29,146	27,639	94.8	
				比較	626		3,500		2,874	607		

【事業の目的】

在宅の身体・知的障害者に対し、創作的活動又は生産活動の機会の提供、社会との交流促進その他の便宜を供与することにより、障害者の生きがいづくりを支援し福祉の増進を図るため。また、児童デイサービスは、在宅の言葉に遅れがある児童、コミュニケーションをとるのが苦手な児童、肢体に不自由がある児童等に対し、日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練、個別療育指導等の各種サービスを提供し福祉の増進を図るため

【事業の概要】

(1) 地域活動支援サービス

障害者自立支援法に規定される地域活動支援センター 型の位置づけで地域活動支援サービスの実施

定員 20名, 利用登録者(身体)3名 (知的)13名

(2) 児童デイサービス

平成18年4月より障害者自立支援法に規定される児童デイサービスの事業所指定を受け、利用者に各種サービスの提供

定員 20名, 利用登録者 56名

【事業の成果及び効果】

サービスの提供実績

	平成22年度	平成21年度	平成20年度
地域活動支援サービス	2,457 人	2,362 人	2,264 人
(内訳)身体障害者	373 人	0 人	0 人
知的障害者	2,084 人	2,362 人	2,264 人
児童デイサービス	2,212 人	2,286 人	2,261 人

事業名： 障害者センター筑波運営に要する経費

保健福祉部 障害者センター筑波

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
03	01	09	14	本年	28,278		1,512		26,766	24,342	90.9	
				前年	19,358		1,500	40	17,898	17,070	95.4	
				比較	8,920		12	40	8,868	7,272		

【事業の目的】

在宅の身体・知的障害者に対し、創作的活動又は生産活動の機会の提供、社会との交流促進その他の便宜を供与することにより、障害者の生きがいづくりを支援し福祉の増進を図るため

【事業の概要】

障害者自立支援法に規定される地域活動支援センター 型の位置づけで地域活動支援サービスの実施

定員 20名, 利用登録者(身体)1名 (知的)13名

【事業の成果及び効果】

サービスの提供実績

	平成22年度	平成21年度	平成20年度
地域活動支援サービス	1,991 人	1,918 人	2,304 人
(内訳)身体障害者	69 人	76 人	79 人
知的障害者	1,922 人	1,842 人	2,225 人

事業名： 障害者センター芝崎に要する経費

保健福祉部 障害者センター芝崎

款	項	目	事業年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	09	15	本年	32,397		1,617		30,780	28,501	92.6
			前年	28,317		2,991	40	31,268	28,898	92.4	
			比較	4,080		4,608	40	488	397		

【事業の目的】

在宅の身体・知的障害者に対し、創作的活動又は生産活動の機会の提供、社会との交流促進その他の便宜を供与することにより、障害者の生きがいづくりを支援し福祉の増進を図るため。また、児童デイサービスは、在宅の言葉に遅れがある児童、コミュニケーションをとるのが苦手な児童、肢体に不自由がある児童等に対し、日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練、言語訓練等の各種サービスを提供し福祉の増進を図るため

【事業の概要】

(1) 地域活動支援サービス

障害者自立支援法に規定される地域活動支援センター 型の位置づけで地域活動支援サービスを実施し、障害者の福祉の増進を図っている。

定員 40名、 利用登録者(身体)11名 (知的)19名

(2) 児童デイサービス

平成18年4月より障害者自立支援法に規定される児童デイサービスの事業所指定を受け、利用者に各種サービスを提供し福祉の増進を図っている。

定員 10名、 利用登録者 35名

【事業の成果及び効果】

サービスの提供実績

	平成22年度	平成21年度	平成20年度
地域活動支援サービス	4,980 人	5,363 人	5,328 人
(内訳)身体障害者	1,072 人	1,170 人	1,015 人
知的障害者	3,908 人	4,193 人	4,313 人
児童デイサービス	1,152 人	1,112 人	1,242 人

事業名： 消費生活センターに要する経費

市民部 消費生活センター

款	項	目	事業年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	10	11	本年	11,187				11,187	10,555	94.4
			前年	8,786		1,975		10,761	10,439	97.0	
			比較	2,401		1,975		426	116		

【事業の目的】

消費者利益の擁護と増進を図るため

【事業の概要】

(1) 消費生活相談

消費者と事業者間の取引に関して生じた苦情の受付及びあっせん

(2) 消費者教育・啓発推進事業

消費生活相談や消費者啓発活動をとおして、消費生活知識を高揚し、消費者被害の未然防止を図り、消費者の自立支援の実施

出前講座

街頭啓発等(消費者団体との連携協力)

広報つくば掲載

多重債務者対策

【事業の成果及び効果】

消費生活相談の充実や消費者啓発活動の強化により、消費者被害の未然防止及び被害からの救済に繋がった。

(1) 消費生活相談

平成22年度相談件数 1,365件 あっせん解決数 102件  
 (うち個人情報相談 5件)  
 (うち多重債務相談 159件)

(2) 消費者教育・啓発推進事業

出前講座 35件 参加人数 2,759名  
 街頭啓発等(消費者団体との連携協力)  
 つくばフェスティバル2010 啓発チラシ等の配布 約1,000名  
 まつりつくば2010 啓発うちわの配布 約1,000名  
 敬老福祉大会,シルバークラブ大会 高齢者向け啓発チラシ配布 約5,000名  
 第7回つくば産業フェア 啓発チラシ等の配布 約2,000名  
 筑波学院大学KVA祭 啓発チラシ等の配布 約300名  
 啓発チラシ新聞折り込み 69,000部  
 広報つくば掲載  
 6月,8月,12月,3月号(多重債務相談案内)  
 9月号(高齢者向け悪質商法キャンペーン)  
 多重債務者対策  
 第4回ネットワーク会議の開催 関係部署13 外1団体

事業名：コミュニティ推進事業に要する経費

市民部 市民活動課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	10	12	本年	14,139				14,139	13,142	92.9	
				前年	14,140		916	770	15,826	15,032	95.0	
				比較	1		916	770	1,687	1,890		

【事業の目的】

財団法人自治総合センターがコミュニティ活動団体に助成を行うことで、地域のコミュニティ活動や団体の育成発展に寄与するとともに、宝くじの普及拡大を図るため。また、やさしさとふれあいのある茨城を創っていく大好きいばらき県民運動に対する個人会員(大好きいばらきネットワーカー)の推薦や、この運動を支援するため

さらに、つくば市を美しく、楽しく、温かみのあるまちにするため、市民を中心として企業、NPO、ボランティアと行政が協力しながら、花や緑を通して環境美化活動を展開するとともに、市民によるまちづくりの実践、世代や地域を越えた住民交流の促進や市内花卉農家の振興を図るため

【事業の概要】

(1) コミュニティ助成事業

宝くじ助成を受けることにより、地域のコミュニティ活動の活性化に貢献でき、伝統文化の継承や青少年の育成活動に寄与する。

(2) 大好きいばらき県民運動

茨城県知事を会長として県内市町村及び大好きいばらき県民会議が中心となり、やさしさとふれあいのあるいばらきをつくる運動  
 御近所の底力再生事業、大好きいばらき作文コンクール、花いっぱい運動の推進、大好きいばらきふれあいまつりの開催、ネットワーカーの活動推進大会、NPO活動の支援

(3) 花と緑の市民参加事業

つくばセンター地区及び4駅前の花壇や市内約96ヶ所に、季節の花を植える花壇整備  
 冬季は、つくば中央公園のシンボルツリー(もみの木)等に光のイルミネーションを装飾し各種イベントの開催を青年会議所との協働により実施

【事業の成果及び効果】

(1) コミュニティ助成事業

不動町3区会 長胴太鼓・締太鼓各1基,太鼓台,大人用半天15着(250万円)

権上区会 平胴太鼓・長胴太鼓各1基,太鼓台(250万円)

(2) 大好きいばらき県民運動

荃崎ネットワークの会を中心に市内37名の県民運動推進員(ネットワーク)が,定期的に会議を持ちながら,県民運動の周知や市民団体同士の協力体制作りを図っている。また,2月下旬に潮来市とのネットワーク交流会を実施し,相互の実施活動について勉強会を実施した。

(3) 花と緑の市民参加事業

平成19年度より花いっぱい運動を実行委員会組織で一本化し,実施場所を4駅前花壇,広場,道路,公園,観光地,庁舎前花壇など,市民が多く利用する公共施設の玄関口を季節の花で飾った。90団体が花壇づくりに参加した。

中央公園に光のイルミネーションを装飾し,活気に溢れるつくばの夜をPRした。

事業名： 人権擁護に要する経費

市民部 市民活動課

款	項	目	事業年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額	
03	01	10	13	本年	2,362				2,362	1,742	73.8	
			前年	1,762				1,762	1,463	83.0		
			比較	600				600	279			

【事業の目的】

人権擁護委員法に基づき,市町村長が推薦して法務大臣が委嘱する人権擁護委員を中心として,諸活動により自由人権思想の普及拡大を図るため。また,人権擁護キャンペーンや特設人権相談所の開設などを通じ,市民の人権を守り差別のない明るい社会の実現を目指すため

【事業の概要】

- (1) 特設人権相談所の開設
- (2) 人権擁護キャンペーン
- (3) 人権教室
- (4) 人権講演会

【事業の成果及び効果】

- (1) 特設人権相談所の開設 (4回 6月1日・3日,12月7日・9日)  
人権相談の件数は,15件  
今後も多様な相談に的確に応じるため,法務局主催の専門研修に積極的に参加する体制を整備していく予定である。
- (2) 人権擁護キャンペーン(7月24日)  
社会を明るくする運動と共同で,講演会及び街頭キャンペーンを行った。
- (3) 人権教室  
(開催校:作岡小,荃崎第一小,栗原小,筑波小,谷田部小,上郷小,島名小,要小,  
大曾根小,東小の計10校で実施)  
人権問題は小学校でも重要な問題であり,いじめや不登校などの問題を未然に防ぐため,学校の希望日程を調整し,人権教室の開催を継続して実施している。
- (4) 人権講演会(2月19日)  
住田裕子氏を迎え,市民ホールとよさとにて(503名の来場者)  
「変わり行く社会の中で守りたい命と心」について講演を頂いた。

事業名：更生保護に要する経費

市民部 市民活動課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	10	14	本年	1,401			12	1,389	1,319	95.0	
				前年	1,401				1,401	1,309	93.4	
				比較				12	12	10		

【事業の目的】

犯罪や非行を犯した人達の更生改善，社会復帰を支援するとともに，犯罪のない明るい社会づくりを目指して，地域社会環境浄化等の活動を行うため

【事業の概要】

保護司や更生保護女性会が中心となり，行政と連携しながら活動を展開

- (1) 社会を明るくする運動
- (2) 各種大会への参加
- (3) 更正保護活動

【事業の成果及び効果】

- (1) 社会を明るくする運動つくば市大会(7月24日)

「犯罪や非行のない明るい社会づくり」と題し，つくば地区保護司会の飯塚氏による講演会及び啓発ビデオ上映，そして街頭キャンペーンを実施した。

参加者は，保護司会，更生保護女性会，人権擁護委員，青少年を育てるつくば市民の会，青少年相談員である。

全国的な運動であり長年継続して開催しているので，その意義は浸透しつつある。今後も講演会や街頭キャンペーンを多くの市民とともに，盛大に開催できるよう企画の拡大を図る。

- (2) 各種大会への参加

茨城県更生保護女性連盟県南ブロック研修会(10月14日実施)

約300名の関係者が集まり活動事例の発表を行った。

県南ブロック更生保護関係者等連絡協議会(2月17日実施)

保護司関係者200名が集まり，社会を明るくする運動などの活動発表を行った。

- (3) 更生保護活動

長年継続して行われているが，社会構造の多様化や諸々の事由により，近年多くの犯罪が発生している。その様な中，保護司や更生保護女性会では青少年の健全育成活動を通して犯罪や非行の未然防止に力を入れている。

事業名：文化行政に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	10	15	本年	76,452				76,452	73,606	96.3	
				前年	80,652		9,332		89,984	78,437	87.2	
				比較	4,200		9,332		13,532	4,831		

【事業の目的】

市内の文化施設を利用し、つくば市民等に優れた各種芸術作品に接する機会の拡充を図り、個性ある豊かな文化的生活の向上に寄与するため。また、市民がクラシックを中心とした芸術性の高い公演に接する機会を設け、地域の音楽文化の推進を目指すため  
さらに、つくば地域の都市生活の向上と地域情報の収集提供、芸術文化の振興活動、在住外国人への支援活動等を図り、市民の豊かで魅力ある都市生活の向上を目指すため

【事業の概要】

- (1) つくば市芸術文化公演事業  
つくば市芸術文化公演事業  
芸術文化事業のノウハウのある(財)つくば都市振興財団との共催で、音楽、演劇、美術等の幅広い芸術文化公演を行う。  
つくば国際音楽祭負担金  
(財)つくば都市振興財団とともに国際的にも通用する公演を開催する。
- (2) (財)つくば都市振興財団支援事業  
地域情報の収集・提供や、芸術文化の振興活動、また市民レベルでの国際交流や在住外国人に対する支援活動等を充実させるため、同財団に行政補完的補助金を交付し、つくば市から職員2名を継続派遣している。

【事業の成果及び効果】

- (1) つくば市芸術文化公演事業  
つくば市芸術文化公演事業  
幅広いジャンルの芸術文化公演を行った結果、計14,699人の市民が手頃な入場料で、レベルの高い芸術文化公演を身近で体験することができた。  
平成22年度実績： 28公演(内訳 音楽14、演劇6、美術2、舞踊2、芸能4)  
つくば国際音楽祭負担金  
つくば市内外の音楽愛好家(入場料収入)や地元企業の支援(協賛金収入)に支えられながら、26回目を開催できた。(観客数計5,405人)  
平成22年度実績 10公演(内訳 オークストラ1、リサイタル又は室内楽6、オペラ1、その他2)  
茨城県が平成23年1月につくば国際音楽祭実行委員会から脱退したことによって、3月に実行委員会を解散した。平成23年度は、(財)つくば都市振興財団が主管としてつくば国際音楽祭を実施するほか、芸術文化事業に国際音楽祭の冠をつける公演を設けて、事業を充実することに努める。
- (2) (財)つくば都市振興財団支援事業  
同財団は、市民の要望等を把握するとともに、つくば市からの補助金や事業収入等を加えて事業を展開するなど、総合的につくば地域の市民満足度や市民サービスの向上を図る事業を展開している。しかし、市財政が総体的に圧迫されている現況に鑑み、今後は、公益法人としての意識改革とスクラップアンドビルドをさらに徹底し、より自立した経営を目指すよう指導していく。



事業名：非核平和都市宣言事業に要する経費

市民部 市民活動課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	10	16	本年	1,171			12	1,183	1,101	93.1	
				前年	1,071			80	1,151	1,072	93.1	
				比較	100			68	32	29		

【事業の目的】

安心して平和に暮らしたいという思いは、人類共通の願いである。日本は世界で唯一の戦争による被爆国であり、このような悲惨な歴史を二度と繰り返してはならないことを世界に訴える義務がある。

つくば市では、平成2年に非核平和都市宣言を行っており、この宣言を形式的なものとしなないため、各種の平和事業に取り組むため

【事業の概要】

(1) 平和体験教室

小学5・6年生を対象とし、埼玉県平和資料館を見学して平和学習を行う。

平和学習は、将来を担う青少年を対象として行っている。

(2) 青少年ピースフォーラム

毎年、長崎市で行われる全国の非核平和都市宣言自治体が参加する全国大会である。

【事業の成果及び効果】

(1) 平和体験教室(参加人数：40名)

一人でも多くの心に残るよう平和体験学習として継続していく。

(2) 青少年ピースフォーラム(参加校：豊里中学校、谷田部中学校、高山中学校)

つくば市内3校から6名の中学生を平和大使として派遣し、全国の仲間と交流を図ると共に、その体験を所属校の生徒に伝えることにより、平和の大切さを訴えていく。

派遣終了後は各中学校において、全校集会などで報告会を実施し、全校生徒に対して原爆の悲惨さを発表するなどの啓発活動を実施している。

事業名：自治会関係に要する経費

市民部 市民活動課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	10	17	本年	139,310				139,310	137,586	98.8	
				前年	139,789			5,000	144,789	142,913	98.7	
				比較	479			5,000	5,479	5,327		

【事業の目的】

自治会は、市民協働のまちづくりにおける協力組織、さらに大規模災害における互助組織としての役割が期待されることから、活発なコミュニティ活動ができるように支援を行うため

【事業の概要】

市内約600区会を対象に以下の事業を実施

(1) 市区会連合会総会及び各地区(6地区)区会連合会総会の開催

(2) 先進地視察研修の企画・取りまとめ・実施

(3) 区長サミットインつくばの開催

(4) 地域コミュニティの拠点となる集会所の修繕等に補助金を交付

(5) 地区案内板撤去

(6) 回覧・配布等で行政に関する情報を区会内へ周知

【事業の成果及び効果】

(1)(2) 各区会、区会連合会等の連携や区会間の交流、活性化が図られた。

(3) メインテーマ・サブテーマを決めて市長・区長の懇談会を開催し、活発な意見が交わされた。

(4) 集会所建設等補助金を交付し地域活動の活性化が図られた。

つくば市地区集会所建築等補助金交付要綱に基づき改築1件、修繕34件で20,107千円の補助金を交付した。

- (5) 緊急雇用促進事業と本事業を併用し実施することにより、不用な案内板を迅速かつ計画的に撤去することができた。
- (6) 区会内での回覧・配布を年間22回実施し、地域コミュニティの活性化と市政運営への理解を図ることができた。

**事業名：女性施策推進に要する経費**

市民部 男女共同参画室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	10	18	本年	9,565				9,565	8,130	85.0	
				前年	9,565				9,565	8,066	84.3	
				比較						64		

【事業の目的】

男女共同参画の総合的推進を図るため

【事業の概要】

- (1) 男女共同参画審議会の設置  
委員数 20名, 任期 平成22年7月1日～平成24年6月30日
- (2) 男女共同参画指導員の配置  
男女共同参画社会の実現に向け、地域住民への意識啓発等の活動を行う。  
人数 1名(非常勤特別職), 任期 平成22年4月1日～平成23年3月31日
- (3) 平成22年度つくば男女共同参画会議「つくば男・女(みんな)のつどい2010」の開催
- (4) 平成22年度「男・女(ひとひと)セミナー」の開催
- (5) 「つくば市女性のための相談室」の実施  
目的 女性が自らの悩みの原因となる問題に気づき、自らの課題解決に向けて行動できるよう支援するため相談室事業を実施  
種類 電話相談, 一般相談, 心と生き方相談, 法律相談  
内容 夫婦・親子の問題, 生き方, 人間関係, DV(夫・パートナー等からの暴力)など, 女性が抱える様々な問題に応じる。
- (6) つくば市男女共同参画推進基本計画(つくばAPPLEプログラム2008～2012)の進行管理  
つくば市男女共同参画推進基本計画の各課等における推進状況の調査及び公表

【事業の成果及び効果】

- (1) 男女共同参画審議会の開催(開催状況 なし)
- (2) 男女共同参画指導員の配置  
活動状況 つくば男女共同参画会議及び男・女<sup>ひとひと</sup>セミナーの企画・運営, 男女共同参画室だよりの発行等の啓発活動
- (3) 平成22年度つくば男女共同参画会議「つくば男・女(みんな)のつどい2010」の開催  
日時 平成22年11月13日(土) 10:00～13:00  
場所 つくばカピオ  
テーマ 「格差社会と男女共同参画」  
内容 オープニング「歌とピアノ」の生演奏, 講演, 第5回つくば市男女共同参画推進標語「愛ことば」展示・表彰式, 産官民による活動報告及びパネル展示(23団体), こどもイベント等  
参加者数 400名  
効果 ・本会議の開催を通じて、市民や団体、事業者など参加者相互の情報交流及び男女共同参画意識の啓発を図る機会として、今年度も多くの参加を得ることができた。  
・男女共同参画推進標語には、全国から2,594点の応募があり、最優秀賞1名、優秀賞2名の表彰のほか、標語の展示も行った。  
・会議開催においては、実行委員会を中心に、市内の活動団体等のほか庁内関係課9課(人事課, 広報広聴課, こども課, 健康増進課, 農業課, 学務課, 生涯学習課, 国際課, 産業振興課)から参画・協力を得て、市民との協働による企画・運営を行った。

(4) 平成22年度「男・女(ひとひと)セミナー」の開催

期間 平成22年6月～23年2月 年14回

会場 市役所会議室外

実施状況

( )は内男性数

NO.	開催日	テ ー マ	参加者数
前期 1	6月18日	人間関係上達講座	41( 3)
2	6月25日	人間関係上達講座	41( 4)
3	7月 2日	人間関係上達講座	40( 4)
4	7月 9日	人間関係上達講座	40( 3)
5	6月19日 26日	和食の基本を学ぶ～自然食の懐石料理～【全2回】 ( 竹園公民館共催)	24(10)
後期 1	9月28日	再就職準備セミナー	19( 0)
2	11月27日	世界の友人と出会える筑波山麓めぐり ( 働く婦人の家共催)	22( 7)
3	11月28日	ダッチオープン講座 ( 二の宮公民館共催)	14( 6)
4	12月 4日	自分力UP講座～昭和を生きた女性から学ぶ～ ( 内閣府「地域における男女共同参画推進を支援するためのアドバイザー派遣事業」)	19( 3)
5	12月19日	宇宙は自由発想空間～二人でかなえた宇宙への夢～	106(36)
特別 1	1月30日	目指せ！料理男子・女子	28(11)
2	2月 8日	再就職活動応援講座 再就職に向けて～女性起業家の取り組みと多様な働き方～	21( 2)
3	2月15日	再就職活動応援講座 応募書類の書き方	17( 4)
4	2月22日	再就職活動応援講座 楽しいビジネスマナー	21( 2)
合 計			453(95)

効果 ・今年度は、コミュニケーションスキルやキャリアアップなど、【前期5回、後期5回、特別4回】の年14回のセミナーを開催し、延べ453人(うち男性95人、21%)が受講した。  
・セミナーの開催にあたっては、公民館や働く婦人の家との共催のほか、内閣府「地域における男女共同参画促進を支援するためのアドバイザー派遣事業」も活用して実施した。

(5) つくば市女性のための相談室の実施

内容・件数

内 容	形態	実施日	時 間	相 談 員	件数
電話相談	電話	第1～第4月曜	10時～16時	女性のための相談員	174件
一般相談	面接	第1～第4火曜	10時～16時	女性のための相談員	140件
心と生き方相談	面接	第1～第4水曜	10時～16時	カウンセラー	176件
法律相談	面接	第2・第3木曜	13時半～15時半	弁護士	56件
合 計					546件

研修及び事例検討会

研修会 11月30日 第1回相談員研修会( 内閣府「DV被害者支援アドバイザー派遣事業」  
「グループスーパービジョン(DV問題)」

1月31日 第2回相談員研修会  
「グループスーパービジョン(困難対応事例)」

効果 ・相談することで、相談者自身が抱えている問題の原因に気づき、自立に向けた準備や自分自身と向き合う機会になるなど、問題の解決に向けて一定程度の成果はある

ものと認識している。

引き続き、広報紙やHP、区会回覧等で相談窓口の周知を行い、相談者に効果的な事業実施に努める。

(6) つくば市男女共同参画推進基本計画(つくばAPPLEプログラム2008～2012)

平成21年度の各課等における推進基本計画の進捗状況調査の実施

調査期間 平成22年4月12日～4月23日

事業数 109事業

**事業名：国際化の推進に要する経費**

(市民部 国際課)  
市民部 国際・文化課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	10	19	本年	24,323		2,433		21,890	19,408	88.7	
				前年	18,277		1,006		19,283	17,181	89.1	
				比較	6,046		3,439		2,607	2,227		

【事業の目的】

多言語による広報紙の発行、国際交流員の配置による庁舎内での多言語による行政サービスを充実させ、多文化共生社会の形成を推進するため。また、姉妹・友好都市等との交流を通じて、国際理解を促進するとともに、つくば都市振興財団(つくば市国際交流協会)への補助などを通じ、国際化施策の推進を図るため

【事業の概要】

- (1) 6カ国語広報紙の発行(留学生交流員事業)  
6カ国語(英語・中国語・韓国語・タイ語・ポルトガル語・スペイン語)による外国人向け広報紙を毎月1回発行している。編集・発行作業は「留学生交流員」として市が委嘱した外国人留学生が担当している。
- (2) 国際交流員の配置  
外国人住民への対応のため、国際交流員(英語・中国語各1名)を国際課内に配置し、庁舎内での通訳サポートや各種手続きの対応に協力している。
- (3) 姉妹・友好都市等との交流  
姉妹・友好都市やその他都市との交流及び訪問団を受け入れている。
- (4) つくば都市振興財団(つくば市国際交流協会)への補助  
補助金の交付
- (5) つくば市国際化基本指針の策定  
つくば市が今後取り組むべき国際化施策の中期的なガイドラインを策定する。

【事業の成果及び効果】

- (1) 6カ国語広報紙の発行(留学生交流員事業)  
6カ国語の外国人広報紙を毎月1回発行し、市内の公共・公益施設などに配布し、各種情報の提供を行って、行政サービスの向上推進に大きく寄与している。  
発行部数 3,050部(6カ国語の合計/月による変動あり)  
英語:1,010部、中国語:680部、韓国語:430部、タイ語:250部、  
ポルトガル語:420部、スペイン語:260部
- (2) 国際交流員の配置  
国際交流員の2名の配置は、庁舎内での通訳サポートや各種手続きの協力をしており、行政サービスの向上推進に大きく寄与している。
- (3) 姉妹・友好都市等との交流  
交流事業では、友好都市である深圳市との間で、行政間及び議会間の交流を実施した。また、中国の深圳市訪日団(7名)、深圳市行政サービス研修(7名)やその他多数の訪問団を受け入れた。本市の国際化の推進が図られ、多文化共生社会の形成に向けてその基礎を固めつつある。
- (4) つくば都市振興財団(つくば市国際交流協会)への補助

つくば市国際交流協会に、外国人住民への支援事業や国籍を超えた住民間交流の促進のための事業へ補助金を支出している。その他には、各種イベントへの協力を実施することにより、日本人住民と外国人住民との交流が促進され、お互いが異文化を理解する一助となった。

(5) つくば市国際化基本指針の策定

本指針の策定にあたり、学識経験者や国際交流事業経験者等で構成する「国際都市つくばを考える懇話会」を4回開催し、パブリックコメントを実施した。

本指針を策定したことにより、「多文化共生社会」の形成と「科学技術の国際戦略拠点」の構築を大きな目標として、総合的な国際化施策の推進が期待できる。

事業名：つくば市外国人のための相談室事業に要する経費 (市民部 国際課)  
市民部 国際・文化課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	10	20	本年	3,890				3,890	2,973	76.4	
				前年	3,704				3,704	3,021	81.6	
				比較	186				186	48		

【事業の目的】

市内在住の外国人を対象に、自国とは異なる環境での生活から生じる疑問、悩み、困りごとについて、それらを解決するための情報・助言を提供するための相談室を開設し、外国人住民の生活上の不自由・不便さを軽減させるため

【事業の概要】

在留資格、出入国、婚姻、税金、教育など、生活全般について、電話や窓口面談により相談を受ける。対応言語は、英語、中国語、韓国語、タイ語、日本語の5か国語。相談には、市が委嘱した「外国人生活相談員」が対応し、必要に応じ生活相談員による通訳のもと、弁護士資格をもつ「外国人法律相談員」による助言を行う。

< 相談室の概要 >

毎週火曜日(祝日・年末年始を除く): 英語・タイ語・日本語

毎週水曜日(祝日・年末年始を除く): 中国語・韓国語・日本語

相談時間: 10時から12時及び13時から16時45分

【事業の成果及び効果】

在留資格、出入国、婚姻、税金、教育など、生活全般についての相談に対応し、適切な指導・助言を行うことによって、外国人住民がつくば市で生活するうえでの不自由・不便さの軽減が図られた。

平成22年度の利用実績 通常相談: 114人延べ137件

法律相談: 0人延べ 0件

中国語: 35%, 英語: 28%, 日本語: 19%, タイ語: 11%, 韓国語: 7%

事業名：市民協働推進に要する経費

市民部 市民活動課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	10	21	本年	17,745		750		16,995	15,373	90.5	
				前年	14,849				14,849	13,351	89.9	
				比較	2,896		750		2,146	2,022		

【事業の目的】

市民協働を推進し、魅力と活力ある地域社会の発展を目指すとともに、市民活動センターを拠点としてNPOなど、社会貢献活動のための情報収集・提供、意見交換等の場を提供するほか、学習会や相談業務等を展開し、市民が行う社会貢献活動を支援し公益の増進に寄与するため

【事業の概要】

- (1) アイラブつくばまちづくり支援事業に関すること  
アイラブつくばまちづくり寄附基金と環境保全基金に積み立てられた寄附金を活用し、市民と行政がそれぞれの特性を生かしながら知恵と労力・資金を出し合い、個性豊かで活力あるまちづくりに自主的に取り組む活動を応援
- (2) 市民協働の推進に関すること  
各部の企画監を委員とし、庁内の横断的な連絡調整機能の強化を図るため市民協働連絡調整会議を開催
- (3) 市民活動センターの管理運営に関すること  
指定管理者制度の導入(平成22年度～平成24年度)によって管理運営(平成22年度に更新)

【事業の成果及び効果】

- (1) アイラブつくばまちづくり支援事業(補助制度)に関すること  
本制度を活用し多くの市民協働事業が提案され、アイラブつくばまちづくり推進委員会による公正・公平な審査(3回)が実施された。(11件の申請中、7件の事業採択)
- (2) 市民協働連絡調整会議に関すること  
全3回(6/23, 9/7, 2/2)開催し、市民協働事業の調整を行った。
- (3) 市民活動センターの管理運営に関すること  
年々利用者のサービス向上が図られている。  
市民活動団体の登録も増加した。(22団体の増加。計127団体)

	平成22年度	平成21年度	平成20年度
来館者総数	11,950 人	12,410 人	11,669 人
会議室利用件数	539件(4,348人)	561件(4,531人)	517件(4,162件)
講座開催回数	46件( 716人)	55件( 666人)	65件( 589件)

事業名：市民文化祭開催に要する経費

(市民部 生涯学習課)  
市民部 国際・文化課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	10	22	本年	10,635		763		9,872	9,126	92.4	
				前年	10,635		592		10,043	8,570	85.3	
				比較			171		171	556		

【事業の目的】

文化芸術活動を行っている個人及び団体に発表の場を提供することにより、自主的な活動を促進するとともに、市民が文化芸術への参加意欲を高めることを目指していくため

【事業の概要】

絵画及び書などの作品展示並びに舞踊及び歌謡などの芸能発表のほか、生活文化(茶会)や国民娯楽(囲碁・将棋)を通じた市民交流、各種文化活動の紹介、小中学校芸術展などを行う。

【事業の成果及び効果】

- (1) 市民文化祭開催(日時:11月6日,7日,会場:市内7会場)

- (2) 秋の恒例イベントとして20回目の開催となり、広く市民に定着している。
- (3) 参加者は、市民文化祭での出展または発表に向けて公民館等で自主的に活動を展開し、達成感や満足感を味わうことができた。
- (4) 来場者は、居住区近隣の会場において身近に芸術作品を鑑賞したり、文化活動を体験したりすることによって文化芸術への関心が高まるなど、つくば市全域における文化芸術の振興が図られた。
- (5) 小中学生が夏休みに取り組んだ絵画や書写の中から優秀な作品を展示する「小中学校芸術展」をつくばカピオにおいて同時開催しており、多くの親子連れの来場者でにぎわうとともに、それらの作品を鑑賞する場を設けることにより、児童・生徒の意欲や創造性を高めることができた。

	平成22年度	平成21年度
来場者数	25,931 人	22,961 人
参加団体数(人)	386団体(5,782人)	398団体(5,216人)

**事業名：交通安全指導推進に要する経費**

環境生活部 生活安全課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	11	11	本年	16,868				16,868	16,393	97.2	
				前年	17,359			40	17,319	16,435	94.9	
				比較	491			40	451	42		

【事業の目的】

交通事故の増加に伴い市民生活の社会的不安が増しており、市内各地域の現状に応じた交通安全運動を積極的に展開し交通事故を減少させるため交通マナーの効果的普及を進め、交通事故防止の推進を図るため

【事業の概要】

- (1) 交通安全キャンペーン
- (2) 交通安全教室の開催
- (3) 高齢者運転免許自主返納支援
- (4) 交通安全大会等への参加
- (5) 交通安全関係団体各種事業への参加

【事業の成果及び効果】

- (1) 交通安全運動期間(春・夏・秋・年末)に交通安全関係団体の協力を得てキャンペーンを実施し、交通事故防止を呼びかけた。
- (2) 交通安全教育指導員により、市内各小学校・中学校・幼稚園・保育所・高齢者等で交通安全教室を開催し、交通安全意識の向上に努めた。(166回実施, 対象者数: 17,676人)
- (3) 高齢者運転免許自主返納支援 59件

事業名：交通災害共済事業に要する経費

環境生活部 生活安全課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	11	12	本年	40				40	40	100.0	
				前年	40			40	80	80	100.0	
				比較				40	40	40		

【事業の目的】

交通事故により市民が災害を受けた場合の救済を目的とし、県民交通災害共済制度を活用し、市民生活の安定と福祉の向上を図るため

【事業の概要】

- (1) 県民交通災害共済加入事務
- (2) 県民交通災害共済見舞金請求受付事務

【事業の成果及び効果】

平成22年度県民交通災害共済加入者数 大人:4,682人 子供:506人 合計:5,188人

事業名：施設整備に要する経費

環境生活部 生活安全課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	11	13	本年	13,944		3,000		10,944	9,664	88.3	
				前年	13,886			13,886	13,831	99.6		
				比較	58		3,000	2,942	4,167			

【事業の目的】

交通事故発生を未然に防止し市民の安全を確保する。また、交通安全施設の整備充実を図るため

【事業の概要】

- (1) 交通安全施設の新設・修繕
- (2) 交通安全器材の購入
- (3) 交通危険箇所の調査

【事業の成果及び効果】

交通安全施設の整備を行った。また、安全点検のため市内を調査した。

カーブミラー新設	カーブミラー修繕	スクールゾーン新設	回転灯新設	回転灯修繕
64 基	182 箇所	9 箇所	1 基	21 箇所

事業名：違法駐車等の防止活動推進事業に要する経費

環境生活部 生活安全課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	11	14	本年	462				462	256	55.4	
				前年	588			588	435	74.0		
				比較	126			126	179			

【事業の目的】

市内中心部や幹線道路の多くに見られる違法駐車を無くし、交通渋滞の解消や交通事故防止を目的とし、災害発生時における緊急車両の通行を確保するなど、安全で快適な生活環境の整備を図るため

【事業の概要】

- (1) 違法駐車防止啓発活動
- (2) 違法駐車防止立て看板の設置

【事業の成果及び効果】

つくば駅における違法駐車防止啓発として、マナーアップ指導員を通して違法駐車防止のチラシを配布した。



事業名：防犯対策に要する経費

環境生活部 生活安全課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	12	11	本年	110,952		400		110,552	102,166	92.4	
				前年	108,928				108,928	102,685	94.3	
				比較	2,024		400		1,624	519		

【事業の目的】

防犯意識の啓発，計画的な防犯施設の整備等各種施策を推進し，市民が安全で安心してらせるまちづくりを行うため

【事業の概要】

- (1) 防犯灯の新設設置・修繕
- (2) 防犯運動の推進
- (3) 防犯サポーターによる防犯パトロール，広報活動
- (4) 自警団への防犯パトロール用ベストの支給
- (5) 住宅防犯診断

【事業の成果及び効果】

- (1) 防犯灯新設設置 260基
- (2) 防犯灯電気料金及び修繕料の各自治会への補助
- (3) 防犯サポーター活動

パトロール活動	広報活動	防犯診断	環境浄化活動
延べ34,199 か所	延べ20,533 回	延べ11,583 台	25 か所

- (4) 自警団への防犯パトロール用ベスト支給 159着
- (5) 住宅防犯診断実施 3件

事業名：ノバホール維持管理に要する経費

(市民部 生涯学習課)  
市民部 国際・文化課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	13	11	本年	103,514	31,721	6047		141,282	137,505	97.3	
				前年	78,241		34,136	9,975	122,352	88,740	72.5	31,721
				比較	25,273	31,721	28,089	9,975	18,930	48,765		31,721

【事業の目的】

ノバホールを適正に管理するため

【事業の概要】

- (1) ノバホール維持管理事業(ノバホール指定管理事業)  
ノバホールの施設管理は，平成18年度から指定管理者制度を導入し，(財)つくば都市振興財団を指定管理者として管理運営を行っている。
- (2) ノバホール施設修繕事業  
ノバホール内において発生する各種設備や施設の小規模修繕について，予算の範囲内で継続修繕する。

【事業の成果及び効果】

- (1) ノバホール維持管理事業  
市民サービスを向上(貸出可能日の増加・受付時間の延長等)させつつ業務を毎年継続実施し，利用料収入を増加させるとともに，効率的な運営により制度導入前と比較し，維持管理経費の削減を図ることができた。また，継続的に施設の通常修繕を実施し，館内設備の機能保全を図るだけでなく施設利用者のニーズにも応えることができた。

平成22年度貸出実績

	開館日数	利用可能件数	利用件数	利用率	入場者
ホール	282 日	842 回	504 回	59.8 %	85,390 人
小ホール	199 日	595 回	115 回	19.3 %	5,008 人

(2) ノバホール施設修繕事業(平成22年度修繕実績)

小規模修繕

無線LAN設備等修繕, 照明操作卓・調光器盤内リレー修繕, 小ホール吸音パネル設置, エントランスドア修繕, 楽屋モニター修繕工事, 消防設備修繕小ホールステージ音響改善, 楽屋内装修繕, ホールドアヒンジ修繕, 外壁面サイン修繕, ホールモニター用カメラ更新

ノバホール控室等増設工事

平成21年度からの継続で国のまちづくり交付金を活用し, ノバホールの慢性的な控室不足の解消や小規模公演の実施等の多様な利用形態に供するため, サイエンスインフォメーションセンター1階を改修し, 控室2室および練習室兼小ホールの増設を行い, ピアノ発表会やミニオペラコンサートなどの単独利用も行われるようになった。今後も備品や設備の充実を図り, より一層の利用率向上に努めていく。

ノバホールフロアカーペット改修工事

1~3階に敷設してあるフロアカーペットは建設時以来のものであり, 長年の使用により汚れの蓄積や磨耗の進展により下地が露出するなど経年劣化が顕著であったため, フロアカーペットの改修工事を実施し, 機能回復と美観の向上を図った。

ノバホール非常用発電設備修繕工事

ノバホールに設置してある非常用発電設備は, 火災等により停電となった際にディーゼルエンジンにより発電機を駆動し, 避難用誘導灯を点灯させるものであるが, 非常用発電機本体及びエンジン冷却装置の経年劣化が進み, 非常時に作動しない又は十分な性能が得られない恐れがあることから, 発電設備のオーバーホール及びエンジン冷却系統の修繕を行った。

事業名：つくばカピオ維持管理に要する経費

(市民部 生涯学習課)  
市民部 国際・文化課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	01	14	11	本年	251,461				251,461	249,563	99.2	
				前年	335,562		16,356	9,975	309,231	304,216	98.4	
				比較	84,101		16,356	9,975	57,770	54,653		

【事業の目的】

つくばカピオ(市民交流センター)を適正に管理するため

【事業の概要】

(1) つくばカピオ維持管理事業(つくばカピオ指定管理事業)

つくばカピオの施設管理は, 平成18年度から指定管理者制度を導入し, (財)つくば都市振興財団を指定管理者として管理運営を行っている。

(2) つくばカピオ施設修繕事業

経年劣化に伴う施設の不具合やシステムの古さが顕著化しているため, 設備や施設について, 予算の範囲内で継続的に修繕を実施している。

【事業の成果及び効果】

(1) つくばカピオ維持管理事業

貸出可能日の増加や受付間の延長など市民サービスを向上しつつ, 利用料収入を増加させるなど, 指定管理者制度導入前と比較して, 効率的な運営, 維持管理経費の削減, 市民満足度の向上を図ることができた。

また, 継続的に施設の通常修繕を実施することによって, 館内設備の機能保全を図るだけでなく

施設利用者のニーズにも応えることができた。

平成22年度施設貸出実績

	開館日数	利用可能件数	利用件数	利用率	利用者数
アリーナ	290 日	1,742 回	1,492 回	85.6 %	143,452 人
ホール	282 日	850 回	517 回	60.8 %	34,321 人
会議室(3室平均)	300 日	6,955 回	4,667 回	67.3 %	4,772 人
リフレッシュルーム	300 日	897 回	707 回	78.8 %	9,143 人
リハーサル室(2室平均)	300 日	895 回	660 回	73.7 %	7,375 人
和室(2室平均)	300 日	7,353 回	3,592 回	48.8 %	2,975 人

(2) つくばカピオ施設修繕事業

経年劣化に伴う施設の不具合やシステムの古さが顕著化しているため、設備や施設について、予算の範囲内で継続的に修繕を実施している。

<平成22年度修繕実績>

クーリングタワー薬注装置修繕, 機械室扉修繕, 空調機器修繕, 機械室手摺修繕, 引割緞帳ワイヤーロープ・シーブ交換, 空調機インバーター修繕, 防火排煙設備修繕, 外階段塗装工事, 温水循環ポンプ修繕, リハーサル室壁面鏡補修

事業名：地域交流センター開設準備に要する経費

市民部 生涯学習課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額	
03	01	15	11	本年			2,405		2,405	2,386	99.2		
				前年									
				比較			2,405		2,408	2,386	99.2		

【事業の目的】

市内全公民館(17館)を地域交流センターへと移行させるため

【事業の概要】

- (1) 納入された施設使用料金の出納を記録するレジスター及び納入金を保管するため,金庫を揃える。
- (2) 公民館から地域交流センターへと名称変更に伴う看板換えを行う。

【事業の成果及び効果】

- (1) 消耗品費: 金庫の購入 100,800円(12館分)  
備品購入費: レジスターの購入 376,740円(12館分)
- (2) 工事請負費: 看板換え 1,249,500円(16館分)  
負担金: 吾妻交流センター案内板設置工事負担金 658,560円(1館分)

事業名：児童福祉対策に要する経費

保健福祉部 こども課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
03	02	01	11	本年	1,435		374		1,809	875	48.4	
				前年	1,242		370		1,612	507	31.5	
				比較	193		4		197	368		

【事業の目的】

母子家庭等の生活安定や自立促進を図ると共に、児童福祉の向上を図るため

【事業の概要】

- (1) 入院助産を受けることができない場合は助産施設への入所措置を行う。
- (2) 母子家庭世帯で生活困難や児童の養育が困難な場合、母子生活支援施設への入所措置を行う。

【事業の成果及び効果】

平成22年度は助産施設への措置入所は1名実施した。

事業名：児童扶養手当支給に要する経費

保健福祉部 こども課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	02	01	12	本年	595,037		1,205		596,242	595,447	99.9	
				前年	592,257		24,647		567,610	564,497	99.5	
				比較	2,780		25,852		28,632	30,950		

【事業の目的】

父母の離婚などで父又は母と生計を同じくしていない児童が健やかに成長するために、家庭の生活の安定・自立の促進に寄与するため

【事業の概要】

(1) 対象児童

国内に住所を有する18歳(障害者は20歳)までの父又は母と生計を同じくしていない児童

(2) 手当額

全部支給 (児童1人41,720円, 児童2人46,720円, 児童3人49,720円)

一部支給 (41,710円～9,850円)

【事業の成果及び効果】

支給対象者 1,376人 支給停止者 217人 支給額 592,665千円

手当を支給することにより、児童が育成されている家庭の生活の安定と福祉の増進が図れた。

事業名：子どもの遊び場設置事業に要する経費

保健福祉部 こども課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	02	01	13	本年	1,410				1,410	868	61.6	
				前年	639				639	522	81.7	
				比較	771				771	346		

【事業の目的】

子供に安全な遊び場を与え、心身の健全な発達に資するため

【事業の概要】

区会等が管理している遊び場の遊具の修繕及び遊具の新設に対して、事業費の2分の1を補助する。

補助上限額 新設 50万円 修繕 5万円

【事業の成果及び効果】

(1) 要望のあった区会 13区会に補助

(2) 件数 新設 5件, 修繕 9件

区会等が遊具の新設を行い地域児童の交流の場ができ子供たちの心身の健全な育成を図ることができた。また、遊具の修繕により、子供たちが安心して遊べる環境の確保ができた。

事業名：要保護児童対策に要する経費

保健福祉部 こども課子育て支援室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	02	01	14	本年	5,586				5,586	5,184	92.8	
				前年	5,278		968		4,310	4,260	98.8	
				比較	308		968		1,276	924		

【事業の目的】

家庭児童相談の充実と、関係機関の連携による要保護児童への適切な支援をするため

【事業の概要】

(1) 家庭児童相談室に家庭相談員を4名配置し、児童に関する様々な問題について相談指導を行う。

(2) 福祉、保健医療、教育、警察関係者から構成される「つくば市要保護児童対策地域協議会」を設置し、効果的な運営を行うことにより、要保護児童の早期発見と適切な支援を図る。

【事業の成果及び効果】

(1) 家庭児童相談室における受付相談件数

	平成22年度	平成21年度
新規	385 件	248 件
延べ	2,914 件	2,041 件

年々増加・多様化する家庭児童相談に、関係機関と連携を取りながら、効果的な支援が行えるように対応した。

(2) つくば市要保護児童対策地域協議会の開催件数

	平成22年度	平成21年度
代表者会議	1回	1回
実務者会議	4回	4回
個別ケース検討会議	30回	20回

定期的また必要に応じて会議を開催することにより関係機関の連携を深めて、適切な支援を図った。

**事業名：次世代育成支援対策推進に要する経費**

**保健福祉部 こども課子育て支援室**

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	02	01	15	本年	9,690		4,425	399	13,716	12,972	94.6	
				前年	13,273	205	2,803		16,281	14,954	91.8	
				比較	3,583	205	1,622	399	2,565	1,982		

【事業の目的】

急速な少子化の進行等を踏まえ、次世代の社会を担う子どもが健やかに生まれ、かつ育成される環境の整備を図るため

【事業の概要】

- (1) 「つくば市次世代育成支援対策行動計画」に基づいて、各種事業の進行管理をする。関係部署や子育て支援団体と連携を図りながら、子育て支援施策の推進に取り組む。
- (2) 地域における子育ての相互援助活動である「子育てサポートサービス事業」を実施する。(つくば市社会福祉協議会に委託)
- (3) 一時的に保護者が養育できない児童を、児童養護施設で養育する「子育て支援短期養育事業」を実施する。(茨城県道心園に委託)
- (4) 幼児2人同乗用自転車の購入者に対して上限4万円を限度に補助を行う。

【事業の成果及び効果】

- (1) 計画の適正な進行管理を図り、子育て支援施策の推進に努めた。

つくば市次世代育成支援対策推進本部の開催 2回

つくば市次世代育成支援対策懇談会の開催 1回

- (2) 子育てサポートサービス事業

子育て家庭を支える相互扶助のサービスとして、会員の拡大や緊急対応の充実を図った。

	平成22年度	平成21年度
会員数	1,604 人	1,514 人
活動回数	4,792 回	4,860 回

- (3) 子育て支援短期養育事業

一時的に保護者が養育できない児童を児童養護施設で養育することにより、児童の安全な生活環境を整えることができた。

	平成22年度	平成21年度
利用延べ人数	5 人	11 人
利用延べ日数	40 日	43 日

## (4) 幼児2人同乗用自転車購入費補助

補助件数 平成22年度 48件 平成21年度 24件

子育て家庭の経済的負担の軽減及び交通の安全確保を図った。

## 事業名：コミュニティづくり推進に要する経費

保健福祉部 こども課子育て支援室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	02	01	16	本年	1,035		10,753	395	11,393	6,992	61.4	
				前年	793				793	460	58.0	
				比較	242		10,753	395	10,600	6,532		

## 【事業の目的】

安心・安全な子育てしやすい環境を整備していくために、すべての市民を対象に、子育てしやすいまちづくりに対する機運の醸成及び環境整備を図るため

## 【事業の概要】

- (1) 大穂地区子育て応援「くすのき会」の活動支援
- (2) 中学生と高校生を対象にした子育て体験講座の実施
- (3) つくば市あかちゃんの駅事業の実施
- (4) 仕事と子育ての両立支援推進のための事業の実施

## 【事業の成果及び効果】

- (1) 大穂地区子育て応援「くすのき会」の活動支援  
あいさつ・声かけ運動 原則毎月1回実施  
大穂地区の小中学生交流会の実施 1回  
大穂地区絵画コンクールの実施 1回  
様々な活動を通して、小学生と中学生、地域の方々、学校の枠を越えた保護者の交流、団体間の交流などが図れ、「子育て」を核に地域をつなぐことの一助となった。
- (2) 中学生と高校生を対象にした子育て体験講座の実施 参加者数 13人  
次代の親となる中高生に、子育てへの理解促進を図った。
- (3) つくば市あかちゃんの駅事業の実施  
登録施設数 38箇所  
事業者と行政が協力して、子育て家庭が外出中に授乳やオムツ替えで立ち寄ることができる施設を「あかちゃんの駅」として登録することにより、子育て家庭が外出しやすい環境を整えた。
- (4) 仕事と子育ての両立支援推進のためのプログラム策定  
仕事と子育ての両立支援推進のための普及広報用パンフレット作成 6,000部

## 事業名：子育て支援情報システムに要する経費

保健福祉部 こども課子育て支援室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	02	01	17	本年	2,872		4,394	165	7,101	5,994	84.4	
				前年	2,736				2,736	2,598	95.0	
				比較	136		4,394	165	4,365	3,396		

## 【事業の目的】

子育てしやすい環境整備の一環として、子どもや子育てに関する情報を一元的に発信し、求められる情報が的確に届くよう、充実を図るため

## 【事業の概要】

- (1) 子育てに関する情報を分かりやすく提供するために、「つくば市子育て支援情報システム」の情報管理
- (2) 紙ベースでの情報提供を充実させるため、「つくば子育てべんり帳2011(総合編・医療編・おでかけ編)」の編集及び作成

## 【事業の成果及び効果】

多くの子育て家庭に対して、子育てサービスに関する情報提供をすることができ、子育て環境の整備の一助となった。

- (1) 子育て支援情報システムアクセス数 約172万アクセス(前年度約141万アクセス)  
 (2) 「つくば子育てべんり帳2010」の配布数 約4,000冊

**事業名：地域子育て支援拠点事業に要する経費** **保健福祉部 こども課子育て支援室**

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	02	01	18	本年	37,234		2,000	527	38,707	37,375	96.6	
				前年	36,420				36,420	34,511	94.8	
				比較	814		2,000	527	2,287	2,864		

【事業の目的】

地域において子育て親子の交流等を促進する子育て支援拠点の設置を推進することにより、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを促進するため

【事業の概要】

- (1) 地域子育て支援拠点を開設  
 子育て親子の交流促進、相談・援助の実施、子育て関連情報の提供、講習等の実施  
 (2) 拠点担当者による定期的な連絡会の開催による事業への取り組み

【事業の成果及び効果】

- (1) センター型3箇所(けやき広場、かつらぎ保育園、さくら学園保育園)、ひろば型2箇所(わかば保育園、NPO法人ままとーん)で、地域子育て支援拠点を開設し、子育て親子の交流促進、相談・援助の実施、子育て関連情報の提供、講習等を実施した。  
 (2) 拠点担当者による定期的な連絡会を開催して、連携を深めながら事業に取り組んだ。これにより「出張子育て広場」や、「つくばウェルカムパーティ」、「つくば子育てフェスティバル」を実施した。身近な地域において、子育て親子への支援を図ることができた。

	平成22年度	平成21年度
地域子育て支援拠点利用者数(5箇所合計)	66,194人	64,024人
つくばウェルカムパーティ来場者数	158人	193人
つくば子育てフェスティバル来場者数	394人	217人

**事業名：(仮称)子育て総合支援センター建設事業に要する経費**

**保健福祉部 こども課子育て支援室**

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	02	01	19	本年	400	171,409	945	1,487	174,241	136,670	78.4	
				前年			185,033		185,033	13,624	7.4	171,409
				比較	400	171,409	184,088	1,487	10,792	123,046		171,409

【事業の目的】

安心して生み、育てることができるまちづくりを推進するために、子育て支援サービスの中核となる拠点として、また、子育て支援者の養成など、市全体の子育て支援の質の向上に寄与する施設を建設するため

【事業の概要】

子どもや子育て家庭をはじめすべての人が安心して利用できるように、安全面、衛生面に配慮した施設とする。また、環境等にも配慮して、快適な空間を創設する。  
 建設敷地：つくば市金田1979番地外(敷地面積3,238.58㎡)  
 建物延床面積：617.60㎡  
 構造：鉄骨、平屋造

【事業の成果及び効果】

子育て総合支援センターの建設事業を実施し、予定通り平成22年11月に竣工した。

事業名：児童手当・子ども手当支給に要する経費

保健福祉部 こども課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
03	02	02	11	本年	4,694,351	2,500	390,840		4,306,011	4,274,214	99.3	
				前年	1,525,779		34,003		1,559,782	1,551,352	99.5	2,500
				比較	3,168,572	2,500	424,843		2,746,229	2,722,862		2,500

【事業の目的】

次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを社会全体で支援するため

【事業の概要】

- (1) 支給対象者 子どもを養育する父母等
- (2) 支給対象児童 0才から中学校修了までの児童
- (3) 支給額 子ども一人につき月額13,000円
- (4) 支払時期 年3回(6月, 10月, 2月)

【事業の成果及び効果】

- (1) 支給者数 19,979人
  - (2) 支給児童数 31,820人
  - (3) 支給額 4,259,950千円
- 次代の社会を担う児童の健全な育成が図れた。

事業名：母子家庭等児童福祉金支給に要する経費

保健福祉部 こども課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
03	02	03	11	本年	71,659				71,659	66,816	93.2	
				前年	68,840				68,840	65,310	94.9	
				比較	2,819				2,819	1,506		

【事業の目的】

父母の離婚などで、両親またはその一方に養育されず、かつ生計を同じくしていない児童を養育している母子家庭や父子家庭及び児童の養育者に対し、児童福祉金を支給し経済的支援を図るため

【事業の概要】

- (1) 対象児童 市内に住所を有する義務教育終了前(15歳)までの児童
- (2) 支給額 1人あたり年額30,000円 (年度途中の申請者は月額2,500円)

【事業の成果及び効果】

- (1) 支給世帯 1,749世帯
  - (2) 支給額 66,650千円
- 15歳(中学生)までの児童を養育している母子家庭や父子家庭・養育者家庭に対し、福祉金を支給することにより、経済的な支援が図れた。



事業名： 保育所運営に要する経費

保健福祉部 こども課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
03	02	04	11	本年	693,250		34,454	423	728,127	708,328	97.3	
				前年	689,761		10,526		700,287	674,168	96.3	
				比較	3,489		23,928	423	27,840	34,160		
【事業の目的】 施設運営を円滑に進め、要保育児童の福祉の向上を図るため												
【事業の概要】 乳児・幼児の一人ひとりに応じた給食やおやつを提供しながら、日々の保育を実施している公立23保育所の運営費である。												
【事業の成果及び効果】 (1) 市内公立保育所3月末現在入所児童数 1,910人。市外からの受託児童数 20人。 (2) 保護者の就労形態の多様化により、保育が必要となった児童を保育所に入所させることにより、児童の福祉の向上が図れた。 (3) 保育所運営に必要な職員配置等を行うことで、児童の安全の確保や保育内容の充実が図れた。 (4) 保育料徴収率の向上に努めた。 (参考)市立保育所にかかる経費												
					予算科目	事業名	支出済額					
					03-02-04-05	職員給与関係経費	1,495,639千円					
					03-02-04-11	保育所運営に要する経費	708,328千円					
					03-02-04-13	保育所管理に要する経費	165,179千円					
					合 計		2,369,146千円					

事業名： 民間保育所運営助成に要する経費

保健福祉部 こども課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
03	02	04	12	本年	2,218,316		51,470	2,027	2,271,813	2,196,096	96.7	
				前年	1,735,984		141,341		1,877,325	1,764,233	94.0	
				比較	482,332		89,871	2,027	394,488	431,863		
【事業の目的】 民間保育所等における運営委託及び助成を行い、児童福祉の向上を図るため												
【事業の概要】 子育てにおける負担の軽減や仕事と子育ての両立支援等、安心して子育てができる環境作りを総合的に推進するために、市内民間保育園(15園)へ保育業務を委託し、各種事業補助として事業の円滑な実施を図るために補助金を交付する。												
【事業の成果及び効果】 (1) 市内民間保育所3月末現在入所児童数 1,842人 市外からの受託児童数 27人 (2) 市外保育所への3月末現在委託保育所は34施設で、児童数 66人 (3) 保護者の就労形態の多様化により、入所申込み件数が年々増加している。これに伴い、認可民間保育園2施設(145人定員の増)を創設、また定員の拡充を4施設(165人の増)で実施し、中心地区等の待機児童の解消に努めた。 (4) 延長保育事業・一時預かり事業・病後児保育事業等各種事業を実施する保育所に対し補助金を交付し、事業の円滑な実施および保育サービスの充実を図ることができた。												

事業名： 保育所管理に要する経費

保健福祉部 こども課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
03	02	04	13	本年	162,400		4,805		167,205	165,179	98.8	
				前年	139,180				139,180	133,588	96.0	
				比較	23,220		4,805		28,025	31,591		
【事業の目的】 保育施設を適正に管理するため												
【事業の概要】 公立23保育所の光熱水費・施設管理委託料及び修繕工事等												
【事業の成果及び効果】 保育施設の修繕等を行うことにより、保育所入所児童の保育環境の改善を図ることができた。 < 主な修繕等 > 手代木南保育所他床修繕工事 手代木南保育所 1,050,000円、真瀬保育所 94,500円 竹園保育所外部污水管修繕工事 1,228,500円 城山保育所トイレ修繕工事 435,750円 並木保育所耐震診断業務委託 4,435,725円 保育所施設定期点検業務委託 1,499,400円												

事業名： 児童館運営に要する経費

保健福祉部 こども課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
03	02	05	11	本年	90,926		3,600	736	88,062	81,679	92.8	
				前年	79,539		7,196		86,735	80,455	92.8	
				比較	11,387		10,796	736	1,327	1,224		
【事業の目的】 児童の健全育成に資すること及び地域組織活動等の子育て支援団体の育成助長を図るため												
【事業の概要】 地域の子育て支援の拠点として、市内18児童館(内1館は指定管理者制度実施)において、児童の遊びの指導及び子育て支援事業等を実施するほか、地域組織活動等の子育て支援団体を助成し、児童の健全育成を図る。												
【事業の成果及び効果】 児童の健全育成及び地域組織活動の育成助長が図られた。 地域活動組織 17クラブ 総来館者数 428,927人(1館あたり23,829人) 1日平均 1,695.3人(1館あたり 94.2人)												

事業名：放課後児童対策に要する経費

保健福祉部 こども課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	02	05	12	本年	172,494		1,936	736	169,822	159,717	94.0	
				前年	140,475				140,475	135,311	96.3	
				比較	32,019		1,936	736	29,347	24,406		

【事業の目的】

保護者の就労等により、放課後保護者から保育を受けられない概ね小学校1年生から3年生を対象に、放課後の生活の場を提供し、児童の健全育成を図るため

【事業の概要】

(1) 放課後児童クラブ活動

児童館で運営する児童クラブ、市が運営委託を行い児童クラブ専有施設・学校の余裕教室等の公共施設を利用して保護者会が運営する児童クラブ、及び民間幼稚園等で自らの施設を利用して運営する児童クラブがあり、おおむね10人以上で組織されている。

(2) 放課後児童指導員

児童の安心・安全な居場所を確保するため、放課後指導員を配置し生活指導等を行う。

(3) 放課後児童クラブ施設の整備

児童クラブ員の生活環境改善及び児童の安心・安全な居場所を確保するため、児童クラブ専有施設建設を行う。

【事業の成果及び効果】

児童館児童クラブ 17ヶ所 817人

市委託児童クラブ 19ヶ所 685人

荃崎第一児童クラブ専有施設建設により、児童クラブ員の生活環境の改善が図られた。

事業名：児童館管理に要する経費

保健福祉部 こども課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	02	05	13	本年	44,399		9,427		53,826	50,389	93.6	
				前年	43,522				43,522	40,052	92.0	
				比較	877		9,427		10,304	10,337		

【事業の目的】

児童館施設の維持・管理を行い適正な施設を維持するため

【事業の概要】

市内の児童館18館の光熱水費及び修繕・維持管理

(大曾根児童館の光熱水費は指定管理委託料に含まれる。)

【事業の成果及び効果】

充実した児童健全育成活動のため、適切な施設維持管理に努めた。

< 主な修繕等 >

桜南児童館屋上防水改修工事

竹園東児童館屋上防水改修工事

児童館消防設備修繕工事

手代木南児童館図書室エアコン交換工事

並木児童館耐震診断業務委託

児童福祉施設定期点検業務委託

事業名：生活保護対策に要する経費

保健福祉部 社会福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	03	01	11	本年	1,606,858		3,903		1,610,761	1,563,694	97.1	
				前年	1,595,504		98,922		1,694,426	1,551,917	91.6	
				比較	11,354		95,019		83,665	11,777		

【事業の目的】

生活困窮者に対し、必要な保護を行い、最低限度の生活を保障するとともに、自立を助長するため

【事業の概要】

生活困窮者からの相談 生活保護申請 開始若しくは却下・取り下げ 開始の場合必要な援助及び指導

【事業の成果及び効果】

(1) 生活保護の動向

	平成22年度	平成21年度	平成20年度
申請件数	115 件	131 件	86 件
却下件数	4 件	1 件	0 件
取下件数	4 件	4 件	4 件
開始件数	107 件	126 件	82 件
廃止件数	86 件	76 件	75 件
被保護世帯	642 世帯	621 世帯	576 世帯
被保護人員	816 人	798 人	740 人
保護率	3.8 ‰	3.7 ‰	3.5 ‰

「被保護世帯」、「被保護人員」、「保護率」は、年度末現在の数値

(2) 生活保護費の動向

(単位:千円)

	平成22年度	平成21年度	平成20年度
生活扶助費	439,682	410,339	398,220
住宅扶助費	170,555	156,317	147,024
教育扶助費	6,021	5,074	4,473
医療扶助費	859,092	794,070	827,439
介護扶助費	58,873	65,859	73,257
出産扶助費	237	0	0
生業扶助費	2,336	2,624	1,676
葬祭扶助費	1,403	681	1,270
施設事務費	11,332	9,968	6,532
合計	1,549,531	1,444,932	1,459,891

事業名：災害救助に要する経費

保健福祉部 社会福祉課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
03	04	01	11	本年	500			140	640	640	100.0	
				前年	500				500	280	56.0	
				比較				140	140	360		

【事業の目的】

災害(火災・自然災害)を受けた市民又はその遺族に対し、見舞金又は弔慰金を支給することにより、被災者の自立の助長を図るため

【事業の概要】

火災及び床上浸水等により被害を受けた市民又は遺族に対し、その程度や世帯員数により見舞金等を支給する。

【事業の成果及び効果】

平成22年度は、20件の火災による被災者に見舞金を支給し、被災者の自立を助長した。

<実績>

年 度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
支給件数	20 件	8 件	6 件
支給金額	640,000 円	280,000 円	150,000 円

**事業名：地震災害救助に要する経費**

環境生活部 生活安全課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額	
03	04	01	12	本年				9,339	9,339	9,296	99.5		
				前年									
				比較				9,339	9,339	9,296			

【事業の目的】

地震災害による家屋や水道・電気等の被災市民や、公共交通網ストップによる帰宅難民者等への緊急的に避難所を開設するため。また、災害対策本部設置への緊急的な電話機を設置するため

【事業の概要】

- (1) 避難所用食料品、消耗品及び燃料費の購入
- (2) 避難所用仮設トイレ及び寝具の賃借及び設置
- (3) 災害対策本部用電話架設

【事業の成果及び効果】

- (1)(2) 避難した市民及び帰宅困難者に対し食料や寝具を配布することで、一時避難者に対する支援をすることができた。
- (3) 災害本部を立ち上げた直後から、災害用非常電話を設置することができたため、市民が利用していた施設の被災状況が比較的スムーズにとることができた。

**事業名：原発避難者救助に要する経費**

総務部 総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
03	04	01	13	本年				3,194	3,194	3,083	96.5	
				前年								
				比較				3,194	3,194	3,083		

【事業の目的】

福島第一原発事故による原発避難者の受入れに伴う、県設置の避難所を引継ぎ適正な運営を行うため

【事業の概要】

- (1) 避難所用食料品、消耗品及び燃料費の購入
- (2) 避難者への入浴施設の提供(ウェルネスパーク及び老人福祉センター)
- (3) 避難所用仮設炊事場設置

【事業の成果及び効果】

茨城県との連携やボランティアスタッフの統制などの総合調整により、24時間体制の避難所を維持運営した。最大受入時554名(国際会議場222名、洞峰公園332名)の避難者に食事や日用品を提供するとともに保健師による健康管理を行うほか、生活情報の提供の支援を行い避難生活の安定支援を実施した。

事業名： 献血推進事務に要する経費

保健福祉部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	01	01	11	本年	420				420	420	100.0	
				前年	498				498	249	50.0	
				比較	78				78	171		

【事業の目的】

市内研究機関・企業等への献血の推進とともに、献血への普及啓発活動に努めるため

【事業の概要】

- (1) 市内研究機関・企業等を訪問し、移動採血車による献血の協力依頼
- (2) 献血協力団体等への表彰推薦に係る事務
- (3) 献血への普及啓発、キャンペーンの実施

【事業の成果及び効果】

献血実績

(単位:人)

年間実施日数	平成22年度 (延べ81日)	平成21年度 (延べ62日)	平成20年度 (延べ57日)
200ml	876	629	566
400ml	3,018	2,185	2,243
合計	3,894	2,814	2,809

事業名： 休日緊急医療に要する経費

保健福祉部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	01	01	12	本年	44,963		9,398		35,565	35,374	99.5	
				前年	45,142				45,142	44,940	99.6	
				比較	179		9,398		9,577	9,566		

【事業の目的】

休日又は夜間における地域住民の医療確保をするため

【事業の概要】

- (1) 休日緊急診療事業  
休日緊急診療業務をつくば市医師会に委託し在宅当番医により休日緊急診療を実施
- (2) 休日緊急歯科診療  
休日緊急歯科診療業務をつくば市歯科医師会に委託し在宅当番医によりお盆、年末年始の緊急歯科診療を実施
- (3) 病院群輪番制事業  
休日・夜間における入院治療を必要とする重症患者の医療確保のため、つくば市内の病院が輪番制により実施

【事業の成果及び効果】

(1) 休日緊急診療

延べ医療機関数 147医療機関

当番日数	診療患者数	診療内訳			
		内科	外科	小児科	その他
71日	4,564人	2,578人	476人	1,232人	278人

(2) 休日緊急歯科診療(お盆・年末年始)

延べ医療機関数 20医療機関

当番日数	診療患者数
10日	162人

## (3) 病院群輪番制

## 患者内訳

(単位:人)

区 分		計	内 科	小児科	外 科	整形外科	その他
患者延数	入 院	1,343	299	199	67	23	755
	外 来	11,636	1,713	3,664	657	408	5,194
	計	12,979	2,012	3,863	724	431	5,949

## 来院・方法別内訳

(単位:人)

区 分	初期救急医療施設からの転送			そ の 他			計
	救急車	その他	計	救急車	その他	計	
入 院	127	113	240	506	597	1,103	1,343
外 来	19	164	183	688	10,759	11,447	11,630
計	146	277	423	1,194	11,356	12,550	12,973

## 事業名：健康増進に要する経費

保健福祉部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
04	01	01	13	本年	11,194				11,194	9,002	80.4	
				前年	5,581		19,733		25,314	20,661	81.6	
				比較	5,613		19,733		14,120	11,659		

## 【事業の目的】

保健・医療に係る各種団体への負担金交付，感染症の予防及び感染患者に対する医療に関する法律に基づき，感染症の予防及び蔓延防止を図るため

## 【事業の概要】

- (1) 健康増進計画「健康つくば21」(案)を策定し，パブリックコメントを実施し計画を完成させる。
- (2) 負担金交付に係る事務
- (3) 食育推進ネットワーク会議(庁内会議)を開催し，つくば市食育推進計画を実行する。

## 【事業の成果及び効果】

- (1) つくば市健康づくり推進協議会を4回開催し，健康増進計画「健康つくば21」(案)を策定した。  
また，パブリックコメントを実施し，7人から35件の意見が寄せられた。それらの意見を踏まえ，計画案を一部修正し，計画を完成させ，冊子及びダイジェスト版を印刷製本した。
- (2) 負担金交付 団体数:5団体 支出額:1,161千円
- (3) つくば市食育推進計画に基づき，22年度のテーマである「たいせつな1日のスタート，朝ごはんをたべましょう」をスローガンに，児童・生徒への啓発活動を行うなど，食育推進を図った。

事業名： 予防接種事業に要する経費

保健福祉部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	01	02	11	本年	296,807		97,347		394,154	306,845	77.8	
				前年	211,259		163,159		374,418	212,112	56.7	
				比較	85,548		65,812		19,736	94,733		

【事業の目的】

予防接種法に基づき、定期の予防接種を実施し、また、任意接種の予防接種についても助成を行い感染症の予防を図るため

【事業の概要】

(1) 乳幼児の予防接種

集団接種：ポリオ（桜・谷田部・大穂の保健センターで実施。年間45回開催）

個別接種：BCG、三種混合、二種混合、麻しん風しん、日本脳炎

つくば市医師会に委託及び契約医療機関での個別接種

要注意者紹介制度

接種する上で注意を要する方に、専門的な医療機関を紹介することで、より安全な予防接種ができる。（契約医療機関：茨城県立こども病院、総合病院土浦協同病院、筑波大学附属病院、筑波メディカルセンター病院、取手協同病院）

(2) 小中学校予防接種（小中学校を会場に集団接種）

二種混合：小学6年生（11歳～13歳未満）

麻しん風しん3期：中学1年生に相当する年齢の方

私立中は個別接種または保健センターで集団接種

麻しん風しん4期：高校3年生に相当する年齢の方

個別接種または保健センターで集団接種

(3) 麻しんまん延防止対策

1期から4期（1歳～高校3年生）まで、それぞれの年齢に応じた高い接種率を維持することで麻しん風しんのまん延を防止する。

(4) インフルエンザ予防接種（医療機関委託）

予防接種を希望する65歳以上の方もしくは、60～64歳で心臓、腎臓または呼吸器機能に障害があり日常生活に極度の制限のある方に対する助成（県医師会委託）

生活保護世帯、市民税非課税世帯の方に対する助成（つくば市医師会委託）

(5) 子宮頸がん等ワクチン予防接種

「子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時特例交付金」を受け平成23年2月14日事業開始

子宮頸がん予防ワクチン：対象者（中学1年から高校1年生までの女子、高校2年生に対する特例あり）に対する接種費用助成

小児用肺炎球菌・ヒブワクチン：対象者（生後2ヶ月から5歳未満）に対する接種費用助成

(6) 他市町村での予防接種依頼

他市町村で予防接種を受けることを希望する市民に対し、滞在先の市区町村または医療機関に依頼書を発行すること等によりスムーズに接種を受けられるよう支援する。

【事業の成果及び効果】

(1) 乳幼児予防接種

赤ちゃん訪問などでのスケジュール指導により3ヶ月になったらすぐに三種混合の予防接種を受ける乳幼児が多かった。（月別接種状況における3ヶ月で接種した児の割合：60.6%）

3歳児健診案内通知及び健診時に日本脳炎予防接種の接種勧奨を行ったため接種者数が増加した。（接種者数 8,472人）

(2) 小中学校予防接種

二種混合（98.8%）、麻しん風しん3期（99.0%）4期（100%）

学校との連携を図ることで高い接種率を獲得できた。

日本脳炎2期対象者で、1期不足分について特例措置が設けられたため医療機関で接種できる体制を整えた。



(3) 麻疹まん延防止対策

健診時における積極的勧奨及び個人通知により高い接種率となった。

1期(97.9%)，2期(95.9%)，3期(98.7%)，4期(82.1%)

(4) インフルエンザ予防接種

早めの周知活動，医療機関との連携や手続きの改善でスムーズな実施に繋がった。

予防効果の高い12月までの接種率(97.6%)

(5) 子宮頸がん等ワクチン予防接種

子宮頸がんワクチンは供給不足により新規の方が接種困難となった。

ヒブ・肺炎球菌ワクチンは開始後半月で一時見合わせとなったが接種状況はいずれも1歳未満での接種割合が高かった。

接種者数(子宮頸がん768人)(ヒブ1,090人)(肺炎球菌1,271人)

(6) 他市町村での予防接種依頼

東日本大震災の影響からか，乳幼児の依頼書発行申請が多かった。

乳幼児に対する依頼書発行数84件(対前年比60件増)

事業名：母子健康診査事業に要する経費

保健福祉部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	01	03	11	本年	270,490				270,490	227,245	84.0	
				前年	220,669		48,444		269,113	224,307	83.4	
				比較	49,821		48,444		1,377	2,938		

【事業の目的】

妊娠中からの健康管理と，乳幼児期の身体的・精神的発育及び発達を確認し，疾病の早期発見と母子共に健康な生活が送れるよう支援する。また，育児についての不安を軽減し，安心して楽しく子育てできるように支援するため

【事業の概要】

(1) 医療機関委託健康診査(茨城県医師会，つくば歯科医師会と委託契約)

妊婦一般健康診査(妊娠中14回健診費用の一部補助)

乳児一般健康診査(生後3～6ヶ月及び9～11ヶ月に各1回)

2歳歯科検診(2歳～2歳6ヶ月に1回)

(2) 保健センターでの集団健康診査

1歳6ヶ月健康診査及び3歳健康診査(2保健センターで月3回実施，各年間36回)

【事業の成果及び効果】

(1) 医療機関委託健康診査

妊婦一般健康診査(受診者数 27,179人)

公費負担回数が14回に増えたことにより，妊婦の経済的な負担の軽減に繋がった。

また，受診票により対応の必要な妊婦に対し電話や「すこやか相談」で支援した。

乳児一般健康診査(受診者数 3,966人)

医療機関からのフォロー依頼1名に対し家庭訪問，その他家庭訪問1件，電話相談19名

2歳歯科検診(受診延数 1,228人)

結果内訳 異常なし 68.2%，要観察 22.6%，要治療 9.2%

受診者数は前年に比べて104人の増

新たな歯予防や継続治療に繋がっているとみられる。

(2) 保健センターでの集団健康診査

1歳6ヶ月健康診査(受診者数 2,043人，受診率 90.1%)

受診会場ごとの年間平均受診率でも桜保健センター88.6%，谷田部保健センター93%と高い受診率を維持できた。

3歳健康診査(受診者数 2,040人，受診率 88.4%)

事後フォローの延べ回数531回(電話:478回，訪問:1回，来所:52回)

目の健康相談の受診者数:18人(異常の早期発見，治療に繋がっている。)

事業名：母子健康教育事業に関する経費

保健福祉部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	01	03	12	本年	3,820				3,820	3,239	84.8	
				前年	3,418		113		3,531	2,924	82.8	
				比較	402		113		289	315		

【事業の目的】

妊婦とその家族が妊娠・出産・育児について知識や技術を習得することで、不安の軽減を図り、妊娠期から心身ともに充実して過ごすことが出来るよう支援するため。また、乳幼児期の健康保持・増進を図り、保護者の育児への不安を軽減し、家庭・地域の育児力を向上させるため

【事業の概要】

- (1) マタニティサロン
  - (1回目) 初妊婦に対し、サロン形式で不安や悩みを保健師・助産師が相談にのる。  
調理実習や先輩ママとの交流会
  - (2回目) 初妊婦とその夫(家族)を対象に、楽しく子育てが出来るよう実技  
(沐浴・おむつのあて方・妊婦体験)を取り入れた教室
  - (3回目) 小児科医師・歯科医師講話
- (2) 子育て教室
  - あかちゃんランド: 生後5～6か月児と両親の子育て教室(離乳食・子どもの発達他)
  - のびのび子育て教室: 健診等事後フォロー教室
  - 出前講座: 各団体からの要望に沿って出向き、子育ての啓発普及に努める。
- (3) 思春期関係
  - 学校出前講座: 小中学校の親を対象とした講座
  - あかちゃんふれあい体験学習: あかちゃんとふれあうことで、父性・母性を育むきっかけとする  
とともに、命の尊さを知る。
- (4) 母子保健推進員活動(42人)
  - 子育て教室・総合健診等の保育協力

【事業の成果及び効果】

- (1) マタニティサロン
  - 参加者延数(1回目:198人, 2回目:596人, 3回目:妊婦165人, 夫22人, 義母1人)
  - 参加者アンケートの結果「満足」と答えた方は8割を超え、参加者の不安軽減に繋がっている。
- (2) 子育て教室
  - あかちゃんランド
    - 参加者数 599人(桜保健センター427人, 谷田部保健センター172人)
    - 内容を検討した結果母親同士の交流が円滑に行われるようになった。
  - のびのび子育て教室
    - 開催回数 46回, 参加者延数 子873人(対前年比169人増), 親746人(対前年比152人増)
    - コース回数を6回から8回に増やした。子育て交流会を通して母親同士の交流や悩み共有の場を作れた。
  - 出前講座
    - 開催回数 43回, 参加者数 1,689人(対前年比517人増)
    - 保育所や母親クラブからの依頼が多かった。保健師による講和依頼に加えて、今年度は歯科衛生士による講座も増えた。
- (3) 思春期関係
  - 学校出前講座
    - 開催回数 8回
    - 「親向けの思春期講座」を行うことにより、保護者の意識を高めることができた。
  - あかちゃんふれあい体験学習
    - 開催回数 2回, 参加者延数 53人
    - 小学校4・5年生に対し命の誕生とその大切さについてわかりやすく伝えられた。

(4) 母子保健推進員活動

開催回数 総会研修会 年6回 参加延数 96人  
保育協力 年107回 参加延数 300人  
保育協力により、子育て支援と事業の円滑な運営に役立った。

事業名：母子健康訪問・相談事業に要する経費

保健福祉部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	01	03	13	本年	10,742				10,742	9,175	85.4	
				前年	11,229		81		11,310	8,269	73.1	
				比較	487		81		568	906		

【事業の目的】

妊産婦から子育て中の家族に対し、個々に応じた情報を提供し、継続的に相談・指導することによって安心して生活を送ることができるよう支援するため

【事業の概要】

(1) 母子健康手帳・母子健康手帳別冊の交付

交付することにより、妊娠・出産・育児に関する母子の健康状態を一貫して記録し、健康管理・保健指導に活用できる。

(2) 訪問事業

妊産婦・あかちゃん(新生児・未熟児・乳児)・幼児等を対象に、個々に応じた相談・支援を行う。アドバイザー派遣事業として、子育て困難ケースの家庭等への支援を行う。

(3) 相談事業

発達相談：精神発達面の心配な児を早期に発見して適切な指導をしていくことで、児の発達を促し保護者の育児を支援していく。

すこやか健康相談：乳幼児を持つ親と子(妊産婦含)の相談を行い健やかに成長することを支援すると共に、保護者の悩みに対し相談を行い子育ての不安を軽減する。

出産母子支援事業：子育て支援を図るために教室や訪問等において相談及び指導を行う。

【事業の成果及び効果】

(1) 母子健康手帳・母子健康手帳別冊の交付

妊娠届出書提出時に妊娠に関しての気持ちやサポート体制の有無を聞くことで、若年・高齢・多胎等以外のフォローが必要な妊婦を把握し、早期から関わることができた。

母子健康手帳交付数：2,459冊(妊娠11週以内の届出者2,243人、妊娠12週以降届出者109人、出生後交付44人、再交付39人、多胎のための交付24人)

母子健康手帳別冊交付数：2,594冊

(2) 訪問事業

全ての母と子が健やかに生まれ成長できるよう、訪問によって不安の軽減を図り、子育て支援をすることができた。

妊産婦訪問：2,022人

あかちゃん訪問：2,066人(新生児211人、乳児1,811人、未熟児44人) 達成率96.91%

育てアドバイザー訪問：190件

(3) 相談事業

発達相談

開催回数 46回、参加者延数 234人

専門的な指導を得ることで、保護者が児との関わりを学んだり、気持ちに余裕を持つことができた。

すこやか健康相談

参加者延数 1,120人

相談者には、乳幼児の発育・発達の他保護者自身の悩みに対し相談できる場としても利用された。

出産母子支援事業

実施回数 73回， 対応者数 859人

各事業において、より多くの対象者と積極的に関わることにより、子育て支援を図ることができた。

事業名： 不妊治療助成事業に要する経費 保健福祉部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額	
04	01	03	14	本年	7,770				7,770	7,322	94.2		
				前年									
				比較	7,770				7,770	7,322			

【事業の目的】

特定不妊治療を受けている夫婦に対し、費用の一部を助成することで経済的な負担の軽減を図り、もって少子化の進展の防止を図るため

【事業の概要】

- (1) 特定不妊治療1回につき5万円を限度に、1年度あたり2回まで、最初に申請した年度から通算して5年間の助成とする。
- (2) 助成の額は、要した費用から茨城県不妊治療助成事業の補助金を控除した額と5万円のいずれか低いほうの額とする。

【事業の成果及び効果】

茨城県(つくば保健所)と連携し、円滑な手続きによって不妊治療を行った夫婦の負担軽減を図れた。  
 申請件数 133件  
 補助件数 133件

事業名： 健診事業に要する経費 保健福祉部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
04	01	04	11	本年	150,420		5,435		155,855	143,159	91.9	
				前年	105,435		36,958		142,393	121,187	85.1	
				比較	44,985		31,523		13,462	21,972		

【事業の目的】

20歳から39歳の者を対象に基本健康診査、20歳以上の者のがん検診を実施し、生活習慣病の予防及びがんの早期発見、早期治療を図るため

【事業の概要】

- (1) 総合健診      がん検診(肺・胃・大腸・前立腺)・結核検診・ 肝炎ウイルス検診・生活習慣病健診
- (2) 医療機関健診      がん検診(乳がん・子宮がん)・結核検診・肝炎ウイルス検診・生活習慣病健診
- (3) 集団健診      基本健康診査(20～39歳以下)  
                         レディース検診(乳がん・子宮がん)  
                         骨粗しょう症検診

【事業の成果及び効果】

春の総合健診に未受診者に対し(国保加入者・後期高齢者)特定健診の受診勧奨通知を行う際に、がん検診のお知らせを入れたこと、40～60歳の5歳刻み節目者(社保被扶養者)にがん検診のお知らせの個人通知を行ったことで、検診受診者が増加した。

子宮がん、乳がん検診は、クーポン対象者の受診者が増加している。

(単位:人)

事業	平成22年度	平成21年度	事業	平成22年度	平成21年度
肺がん検診	8,618	7,439	基本健康診査	2,874	2,922
胃がん検診	4,987	4,553	子宮がん検診 (無料クーポン利用)	5,642 (1,869)	4,963 (1,732)
大腸がん検診	5,467	4,831	乳がん検診 (無料クーポン利用)	5,149 (1,717)	4,780 (1,584)
前立腺がん検診	2,606	1,207	骨粗しょう症検診	266	246
結核検診	8,137	7,451			
肝炎ウイルス検診	1,260	1,366			
生活習慣病健診	50	38			

## 事業名：健康教育に要する経費

保健福祉部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	01	04	12	本年	7,457				7,457	4,470	59.9	
				前年	7,155				7,155	7,009	98.0	
				比較	302				302	2,539		

## 【事業の目的】

健康に関する自己管理能力を獲得することができるように支援するため。また、疾病予防及び疾病増悪を防ぐため

## 【事業の概要】

- (1) 健康アップ教室  
テーマ(高血圧・脂質異常症・高血糖)にそった保健師・栄養士による講話と調理実習
- (2) 乳がん自己検診法普及事業  
保健師による講話
- (3) 歯周病予防事業  
保健師による講話や広報紙、ポスター等による啓発
- (4) 骨粗しょう症予防事業  
保健師・栄養士による講話と栄養指導
- (5) 出前健康教室  
市民団体からの依頼に応じ保健師・栄養士による講話
- (6) 禁煙啓発普及事業  
保健師による講話、健診会場やイベント会場等での啓発活動
- (7) つくばウォークの日  
毎月第1日曜日に市内のコースをウォーキング
- (8) つくば健康マイレージ事業  
健康づくり活動に参加して目標を達成し、健康グッズと交換
- (9) 市民健康講座  
生活習慣病予防講演会(つくば医師会との協力)  
ライフプランすこやか(年間スケジュールを各戸に配布)により、保健事業の案内をする。

## 【事業の成果及び効果】

- (1) 健康アップ教室  
広報でのPRにより新規での参加者が増加した。弁当容器に実際調理したものを詰めてみることで、必要量やバランスの理解ができた。
- (2) 乳がん自己検診法普及事業  
出前教室で積極的に予防教育を行ったことから、乳がん自己検診法や定期的な検診の重要性について知識が深められた。
- (3) 歯周病予防事業  
歯周病についての正しい知識を伝え、予防的な支援を行った。

(4) 骨粗しょう症予防事業

骨粗しょう症検診時に予防講話や展示, 栄養個別指導を行うことにより, 骨粗しょう症の知識を深められた。

(5) 出前健康教室

参加者の健康への関心が高まり, 知識を深めることができた。同時に健康相談を行うことで個別支援ができた。

(6) 禁煙啓発普及事業

禁煙意志のある方に禁煙外来の情報提供やパンフレットを配布し禁煙支援を行った。

1歳6か月・3歳健診時に保護者に子どもへの受動喫煙の害について知識啓発を行った。

(7) つくばウォークの日

運動普及推進員の協力を得ながら定期的に開催でき市民の運動習慣の意識づけに寄与した。

(8) つくば健康マイレージ事業

自分の健康目標を達成するために, ウォーキングに取り組んだり食事の改善に努め, 9割の方がほぼ目標を達成できた。

(9) 市民健康講座

講演会後に医師や管理栄養士, 保健師の個別相談や各種検査(血圧, 体組成, 動脈硬化度測定)をし, 生活習慣を見直すきっかけづくりができた。

事業名等	平成22年度		平成21年度	
(1) 健康アップ教室	実施 6回	参加延 94人	実施 3回	参加延 33人
(2) 乳がん自己検診法普及事	実施 58回	参加延 2,901人	実施 52回	参加延 2,804人
(3) 歯周病予防事業	実施 6回	参加延 636人	実施 5回	参加延 664人
(4) 骨粗しょう症予防事業	実施 4回	参加延 380人	実施 4回	参加延 530人
(5) 出前健康教室	実施 11回	参加延 197人	実施 6回	参加延 81人
(6) 禁煙啓発普及事業	実施 77回	参加延 3,125人	実施 44回	参加延 150人
(7) つくばウォークの日	実施 12回	参加延 940人	実施 7回	参加延 1,167人
(8) つくば健康マイレージ事業		参加 358人		-
(9) 市民健康講座	実施 1回	参加延 87人	実施 1回	参加延 180人

ライフプランすこやかにより保健事業の周知ができています。

事業名：栄養改善事業に要する経費

保健福祉部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	01	04	13	本年	2,755				2,755	2,548	92.5	
				前年	2,692				2,692	2,398	89.1	
				比較	63				63	150		

【事業の目的】

生活習慣病の予防を目的とした栄養・食生活相談を行い地域住民の健康の維持・増進を図る。また、正しい食生活の普及を図るため。さらに、食育に対する市民の関心を高めるため

【事業の概要】

(1) 栄養改善事業

食生活改善推進員への中央研修会(必要な知識の普及)

各事業での栄養・食生活教育事業

各事業での栄養・食生活相談事業

(2) 地区組織活動

地区伝達講習会(学習した内容等を地区に伝達する。)

健康増進課協力事業

その他の活動

(3) 地区組織養成:食生活改善推進員養成講習会実施(推進員の増加を図る。)

(4) 食育普及事業:食育普及講座(食育の普及を図る。)

講演会(食育への市民の関心を高める。)

【事業の成果及び効果】

(1) 栄養改善事業

中央研修会 25回 参加延人数 646人

栄養・食生活教育事業 270回 参加延人数 4,844人(各事業にも再記)

栄養・食生活相談事業 189回 参加延人数 747人(各事業にも再記)

(2) 地区組織活動

地区伝達講習会 155回 参加延人数 5,306人

健康増進課協力事業 10回 参加延人数 417人

その他の活動 26回 参加延人数 5,087人

(3) 地区組織養成(食生活改善推進員養成講習会6日間(27時間))

実施日数 6日間 参加延人数 99人(入会者16人)養成修了者17人

(4) 食育普及事業 食育普及講座 10回 参加者 255人

講演会 1回 参加者 143人

事業名：健康相談に要する経費

保健福祉部 健康増進課

款	項	目	事業年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	01	04	14	本年	2,415			2,415	1,946	80.6	
			前年	2,193			2,193	1,902	86.7		
			比較	222			222	44			

【事業の目的】

心身の健康に関して、個別の健康相談に応じ必要な助言及び指導を行うことにより、生活習慣病の予防に寄与し、市民の「いきいきとした生活」を支援するため

【事業の概要】

- (1) 基本健診時健康相談： 健診時に健診結果や日常生活についての個別相談
- (2) 特定健診後健康相談： 医師・保健師・栄養士による個別相談
- (3) 歯の健康相談： 歯科医師・歯科衛生士による個別相談
- (4) 成人健康相談： 保健師・栄養士による個別相談
- (5) 家庭訪問による相談： 保健師・栄養士による個別相談
- (6) 健康手帳の交付： 主に40歳以上の方に健康手帳、女性には女性健康手帳を交付

【事業の成果及び効果】

- (1) 基本健診時健康相談  
BMI(体格指数)25以上の方に対し、食生活・運動・喫煙・飲酒について個別指導を充実させ、6か月後評価を行い、健康に対する意識づけができた。
- (2) 特定健診後健康相談  
相談を受けた方が食事や運動、休養など日常生活を振り返り見直すことができた。
- (3) 歯の健康相談  
基本健診と同時に実施することで、若い方に歯の健康に関心をもってもらうよい機会となった。
- (4) 成人健康相談  
相談を受けた方が食事や運動、休養など日常生活を振り返り見直すことができた。
- (5) 家庭訪問による相談  
保健指導を受けた方には、自分の生活を見直すきっかけとなり、また必要な受診につながるなどの効果がみられた。
- (6) 健康手帳の交付  
女性がライフサイクルにおいて起こると予想される心身の変化を知り、生涯を通じた健康を守るために正しい情報の提供ができた。

< 実施状況 >

事業名等	平成22年度	平成21年度
(1) 基本健診時健康相談	実施 11回 参加延 2,780人	実施 13回 参加延 2,922人
(2) 特定健診後健康相談	実施 8回 参加延 152人	実施 9回 参加延 143人
(3) 歯の健康相談	実施 15回 参加延 166人	実施 9回 参加延 44人
(4) 成人健康相談	参加延 347人	参加延 390人
(5) 家庭訪問による相談	延 143人	延 120人
(6) 健康手帳の交付	447冊	1,406冊
女性健康手帳の交付	1,469冊	-



事業名：訪問事業に要する経費

保健福祉部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	01	05	11	本年	2,359				2,359	2,066	87.6	
				前年	2,610				2,610	1,698	65.1	
				比較	251				251	368		

【事業の目的】

在宅で生活している中高年期者とその家族が住み慣れた地域で、安心して生活が送れるよう、年間を通じて介護予防に視点をのいた家庭訪問を実施するため

【事業の概要】

介護予防訪問

- (1) 虚弱な独居高齢者やその他の関係者機関から訪問依頼のあった方への定期的な訪問指導
- (2) 保健師・看護師家庭訪問

【事業の成果及び効果】

介護予防訪問

- (1) 保健師・看護師訪問 実 172人 延 847人
- (2) (再)専門職との訪問(管理栄養士, 歯科衛生士家庭訪問) 実 37人 延 41人

事業名：介護予防事業に要する経費

保健福祉部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	01	05	12	本年	7,246				7,246	6,318	87.2	
				前年	7,220		423		7,643	5,842	76.4	
				比較	26		423		397	476		

【事業の目的】

中高年の健康増進, 体力改善や老化防止, 生活習慣病を予防するため

【事業の概要】

(1) いきいき運動教室

持久力・筋力・バランス・柔軟運動を取り入れた教室

健診結果に基づき, 個別に栄養指導・生活指導・運動指導・体力測定の実施

(2) 出前健康教室

シルバークラブ等の団体の要請に応じ, 健康講話

(3) 運動自主活動支援

身近な場所で運動が維持できるように環境の整備, 健康管理面での支援

(4) 運動普及推進員活動

運動に関する知識の普及及び実践活動, 健康増進課への協力

【事業の成果及び効果】

- |               |      |      |        |           |
|---------------|------|------|--------|-----------|
| (1) いきいき運動教室  | 実施回数 | 254回 | 実 495人 | 延 7,455人  |
| (2) 出前健康教室    |      | 17回  | 335人   | 延 425人    |
| (3) 運動自主活動支援  |      | 582回 | 637人   | 延 17,112人 |
| (4) 運動普及推進員活動 |      |      | 55人    | 延 117人    |

事業名：健康情報管理システム事業に要する経費

保健福祉部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	01	05	13	本年	3,597				3,597	3,532	98.2	
				前年	9,411				9,411	4,834	51.4	
				比較	5,814				5,814	1,302		

【事業の目的】

健康福祉情報の共有化による効率的な健康福祉サービスの提供や市民の健康管理支援を行うため

【事業の概要】

- (1) 健康管理システムの運用による情報の共有化
- (2) 市民の健康管理のための情報管理システムによる情報の分析及び抽出

【事業の成果及び効果】

- (1) 健康診査等の台帳のシステム化による事務処理の効率を図ることができる。
- (2) 母子健診等の長期的管理が必要な情報についても有効な利用ができる。
- (3) 健康情報が共有化され、情報の一元化・指導方法の統一化・窓口等の即時対応を図ることができる。

事業名：精神保健事業に要する経費

保健福祉部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	01	05	14	本年	3,385				3,385	1,559	46.1	
				前年	781				781	672	86.0	
				比較	2,604				2,604	887		

【事業の目的】

精神障害者及び精神保健上問題のある方本人及び家族等に対して、適切な指導をし、社会復帰及びその自立と、社会生活を営む上での支援を行うため。また、自殺予防対策として茨城県地域自殺対策緊急強化交付金事業費補助金事業を活用し、普及啓発事業の強化を図るため

【事業の概要】

- (1) こころの健康相談： こころの病に関して、身近な所で気軽に相談できる場の提供
- (2) こころの自立サポート事業：  
在宅の精神障害(統合失調症)者で慢性期にあり回復途上の方にグループ指導を実施  
施設見学・体験等を通じて社会復帰への利用を支援
- (3) 精神保健指導： 電話・面接・訪問等での相談
- (4) 精神障害者の当事者団体である精神保健福祉会組織の育成及び相談
- (5) 自殺予防対策事業：  
関係団体への研修会の実施。茨城県自殺予防月間にあわせてパンフレットの全戸配布や広報紙での普及啓発

【事業の成果及び効果】

- (1) こころの健康相談  
相談をうけた方に対し地区担当保健師につなぎ家庭訪問、面接相談で継続フォローすることができた。
- (2) こころの自立サポート事業  
障害者自立支援施設への見学、体験を実施したことにより定期通所につながり社会参加の促進が図れた。
- (3) 精神保健指導  
頻回に相談を希望される者には、日時方法を指定し相談に応じた。
- (4) つくば精神保健福祉会例会
- (5) 自殺予防対策事業  
茨城県自殺予防月間に合わせ、普及啓発を実施したことにより、市民に対し窓口相談の周知が

図れた。各種団体の方や窓口職員に研修を行い、ゲートキーパーとしての意識を高めることができた。

< 実施状況 >

事業名等	平成22年度		平成21年度	
(1) こころの健康相談	実施 11回	参加延 17人	実施 12回	参加延 20人
(2) こころの自立サポート事業	実施 12回	参加延 86人	実施 12回	参加延 99人
(3) 精神保健指導		延 227人		延 450人
(4) つくば精神保健福祉会例会	実施 12回	延 146人	実施 12回	延 184人
(5) 自殺予防対策事業	実施 7回	参加延 271人		-

**事業名：健康増進施設いきいきプラザ管理に要する経費**

保健福祉部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	01	05	15	本年	7,623				7,623	6,414	84.1	
				前年	7,899				7,899	6,805	86.2	
				比較	276				276	391		

【事業の目的】

運動を通じて市民の基礎体力の向上を目指し、その健康を維持し、健康で豊かな市民生活の形成を図るため

【事業の概要】

- (1) アリーナの貸出(つくば市及び一般団体)
- (2) いきいき運動教室
- (3) 健康増進課主催教室
- (4) 健康相談・栄養相談

【事業の成果及び効果】

事業名		平成22年度		平成21年度	
		実施件数	実施延人数	実施件数	実施延人数
(1) アリーナの貸出	貸出	257 件	7,694 人	355 件	6,380 人
	電話問い合わせ	135 件	135 人	随時	191 人
	施設見学	2 件	6 人	3 件	7 人
	利用申請	156 件	156 人	189 件	189 人
(2) いきいき運動教室		254 件	7,455 人	220 件	7,351 人
(3) 健康増進課主催教室		12 件	368 人	43 件	579 人
(4) 健康相談・栄養相談		随時	918 人	随時	811 人

事業名：保健センター管理事業に要する経費

保健福祉部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	01	06	11	本年	28,711		1,665		30,376	28,179	92.8	
				前年	29,313				29,313	27,618	94.2	
				比較	602		1,665		1,063	561		

【事業の目的】

市民の疾病予防事業並びに健康保持・増進事業推進のための拠点施設である保健センターを適正に管理するため

【事業の概要】

6保健センターの維持管理・修繕

【事業の成果及び効果】

(1) 維持管理委託

清掃委託

防火シャッター保守点検委託

植栽維持管理委託

自動ドア保守点検委託

空調機器保守点検委託

飲料水用機器保守業務委託

(2) 修繕

空調機修繕

ブラインド修繕

照明器具・センサーライト修繕外

全保健センター(6か所)において、施設の管理委託や修繕工事等の適正な施設維持を図ることで、各種健診や予防接種、健康教室等、市民の疾病予防事業並びに健康保持・増進事業の推進を図ることができた。

事業名：環境政策に要する経費

(環境生活部 環境政策課)  
環境生活部 環境都市推進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	01	07	11	本年	5,002				5,002	4,222	84.4	
				前年	11,574		705	64	10,933	10,276	94.0	
				比較	6,572		705	64	5,931	6,054		

【事業の目的】

環境基本条例等に基づき、環境の保全に関する各施策を総合的かつ計画的に推進するとともに、市民の環境問題意識の高揚を図るため

【事業の概要】

(1) つくば市環境基本計画に基づく計画の推進に係る事業の企画立案及び実施

(2) つくば市環境審議会の事務局運営

(3) つくば市環境白書の作成及び市ホームページへの掲載

【事業の成果及び効果】

(1) 22年4月に策定した第2次つくば市環境基本計画を印刷製本し、概要版を区会回覧や各公共施設に配置するとともに、市ホームページに掲載し、市民等に周知を図った。

本編印刷部数：500部 概要版印刷部数：6,000部

(2) つくば市環境基本計画の一環として、筑波小学校、吾妻小学校、荃崎第一小学校の3か所にCO2測定器(CO2, 温度, 湿度)を設置し、継続的なモニタリングを開始した。

(3) つくば市環境審議会を5回開催し、つくば市きれいなまちづくり条例や当該行動計画について諮問し答申を行った。

(4) つくば市環境白書を作成し、市ホームページに掲載し、広く市民等に環境情報を提供した。

事業名：環境教育・環境学習に要する経費

(環境生活部 環境政策課)  
環境生活部 環境都市推進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	01	07	12	本年	7,420		1,109	295	6,016	4,968	82.6	
				前年	7,527		960		6,567	5,837	88.9	
				比較	107		149	295	551	869		

【事業の目的】

市内の小中学校の児童生徒に各種環境教育事業を通して環境問題に関する理解と関心を高めさせる。また、地域における環境教育や環境保全の指導者を育成するため

【事業の概要】

- (1) 市内小学校(37校)を対象に水環境関連事業の実施
- (2) 市内小中学校を対象にエコクッキング事業の実施
- (3) 環境に関する正しい知識と技能を身につけた、環境教育・保全の指導者「環境マイスター」の育成事業の実施

【事業の成果及び効果】

- (1) 市内小学校5年生を対象に、次の事業を実施し、環境問題への意識高揚を図った。  
各小学校プール等でのヤゴ救出大作戦(5年生全員参加)  
霞ヶ浦の水質調査等を行う霞ヶ浦湖上セミナー(37名参加)  
水と親しむ生活体験県外派遣事業(37名参加)  
テレビ会議システムを利用した環境学習発表会(約2,300参加)
- (2) 市内小中学校を対象に、料理を「作りすぎない、すてない、流さない」をキーワードに行う調理実習を行うエコクッキング事業を実施し、環境についての正しい知識と理解を深めさせた。  
実施校:17校(33クラス) 受講生:1,019人
- (3) 筑波大学と連携し、環境マイスター育成事業を実施し、下記の環境マイスターが誕生した。

	平成22年度	平成21年度
参加者	21名	23名
1級認定者	5名(累計:15名)	5名(累計:10名)
2級認定者	3名(累計:19名)	6名(累計:16名)
3級認定者	5名(累計:32名)	6名(累計:27名)

事業名：動物愛護に要する経費

(環境生活部 環境政策課)  
環境生活部 環境保全課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	01	07	13	本年	3,649			295	3,944	3,470	88.0	
				前年	3,682				3,682	3,474	94.4	
				比較	33			295	262	4		

【事業の目的】

狂犬病の発生を予防し、そのまん延の防止及び撲滅する事により、公衆衛生の向上及び公共福祉の推進を図る。また、動物による危害を防止するとともに、広く動物愛護の精神を高めるため

【事業の概要】

- (1) 狂犬病予防集合注射の実施(市内48ヶ所)
- (2) 犬の登録台帳の管理(新規登録・抹消等)及び移動報告
- (3) 蓄犬登録システムの管理
- (4) 犬及び猫の避妊手術費並びに去勢手術費補助金の実施

【事業の成果及び効果】

- (1) 集合注射の実績 2,261頭
- (2) 新規蓄犬登録件数 1,081件

(3) 狂犬病予防注射済票交付件数 8,557件

(4) 犬及び猫の避妊手術費並びに去勢手術費補助金交付実績 避妊137件 去勢65件

事業名：自然環境・鳥獣保護に要する経費

(環境生活部 環境政策課)  
環境生活部 環境保全課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	01	07	14	本年	2,179				2,179	1,609	73.8	
				前年	2,069				2,069	1,628	78.7	
				比較	110				110	19		

【事業の目的】

国定公園等の優れた自然の風景地を保護するとともに、休養の場としての利用を促進し、自然環境に対する認識と愛情を育み自然保護や環境保全の精神を高める。また、野生鳥獣の保護繁殖及び有害鳥獣の捕獲を図り、生活環境の改善を図るため。墓地等は、国民の宗教面に配慮し、公衆衛生や公共の福祉の観点から適正に事務を行うため

【事業の概要】

- (1) 有害鳥獣駆除のための捕獲許可
- (2) イノシシ被害予防資材購入費補助
- (3) 銃猟禁止区域の拡大更新
- (4) 水郷筑波国定公園地域内の自然保護
- (5) 水郷筑波国定公園内の「筑波山不動峠休憩所」の除草事業
- (6) 墓地台帳管理及び霊園墓地・寺院墓地・共同墓地の新規または、拡張などの許可申請事務、その他墓地に関すること。

【事業の成果及び効果】

- (1) 鳥獣を保護することにより野生の生態系を確保し、また、有害鳥獣の捕獲を行なうことにより生活環境、農作物等への被害を未然に防止することができる。
- (2) 銃猟禁止区域5ヶ所の拡大が図れた。
- (3) イノシシ捕獲 許可3件 捕獲数43頭
- (4) イノシシ被害予防資材購入費補助 12件
- (5) 「筑波山不動峠休憩所」の除草事業 8月及び10月の2回実施
- (6) 墓地の許可及び変更届等 許可1件、管理者等の変更届12件

事業名：合併浄化槽設置事業に要する経費

環境生活部 環境保全課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	01	07	15	本年	48,759				48,759	41,260	84.6	
				前年	48,095				48,095	41,431	86.1	
				比較	664				664	171		

【事業の目的】

市が合併浄化槽の設置費用の一部を負担し、浄化槽の普及促進を図り、公共用水域の水質汚濁を防止し、良好な生活環境の保全及び公衆衛生の向上に寄与するため

【事業の概要】

- (1) 一般家庭において下水道事業認可区域外に高度処理型合併処理浄化槽を設置する者に対し、設置費用の一部を助成
- (2) 単独浄化槽から高度処理浄化槽に切り換える場合、その撤去費の一部についても補助を行う。
- (3) 補助事業概要及び維持管理の啓発活動を行う。

【事業の成果及び効果】

- (1) 高度処理型合併処理浄化槽 設置補助数 89基
- (2) 単独処理浄化槽撤去補助数 4基
- (3) 補助金制度案内チラシの配布(下水道認可区域外全世帯)

事業名：水質監視員に要する経費

(環境生活部 環境政策課)  
環境生活部 環境保全課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額	
04	01	07	16	本年	2,642				2,642	2,264	85.7		
				前年									
				比較	2,642				2,642	2,264			

【事業の目的】

つくば市生活排水対策推進計画に基づき、霞ヶ浦や牛久沼及びこれらの湖沼に流入している河川の水質を浄化するために、つくば市水質浄化対策推進協議会を推進母体に、茨城県をはじめ流域市町村や関係団体等と連携しつつ水質浄化意識啓発のための諸対策を推進するため。また、霞ヶ浦の水質の改善及び水質浄化に対する地域住民の意識の高揚を図るため

【事業の概要】

- (1) つくば市水質浄化対策推進協議会(水質浄化活動の実施)
- (2) つくば市水質監視員活動(27名):水質検査(市内河川27ヶ所),巡回監視の実施
- (3) 霞ヶ浦問題協議会関連事業への参加
- (4) 牛久沼流域水質浄化対策協議会関連事業への参加

【事業の成果及び効果】

市内河川27ポイントでのパックテスト及び河川巡視を毎月実施し、水質に顕著な変化がないことを確認した。  
水質浄化対策の推進及び水質浄化意識の高揚を図ることができた。  
流入河川の水質浄化向上を図ることができた。

事業名：水質浄化施設の維持管理に要する経費

環境生活部 環境保全課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	01	07	17	本年	9,733				9,733	8,821	90.6	
				前年	12,592			64	12,528	10,923	87.2	
				比較	2,859			64	2,795	2,102		

【事業の目的】

水環境施策として水辺環境の保全及び生活排水対策を重要な課題と位置づけ、当面下水道の整備が望めない市内3箇所生活排水路浄化施設を設置した。これら施設の維持管理を行い公共水域の水質の改善を図るとともに、地域住民の水環境に関する意識を高めるため

【事業の概要】

- (1) 佐地区及び上菅間地区並びに仕出地区に設置した生活排水路浄化施設の維持管理
- (2) 佐地区及び上菅間地区並びに仕出地区に設置した生活排水路浄化施設の水質検査
- (3) 佐地区及び上菅間地区維持管理  
年間6回(施設内の草刈・花卉植栽等)

【事業の成果及び効果】

生活排水の水質汚濁物質を除去し、河川の汚濁防止に努めた。  
施設の維持管理をとって、地域の水質浄化意識を高めた。

事業名：簡易水道事務に要する経費

環境生活部 環境保全課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	01	07	18	本年	7,910				7,910	7,016	88.7	
				前年	8,037				8,037	6,905	85.9	
				比較	127				127	111		
<p>【事業の目的】 非公営水道施設が円滑に運営できるよう助成し、安定した安全な水の供給及び上水道へ切り替え可能な組合に対しては切替促進を支援するため</p> <p>-----</p> <p>【事業の概要】 (1) 各地区の129水道組合で共同給水組合連絡協議会を組織し、総会、役員会及び研修会等を開催する。 (2) 各地区水道組合への補助金交付</p> <p>-----</p> <p>【事業の成果及び効果】 (1) 共同給水組合の適正な運営と安心・安全な水の供給を図ることができた。 簡易水道施設へつくば市保健所との合同立入り 上水道普及促進会議の開催(大穂地区) (2) 各地区水道組合への補助金交付 水質検査129組合、滅菌機購入4組合、消毒液購入96組合、 水中ポンプ取替え5組合、井戸掘削1組合</p>												

事業名：除草事業に要する経費

環境生活部 環境保全課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	01	07	19	本年	1,567				1,567	1,524	97.3	
				前年	1,568				1,568	1,536	98.0	
				比較	1				1	12		
<p>【事業の目的】 つくば市空き地除草条例に基づき、空き地及びその周辺地域の環境を保全し、もって市民の安全及び健康の維持を図るため</p> <p>-----</p> <p>【事業の概要】 (1) 空き地の適正な管理に関する啓発、指導、 (2) 除草あっせん業務 (3) 空き地除草に関する苦情対応</p> <p>-----</p> <p>【事業の成果及び効果】 (1) 空き地の適正管理通知 3,629件 (2) 除草あっせん実績 実施面積 233.434m<sup>2</sup> 筆数 1,055筆</p>												



事業名：環境美化推進に要する経費

環境生活部 環境保全課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	01	07	20	本年	4,414		8,668		13,082	10,689	81.7	
				前年	4,024				4,024	3,221	80.0	
				比較	390		8,668		9,058	7,468		

【事業の目的】

ごみのポイ捨て、ペットのふん放置、人混みでの歩きタバコなどによるマナーの低下や市内の環境美化への影響が懸念されていることから、「きれいなまちづくり条例」や「きれいなまちづくり行動計画」に基づき、市民・事業者・市が協働して清潔できれいなまちを目指すため

【事業の概要】

(1) 「きれいなまちづくり行動計画」に基づき、以下の基本方針に基づいた事業を展開する。

- きれいなまちづくりのための活動の推進
- きれいなまちづくりのための意識の啓発
- 市民、事業者及び市の相互の連携
- 自発的できれいなまちづくりのための活動に関する支援

(2) 路上喫煙禁止条例制定

【事業の成果及び効果】

(1) 「きれいなまちづくり行動計画」に基づく事業

環境美化推進会議(8月・10月・2月開催)

きれいなまちづくり行動計画に基づく事業の進捗確認

ボランティア支援

- ・支援団体数及び人数 延べ102団体
- ・物品等配布数 ゴミ袋4,614枚 火ばさみ325本 軍手2,590双
- ・ボランティア保険 延べ 9,414人

歩行喫煙対策事業

歩行喫煙等指導員 下期10人を雇用し、歩行喫煙者の指導及びポイ捨て吸い殻の計量  
被指導者数 506人 ポイ捨て吸い殻数 117,005本

啓発事業

- まつりつくば等イベント時のチラシ・啓発ティッシュ配布
- まち美化実行委員会での環境美化(落書き対策含む)活動
- きれいきれい大作戦の実施 4回 (小・中高等学校)

(2) 路上喫煙禁止条例制定

つくば市路上喫煙による被害の防止に関する条例制定

事業名： つくば市環境改善に要する経費 (環境生活部 環境政策課)  
環境生活部 環境都市推進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	01	07	21	本年	2,518				2,518	2,161	85.8	
				前年	3,193				3,193	2,881	90.2	
				比較	675				675	720		

【事業の目的】

つくば市役所が率先して環境保全活動を行い、環境に与える影響を改善する。また、その取組を市民や事業者に示し市域全体の環境改善につなげるため

【事業の概要】

- (1) つくば市役所庁舎を対象として、環境に関する国際標準規格であるISO 14001の認証を維持していくための取組を行う。
- (2) つくば市役所(出先機関含む)を対象とした、地球温暖化対策実行計画(事務事業編)に対する取組を行う。
- (3) つくば市役所(出先機関を含む)におけるグリーン購入を推進する。

【事業の成果及び効果】

- (1) ISO 14001環境管理システムについて、下記の取組を行い、ISO 14001の認証機関による外部審査を受審した結果、適正に運営していることが認められた。  
職員研修の実施  
(環境管理責任者、環境管理委員、推進責任者、内部環境監査員、新規職員)  
内部環境監査の実施(7月)  
マネジメントレビュー(当該システムの見直し, 8月)  
環境管理委員会の開催(6月, 8月, 10月, 2月)  
外部審査の受審(新庁舎に移転したことによる変更審査: 6月, 定期審査: 12月)
- (2) つくば市役所地球温暖化実行計画(事務事業編)に基づき、燃料、電気等の削減に取り組んだ結果、平成14年度比で 19.4%のCO2削減となった。
- (3) 市役所における物品等のグリーン購入を推進した結果、全体で99.2%の調達割合であった。

事業名： 地域新エネルギー導入に要する経費 (環境生活部 環境政策課)  
環境生活部 環境都市推進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	01	07	22	本年	20,786				20,786	18,130	87.2	
				前年	16,486		8,608	695	25,789	23,374	90.6	
				比較	4,300		8,608	695	5,003	5,244		

【事業の目的】

地球温暖化対策の一環として、新エネルギー導入等を普及促進し、市民等への環境・エネルギー問題に対する啓発と二酸化炭素排出量を削減するため

【事業の概要】

- (1) 住宅用太陽光発電システム設置補助事業の実施
- (2) 住宅用高効率給湯器設置補助事業の実施
- (3) 上菅間地区生活排水路浄化施設に設置した新エネルギー発電施設の維持管理
- (4) 平成16年度環境省「環境と経済の好循環のまちモデル事業」小型風力発電機設置事業に係る2件の訴訟対応

【事業の成果及び効果】

## (1) 住宅用太陽光発電システム設置補助実績

	平成22年度	平成21年度
設置補助件数	98件	43件
補助設備の出力合計	379.23kw	180.95kw
CO2排出削減量	約132.4t/年	約63.2t/年

## (2) 住宅用高効率給湯器設置補助実績

	22年度	21年度
潜熱回収型給湯器(通称:エコジョーズ)	41件	23件
CO2冷媒ヒートポンプ給湯器(通称:エコキュート)	118件	125件
ガスエンジン給湯器(通称:エコウィル)	5件	3件
燃料電池(通称:エネファーム)	3件	2件

## (3) 上菅間地区新エネルギー発電施設の実績

	22年度	21年度
総発電量	5,173kwh	5,005kwh
売電電力量(売電額)	1,895kwh(22,740円)	1,374kwh(15,591円)
CO2削減量	約1.9t/年	約1.8t/年

(4) 平成16年度環境省「環境と経済の好循環のまちモデル事業」小型風力発電機設置事業に係る2件(早稲田大学等訴訟, 住民訴訟)の訴訟について, 今年度裁判は行われなかった。

事業名：地球温暖化対策実行計画推進に要する経費 (環境生活部 環境政策課)  
環境生活部 環境都市推進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	01	07	23	本年	9,997		1,958		8,039	7,743	96.3	
				前年								
				比較	9,997		1,958		8,039	7,743		

## 【事業の目的】

つくば市域において総合的, 計画的に地球温暖化対策を推進し, 温室効果ガスの排出を抑制するため

## 【事業の概要】

地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき, つくば市域を対象とした地球温暖化対策地方公共団体実行計画(区域施策編)を策定する。

## 【事業の成果及び効果】

学識者等で構成する地球温暖化策定専門委員会等を組織し, つくば市地球温暖化対策地方公共団体実行計画の策定に取り組んだ。

- (1) 地球温暖化対策実行計画策定専門委員会の開催(6回)
- (2) 関係課職員による庁内ワーキング会議の開催(2回)
- (3) 市民・事業者アンケートの実施
- (4) パブリックコメントの実施

事業名：環境保全活動の助成に要する経費 (環境生活部 環境政策課)  
環境生活部 環境都市推進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額	
04	01	07	24	本年	1,264		664		600	600	100.0		
				前年	180		180						
				比較	1,084		484		600	600			
【事業の目的】 ボランティア団体やNPO法人等が行う環境保全活動を促進するため													
【事業の概要】 アイラブつくばまちづくり事業に応募があったもので、アイラブつくばまちづくり推進委員会が選考し、環境保全活動に関する事業に対して、つくば市環境保全基金を充当する。													
【事業の成果及び効果】 つくば市環境保全基金を充当し、応募団体の環境保全活動を促進した。(補助交付件数:6件)													

事業名：つくば環境フェスティバル開催に要する経費 (環境生活部 環境政策課)  
環境生活部 環境都市推進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	01	07	25	本年	3,000				3,000	2,911	97.0	
				前年			3,000		3,000	2,600	86.7	
				比較	3,000		3,000			311		
【事業の目的】 子どもたちへの環境教育及び市民一人一人の地球温暖化等に対する取組についての意識高揚を図るため												
【事業の概要】 実行委員会形式による、市民団体を中心としたブースの設置やステージ運営などを内容としたイベントの開催(会場:つくばカピオ北側及び大清水公園)												
【事業の成果及び効果】 集客力を高めるため、つくば科学フェスティバルと同時に開催した。来場者数:5,000人 27団体33企画の環境に関する展示や体験コーナー等を設け、家族連れを中心とした来場者への環境問題提起や地球温暖化対策等への関心を高めることができた。												

事業名：上水道整備に要する経費 環境生活部 環境保全課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	01	07	26	本年	309,913		146		309,767	309,743	100.0	
				前年	328,048				328,048	328,048	100.0	
				比較	18,135		146		18,281	18,305		
【事業の目的】 上水道整備に関し、一般会計から借入金の利息分を負担することにより、水道事業会計の負担の軽減を図るため												
【事業の概要】 (1) 水道部との連絡調整 (2) 整備事業費の負担(年2回)												
【事業の成果及び効果】 上水道の早期整備及び普及推進につながる。												

事業名：グリーンニューディール事業に要する経費 (環境生活部 環境政策課)  
環境生活部 環境都市推進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額	
04	01	07	27	本年			2,625		2,625	2,625	100.0		
				前年									
				比較			2,625		2,625	2,625			

【事業の目的】

地球温暖化対策のための取組を推進するため

【事業の概要】

地球温暖化対策事業の一環として、街路灯のLED化への改修事業を実施

【事業の成果及び効果】

吾妻地区内の既存街路灯をLED照明に改修するための設計を道路課で実施した。改修工事は、23年度に実施予定である。LED改修工事を行うことでCO2排出削減を行う。

事業名：公害対策に要する経費 環境生活部 環境保全課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	01	08	11	本年	20,005		8,949		11,056	10,281	93.0	
				前年	20,140				20,140	17,508	86.9	
				比較	135		8,949		9,084	7,227		

【事業の目的】

公害法令に基づき、各種規制、状況把握及び対策措置を実施し、現在及び将来における市民の健康を保護するとともに生活環境の保全を図るため

【事業の概要】

(1) 公害法令の施行

所管法令

水質汚濁防止法、湖沼水質保全特別措置法、土壌汚染対策法、騒音規制法、振動規制法、悪臭防止法、県生活環境の保全等に関する条例、県霞ヶ浦水質保全条例等

事務内容

・所管法令に基づく届出受理、立入検査(排出水分析)、行政指導、行政処分水質事故等、公害苦情の対応

・法定環境調査

自動車騒音常時監視(騒音・交通量・車速24時間測定、面的評価、年1回)

公共用水域常時監視(河川・調整池等21地点、調査項目41物質、年12回)

地下水常時監視(井戸30地点、調査項目23物質、年1回)

(2) 公害防止組織の形成・推進

公害防止協定・確認(計画調整・事前協議・自己監視状況確認等)

ゴルフ場環境保全連絡協議会(総会、講習会の実施)

(3) 環境調査(市独自調査:法令環境調査の補完)

ゴルフ場周辺地下水調査(6ゴルフ場、調査項目:除草剤・殺虫剤等含有物質、年1回)

自動車排出ガス調査(主要道路2ヶ所、調査項目5物質、年1回)

(4) 環境対策事務支援システムの運用:PCRリース

【事業の成果及び効果】

公害法令の施行及び公害防止組織の形成・推進事業を適切に実施することにより、公害の発生及び市民の健康被害を防止することができた。

また、法定環境調査及び市独自環境調査結果を環境白書等にて市民に公表することにより、市内環境の現況を周知し、環境問題・環境汚染に対する啓発、意識高揚を図れた。

事業名：メモリアルホールに要する経費

市民部 つくばメモリアルホール

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	01	09	11	本年	141,159				141,159	131,079	92.9	
				前年	133,365				133,365	127,174	95.4	
				比較	7,794				7,794	3,905		

【事業の目的】

地域住民の公衆衛生の向上を図るため

【事業の概要】

火葬、通夜、告別式、法事、法要等の一連の火葬業務の執行及び施設の維持管理事業

【事業の成果及び効果】

年 度	火葬件数	告別式件数
平成22年度	1,500件	897件
平成21年度	1,470件	891件

事業名：清掃に要する経費

環境生活部 廃棄物対策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	02	01	11	本年	230			299	529	443	83.7	
				前年	5,056		1,480		3,576	3,455	96.6	
				比較	4,826		1,480	299	3,047	3,012		

【事業の目的】

清掃事業に携わる職員の知識と技術の向上を図り、市の清掃事業に反映させるため。また、清掃事業に関連して、市民の安全・安心を確保するため

【事業の概要】

- (1) 茨城県清掃協議会会員との連携を図り、研修会等へ参加することにより清掃事業に関する情報を収集する。
- (2) 旧最終処分場跡地付近の水質検査の実施

【事業の成果及び効果】

- (1) 茨城県清掃協議会主催研修 1回(研修場所 栃木県高根沢町)  
清掃協議会の研修に参加し、他市町村の職員との交流を図り、先進ごみ処理施設の視察研修を行った。
- (2) 市内3カ所で地下水等水質検査(26項目)の実施  
旧最終処分場跡地付近の地下水水質検査を実施し、全項目について基準値以下であった。

事業名：管路輸送施設の管理に要する経費

環境生活部 廃棄物対策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	02	02	11	本年	4,636			145	4,781	4,515	94.4	
				前年	14,480		51,569		66,049	65,948	99.8	
				比較	9,844		51,569	145	61,268	61,433		

【事業の目的】

事業廃止となった管路輸送施設(管路輸送センター及びパイプライン・設備等)の残施設を管理するため

【事業の概要】

管路輸送センター及びパイプライン・投入設備等の維持管理(業務委託)

- (1) 管路輸送センターの警備, 消防設備点検, 植栽維持管理, 施設管理
- (2) 共同溝内外の配管及びごみ投入設備の管理
- (3) 管路輸送センター一時利用(行政財産の使用許可)の対応

【事業の成果及び効果】

事業廃止に伴い閉鎖した電気変電設備のPCB含有トランス等の保管のためコンクリートブロックにより, 保管基準を満たす設置工事を行った。

- (1) 管路輸送センター  
警備及び植栽維持管理: 通年管理業務  
消防設備点検: 総合点検年1回, 機械点検年2回  
施設管理: 点検清掃等(年4回)及び漏水水抜き作業適宜実施
- (2) 共同溝内外の配管及びごみ投入設備の管理: 点検及び漏水水抜き作業適宜実施
- (3) 行政財産の使用許可: 5件

事業名：塵芥処理に要する経費

環境生活部 廃棄物対策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	02	02	12	本年	501,876		9,711		492,165	490,638	99.7	
				前年	484,305		4,941		479,364	477,433	99.6	
				比較	17,571		4,770		12,801	13,205		

【事業の目的】

一般家庭から排出される廃棄物等を収集運搬し, 適正に処理することにより, 生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため

【事業の概要】

- (1) 一般家庭及び公共施設からの一般廃棄物の分別収集・運搬
- (2) 家庭から排出される有害ごみ(蛍光灯・乾電池)の収集・運搬
- (3) 家庭系粗大ごみの有料戸別収集の受付
- (4) 道路敷等の犬・猫等の死骸回収処分
- (5) 区会等に対するごみ集積所の設置補助(設置に要する工事費の6割, 限度額6万円)

【事業の成果及び効果】

22年度より指名競争入札導入と収集区域を見直すことにより, 契約の透明化及び収集運搬の効率化を実現した。(契約差金によりごみ収集委託料7,947千円, 犬等死骸処理委託料1,764千円を減額補正)

- (1) 一般廃棄物収集運搬量 (単位:トン)

	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	資源ごみ	計
平成22年度	41,929	2,450	229	5,107	49,715
平成21年度	42,577	2,332	231	5,131	50,271

## (2) 有害ごみ収集運搬量 (単位:トン)

	乾電池	蛍光管	計
平成22年度	24	17	41
平成21年度	29	16	45

## (3) 粗大ごみ予約受付件数 (単位:件)

	電話受付	インターネット受付	計
平成22年度	6,436	1,216	7,652
平成21年度	6,452	1,014	7,466

## (4) 回収処分数 (単位:体)

	犬	猫	その他	計
平成22年度	38	395	285	718
平成21年度	38	427	273	738

## (5) ごみ集積所設置補助金交付

	補助金交付件数	補助金交付金額
平成22年度	9件	528千円
平成21年度	20件	1,200千円

## 事業名：可燃ごみ焼却処理施設管理に要する経費

環境生活部 クリーンセンター

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	02	02	13	本年	957,154	52,800	14,526		995,428	964,279	96.9	
				前年	833,576	99,974	112,099		1,045,649	942,040	90.1	52,800
				比較	123,578	47,174	126,625		50,221	22,239		52,800

## 【事業の目的】

平成9年に竣工した可燃ごみ焼却処理施設の適切な維持管理を行い、市民から排出された家庭系及び事業系の一般廃棄物を無公害かつ安定して処理することにより、市民生活の根幹をなすごみ行政の円滑な推進を図るため

## 【事業の概要】

可燃ごみ焼却処理施設の適切な維持管理  
施設規模 375t (125t×3系統)

## 【事業の成果及び効果】

平成22年度ごみ処理量 可燃ごみ 66,531t



事業名：粗大・不燃ごみ処理施設管理に要する経費

環境生活部 クリーンセンター

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	02	02	14	本年	179,139		413		178,726	170,408	95.3	
				前年	189,370		8,722		180,648	177,363	98.2	
				比較	10,231		8,309		1,922	6,955		

【事業の目的】

市民から排出された粗大・不燃ごみを安定して処理し、生活環境の保全を図るため。また、有価物回収施設により、資源の有効利用と循環型社会の形成に寄与するため

【事業の概要】

粗大・不燃ごみ処理施設の適切な維持管理

処理能力 粗大ごみ処理施設 50t / 5H 有価物回収施設 30t / 8H

【事業の成果及び効果】

平成22年度ごみ処理量 粗大・不燃ごみ 4,871t 資源ごみ 5,389t 有害ごみ 42t

事業名：不法投棄・土砂等の盛土対策に要する経費

環境生活部 廃棄物対策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	02	02	15	本年	10,323				10,323	8,416	81.5	
				前年	10,063				10,063	9,313	92.5	
				比較	260				260	877		

【事業の目的】

廃棄物不法投棄の防止や、早期発見・回収を行うことにより市内の環境保全を図るため。また、土砂等による土地の埋立て・盛土及びたい積行為等について、必要な規制を行うことにより、災害を防止し良好な生活環境を確保するため

【事業の概要】

- (1) 不法投棄巡回監視員により、夜間を含む市内巡回監視活動及び、道路等市有地の不法投棄ごみ処理
- (2) 一般廃棄物不法投棄の指導・対応
- (3) 産業廃棄物不法投棄に伴う県との指導・対応
- (4) 土砂等による土地の埋立て・盛土及びたい積行為の受付並びに許可事務
- (5) 無許可事業及び埋立て等事業と称しての違法行為に対する指導

【事業の成果及び効果】

土砂等の埋立て及び盛土及び堆積行為の実施箇所を定期的にパトロールし、不法な行為の改善及び指導などを実施した。また、不法に投棄されたテレビ・冷蔵庫等の家電・家具・タイヤ等一般廃棄物及び不法投棄された産業廃棄物を早期に回収撤去することにより、不法投棄の拡大を阻止し環境の保全を図った。

執行率の減については、不法投棄に係る処理費用が予想より少なかったためである。

- (1) 不法投棄発生回数 184件, 巡回監視員による回収量 22,330kg
- (2) 不法投棄多発地区に不法投棄防止看板の提供 330枚
- (3) 茨城県との連携によるランドパトロール 1業者指導
- (4) 土砂等による土地の埋立て申請件数 5件, 許可件数 5件
- (5) 指導事案 7件

事業名：ごみ減量に要する経費

環境生活部 廃棄物対策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	02	02	16	本年	13,671			444	13,227	12,172	92.0	
				前年	16,584		3,150		13,434	12,181	90.7	
				比較	2,913		3,150	444	207	9		

【事業の目的】

つくば市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画に基づき、廃棄物の発生抑制と再生利用を推進するとともに、持続可能な循環型社会の形成を進めるため

【事業の概要】

- (1) 一般廃棄物(ごみ)処理基本計画の策定
- (2) ごみの分け方・出し方ハンドブックの作成
- (3) ごみの出し方カレンダーの作成
- (4) つくば市清掃事業のあらましの作成

【事業の成果及び効果】

- (1) 平成21年度に策定した一般廃棄物(ごみ)処理基本計画の進捗状況を管理するために一般廃棄物減量等推進審議会を1回開催した。
- (2) 分別収集を徹底させるため、ごみの分け方・出し方ハンドブックを5万部作成し各世帯に配布した。
- (3) ごみの出し方カレンダーを13万部作成し、各世帯に配布した。
- (4) 清掃に関する事業概況や各種データを盛り込み、ごみ処理に関する広報啓発に活用する冊子作成  
流用 444千円は、ごみハンドブック印刷代の入札差金より、  
清掃に要する経費に299千円、  
管路輸送施設の管理に要する経費に145千円を流用

事業名：リサイクルに要する経費

環境生活部 廃棄物対策課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	02	02	17	本年	18,682				18,682	13,960	74.7	
				前年	13,762		2,069		15,831	12,615	79.7	
				比較	4,920		2,069		2,851	1,345		

【事業の目的】

つくば市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画に基づき、有限である資源の有効活用とごみ減量とリサイクルの推進に対する市民意識の高揚に資するため

【事業の概要】

- (1) 資源物集団回収奨励金の交付(1団体につき、限度額40,000円を補助)
- (2) 生ごみ処理容器等購入費の補助(容器等購入費の2分の1の額を補助 限度額は15,000円)
- (3) 環境教育・環境学習の実施
- (4) 市民向け啓発事業
- (5) 家庭用廃食用油リサイクル事業

【事業の成果及び効果】

- (1) 資源物集団回収奨励金の交付  
回収団体数148団体、資源物回収量1,552トン、奨励金額4,294千円 残額 905千円
- (2) 生ごみ処理容器等購入費の補助  
コンポスト式178基、電気式生ごみ処理機58基、補助金額1,373千円 残額1,837千円
- (3) 小中学校への出前講座の実施、リサイクル工場見学会、牛乳パック回収、リサイクル推進標語募集などを実施
- (4) 「3Rニュース」を毎月発行し、市民へのごみに関する情報を発信した。
- (5) 家庭用廃食用油からバイオディーゼル燃料の精製を行い、幼稚園バスなど公用車で軽油の代替燃料として使用している。 精製量16,839リットル

事業名：し尿処理施設管理に要する経費

環境生活部 クリーンセンター

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	02	03	11	本年	99,821				99,821	86,719	86.9	
				前年	107,929		5,922		113,851	101,507	89.2	
				比較	8,108		5,922		14,030	14,788		

【事業の目的】

し尿処理施設の適正な維持管理を行い、し尿等の適正処理を行うため

【事業の概要】

し尿処理施設(クリーンセンター・南分所)の維持管理

	処理能力	処 理 方 式
クリーンセンター	50kl / 日	好気性消化処理方式
南 分 所	70kl / 日	好気性消化処理方式

【事業の成果及び効果】

平成22年度し尿及び浄化槽汚泥処理量 (単位:kl)

	し 尿	浄化槽汚泥	計
クリーンセンター	4,935.2	6,404.1	11,339.3
南 分 所	1,388.9	8,696.1	10,085.0
計	6,324.1	15,100.2	21,424.3

事業名：市立病院事業に要する経費

保健福祉部 健康増進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
04	03	01	11	本年	230,259		77,387		307,646	307,646	100.0	
				前年	235,836		5,000		230,836	230,836	100.0	
				比較	5,577		82,387		76,810	76,810		

【事業の目的】

市立病院事業会計における経営の健全化し、経営基盤の強化を図るため

【事業の概要】

市立病院事業会計における負担金、補助金及び出資金に係る事務

【事業の成果及び効果】

自治体病院の経営基盤の強化、地域医療の活動の維持及び安定化  
負担金 41,561千円 補助金 188,771千円 出資金 77,314千円

事業名：働く婦人の家施設管理運営に要する経費

市民部 働く婦人の家

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
05	01	01	11	本年	5,574				5,574	5,396	96.8	
				前年	5,331				5,331	5,154	96.7	
				比較	243				243	242		

【事業の目的】

女子勤労者及び勤労者家庭の主婦等の福祉の増進を図り、職業生活と家庭生活に必要な指導・実習等を行い、教養知識の向上と休養及びレクリエーションの場と機会の提供をするため

【事業の概要】

- (1) 女子勤労者の仕事と家庭生活を両立させ、充実した職業生活が送れるような機会の提供のため、主催講座の開設
- (2) 団体及びサークル活動の支援と施設利用者の促進
- (3) 運営委員会の開催

【事業の成果及び効果】

- (1) 講座開設  
勤労者の受講しやすい環境として、土曜日や休日の講座を増やしたことにより、市内全域からの応募者があった。受講者数は、昨年度比で、25.9%の増となった。  
主催講座 22講座 56回 (平日16講座 41回、夜間1講座 8回、土曜休日5講座 7回)
- (2) 利用者の支援及び促進  
まつりつくばや、みんなの集いなどに積極的に参加し、働く婦人の家の存在と活動の位置づけを周知することができた。また、施設環境の維持により、利用者に良い環境を提供でき、職業生活と家庭生活の向上が図れた。  
施設の利用状況 年間 5,858人 (講座受講者数 942人、団体及びグループ 4,918人)
- (3) 年2回の運営委員会を開催し、円滑な運営に寄与した。

事業名：勤労者福祉の促進に要する経費

経済部 産業振興課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
05	01	02	11	本年	594				594	585	98.5	
				前年	594				594	584	98.3	
				比較						1		

【事業の目的】

勤労者の生活の安定と福祉の増進を図り、勤労者のライフスタイルに応じた支援を行い、余暇時間の積極的な活用に資するため

【事業の概要】

「勤労者福祉の増進」、「中小企業集団労務改善事業の推進」及び勤労者青少年福祉法に沿った「勤労者青少年福祉の増進」を行うため、各関係機関との連携を図り、勤労者福祉の向上に努める。

- (1) 土浦地区雇用対策協議会との連携強化
- (2) 茨城県労働者福祉協議会との連携強化

【事業の成果及び効果】

茨城県労働者福祉協議会主催の結婚相談の市内開催、雇用対策協議会における雇用主懇談会や学卒求人受理説明会を開催し、雇用におけるミスマッチの防止等に寄与した。

また、ワーク・ライフ・バランスの向上を目指し、子育てと職場生活の両立を図るよう茨城県等関係機関と連絡調整を図り、勤労者福祉関係の事業の普及・啓蒙を行った。

事業名：雇用促進対策に要する経費

経済部 産業振興課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
05	01	02	12	本年	5,404				5,404	5,025	93.0	
				前年	4,346				4,346	4,149	95.5	
				比較	1,058				1,058	876		

【事業の目的】

ハローワーク土浦と連携し、国で行っている職業相談、職業紹介サービスを市内で行うために、つくば市ふるさとハローワークを設置し、市民の就職促進及び利便性の向上を図るため

【事業の概要】

つくば市桜庁舎4階につくば市地域職業相談室(愛称:つくばミニハローワーク)を平成17年10月1日に設置し、同月11日より業務を開始。新庁舎開庁に伴い、平成22年6月に大穂庁舎2階に移転し、「つくば市ふるさとハローワーク」に改称した。

- (1) 体制 相談員7名(国4名,市3名)
- (2) 業務時間 月曜日から金曜日の午前9時～午後5時(土・日曜日,祝日及び年末年始を除く。)
- (3) 業務内容

職業相談や職業紹介の補助  
求人自己検索機等による求人情報の提供・案内  
職業紹介業務等の制度,業務の周知や関連機関との連携等

【事業の成果及び効果】

市内にハローワークと同様の施設が開所したことで、市民の就職促進につながっている。月平均68名の方が就職されている。

つくば市ふるさとハローワーク相談実績(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

- (1) 相談件数: 11,822 件
- (2) 来所者数: 20,360 人
- (3) 1日平均来所者数: 92 人
- (4) 紹介件数: 7,389 件
- (5) 紹介人数: 5,299 人
- (6) 就職者数: 812 人

事業名：ふるさと雇用再生に要する経費

経済部 産業振興課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
05	01	02	13	本年	42,585				42,585	33,451	78.6	
				前年			21,513		21,513	12,423	57.7	
				比較	42,585		21,513		21,072	21,028		

【事業の目的】

現下の厳しい雇用情勢を踏まえ、離職を余儀なくされた非正規労働者,中高年者等の失業者に対して、地域の実情に応じて、市町村の創意工夫に基づいた事業を実施することにより、雇用機会を創出し、地域の雇用再生に資するため

【事業の概要】

国の交付金を財源に茨城県において造成された「茨城県雇用創出等基金」を活用した「ふるさと雇用再生事業」の実施

- (1) 地域資源を活用した観光客誘致推進事業
- (2) 大学連携型地域インターンシップ推進事業
- (3) 地域資源の活用による農商工観連携事業
- (4) つくば市交通安全マナーアップ推進事業

【事業の成果及び効果】

「ふるさと雇用再生事業」として地域の実情に応じた4事業を実施し、延べ21人の新規雇用を図るとも

に地域経済及び市民生活の向上につながっている。

< 新規雇用者数 >

- |                         |     |
|-------------------------|-----|
| (1) 地域資源を活用した観光客誘致推進事業  | 1人  |
| (2) 大学連携型地域インターンシップ推進事業 | 2人  |
| (3) 地域資源の活用による農商工観連携事業  | 5人  |
| (4) つくば市交通安全マナーアップ推進事業  | 13人 |

**事業名：緊急雇用創出事業に要する経費**

経済部 産業振興課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
05	01	02	14	本年	10,157		59,075		69,232	52,946	76.5	
				前年			26,781		26,781	16,553	61.8	
				比較	10,157		32,294		42,451	36,393		

【事業の目的】

現下の厳しい雇用情勢を踏まえ、離職を余儀なくされた非正規労働者、中高年者等の失業者に対して、次の雇用までの短期の雇用・就業機会を創出する事業を実施し、失業者等の生活の安定を図るとともに地域の雇用再生に資するため

【事業の概要】

国の交付金を財源に茨城県において造成された「茨城県雇用創出等基金」を活用した「緊急雇用創出事業」の実施

- (1) 地区案内板撤去事業
- (2) ロボット特区実証実験推進事業
- (3) ゆかりの森里山環境整備事業
- (4) 文化財展示施設等収蔵資料整備事業
- (5) 道路査定図管理事業
- (6) ペDESTリアンデッキ利用者のマナーアップ推進事業
- (7) 自転車放置防止事業
- (8) 体験型芸術文化事業
- (9) 科学技術振興事業
- (10) パソコンによる自主申告コーナー運営事業
- (11) 申告相談会場の交通案内・誘導支援事業
- (12) 写真記録等のデータベース化事業
- (13) 保育所運営事業
- (14) ごみ集積所の現況調査事業
- (15) マスメディア活用による地域振興事業
- (16) 地域包括支援センターにおける地域相談体制強化事業
- (17) ため池台帳データ整備事業
- (18) 新健康情報管理システム事業
- (19) 健康増進計画「健康つくば21」策定事業
- (20) 窓口業務及び成人保健業務事業
- (21) 地域包括支援センター業務補助事業
- (22) 子育て世代への窓口サービス業務事業
- (23) 業務窓口及び在宅福祉業務補助事業
- (24) きれいなまちづくり啓発推進事業
- (25) 「つくば環境スタイル」推進事業
- (26) 新型インフルエンザワクチン予防接種事業

【事業の成果及び効果】

「緊急雇用創出事業」として26事業を実施し、延べ67人の新規雇用を図るとともに地域経済及び市民生活の向上につながっている。

< 新規雇用者数 >

(1) 地区案内板撤去事業	5人
(2) ロボット特区実証実験推進事業	1人
(3) ゆかりの森里山環境整備事業	3人
(4) 文化財展示施設等収蔵資料整備事業	1人
(5) 道路査定図管理事業	1人
(6) ペDESTリアンデッキ利用者のマナーアップ推進事業	1人
(7) 自転車放置防止事業	3人
(8) 体験型芸術文化事業	1人
(9) 科学技術振興事業	1人
(10) パソコンによる自主申告コーナー運営事業	7人
(11) 申告相談会場の交通案内・誘導支援事業	7人
(12) 写真記録等のデータベース化事業	1人
(13) 保育所運営事業	3人
(14) ごみ集積所の現況調査事業	2人
(15) マスメディア活用による地域振興事業	1人
(16) 地域包括支援センターにおける地域相談体制強化事業	2人
(17) ため池台帳データ整備事業	5人
(18) 新健康情報管理システム事業	3人
(19) 健康増進計画「健康つくば21」策定事業	1人
(20) 窓口業務及び成人保健業務事業	1人
(21) 地域包括支援センター業務補助事業	1人
(22) 子育て世代への窓口サービス業務事業	3人
(23) 業務窓口及び在宅福祉業務補助事業	1人
(24) きれいなまちづくり啓発推進事業	10人
(25) 「つくば環境スタイル」推進事業	1人
(26) 新型インフルエンザワクチン予防接種事業	1人

事業名：農業委員に要する経費

農業委員会事務局

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
06	01	01	11	本年	35,936				35,936	32,956	91.7	
				前年	35,815		1,164		34,651	32,727	94.4	
				比較	121		1,164		1,285	229		

【事業の目的】

農業・農業者を代表する行政機関である農業委員会組織の運営を適正に行うため

【事業の概要】

農業委員会委員 41人 38人（選挙委員33人 30人，選任委員8人）

- (1) 毎月の定例調査会
- (2) 総会，運営委員会
- (3) 専門委員会，特別委員会
- (4) 農業行政先進地視察研修

【事業の成果及び効果】

農業委員会の法令に基づく業務を滞りなく処理し，農地の権利調整や農業経営の合理化など農業振興についての対策を進めた。

- (1) 毎月の定例調査会 (各地区ごとに12回開催)
- (2) 総会，運営委員会 (総会12回，運営委員会12回開催)
- (3) 専門委員会，特別委員会 (専門委員会16回，特別委員会2回開催)
- (4) 農業行政先進地視察研修 (1回)

事業名：農業委員会事務局に要する経費

農業委員会事務局

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
06	01	01	12	本年	5,989		1,612		7,601	6,555	86.2	
				前年	5,844				5,844	5,169	88.4	
				比較	145		1,612		1,757	1,386		

【事業の目的】

農業委員会の所掌事務処理を適正に行うため

【事業の概要】

- (1) 農業委員会事務処理電算システムの保守委託
- (2) 農業委員会広報紙「農委だよりつくば」の発行（年2回）
- (3) 農業委員会系統組織である茨城県農業会議への負担金納入

【事業の成果及び効果】

- (1) 農業行政システムにより，円滑で効率的な事務処理ができた。
- (2) 広報紙は，農業委員会活動や農政情報を農家に周知できた。  
農業委員会広報紙「農委だよりつくば」：11,000部×2回発行



**事業名：農地紛争事務処理に要する経費**

農業委員会事務局

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
06	01	01	13	本年	51				51			
				前年	207				207			
				比較	156				156			

【事業の目的】

農地の利用関係をめぐる紛争を当事者にとってより身近なところで、しかも簡易な手続きで事案の実情に即した柔軟で妥当な解決を図るため

【事業の概要】

農地法の規定に基づき、農地の利用関係の紛争について当事者から和解の仲介の申立てがあったときは、農業委員会会長が指名する3人の仲介委員によって和解の仲介を行う。

【事業の成果及び効果】

平成22年度は、和解の仲介の申立てがなかった。

**事業名：農業者年金に要する経費**

農業委員会事務局

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
06	01	01	14	本年	436				436	431	98.9	
				前年	269				269	258	95.9	
				比較	167				167	173		

【事業の目的】

農業者年金制度にかかわる事務を適正に行うため

【事業の概要】

- (1) 農協から送付を受けた農業者年金の資格取得、喪失、死亡、受給等各種諸届の受理点検、記載内容の事実の確認と農業者年金基金への送付
- (2) 農業者年金の加入推進活動
- (3) 農業者年金基金、県農業会議への調査報告
- (4) 農業者年金の受給相談

【事業の成果及び効果】

- (1) 農業者年金基金、県農業会議、農協と連携し、事務執行が適正に行われた(届出処理220件)。また、年金加入者、受給権者に対しても適正な指導ができた。
- (2) 加入推進については、認定農業者及び認定農業者の後継者等に対して農年パンフレットを送付。その後 50件の戸別訪問を実施した結果、5人の新規加入があった。

**事業名：農業後継者結婚あっせんに要する経費**

農業委員会事務局

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
06	01	01	15	本年	541				541	209	38.6	
				前年	599				599	135	22.5	
				比較	58				58	74		

【事業の目的】

兼業農家を含めた農家後継者の結婚に対する支援を行い、自立経営農家の育成と安定を図り、担い手である農業後継者を確保するため

【事業の概要】

市内の独身男性農家後継者と独身女性との出会いと交流の場を提供するため、男女の交流会を開催する。

【事業の成果及び効果】

平成21年度は参加者が少なかったため交流会を開催することができなかったが、平成22年度は男性8名、女性9名の参加者があり、5月から9月まで5回の交流会を開催した。

事業名：農業推進等に要する経費

経済部 農業課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
06	01	02	11	本年	26,146		1,288		24,858	23,288	93.7	
				前年	38,679		725		37,954	34,442	90.7	
				比較	12,533		563		13,096	11,154		

【事業の目的】

農業振興事業を円滑に推進するため、各集落と行政とのパイプ役となる農業推進委員の委嘱を行うため。また、農業近代化資金及び農業経営基盤強化資金の融資を受けた経営体に対し、農業経営の近代化、改善等の負担の軽減を図るため

【事業の概要】

- (1) 農業推進委員の委嘱・連絡調整
- (2) 農業近代化資金の融資を受けた経営体に対し、利子補給金補助金を交付する。  
農業経営基盤強化資金の融資を受けた経営体に対し、利子助成金を交付する。

【事業の成果及び効果】

- (1) 農業推進委員の活用により、農業関係各課と農業者等との円滑な関係が図れた。
- (2) 農業近代化資金・農業経営基盤強化資金利子助成実績

	平成22年度	平成21年度
農業近代化資金	3金融機関(28件) 2,047千円	4金融機関(36件) 2,211千円
農業経営基盤強化資金	上期7金融機関(8経営体) 下期9金融機関(15経営体) 5,275千円	上期7金融機関(9経営体) 下期9金融機関(12経営体) 4,992千円

事業名：農業振興地域整備促進に要する経費

経済部 農業課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
06	01	03	11	本年	2,742		1,050		1,692	1,561	92.3	
				前年	2,082		564		1,518	1,037	68.3	
				比較	660		486		174	524		

【事業の目的】

農業振興地域整備計画について、自然的、経済的、社会的諸条件を考慮した変更を行うため

【事業の概要】

- (1) 農業振興地域整備計画の変更(総合見直し)業務
- (2) 農振農用地利用計画変更申請の受付業務
- (3) 農振農用地利用計画変更申請に係る現地調査会
- (4) 農振農用地利用計画変更申請に係る農業振興地域整備促進協議会開催
- (5) 農振農用地区域内外証明交付業務

【事業の成果及び効果】

農振農用地の保全と土地の有効活用を図った。

- (1) 農業振興地域整備計画の変更(総合見直し)業務:5年ごとの見直し(5月21日告示)  
農用地面積(見直し前):6,817.0ha  
農用地面積(見直し後):6,777.4ha(除外による39.6haの減)
- (2) 農振農用地利用計画変更申請の受付業務

年度	受付	件数計	編入	除外	却下
平成22年度	1回(9月)	20件	1件	17件	2件
平成21年度	1回(9月)	30件	0件	28件	2件

- (3) 農振農用地利用計画変更申請に係る現地調査会:5地区(10月)
- (4) 農振農用地利用計画変更申請に係る農業振興地域整備促進協議会開催:年1回(11月)
- (5) 農振農用地域内外証明書交付業務

	平成22年度	平成21年度
交付件数	229件	271件

**事業名：農業・農村男女共同参画社会推進事業に要する経費**

経済部 農業課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
06	01	03	12	本年	1,322		462		860	534	62.1	
				前年	1,565		222		1,343	868	64.6	
				比較	243		240		483	334		

【事業の目的】

農業・農村における男女共同参画社会の形成に向けて、担い手として女性が農業経営や関連する活動へ積極的に参画するための支援を行うため。また、商工・観光業をはじめとする地域の異業種との交流の場を作り、女性の技術や知恵と絡めた新たな取組みを促すとともに、経営向上につながる農産加工などの新規の分野(アグリビジネス)への進出をサポートするため

【事業の概要】

- (1) 農業農村男女共同参画行動計画「虹のプラン2010」(推進期間:平成22~26年度)の実行
- (2) 家族経営協定締結の推進, 農業体験の受け入れ支援, 情報交換・研修会による農業者の意識の改革を通じて、女性の地位向上に努める。
- (3) 地域における農業女性組織の研修会, 交流会などの開催支援を行う。
- (4) 市内の農商工観光業者を対象としたセミナーを開催する。
- (5) 市内の農産物を活用した特産品づくりに取り組む。

【事業の成果及び効果】

- (1) つくば市農業農村男女共同参画社会推進委員会の開催 4回
- (2) 女性農業者組織の支援  
3組織(谷田部地区主婦農業講座, ドリームワークウーマンズ, いきいき女性農業士の会)
- (3) 家族経営協定の新規締結及び見直しの推進

	平成22年度	平成21年度
新規	12件	9件
見直し	4件	4件
総数	157件	145件

- (4) 農商工観光業者の連携を目的としたセミナーの開催支援 2回開催
- (5) 女性農業者制作加工品(3年後の完成を目標)の試作支援(ブルーベリー葉茶の成分分析の実施)

事業名：都市農村交流推進事業に要する経費

経済部 農業課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
06	01	03	13	本年	2,574		103		2,471	1,908	77.2	
				前年	2,487				2,487	2,352	94.6	
				比較	87		103		16	444		

【事業の目的】

つくば市の自然と農業に興味を持つ首都圏や研究学園地区の都市住民が本市の農家と交流を深め、農業及び農村地域の活性化を図るため

【事業の概要】

市内農家等が実施する農産物の収穫体験等のPR、農産物オーナー制度、農業サポーター制度等による都市農村交流の推進

【事業の成果及び効果】

- つくば市内での農業体験等の受入を実施している団体等をPRすることにより、消費者と生産者の交流の促進を図った。  
つくば・いなか応援隊 体験受入数 約5,000人
- つくば農産物オーナー制度を実施し、生産者と消費者の交流促進を図った。  
受入数 10農家128口
- つくばの農と食を知るツアーを実施し、つくばの農への理解を促進するとともに、生産者と消費者の交流を図った。  
7月30日、2月24日 参加者49名
- 農業サポート制度を実施し、農繁期の人手不足を解消するとともに、生産者と消費者の交流を図った。  
登録サポーター 133組(空豆・ブルーベリー収穫、トマトハウス片づけ)

事業名：畜産振興に要する経費

経済部 農業課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
06	01	04	11	本年	2,396		678		3,074	1,296	42.2	
				前年	2,466		1,278		3,744	2,851	76.1	
				比較	70		600		670	1,555		

【事業の目的】

家畜伝染病予防法に基づき、家畜の伝染性疾病の発生及び蔓延を予防・防止し、高品質で安全性の高い畜産物を安定供給することにより、畜産の振興及び経営の健全な発展を図るため

【事業の概要】

- 家畜への伝染性疾病予防注射の推進
- 検査・指導による防疫衛生の徹底
- 畜産共進会事業への参加
- 畜産団体への衛生指導・支援

【事業の成果及び効果】

- 各種の検査・指導を行い、施設の指導強化が図れた。

	平成22年度	平成21年度	平成20年度
蜜蜂ふそ病検査	7件・436群	10件・419群	10件・441群
馬伝染性貧血検査	6件・101頭	5件・91頭	5件・60頭
牛ヨーネ病・牛結核病・牛ブルセラ病	0件・0頭	1件・2頭	5件・207頭
豚オーエスキー病予防ワクチン摂取	8件・1,122頭	9件・4,538頭	10件・2,548頭

- 畜舎の衛生面の指導を強化し、家畜伝染病への防疫意識を高めた。
- 共進会や共励会へ参加し、生産意欲の向上が図れた。  
(種豚共進会へ1組、8頭出品。県南肉用牛枝肉共励会へ8名、14頭出品(黒毛和牛の部))
- 谷田部農協肉牛枝肉研究会の支援(11頭出品、最優秀賞受賞者に記念品)

事業名：土地改良事業に要する経費

経済部 土地改良課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
06	01	05	11	本年	573,251		29,549		602,800	579,506	96.1	22,180
				前年	632,921		33,586		599,335	597,988	99.8	
				比較	59,670		63,135		3,465	18,482		22,180

【事業の目的】

農業生産性の向上や農業経営安定化に向けた生産基盤の整備を図るため

【事業の概要】

- (1) 県営畑地帯総合整備事業負担金
- (2) ため池整備事業負担金
- (3) 山下地区基幹水利施設ストックマネジメント事業負担金
- (4) 北条地区県営かんがい排水事業負担金
- (5) 県営土地改良総合整備事業償還金補助
- (6) 団体営基幹水利施設補修事業償還金補助
- (7) 一般単独事業 排水路等整備工事
- (8) かんがい排水整備事業償還金補助

【事業の成果及び効果】

農地の基盤整備を実施することにより、労力の軽減及び計画的な生産等、農業経営の安定化と農村環境の改善が図られた。

- (1) 県営畑地帯総合整備事業負担金 34,660千円  
 谷田部北部地区, 遠東地区, 蓮沼・要地区, 下手地区  
 区画整理工, 農道工, 用地買収補償, 付帯工, 換地・測量試験費, 調査事業費(下手地区)
- (2) ため池整備事業負担金 15,000千円  
 県営西高野地区, 護岸工外
- (3) 山下地区基幹水利施設ストックマネジメント事業負担金 1,500千円
- (4) 北条地区県営かんがい排水事業負担金 L = 150m 5,625千円
- (5) 県営土地改良総合整備事業償還金補助金 川口地区 23,674千円
- (6) 団体営基幹水利施設補修事業償還金補助金 山下地区 2,104千円
- (7) 一般単独事業 排水路等整備工事 作谷地区外14地区 L = 6,189m 138,443千円
- (8) かんがい排水整備事業償還金補助金 272,536千円

事業名：霞ヶ浦用水建設に要する経費

経済部 土地改良課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
06	01	05	12	本年	207,218		4,232		202,986	201,814	99.4	1,169
				前年	746,683		16,517		730,166	729,477	99.9	
				比較	539,465		12,285		527,180	527,663		1,169

【事業の目的】

茨城県西南地域の関係13市町(つくば市・下妻市・土浦市・古河市・石岡市・結城市・常総市・笠間市・筑西市・坂東市・桜川市・八千代町及び境町)に対して畑地かんがい及び水田への補給水として、霞ヶ浦より農業用水を供給するため

【事業の概要】

推進組織の円滑な運営に対する補助金及び建設負担金

(1) 霞ヶ浦用水建設推進協議会運営負担金	1,650千円
(2) 霞ヶ浦用水県営かんがい排水事業負担金	9,834千円
(3) 霞ヶ浦用水団体営かんがい排水事業負担金	15,138千円
(4) 霞ヶ浦用水水資源機構営事業負担金	49,176千円
(5) 霞ヶ浦用水国営事業負担金	126,017千円

【事業の成果及び効果】

霞ヶ浦から安定的に農業用水を供給することで、慢性的な水不足が解消され生産性の向上が図られる。なお、市内においては受益面積3,106haの内、平成22年度現在約1,643haの農地に通水されている。

事業名：土地改良振興に要する経費

経済部 土地改良課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
06	01	05	13	本年	51,677				51,677	51,238	99.2	
				前年	90,865		372		90,493	88,630	97.9	
				比較	39,188		372		38,816	37,392		

【事業の目的】

土地改良事業で造成された施設の維持管理や、老朽化した施設の整備等に対して補助を行うことにより、生産基盤の安定化を図るため

【事業の概要】

- (1) 施設管理委託
- (2) 施設管理負担金
- (3) 工事補助
- (4) 霞ヶ浦用水国営造成施設管理体制整備促進事業補助
- (5) 農地・水・農村環境保全向上対策事業負担金

【事業の成果及び効果】

土地改良区が事業主体となって実施する維持補修工事や施設管理に対し補助を行うことにより、円滑な管理運営事業の推進及び受益者の負担軽減が図れる。

(1) 施設管理委託料	ため池6ヶ所・排水路1ヶ所	1,988千円
(2) 施設管理負担金	鍋沼機場外2地区・桜川機場運営1地区	7,381千円
(3) 工事補助金	維持管理適正化事業3件・県単事業1件	6,458千円
(4) 霞ヶ浦用水国営造成施設管理体制整備促進事業補助金		29,287千円
(5) 農地・水・農村環境保全向上対策事業負担金	作谷外9地区	5,713千円

事業名：農業用廃プラスチック処理対策に要する経費

経済部 農業課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
06	01	06	11	本年	823				823	501	60.9	
				前年	823				823	739	89.8	
				比較						238		

【事業の目的】

施設園芸農家より排出される使用済プラスチックの適正な処理の推進と農村環境の保全を図るため

【事業の概要】

- (1) 農業用廃プラスチックの適正処理に関する啓発、指導
- (2) 農業用廃プラスチックの適正処理推進協議会の運営補助
- (3) 農業用使用済ビニール・ポリエチレンの回収

【事業の成果及び効果】

使用済プラスチックの適正処理の啓発指導を行うことにより、農村環境の保全と施設園芸農家等の健全な発展に資することができた。

	平成22年度	平成21年度	平成20年度
使用済ビニール回収実績	9,860kg	17,860kg	15,260kg
使用済ポリエチレン回収実績	29,120kg	36,060kg	28,900kg
登録人数	92名	127名	131名

事業名：園芸振興に要する経費

経済部 農業課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
06	01	06	12	本年	18,387		7,705		10,682	10,076	94.3	
				前年	9,177		450		9,627	8,726	90.6	
				比較	9,210		8,155		1,055	1,350		

【事業の目的】

農業経営の安定と活性化を図るため、生産・経営技術の高度化を支援するとともに、消費者ニーズに対応する環境保全型農業の普及拡大を図るため

【事業の概要】

各種生産団体と関係機関の連携を図り、社会経済情勢の急激な変化に即応出来る生産、経営支援をするとともに、特別栽培等の環境保全型農業の園芸振興事業の展開

【事業の成果及び効果】

- (1) 地産地消の拡大、環境保全型農業の推進が図られた。
- (2) 学校給食への地域農産物導入 全地区(6地区)  
統一食材(コメシホウ米粉パン用小麦粉、つくば市産米粉、冷凍ブルーベリー果実、)地区別(白菜、ひらたけ、ぶなしめじ等計16品目)
- (3) パン用小麦「コメシホウ」の栽培に対する補助

	平成22年度	平成21年度
面積	7ha	5ha
補助額	1,956,285円	1,440,000円

- (4) 農産物フェア開催  
10月9・10日、大清水公園・参加団体27、来場者数35,000人
- (5) 果樹園の面積拡大に対する補助(苗木・資材等) 拡大面積 119a
- (6) つくば市内で生産されている在来芝、新品種芝の振興をするための補助  
(茨城県つくば芝振興協議会補助金)  
市内で生産されている芝新品種及び在来芝をPRすることにより普及拡大が図られた。

また、新品種等の原種管理を行い、高品質な芝の生産が促進された。

(7) 特別栽培の推進

市の推奨シール及び県の認証シール発行枚数

	平成22年度	平成21年度
推奨・認証シール発行枚数	41,400枚	65,050枚
特別栽培取組面積	169ha	40ha
推奨・認証シール発行農家数	7団体・8名の農業者	10団体・8名の農業者

(8) 遺伝子組換え作物栽培連絡会の開催

連絡会で遺伝子組換え作物の栽培実験内容を説明することで、計画の全体像が明らかになり、市民への情報提供が促進された。

**事業名：農道整備事業に要する経費**

経済部 土地改良課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
06	01	07	11	本年	388,917		1,597		390,514	381,243	97.6	7,245
				前年	488,418		3,286		485,132	482,380	99.4	
				比較	99,501		4,883		94,618	101,137		7,245

【事業の目的】

農業生産性の向上や農業経営の安定化に向けた生産基盤の整備を図るため

【事業の概要】

- (1) 一般単独事業 農道整備工事
- (2) 農道維持補修工事
- (3) 事業負担金及び補助金 つくば下総広域農道整備事業負担金、農道整備事業償還金補助金

【事業の成果及び効果】

未舗装農道の整備により、農作物の荷崩れや砂塵による減産防止を防ぐとともに輸送の円滑化と、農業経営の安定・農村環境の改善が図れる。

- (1) 一般単独事業 55,587千円  
農道整備工事 手子生外5地区 L = 1,461m
- (2) 農道維持補修工事 4,032千円  
中別府地区外5ヶ所
- (3) 事業負担金及び補助金  
つくば下総広域農道整備事業負担金 農道附帯工事  
(区画線工 L = 2,420m, ガ - ドレ - ル工 L = 21m)  
農道整備事業償還金補助金 295,416千円



事業名：農業経営対策事業に要する経費

経済部 農業課

款	項	目	事業年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
06	01	08	11	本年	5,991		2,438		3,553	3,241	91.2
				前年	3,585		85		3,500	2,756	78.7
				比較	2,406		2,353		53	485	

【事業の目的】

農業従事者の高齢化，担い手不足などの課題に対応するため，認定農業者等の担い手の確保・育成等を図る。また，農地の流動化を促進するため，農業経営基盤強化促進法に基づき，意欲ある農業者へ農地の集積を促進するため。さらに，耕作放棄地の解消を目的に，グリーンバンク事業を実施し，農地の貸し手と借り手の間を市が仲介・斡旋し，意欲ある担い手や新規就農者へ農地の集積や流動化を図るため

【事業の概要】

- (1) 元気アッププランを策定し，農業維持・発展を目指すための各種支援事業の展開
- (2) 新規就農希望者等に対する相談の実施
- (3) 「茨城農業改革」推進のため，農業者が組織する団体が行う取り組みを支援
- (4) 農業経営基盤強化促進法に基づく利用権設定の推進
- (5) グリーンバンク登録事務及び仲介，斡旋
- (6) グリーンバンク契約成立地の除草等委託業務の執行
- (7) グリーンバンクの推進(チラシの作成，配布及び市ホームページ掲載)

【事業の成果及び効果】

- (1) 認定農業者等の担い手の確保や育成，農業者のバックアップが図れた。

	平成22年度末	平成21年度末
認定農業者数	194経営体	191経営体
就農計画認定数	8件	5件

- (2) 普及センターと連携して新規就農希望者等に対する相談を実施した。
- (3) 現場提案型による産地作りや，農業改革に取り組む組織への助成：2団体
- (4) 利用権設定面積(新規分)

意欲ある農業者への農地の集積を進めることができた。

	平成22年度	平成21年度
面積	22.0ha	13.1ha

- (5) グリーンバンク登録数(延べ)

	平成22年度	平成21年度
貸し手	61件 18.0ha	40件 13.0ha
借り手	20件	10件
契約成立	9件 2.8ha	3件 1.4ha

- (6) グリーンバンク契約成立地の除草等実施面積(新規事業)：1.0ha

事業名：水田農業構造改革推進事業に要する経費

経済部 農業課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
06	01	09	11	本年	7,400		6,839		561	533	95.0	
				前年	7,973		3,947		4,026	3,626	90.1	
				比較	573		2,892		3,465	3,093		

【事業の目的】

生産調整の推進を図る。また、水田を有効活用して麦・大豆の生産に必要な機械・施設の整備を推進し、食料自給率の向上を図るため

【事業の概要】

- (1) 転作作物用(麦・大豆)機械購入費補助
- (2) 生産調整に係る事務の支援

【事業の成果及び効果】

- (1) 機械の導入により作業効率・生産効率が向上し、転作作物(麦・大豆)の本作化及び水田の有効活用が推進された。  
 転作作物機械導入 1組合 1台
- (2) 米価と農家経営の安定を図るための生産調整事務の執行が円滑に行われた。

事業名：市単水田農業構造改革対策事業に要する経費

経済部 農業課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
06	01	09	12	本年	151,282		19,709	65	131,638	131,638	100.0	
				前年	151,282		22,491		128,791	128,791	100.0	
				比較			2,782	65	2,847	2,847		

【事業の目的】

生産調整の実施者と未実施者との不公平感を解消し、生産調整の推進を図る。また、転作等の現地確認調査を実施し、助成金の適正交付を図るため

【事業の概要】

- (1) 生産調整目標面積の達成者に市単独で助成の実施
- (2) 市及び水田協議会職員、JA職員、農業推進委員、集落転作実践委員により、市内全域の現地確認調査の実施

【事業の成果及び効果】

- (1) 7月中9日間にわたり延べ27班54人体制での確な現地確認調査を実施したことにより、助成金の適正交付を図った。
- (2) 転作配分面積が1,671haに対し、転作実施面積が1,326haの実績であり、生産調整達成率は79%であった。

事業名：環境にやさしい農業推進事業に要する経費

経済部 農業課

款	項	目	事業年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
06	01	09	13	本年	16,976		2,884	65	14,027	11,861	84.6
				前年	14,183		126		14,309	7,563	52.9
				比較	2,793		3,010	65	282	4,298	

【事業の目的】

霞ヶ浦富栄養化防止基本計画に基づき、農業面においても施肥田植機の導入、休耕農地への被覆植物の作付推進、有機肥料への財政的支援を行い、環境保全型農業の推進を図るため

【事業の概要】

- (1) カバークロップ(被覆植物)導入補助
- (2) エコ農業に対する補助
- (3) 有機資材に対する補助
- (4) 水田緑肥に対する補助

【事業の成果及び効果】

- (1) カバークロップ(被覆植物)導入補助を96名に対する補助(1,365,830円)

	平成22年度		平成21年度	
エンバク	32.2 ha	2,576 kg	28 ha	2,293 kg
ハゼリソウ	10.9 ha	218 kg	15.2 ha	346 kg
ヘアリーベッチ	16.2 ha	649 kg	9.7 ha	424 kg
合計	59.3 ha	3,443 kg	52.9 ha	3,063 kg

- (2) エコ農業(掛かり増し経費)に対する補助(10,029,650円)

	平成22年度	平成21年度
補助した人数	10団体・12名の農業者	9団体・2名の農業者
補助した面積	309 ha	136 ha

- (3) 有機資材購入費に対する補助(100,000円)

	平成22年度	平成21年度
補助した人数	2名の農業者	7団体・3名の農業者
補助した面積	10 ha	163 ha

- (4) 緑肥作物種子代に対する補助(266,000円)

	平成22年度	平成21年度
補助した人数	3名	1名
補助した面積	14 ha	1 ha

事業名：ふれあいの里施設管理運営に要する経費

経済部 筑波ふれあいの里

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
06	01	10	11	本年	68,860				68,860	64,817	94.1	
				前年	67,326				67,326	63,287	94.0	
				比較	1,534				1,534	1,530		

【事業の目的】

筑波山麓の豊かな自然環境の保全や活用を通じて、学童、都市生活者及び市民等が農業に対する理解を深め、都市と農村の交流を図るため

【事業の概要】

- (1) 憩いの場の整備及び維持管理
- (2) 筑波山麓自然学校

8年目を迎えた筑波山麓自然学校は、充実したプログラムを提供することにより、筑波山麓の自然への理解を深めることや自然環境保全を担う人材の育成、自然資源の有効活用と地域の活性化を目指して活動を行う。

【事業の成果及び効果】

- (1) 施設整備

施設内の各所に花壇の設置やさらなる案内板の設置につとめた。

老朽化のため危険な箇所を修繕し、利用者のサービス向上に努めることができた。

樹木が年齢がたち大木となり枝が張ったため、全体的に暗いイメージがあり、全体的に枝打ちをして明るい雰囲気作りを行った。

施設利用状況

実習館(宿泊施設)	3,769人	コテージ	3,872人	キャンプ	846人
伝習施設	1,029人	管理施設	544人	バーベキュー施設	5,431人
研修室	1,125人	食堂利用者	2,922人	合計	19,538人

- (2) 筑波山麓自然学校

10回開催 参加者計 382人

1回は東日本大震災のため中止

事業名：ゆかりの森施設管理運営に要する経費

経済部 ゆかりの森

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
06	01	11	11	本年	53,841				53,841	49,516	92.0	
				前年	50,949				50,949	48,497	95.2	
				比較	2,865				2,865	1,019		

【事業の目的】

豊かな自然環境(植物・昆虫・野鳥等とふれあう環境)と体験・宿泊余暇活動の場を良好な状態で提供することにより、利用者の安らぎと自然保護思想の普及及び向上に寄与するため

【事業の概要】

ゆかりの森施設全般の管理運営

【事業の成果及び効果】

- (1) イルミネーションの設置(12月～1月)によりゆかりの森の存在と位置づけがわずかながらであるが周知することができた。
- (2) 宿舍あかまつの外壁を塗り替えしイメージアップしたことにより利用者に好感を与えることができ、それにより利用者増が見込まれる。
- (3) ホームページを独自に作成したことにより、施設の状況や新たな情報を随時発信することができるようになった。

施設利用状況

昆虫館	13,792人	テニスコート	3,337人	キャンプ場	27,828人	屋外ステージ	1,330人
宿舍あかまつ	6,786人	工芸館	4,581人	各種イベント参加	437人	合計	58,271人

施設利用収入 20年度 20,640千円 21年度 21,378千円 22年度 19,749千円

事業名：林道整備事業に要する経費

経済部 農業課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
06	02	01	11	本年	29,646		2,396		27,250	26,693	98.0	
				前年	29,852		5,822		24,030	23,775	98.9	
				比較	206		3,426		3,220	2,918		

【事業の目的】

森林の有する多面的な機能を持続的に発揮させ、森林施業者や増加する登山者、観光客等の通行上の安全を図るとともに、適正な森林施業の推進及び治山事業の効率的な施行に資するため

【事業の概要】

林道各路線と生活環境保全林管理道の維持管理(除草側溝清掃等)・補修・改良工事及び道路台帳整備等の実施

- (1) 林道維持管理整備(除草,側溝清掃,倒木等)
- (2) 林道沼田新田酒寄線改良工事
- (3) 林道補修工事
- (4) 林道災害復旧工事
- (5) 林道台帳整備

【事業の成果及び効果】

林道の整備委託,改良工事の実施によって,通行及び災害危険箇所を解消し,森林の総合利用の推進,山村の生活環境の整備を図った。

- (1) 林道整備委託事業 沼田新田酒寄線,白滝線,生活環境保全林管理道(L=6,500m)
- (2) 林道沼田新田酒寄線改良工事 舗装工(L=117.5m W=4.0m)
- (3) 林道補修工事 (沼田新田酒寄線・白滝線 約15箇所)
- (4) 林道災害復旧工事 路面舗装補修・路盤転圧・土砂搬出等(白滝線ほか2路線 約8箇所)

事業名：林業振興に要する経費

経済部 農業課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
06	02	01	12	本年	55,091		538		54,553	53,792	98.6	
				前年	45,360		5,471		39,889	37,641	94.4	
				比較	9,731		4,933		14,664	16,151		

【事業の目的】

森林の保全・整備を進め,機能豊かな森林の育成,林業生産活動の活性化を図るとともに,森林の有する多様な公益的機能を持続的に発揮させるため

【事業の概要】

- (1) 機能豊かな森林を育成し,緑の創出と活用を図るため,造林事業,森林整備事業等の実施
- (2) 林業の振興を総合的に推進するため,しいたけ生産振興資金の貸付

【事業の成果及び効果】

- (1) 造林・森林整備事業の実施によって,森林の有する多様な公益的機能を確保した。

造林(保育)事業実施面積

	平成22年度	平成21年度
造林	0.35 ha	0 ha
保育	0.77 ha	1.39 ha

身近なみどり整備推進事業

・整備事業(間伐, 枝打ち, 下刈り)

	平成22年度	平成21年度	平成20年度
整備面積	38.6 ha	30.2 ha	9.6 ha

・事業実施後(10年間)の維持管理協定の締結

	平成22年度	平成21年度
締結件数	39 件	2 件
締結面積	16.5 ha	4.5 ha

森林所有者・市・森林ボランティア団体等の三者協定

(2) 林業の振興を図った。

しいたけ原木の共同購入資金貸付(10,000千円) 1団体

事業名：高崎自然の森管理に要する経費

経済部 農業課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
06	02	01	13	本年	16,181				16,181	15,336	94.8	
				前年	53,302				53,302	51,075	95.8	
				比較	37,121				37,121	35,739		

【事業の目的】

自然環境の保全及び緑の育成を図り, 自然とのふれあいの場を提供するため設置した「高崎自然の森」の維持管理を行うため。また, 市民グループ等が森林体験活動等を行える快適な森林空間を創出するため

【事業の概要】

(1) 維持管理

施設の概要

計画面積 17.8ha, 供用面積 16.5ha

主な施設 管理棟, 便益施設, 駐車場, 散策路, 菖蒲園, 花畑, 芝生広場, 木製遊具等

施設管理委託 施設の清掃, 除草, 樹木の伐採等

土地賃借 借地面積 15.2ha

施設修繕工事 木製遊具修繕(木製アスレチック 2基)

(2) 施設の利活用

施設利用申請

森林・農山村体験イベント

森林ボランティア活動

【事業の成果及び効果】

(1) 維持管理

施設の維持管理を行うことにより, 高崎自然の森を良好な状態に保ち, 利用者に自然とのふれあいの場を提供した。

(2) 施設の利活用状況

	平成22年度	平成21年度
施設利用申請 (保育所・幼稚園, 地元団体, ボーイスカウト等)	延べ33団体	延べ30団体
体験イベント (四季の森づくり, ちびっ子森のたんけん隊等)	延べ 950人	延べ 930人
森林ボランティア活動 森林整備(下刈り, 枝打ち, 除伐等)	3団体(15回/年)	2団体(13回/年)

事業名：商工事務に要する経費

経済部 産業振興課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
07	01	01	11	本年	1,039			243	1,282	1,147	89.5	
				前年	1,254				1,254	837	66.7	
				比較	215			243	28	310		

【事業の目的】

商工行政事務を円滑に進めるため

【事業の概要】

商工会との連絡調整会議の開催

【事業の成果及び効果】

商工会との連携強化が図られ、商工事務の充実に努めた。

事業名：商工業振興に要する経費

経済部 産業振興課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
07	01	02	11	本年	45,626				45,626	44,938	98.5	
				前年	45,535		9,000		54,535	53,790	98.6	
				比較	91		9,000		8,909	8,852		

【事業の目的】

地域の指導的立場となる商工会との連携を図るため。また、中小企業の経営安定・強化を目指した地域振興を図るため

【事業の概要】

- (1) 地域振興を図るために、県内及び市内商工業関係機関・団体との連携強化並びに事業の実施
- (2) 市内工業団地企業連絡協議会の運営
- (3) 権限移譲事務の適正管理(火薬類取締法に規定する火薬類の譲渡、譲渡受け及び消費の許可事務、商工会法に規定する定款変更、事業報告書の受理並びに指導検査)
- (4) つくば市宝篋山ふるさとの山づくり懇談会の開催、及び植樹祭準備会の設置・運営
- (5) 大規模小売店舗立地法の調整
- (6) 北条市活性化プロジェクト「北条市」補助
- (7) 駅前賑わい創出支援補助 つくば駅周辺の光のイルミネーション事業支援

【事業の成果及び効果】

中小企業の経営安定・強化を促進するとともに、補助金等により、地域経済の健全な育成、発展及び地域の活性化が図られた。

- (1) 地域振興を図るため、県内及び市内商工業関係機関・団体との連携強化並びに事業の実施  
アイラブつくば補助金を活用し、谷田部内町商店街の活性化を目指す団体「谷田部千歳通りフラワーボランティア会」を支援することにより、商店街の賑わい、活性化が図れるよう努めた。
- (2) 市内工業団地企業連絡協議会  
(総会：5月、役員会4回、賀詞交歓会1回、セミナー2回、視察研修1回)
- (3) 権限委譲事務の適性管理  
火薬類取締法に規定する許可事務(譲渡及び譲受・消費許可12件、煙火9件 計21件)  
商工会法に規定する事業報告書の受理(1件)
- (4) つくば市宝篋山ふるさとの山づくり懇談会の開催(1回)、植樹祭準備会の開催(7回)
- (5) 大規模小売店舗立地法の調整
- (6) 北条市補助金 500,000円  
北条市開催 年4回(春・夏・秋・冬) 出店団体計153団体 参加者約10,000名  
市内既存商店街で唯一商店会活動を実施している北条商店街への支援を行うことで、北条商店街のもつ魅力をPRすることができた。

(7) 駅前賑わい創出支援補助金 2,500,000円  
 つくば駅周辺の光のイルミネーション事業支援  
 期間:平成22年11月上旬から平成23年1月上旬 来訪者数約48万人

**事業名：融資対策に要する経費** **経済部 産業振興課**

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
07	01	02	12	本年	199,693		22,786		176,907	135,438	76.6	
				前年	197,150		20,178		176,972	137,381	77.6	
				比較	2,543		2,608		65	1,943		

【事業の目的】

中小企業の金融の円滑化及び経営基盤の安定化に努めるため

【事業の概要】

- (1) 中小企業事業資金融資あっせん審査会の開催
- (2) 自治金融, 振興金融の融資あっせん
- (3) 中小企業事業資金信用保証料補助  
(融資利用者への保証料補助 茨城県信用保証協会に間接補助)
- (4) 中小企業経営対策事業融資資金利子補給補助  
(融資利用者へ36ヶ月分利子補助: 上限1.25%)
- (5) 自治金融管理システム保守管理業務委託(委託先: 茨城計算センター)
- (6) 自治金融, 振興金融の受付業務委託(委託先: つくば市商工会)

【事業の成果及び効果】

中小企業の金融の円滑化及び経営の安定化に寄与した。

- (1) 中小企業事業資金融資あっせん審査会を毎月1回開催(計12回)
- (2) 融資あっせん件数 341件 融資あっせん額 1,155,950千円
- (3) 保証料補助件数 337件 補助額 28,771千円
- (4) 利子補給件数 1,420件 補給額 32,656千円

**事業名：つくば産業創出支援事業に要する経費** **経済部 産業振興課**

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
07	01	02	13	本年	53,852		4,260	46	58,158	45,736	78.6	
				前年	57,805		549		57,256	47,768	83.4	
				比較	3,953		4,809	46	902	2,032		

【事業の目的】

「つくば市産業振興マスタープラン」に基づき、「産学官連携の推進」、「既存企業の躍進」、「企業立地の促進」、「新規創業の促進」を目標とした環境整備を推進し、市内における研究機能の集積を活かした産業創造を図るため

【事業の概要】

- (1) 産学官連携の推進
- (2) つくば産業戦略会議の開催
- (3) つくば市産業戦略推進委員会の開催
- (4) つくば市産業セミナーの開催
- (5) つくば人材企業情報コーディネーター(産業コーディネーター)による情報収集・相談・アドバイス
- (6) つくば産業情報ネットワークの維持管理及び内容更新
- (7) つくば産業創出支援補助金交付要綱の運用
- (8) つくば産業フェアの開催
- (9) ロボットの街つくばの推進事業



- (10) ものづくり技術展示キャラバンの開催
- (11) 固定資産税の課税免除申請受付業務  
(つくば市産業活動の活性化及び雇用機会の創出のための固定資産の特別措置に関する条例)
- (12) つくばインターンシップ・コンソーシアムとの連携によるインターンシップ制度の周知,及び就職相談会の開催
- (13) つくば産業振興センターの管理運営及び入居企支援
- (14) つくば産業振興センター入居企業審査会の開催

【事業の成果及び効果】

「つくば市産業振興マスタープラン」に基づき,産業推進を図るため,産業戦略会議や産業推進委員会を開催し,今後の産業振興施策立案に反映させるよう産業活性化のための提言・要望等を議論した。

また,産業コーディネーターによる企業訪問や技術相談支援,産業フェアやものづくり展示キャラバンの開催により,市内研究機関及びフェア来訪者に市内企業の紹介や販路開拓支援を行った。

さらに,日本初「つくばモビリティロボット実験特区」の認定を受け,自立型移動ロボットの公道実験「つくばチャレンジ」や「全日本マイクロマウス大会」を開催し,「ロボットの街つくば」を市内外に広くPRすることができた。

- (1) 産学官連携の推進(筑波大・産総研・物材機構・高エネ研などとの連携)  
JSTとの育成研究成果報告会・シーズ発表会の共催

- (2) つくば産業戦略会議の開催(2回)

- (3) つくば市産業戦略推進委員会の開催  
(全体会2回,各部会:第一部会5回,第二部会4回,第三部会6回)

- (4) つくば市産業セミナーの開催(2回)

- (5) つくば人材企業情報コーディネーター(産業コーディネーター)による情報収集・相談・アドバイス

- (6) つくば産業情報ネットワークを活用して,産業支援情報等を発信

- (7) つくば産業創出支援補助金交付要綱の運用(交付実績件数:28件)

・賃貸型企業立地推進奨励補助金	11件	2,698千円
・新製品等販路拡大支援補助金	7件	1,601千円
・経営革新計画承認奨励補助金	8件	2,400千円
・創造的研究開発補助金	2件	1,445千円
合計	28件	8,144千円

- (8) つくば産業フェアの開催(延べ35,000人来場)

- (9) ロボットの街つくばの推進

- ・日本初「つくばモビリティロボット実験特区」の認定
- ・つくばロボットフォーラム2010の開催
- ・つくばチャレンジ(エントリー数70チーム)
- ・全日本マイクロマウス大会2010の開催

- (10) ものづくり技術展示キャラバンの開催(8回)

産業技術総合研究所(2回),物質材料研究機構,農林研究団地,宇宙航空研究開発機構筑波宇宙センター,高エネルギー加速器研究機構,森林総合研究所ほか

- (11) 固定資産税の課税免除申請受付業務(50件)

- (12) つくばインターンシップ・コンソーシアムとの連携によるインターンシップ制度の周知,及び就職相談会の開催

- ・インターンシップ受入承諾企業数 78社,
- ・インターンシップ参加希望(マッチングフェア参加)学生数 109名,
- ・インターンシップマッチング者 45名
- ・企業説明会の参加企業数 19社

- (13) つくば産業振興センター入居企業数4社

- (14) つくば産業振興センター入居企業審査会の開催(1回)

事業名：計量法事務に要する経費

市民部 消費生活センター

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
07	01	02	14	本年	986				986	756	76.7	
				前年	986				986	920	93.3	
				比較						164		

【事業の目的】

適正な計量の実施を確保することにより、消費者利益を保護し、経済の発展及び文化の向上に寄与するため

【事業の概要】

- (1) 特定計量器定期検査
- (2) 商品量目立入検査
- (3) 産業フェア「計量ブース」設置
- (4) 特定市計量行政会議・協議会への参加
- (5) 計量技術講習会

平成19年4月の特例市移行に伴い、計量法事務の権限委譲を受け計量事業を開始

【事業の成果及び効果】

市が計量事務を行うようになったことによる効果は、定期検査の受検率向上及び効率的な立入検査の実施である。それにより、消費者の利益保護と適正な計量確保に寄与した。

また、産業フェアで「計量ブース」を設置し、普及・啓発活動を行ったことにより、市民の計量法に対する関心向上の一助となった。

- (1) 特定計量器定期検査(5日間)

年 度	対象地区	検査個数	内不合格
平成22年度	豊里・谷田部・荃崎	364個	1個
平成21年度	筑波・大穂・桜	360個	4個

- (2) 商品量目立入検査 3件(スーパー1, 食品1, ガソリンスタンド1)

- (3) 産業フェア

10月9日～10日の2日間、つくばカピオにて計量ブースを設置  
産総研の協力により、「はかる」を知ろう！を実施した。

- (4) 特定市計量行政会議・協議会(計6回、内2回文書会議)へ参加し、意見交換を行った。

- (5) 産総研主催の計量技術講習会(約4週間)を受講

事業名：企業誘致推進事業に要する経費

経済部 産業振興課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
07	01	02	15	本年	3,443		497	289	2,657	1,911	71.9	
				前年	4,717				4,717	4,463	94.6	
				比較	1,274		497	289	2,060	2,552		

【事業の目的】

市内事業者には各種PR活動や企業訪問活動を行い、技術的・経済的に波及効果を持つものづくり中堅企業やロボット・IT等のハイテク企業の誘致を目指すため。また、市の産業構造上不足している機能を補完しつつ、研究機能や都心への利便性といったつくばの強みを生かした産業集積を図るため。ひいては、内外にアピールすることで、地域の持つポテンシャルをさらに高めるため

【事業の概要】

- (1) 市内企業フォローアップ訪問
- (2) 事業用地問い合わせ企業への訪問・説明
- (3) 空き用地の情報収集及び提供・交換
- (4) 東京事務所と連携したシティセールスと誘致活動
- (5) 就職説明会、再就職支援セミナー等の支援
- (6) 各種先端業種展示会への出展

【事業の成果及び効果】

2008年のリーマンショックの影響で長い景気の低迷状態にあり、企業の設備投資がまだ抑えられており、多くの新規立地を呼び込むことは難しい状況にある。

しかし、企業の設備投資が再開される時期に備えて、つくばのポテンシャルを活かした企業誘致活動を行ってきた。加えて、茨城県圏中央道沿線地域産業・交流活性化協議会と連携して、各種先端業種展示会への参画など積極的なPR活動を行った。

平成22年度の新規立地企業数 2社(内1社は、23年度中に竣工)

- |   |     |
|---|-----|
| (1) 市内企業フォローアップ訪問及び市外企業訪問   | 41社 |
| (2) 事業用地問い合わせ企業への訪問・説明  | 5社  |
| (3) 空き用地の情報収集及び提供・交換  |     |
| (4) 東京事務所と連携したシティセールスと誘致活動として、「つくば産産学連携促進市inアキバ」の開催他                                  |     |
| (5) 就職説明会、再就職支援セミナー等の後援、共催  |     |
| (6) 東京都産業交流展(東京ビッグサイト)、CEATECジャパン(幕張メッセ)、インターナショナルCES(米国)へ出展PR、産業交流フォーラム(秋葉原ダイビル)の開催他 |     |

事業名： 観光施設整備事業に要する経費

経済部 観光物産課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
07	01	03	11	本年	42,491	3,885	8,162	383	38,597	37,818	98.0	
				前年	67,456		4,326		63,130	55,380	87.7	3,885
				比較	24,965	3,885	3,836	383	24,533	17,562		3,885

【事業の目的】

筑波山周辺観光整備基本構想に基づき、筑波山頂を含む山麓山裾観光振興を図るため

【事業の概要】

- (1) 筑波山頂水道整備工事測量設計業務委託
- (2) 筑波山頂水道整備工事  
電通機場・第4機場間送水管整備
- (3) 梅林南駐車場進入路用地鑑定評価委託
- (4) 筑波山観光案内所空調機器設置工事
- (5) 六斗の森パーベキュー施設屋根設置工事
- (6) 観光案内板設置工事
- (7) 筑波山麓山裾植栽工事
- (8) 筑波山管理用道路整備工事

【事業の成果及び効果】

筑波山頂を含む山麓山裾観光施設整備の実施を通して、筑波山頂においては、安心安全な観光客受け入れ態勢の充実、筑波山麓山裾地域においては、山頂からの回遊性向上による観光誘客の促進を図ることができた。

事業名： 観光施設維持管理費に要する経費

経済部 観光物産課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
07	01	03	12	本年	79,005		579	383	78,043	74,525	95.5	
				前年	74,953				74,953	67,041	89.4	
				比較	4,052		579	383	3,090	7,484		

【事業の目的】

観光客等の視点による観光施設等の維持管理を行うため

【事業の概要】

- (1) 筑波山登山道及び筑波山梅林等の維持
- (2) 筑波山頂公衆便所等の清掃及び浄化槽維持管理委託
- (3) 荃崎こもれび六斗の森の管理運営を指定管理委託
- (4) つつじヶ丘公園の維持管理のため、除草作業委託
- (5) 筑波山市営駐車場の監視及び料金収集業務委託
- (6) 筑波山梅林の樹勢・樹形を保つため、剪定業務委託
- (7) 筑波山梅林公衆便所修繕工事

【事業の成果及び効果】

観光客等に繰り返し訪れていただけるよう観光施設等の適切な維持管理を行い、受入れ態勢の充実を図ることができた。

事業名：観光行事に要する経費

経済部 観光物産課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
07	01	03	13	本年	47,658				47,658	45,111	94.7	
				前年	39,117				39,117	36,716	93.9	
				比較	8,541				8,541	8,395		

【事業の目的】

各種イベントを主催・共催することで観光産業や地域経済の活性化を図り、さらなる観光客誘致を促進するため

【事業の概要】

- (1) つくば物語2010の開催
- (2) 補助事業 まつりつくば、つくばフェスティバル、ひまわりまつりへの補助

【事業の成果及び効果】

- (1) つくば物語2010

開催日：平成22年10月30日(土)

開催場所：平沢官衙遺跡歴史広場 市民ホールつくばね(荒天のため)来場者数：約600人

内容：フルート奏者「山形由美」の演奏をメインとし、バイオリン奏者「牧山純子」コンサート、現代日本舞踊「美作流」(みまさかりゅう)演舞の実施した。

筑波山麓秋祭りと連携、筑波山麓周遊バスの運行、を計画し集客につとめたが、荒天により、「市民ホールつくばね」でコンサートのみの実施となったため、集客に結びつかなかった。

- (2) 補助事業

季節ごとに行われるイベントに対し補助することで、イベントの内容をより充実させ、多くの観光客を誘致することができ、観光振興及び地域経済の活性化が図られた。

まつりつくば補助金 29,332,314円

開催日：平成22年8月28日(土)～29日(日)来場者数：延べ49万人

開催場所：TXつくば駅周辺各会場(第1会場)・研究学園駅前公園会場(第2会場)

内容：新庁舎開庁記念・第30回記念大会として、つくば駅周辺各会場と研究学園駅前公園会場の2会場で実施し、第2会場の花火、アートの盛況等もあり、多くの来場者を迎えることができた。

つくばフェスティバル補助金 5,555,415円

開催日：平成22年5月15日(土)・16日(日)来場者数：約8万人

開催場所：つくば市役所新庁舎周辺、研究学園駅前公園、イーアスつくば

内容：「つくばの科学と国際交流」をテーマに2日間開催し、多くの子どもが科学や国際交流を身近に感じる事ができる催事として盛況であった。

ひまわりまつり補助金 1,249,211円

開催日：平成22年11月6日(土)来場者数：延べ8千人

開催場所：荃崎公民館前芝生広場

事業名：観光振興に要する経費

経済部 観光物産課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
07	01	03	14	本年	70,474		2,230		68,244	62,014	90.9	
				前年	72,234		1,000		73,234	64,961	88.7	
				比較	1,760		3,230		4,990	2,947		

【事業の目的】

筑波山及び山麓周辺の歴史や自然，研究学園都市に集積する先端技術の体験型観光等の振興することにより，来訪者の増加を図るため。また，(社)つくば観光コンベンション協会を通じて，観光産業の振興，学術会議の誘致を図り，観光地としてのPRを行うため。さらに，各観光振興団体との連携を図り，つくば市観光の振興を推進するため

【事業の概要】

- (1) 首都圏を中心に，つくば市の観光PRキャンペーンを実施し，観光振興と誘客に努める。
- (2) 各観光振興団体に対する補助・指導を実施し，観光振興を実施する。
- (3) 「観光案内業務委託」「つくば市学術会議支援事業事務委託」「レンタサイクル事業委託」を実施し観光振興を図る。
- (4) 筑波山の秋の渋滞対策として，筑波山麓周遊バスの運行を実施し誘客に努める。

【事業の成果及び効果】

- (1) つくばエクスプレス秋葉原駅を中心に，観光キャンペーンを開催するなど，観光客誘致図った。併せて，つくば市記者クラブへ定期的に情報発信することや，エクスプレス情報誌に「筑波山花めぐり」コーナーを設け，毎月筑波山の花を紹介するとともに，イベント情報の発信を実施することで，観光振興が図られた。
- (2) つくば観光コンベンション協会をはじめ各種観光団体に補助・指導を行うことにより，適正な事業運営を行わせることができ，観光振興に結びついた。
- (3) 各委託業務を通じて，つくば市の観光振興が図られた。特に，多くの国際会議等各種会議が誘致され，関連業界の経済波及効果を上げた。
- (4) 10月下旬から11月下旬の土日祝日の筑波山麓周遊バスの運行し，秋の「筑波山」交通渋滞対策の一助となり，筑波山の観光振興が図られた。併せて，「筑波山麓地域づくり連絡協議会」と連携を図り運行したことで山麓観光の振興も図られた。

事業名：観光宣伝に要する経費

経済部 観光物産課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
07	01	03	15	本年	13,256				13,256	10,311	77.8	
				前年	15,941		3,717		12,224	9,761	79.9	
				比較	2,685		3,717		1,032	550		

【事業の目的】

つくば市の観光PRを行い，より多くの来訪者を誘客することにより，つくば市の知名度向上，関連業種への経済波及効果を上げるため

【事業の概要】

- (1) つくば市観光パンフレットを作成し，観光関連施設や来訪予定者に送付。また，各種イベント時に配布し観光振興を図る。
- (2) 観光キャンペーンに参加し，観光宣伝を積極的に実施し誘客に努める。
- (3) JR東日本水戸支社への協力により，駅からハイキングとして「筑波山梅まつり」時に筑波山ハイキングを実施し，筑波山への誘客を図る。
- (4) 新聞，雑誌等にイベント情報や観光スポットなどへの掲載し誘客に努める。
- (5) 漫遊いばらき観光キャンペーン推進協議会・JR東日本水戸観光連盟に引き続き加入しつくば市のPRを実施する。

(6) サイエンスツアー事業への負担金を拠出し、事業の推進を図る。

【事業の成果及び効果】

- (1) まるごとつくば(日・英), まるごと筑波山, 宝篋山パンフレットの作成し, 観光関連施設や来訪予定者に送付。また, 各種イベント時に配布し観光振興が図られた。
- (2) 荒川区川の手まつり, シロカネ・グローバルフェスタ等の観光キャンペーンに参加し, 観光宣伝を積極的に行いつくば市への誘客を実施した。
- (3) 駅からハイキング事業として「筑波山梅まつり」時に筑波山ハイキングを実施し, 筑波山への誘客を実施した。
- (4) 新聞, 雑誌等にイベント情報や観光スポットなどへの掲載し誘客が図られた。
- (5) 漫遊いばらき観光キャンペーン推進協議会・JR東日本水戸観光連盟に引き続き加入しつつくば市のPRを実施することができた。
- (6) サイエンスツアー事業への負担金を拠出し, 事業の推進を図ることができた。

事業名：観光客動態調査に要する経費

経済部 観光物産課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
07	01	03	16	本年	394				394	328	83.2	
				前年	394				394	229	58.1	
				比較						99		

【事業の目的】

茨城県からの事務委託により, 観光レクリエーション地域における観光客の動態を把握し, 観光施策の実施及び推進に必要な基礎資料の収集を行うため

【事業の概要】

(1) 通年調査

市内4箇所の調査地点(筑波山・筑波実験植物園・つくばエキスポセンター・筑波宇宙センター)において, 入込観光客数調査及び入込観光客アンケート調査(筑波山のみ)を実施する。第4四半期については調査地点を3カ所(地図と測量の科学館・筑波実験植物園・地質標本館)増設し実施する。

(2) 限定期調査

つくば牡丹園)において, 4, 5月の入込観光客数調査を実施する。

(3) 行祭事・イベント調査

イベント等において, 入込観光客数調査を実施する。

【事業の成果及び効果】

茨城の観光レクリエーション現況を把握し, 今後の観光施策に役立てることができる。

- (1) 通年調査 (調査日)原則5月, 8月, 11月, 2月の第1曜日及び第1水曜日(例外有り)
- (2) 限定期調査 (調査日)つくば牡丹園:4月1日～6月7日(春のイベント期間中)
- (3) 行祭事・イベント調査(調査日) つくばフェスティバル:5月15日～16日  
まつりつくば: 8月28日～29日  
梅まつり: 2月19日～3月11日

事業名：フィルムコミッション事業に要する経費 経済部 観光物産課フィルムコミッション室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
07	01	03	17	本年	961		952		9	8	88.9	
				前年	961				961	773	80.4	
				比較			952		952	765		

【事業の目的】

つくば市の地域資源を映画，TV等のマスメディアを活用することにより市の地域振興及びイメージアップを図るため

【事業の概要】

平成22年4月1日をもって，つくば観光コンベンション協会にフィルムコミッション事業は移管されたが，フィルムコミッション室で取り交わしていたFAXの賃貸借契約の解約が4月30日となったため，1ヶ月分のFAX賃借料をフィルムコミッション室の予算で支出する。

【事業の成果及び効果】

1ヶ月分のFAX賃借料8,295円を支出した。



事業名：道路整備事務に要する経費

都市建設部 道路課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
08	01	01	11	本年	971				971	825	85.0	
				前年	971				971	778	80.1	
				比較						47		

【事業の目的】

市民生活、経済活動の基盤として道路体系を確立し、広域幹線、地方幹線道となる国・県道の整備促進を推進するため。また、地域住民の生活圏形成に重要な役割を果たす市道の整備について、関係機関との調整を図るため

【事業の概要】

茨城県、近隣市町による道路整備に関する協議会等の調整(14団体)

【事業の成果及び効果】

道路整備に関する関係機関との調整、事業の推進が図られた。

事業名：道路管理事務に要する経費

都市建設部 道路課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
08	01	01	12	本年	52,319		3,700		48,619	41,625	85.6	4,515
				前年	29,731				29,731	26,773	90.1	
				比較	22,588		3,700		18,888	14,852		4,515

【事業の目的】

道路管理の円滑化と充実を図るため

【事業の概要】

- (1) 道路の認定・廃止
- (2) 道路台帳の整備
- (3) 道路占用許可
- (4) 道路の承認工事
- (5) 道路の境界確認
- (6) 放置車両の撤去
- (7) 道路情報便覧
- (8) 法定外公共物の管理

【事業の成果及び効果】

道路の有効、適正なる管理が図られる。

- (1) 道路の認定・廃止 (認定323路線 廃止109路線)
- (2) 道路台帳の整備
- (3) 道路占用許可 (1,170件)
- (4) 道路の承認工事 (161件)
- (5) 道路の境界確認 (399件)
- (6) 放置車両の撤去 (0件)
- (7) 道路情報便覧
- (8) 法定外公共物の管理(払い下げ 7件)

事業名：登記事務に要する経費

都市建設部 道路課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
08	01	01	13	本年	7,764				7,764	7,610	98.0	
				前年	7,237				7,237	6,313	87.2	
				比較	527				527	1,297		

【事業の目的】

道路買収用地の登記申請を行い、未登記物件の解消を図るため

【事業の概要】

- (1) 未登記道路用地及び当年度買収用地の登記申請
- (2) 市道の廃止に伴う払い下げ申請

【事業の成果及び効果】

買収用地の登記がなされることにより、土地の状態、管理権が明確になり私権の制限が図られる。

- (1) 未登記道路用地及び当年度買収用地の登記申請 (367件)
- (2) 市道の廃止に伴う払い下げ申請 (9件)

事業名：営繕事務に要する経費

都市建設部 営繕・住宅課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
08	01	01	14	本年	636				636	347	54.6	
				前年	358				358	279	77.9	
				比較	278				278	68		

【事業の目的】

市有建築物に係わる建築工事の総合調整及び設計・施工監理により、適正かつ円滑に工事を行うため

【事業の概要】

各主管課からの予算令達により、市有建築物の新築、改築、増築若しくは模様替えであって、当該工事費が1,000万円を超える建築工事の設計協議及び工事監理

【事業の成果及び効果】

- (1) 工事の適正かつ円滑な工事監理を行い、主管課の事業スケジュールに支障が生じないよう工事の完成・引渡しに努め、施設利用者の環境の向上に寄与した。
- (2) 事業経費の執行については、コストの縮減を念頭に適正な予算執行に努めた。

<平成22年度事業>

- 子育て支援センター建設工事
- つくばウェルネスパーク太陽光発電設備工事
- 九重小学校校舎耐震補強工事 他5件の耐震改修工事
- (仮)春日小学校・中学校建設工事
- 荳崎第一児童クラブ施設新築工事
- 市営ひがし谷田川団地3・4・5号棟給水改修工事
- 豊里分署庁舎防水塗装改修工事

事業名：道路維持管理に要する経費

都市建設部 道路課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
08	02	01	11	本年	528,599	77,177	103,540	64	709,252	667,979	94.2	34,346
				前年	502,961	13,992	158,396		675,349	588,348	87.1	77,177
				比較	25,638	63,185	54,856	64	33,903	79,631		42,831

【事業の目的】

市民生活の基盤となる道路の維持補修を行い、良好な道路環境を維持するため

【事業の概要】

- (1) 小規模な道路補修・維持工事
- (2) 通学路等の除草
- (3) 舗装打替え工事

【事業の成果及び効果】

舗装補修、側溝の改修、交通安全施設の設置・改修及び通学路等の除草を行い、道路通行上の安全を確保した。

- (1) 小規模な道路補修・維持工事
- (2) 通学路等の除草                   18小学校区   A = 253,356m<sup>2</sup>
- (3) 舗装打替え工事                 18路線       L = 7,617m   A = 48,405m<sup>2</sup>

事業名：道路新設改良に要する経費

都市建設部 道路課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
08	02	02	11	本年	424,381	196,990	21,309	64	642,744	537,868	83.7	94,806
				前年	549,682	93,363	173,453		816,498	609,832	74.7	196,990
				比較	125,301	103,627	152,144	64	173,754	71,964		102,184

【事業の目的】

市民生活の基盤となる道路の改良を行い、良好な道路環境を図るため

【事業の概要】

- (1) 道路改良
- (2) 排水整備
- (3) 通学路整備

【事業の成果及び効果】

幅員の狭い道路の解消、雨水の処理が行われ、歩行者及び車輛の安全が確保され、良好な道路環境が確保された。

また、蓋無し側溝をボックス型側溝に布設替えることにより、通学路の安全性が確保された。

- (1) 道路改良                   24路線       L = 3,175m
- (2) 排水整備                 3路線       L = 389m
- (3) 通学路整備               3路線       L = 329m (前年度繰越額分)

事業名：緊急地方道整備に要する経費

都市建設部 道路課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
08	02	03	11	本年	327,814	96,996	11,798		413,012	338,746	82.0	74,018
				前年	352,314	125,958	23,400		454,872	344,520	75.7	96,996
				比較	24,500	28,962	11,602		41,860	5,774		22,978

【事業の目的】

国、県の補助事業を導入し市内幹線道路の整備を行い、道路網の確立を図るため

【事業の概要】

国庫補助事業

- (1) 用地取得 市道1-18号線  
葛城北線  
酒丸上沢線  
葛城東光台線
- (2) 工事 市道1-18号線 道路改良舗装工事  
葛城東光台線 道路改良舗装工事  
市道6-3106号線 道路改良工事
- (3) 委託 橋梁長寿命化修繕計画策定業務

【事業の成果及び効果】

市道1-18号線については、用地取得済区間 L = 699mを施工し、全体計画延長の約56%を完了した。  
葛城東光台線については、用地取得済区間 L = 100mを施工し、全体計画延長の約47%を完了した。  
市道6-3106号線については、当該年度より地盤改良及び盛土工事に着手し、平成23年度繰越により現在も工事を実施中である。

国庫補助事業

- (1) 用地取得 市道1-18号線 A = 25m<sup>2</sup>  
葛城北線 A = 3,381m<sup>2</sup>  
酒丸上沢線 A = 3,294m<sup>2</sup>  
葛城東光台線 A = 808m<sup>2</sup>
- (2) 工事 市道1-18号線 道路改良舗装工事 L = 699m  
葛城東光台線 道路改良舗装工事 L = 100m  
市道6-3106号線 道路改良工事 L = 252m(平成23年度繰越：契約済)
- (3) 委託 36橋梁(15m以上の道路橋)橋梁長寿命化修繕計画策定業務  
(平成23年度繰越：契約済)

事業名：河川維持管理に要する経費

都市建設部 道路課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
08	03	01	11	本年	33,951		4,000		29,951	12,008	40.1	15,750
				前年	33,813		5,000		38,813	33,402	86.1	
				比較	138		9,000		8,862	21,394		15,750

【事業の目的】

市内主要河川の整備について、県・近隣市町と協議を行い、整備の促進を図り河川による災害を防止するため

【事業の概要】

- (1) 小貝川樋管操作点検委託
- (2) 八幡川護岸工事

【事業の成果及び効果】

河川清掃活動への参加により、河川に対する関心の高まりと親近感が増した。

- (1) 小貝川樋管操作点検委託 9か所
- (2) 八幡川護岸工事 L = 82.2m

事業名：都市計画審議会に要する経費

都市建設部 都市計画課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
08	04	01	11	本年	737		413		324	128	39.5	
				前年	788		549		239	126	52.7	
				比較	51		136		85	2		

【事業の目的】

都市のあり方を決定する重要事項を都市計画決定するにあたり、調査・審議するため、都市計画法第77条の2第1項に基づき、都市計画審議会を設置するため

【事業の概要】

都市計画審議会を開催し、都市計画決定案件等について審議する。

つくば市都市計画審議会委員：15名（定員15名）

<委員の内訳>

学識経験者：7名

市議会議員：2名

関係行政機関の職員：2名

茨城県の職員：1名

市民：3名

【事業の成果及び効果】

(1) 都市計画審議会委員を、平成23年1月15日～平成25年1月14日の期間で、新たに任命した。

(2) 開催内容

平成22年度 開催回数：1回（平成22年5月25日）

案件名及び内容

稲岡地区地区計画の決定について

首都圏中央連絡自動車道つくば牛久IC及び国道6号牛久土浦バイパスに隣接する地区について、無秩序な市街化を抑制するとともに、緑豊かな周辺環境との調和と保全、地域の活性化、適正な土地利用の誘導を図るために、地区計画を決定することとした。

北条中台地区地区計画の決定について

北条市街地に隣接した（仮称）北条団地の整備推進のため、本地区の秩序ある土地利用の確保及び緑豊かで周辺環境と調和のとれた良好な居住環境の形成を図るため、地区計画を決定することとした。

吾妻一丁目16街区地区計画、松代三丁目21・26街区地区計画、並木二丁目15・16街区の地区計画の決定について

国家公務員宿舎の廃止に伴い、筑波研究学園都市における緑豊かなゆとりある都市環境を継承し、良好な住宅市街地の形成を図るため、地区計画を決定することとした。

事業名：都市計画事業推進に要する経費

都市建設部 都市計画課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
08	04	01	12	本年	16,039		2,091		13,948	8,667	62.1	4,169
				前年	36,763	9,135	19,658		26,240	22,699	86.5	
				比較	20,724	9,135	17,567		12,292	14,032		4,169

【事業の目的】

つくば市として、望ましい都市像に向け都市計画事業の推進を図るため

【事業の概要】

- (1) 都市計画情報システム管理業務
- (2) 各種都市計画の決定
- (3) つくば市都市計画図印刷
- (4) 都市計画現況調査
- (5) 茨城県都市計画協会への加入
- (6) 全国地区計画推進協議会への加入
- (7) 都市計画パンフレットの作成

【事業の成果及び効果】

- (1) 都市計画情報システムにおいて、都市計画データ(用途地域、地区計画等)の更新、不具合等の修正及び新規データの追加(区域指定マップ)により、最新情報の提供が可能となり、窓口での問い合わせに対し、効率化が図られた。
- (2) 各種都市計画の決定において、中根・金田台地区と上河原崎・中西地区の用途地域及び地区計画に関する都市計画決定に向けて、都市計画説明会、原案の縦覧、茨城県事前協議及び案の縦覧等の法定手続きの作業を進めた。

事業名：屋外広告物の管理に要する経費

都市建設部 都市計画課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
08	04	01	13	本年	9,885		334		9,551	9,529	99.8	
				前年	7,997		770		7,227	7,118	98.5	
				比較	1,888		436		2,324	2,411		

【事業の目的】

違法に設置された立看板、はり紙、はり札等を撤去し、市内の良好な景観の形成、風致の維持を図り、公衆に対する危害を防止するため

【事業の概要】

- (1) 違反広告物の撤去  
業務委託による立看板等の撤去  
茨城県まちの違反広告物追放団体による撤去(市内15団体)
- (2) 屋外広告物現況調査
- (3) 屋外広告物条例検討調査

【事業の成果及び効果】

- (1) 違反広告物の撤去  
業務委託による立看板等の撤去  
実施回数 33回/年  
業務委託により、研究学園地区内や主要幹線道路沿道等の簡易除却対象広告物を撤去し、美観風致の維持や公衆に対する危害防止に努めた。  
茨城県まちの違反広告物追放団体による撤去(市内15団体)  
実施回数 団体により年2回～(延べ日数:67日)  
違反広告物も減少し、違反広告物に対する意識向上につながった。

(2) 屋外広告物現況調査

市内4箇所について、広告物掲出の実態調査を実施した。

(サイエンス大通り・土浦学園線(花室・小野崎地区)・東光台地内)

(3) 屋外広告物現況調査データを基に、市独自の規制基準の検討を行った。

事業名：下水道事業特別会計繰出金

都市建設部 都市計画課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
08	04	01	14	本年	2,518,991	98,850			2,617,841	2,607,113	99.6	10,728
				前年	2,496,901	27,000			2,523,901	2,425,051	96.1	98,850
				比較	22,090	71,850			93,940	182,062		88,122

【事業の目的】

一般会計から下水道特別会計への繰出しにより、つくば市における下水道事業の推進を図るため

【事業の概要】

一般会計から下水道特別会計への繰出し

【事業の成果及び効果】

平成22年度、一般会計から下水道特別会計への繰出金：一般財源 2,473,991千円  
地域住宅交付金 45,000千円  
合計 2,518,991千円

事業名：特定地域開発に要する経費

都市建設部 TX・まちづくり推進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
08	04	01	15	本年	13				13	9	69.2	
				前年	13				13	13	100.0	
				比較						4		

【事業の目的】

北条団地等の地区開発計画の推進に関し、県及び関係機関と協議しながら健全なる発展を図るため

【事業の概要】

- (1) 北条団地の開発に関する協議や調整 県及び事業主体の県住宅供給公社
- (2) 上下水道などのインフラ整備に関し、市関係部署との連絡・調整

【事業の成果及び効果】

茨城県住宅供給公社及び茨城県に対し要望書を提出  
茨城県住宅供給公社の解散決定後、破産管財人に対し、北条団地予定地が乱開発されないような財産処分を行うよう申入れを実施。

事業名：土地対策に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
08	04	01	16	本年	113				113	85	75.2	
				前年	138				138	106	76.8	
				比較	25				25	21		

【事業の目的】

国土利用計画法第23条に基づいた一定規模以上の土地売買等取引の際、届出制により、土地の投機的取引や地価高騰の抑制、乱開発を防止するため

【事業の概要】

- (1) 国土利用計画法第23条に基づく土地売買等届出書の県への進達事務及び意見書の提出
- (2) 土地利用動向調査の実施及び県への報告等

【事業の成果及び効果】

適正かつ合理的な土地利用の確保を図り、土地取引の規制に関する措置の強化が図られた。

事業名：公共交通対策に要する経費

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
08	04	01	17	本年	363,231		48,680		411,911	389,548	94.6	455
				前年	376,948	2,765	322		379,391	355,111	88.3	
				比較	13,717	2,765	49,002		32,520	54,437		455

【事業の目的】

都市形成まちづくりに不可欠な円滑な交通網の整備推進を図るため

【事業の概要】

- (1) 新庁舎開設に伴うつくバスの一部のルートと時刻表の見直しによるつくば市コミュニティバス「つくバス」の運行
- (2) 関東鉄道が運行する「つくば駅～テクノパーク豊里循環線」への運行負担
- (3) 平成23年度からの「つくバス」「つくタク」事業の運行準備及び平成23年度以降の市内二次交通網再編計画の策定機関である「つくば市公共交通活性化協議会」への事業費負担
- (4) 利用促進の一環として、毎月つくバスの乗務員マナー研修の実施
- (5) つくば総合都市交通体系調査の見直しを行うための現況分析と現況課題の整理
- (6) 茨城県公共交通活性化協議会、茨城空港利用促進等協議会への参加と各種交通関係期成同盟会議会への参加

【事業の成果及び効果】

- (1) 地域循環の6,7,8,9コースの新庁舎接続及び他ルートの一部見直しを実施  
平成22年度実績が、全体で736,397人となり年々増え続け市民の移動手段として定着  
特に、北部シャトルバス及び学園南循環バスは、それぞれ11.0人/便、16.0人/便と特に利用者が増加
- (2) 利用者数は、21,528人(前年度比較3,528人、12.1%の増加)  
なお、平成23年度以降の市内二次交通網再編に伴い、今年度をもって路線廃止
- (3) 「つくバス」「つくタク」事業  
市民や利用者への周知活動  
市報や区会回覧の他、10月から11月にかけて市内小学校区単位及び6地区で合計48回の説明会を開催(684人の市民参加)、バスマップ20,000部作成  
つくタク予約センターやつくタク乗降場所、つくバス停留所の設置、及びつくタクオペレーター・ドライバー研修等円滑な運行に向けた準備に努めた。  
つくば市公共交通活性化協議会を開催し、平成22年度3月に策定した「つくば市地域公共交通総合連携計画」に基づく平成23年度からの詳細事業を承認



- つくば公共交通活性化協議会3回開催(委員会28名で構成)  
 つくば公共交通活性化協議会幹事会3回開催(幹事会10名で構成)
- (4) 乗務員マナーの研修の実施は、利用者からの苦情防止につながった。
- (5) 「つくば総合都市交通体系」策定に当たって、コンサルタントへ委託し、契約約款に基づき業務出来高の一部を次年度へ通時繰越(平成23年度までの2ヶ年事業)
- (6) 各種交通関係協議会や期成同盟会へ参加し、中・長期的展望に立った計画について検討を行うと共に、実現に向け中央(JR東日本本社)への要望等実施

**事業名：都市景観の形成に要する経費**

都市建設部 都市計画課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
08	04	01	18	本年	1,696		899		797	401	50.3	
				前年	1,738		437		1,301	1,144	87.9	
				比較	42		462		504	743		

【事業の目的】

地域の特性を活かした景観形成のために施策を総合的、計画的に推進し、潤いと安らぎを享受できる魅力的な景観創出に資するため

【事業の概要】

- (1) つくば市景観条例及びつくば市景観計画に基づく行為の届出
- (2) 景観形成に関する調査・研究
- (3) つくば市景観審議会の運営

【事業の成果及び効果】

一定規模以上の建築行為等について、つくば市景観条例に基づく審査・指導・助言等を実施し、つくば市景観計画による景観形成基準の遵守、周辺景観への配慮を求めた。

**事業名：開発審査会に要する経費**

都市建設部 建築指導課開発指導室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
08	04	01	19	本年	1,205		470		735	677	92.1	
				前年	1,303		653		650	610	93.8	
				比較	98		183		85	67		

【事業の目的】

開発許可処分についての審査請求等に対する裁決及び都市計画法第34条第14号に該当する事案についての審査議決を行うため。また、開発許可にあたり、無秩序な開発を抑制し、地域の実情に合った公平かつ適正な制度の運用を図るため

【事業の概要】

開発審査会(7名構成)の開催

【事業の成果及び効果】

平成22年度 開催回数:8回(4月,5月,6月,7月,10月,11月,12月,3月)

< 審査案件 >

提案基準2	社寺、仏閣、納骨堂の取扱いについて	1件
提案基準4	区域区分の日前から宅地である土地における開発行為の取扱い	2件
提案基準6	既存施設の土地利用変更の取扱い	1件
提案基準7	既存工場施設等の敷地拡張の取扱い	2件
提案基準8	その他特に定めのないものの取扱い	4件
		小計 10件

< 報告案件 >

包括承認基準1	（一身専属的許可を受けて建築した住宅の譲渡）	4件
---------	------------------------	----

包括承認基準2 (自動車解体業の施設)	2件
包括承認基準3 (指定路線区域における大規模な流通業務施設)	3件
包括承認基準5 (小規模作業所等)	3件
旧・包括承認基準6 (区域区分の日前から宅地である土地における建築行為等の許可)	24件
	小計 36件
	合計 46件

<その他> 区域指定許可状況報告 107件

**事業名： 開発指導に要する経費**

**都市建設部 建築指導課開発指導室**

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
08	04	01	20	本年	1,054		112		942	885	93.9	
				前年	6,698		419		6,279	6,191	98.6	
				比較	5,644		307		5,337	5,306		

**【事業の目的】**

市の開発に関する条例及び開発指導要綱に基づき、許可、指導を行うことにより、無秩序な開発の防止と、良好な自然環境の保全及び都市環境の整備促進を図るため

**【事業の概要】**

- (1) 開発許可等の各種都市計画法に基づく許可及び指導
- (2) 開発許可を受けた土地以外の土地における建築等の制限
- (3) 都市計画法省令第60条証明
- (4) 開発許可等に関する県との調整事務
- (5) 区域指定データ管理作業

**【事業の成果及び効果】**

- (1) 都市計画法第29条の許可 260件
- (2) 都市計画法第43条の許可 110件
- (3) 都市計画法省令第60条証明 31件 合計401件
- (4) 茨城県開発許可等連絡調整会議 15回
- 茨城県開発許可等連絡調整会議分科会 17回
- 茨城県開発許可等連絡調整会議ワーキング委員会 8回
- 茨城県宅地開発協議会共同研究会 6回
- 関東甲信越ブロック開発許可会議(神奈川県開催・横浜市)
- 北関東三県・中核市・特例市開発許可連絡協議会(栃木県宇都宮市開催)
- 茨城県宅地開発協議会先進地視察
- (5) 区域指定データ管理作業
 

区域指定を告示するに当たり、都市計画課のGIS(地理情報システム)に連動させ、区域指定を詳細地図まで拡大出来るようにすることと、広域図にして市内全域を一度にスクロールしたり、移動させたりすることが出来るメリットがある。

都市計画課専用のサーバを介して運用しているので、市のメインサーバがダウンしたとしても被害が被らないで済むことのメリットがある。

事業名： つくばスタイルまちづくり支援に要する経費

都市建設部 都市計画課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額	
08	04	01	21	本年	3,677		1,204		2,473	1,953	79.0		
				前年									
				比較	3,677		1,204		2,473	1,953			

【事業の目的】

「つくば市地域まちづくり活動への支援に関する規則」に基づき、市民等による自発的な地域まちづくり活動を状況に応じた支援を行うことで、市民等と行政が相互に補完し合い、連携・協力により「協働による地域まちづくり」を推進し、魅力的な地域社会の構築を図るため

【事業の概要】

活動状況を初期段階から4段階に分類し、段階に応じた支援を行い、市民協働のまちづくりを推進する。

- (1) まちづくりグループ、まちづくり推進団体等の登録
- (2) まちづくり専門家等のアドバイザーやコンサルタントの登録及び派遣
- (3) 「つくば市地域まちづくり推進団体等活動費助成要綱」の制定
- (4) 事業周知活動
- (5) 市からの出前講座(勉強会)
- (6) 筑波大学との連携による、市民、行政及び大学の三者での新たな協働スタイルでの事業実施
- (7) まちづくり推進団体への地域まちづくり活動資金の助成

【事業の成果及び効果】

- (1) まちづくりグループ(1団体登録済み)、まちづくり推進団体(登録なし)等の登録
- (2) まちづくり専門家の登録  
まちづくりアドバイザー7名、コンサルタント5社の登録をした。
- (3) 「つくば市地域まちづくり推進団体等活動費助成要綱」の制定  
他自治体の先進事例調査等を行い、要綱を制定した。
- (4) 事業周知活動  
まちづくり講演会の実施(開催1回、中止1回)  
概要説明パンフレットの作成
- (5) 地域まちづくりグループ等の勉強会の実施(4回)
- (6) 筑波大学との学術指導契約の締結

事業名： 土地区画整理事業に要する経費

都市建設部 TX・まちづくり推進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
08	04	02	11	本年	725		9,835		10,560	10,409	98.6	
				前年	20,599	27,450			48,049	47,406	98.7	
				比較	19,874	27,450	9,835		37,489	36,997		

【事業の目的】

土地区画整理事業により、都市計画道路など公共施設の整備を行い、スプロール化を防止すると共に土地利用の増進を図り、健全な市街地を形成するため

【事業の概要】

土地区画整理事業を計画的に推進するための関係機関と協議や調整及び区画整理組合の指導

【事業の成果及び効果】

- (1) 台町土地区画整理事業  
事業完了に向けて残工事の施工及び賦課金の徴収等の実施
- (2) 花室西部土地区画整理事業  
換地処分に伴う登記の実施

事業名：街路事業に要する経費

都市建設部 道路課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
08	04	03	11	本年	21,048	60,255			81,303	78,649	96.7	
				前年	146,048	57,320	15,000		188,368	121,489	64.5	60,255
				比較	125,000	2,935	15,000		107,065	42,840		60,255

【事業の目的】

市域の根幹を形成している街路について、関係機関との協議、整備促進を図るため

【事業の概要】

- (1) 街路事業について、関係機関との協議を行う。また、つくばエクスプレス関連開発に伴い事業者との協議を行う。
- (2) 街路樹の根上がりによる凹凸、滑りやすい陶板舗装の解消のための舗装工事。L = 835m

【事業の成果及び効果】

- (1) 関係機関との協議により、各事業者の施工が円滑に行われた。
- (2) 舗装改修工事を実施したことにより、安全で安心なペDESTリアンデッキにリニューアル出来た。

事業名：街路維持管理に要する経費

都市建設部 道路課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
08	04	04	11	本年	375,098	10,889	6,000		391,987	374,105	95.4	5,355
				前年	385,744	0	2,360		388,104	372,006	95.9	10,889
				比較	10,646	10,889	3,640		3,883	2,099		5,534

【事業の目的】

景観を重視し整備された学園地区の街路や工業団地内の道路の維持管理を行い、街路環境の維持管理を図るため

【事業の概要】

- (1) 街路管理委託  
 学園地区内街路管理委託  
 工業団地内街路管理委託
- (2) 街路灯交換工事
- (3) 蓋無し側溝をボックス型側溝に布設替え

【事業の成果及び効果】

- (1) 整備された街路の維持管理により、良好な都市環境が保たれた。
- (2) 街路灯再整備によりペDESTリアンデッキの照度が確保され、歩行者の安全が保たれた。  
街路灯交換工事 50基
- (3) 蓋無し側溝をボックス型側溝に布設替えすることにより、通学路の安全性が確保された。  
通学路整備 2路線 L = 419.7m (22年度)

事業名：公園建設に要する経費

都市建設部 都市施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
08	04	05	11	本年	163,597	12,255	1,050		174,802	160,115	91.6	4,875
				前年	329,946	82,390	31,000		381,336	367,580	96.4	12,255
				比較	166,349	70,135	29,950		206,534	207,465		7,380

【事業の目的】

市民の憩いの場、スポーツレクリエーションの場として重要な機能を持つ公園整備を行い、健康で文化的な市民生活の実現を図るため

【事業の概要】

- (1) 葛城1号近隣公園整備基本,実施設計委託
- (2) 葛城1号近隣公園測量業務委託
- (3) 研究学園駅前公園サイン整備工事
- (4) 竹園公園トイレ改修工事
- (5) みどりの市民緑地契約
- (6) 生け垣設置奨励補助
- (7) 研究学園駅公園公共施設管理者負担金

【事業の成果及び効果】

公園施設の新設及び再整備の設計や整備を行い、利用者が「快適で安全な安心できる癒しの時」を過ごせる、快適な新たな公園環境の提供を図った。

事業名：公園維持管理に要する経費

都市建設部 都市施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
08	04	06	11	本年	499,595	85,930	7,907		593,432	574,756	96.9	9,975
				前年	513,228		85,217		598,445	502,052	83.9	85,930
				比較	13,633	85,930	77,310		5,013	72,704		75,955

【事業の目的】

都市公園、その他の公園及びそれらの付帯施設の維持管理や修繕を実施し、景観及び機能を維持するため

【事業の概要】

- (1) 都市公園及びその他の公園等の維持管理委託
- (2) 有料施設等の施設管理委託及び保守点検
- (3) 公園設備の保守点検及び警備委託
- (4) 都市公園等の施設(電気・給排水設備・遊具・運動施設等)の修繕
- (5) プールの開設(期間7月1日～8月31日)の運営管理
- (6) 運動施設及び管理用消耗品の購入
- (7) 指定管理者による公園管理
- (8) 公園施設改修工事

【事業の成果及び効果】

都市公園、その他の公園及びそれらの付帯施設を良好に維持管理することにより、市民に安らぎ、潤いと憩いの場を提供した。

事業名：地籍調査に要する経費

都市建設部 地籍調査課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
08	04	07	11	本年	25,191		3,349		21,842	20,219	92.6	
				前年	32,966		6,517		26,449	25,531	96.5	
				比較	7,775		3,168		4,607	5,312		

【事業の目的】

法務局に備え付けられている地図(字切図)は、明治時代に作成された公図に加除訂正を加えたものであるため、不完全な箇所が極めて多い。また、測量技術も未熟であったため実際の土地に比べて形など整合しない欠点がある。国土調査法に基づき事業を実施することにより、これらの解消を図るため

【事業の概要】

- (1) 調査区域の一筆の土地ごとに所有者及び地番並びに地目の調査・測量を行い地籍簿・地籍図(縮尺500分の1)を作成し、その写し(小野崎 地区)を法務局に送付する。
- (2) 法務局では登記事項の記載の変更を行うとともに新たに地籍図を備え付ける。  
 小野崎 地区(0.42K<sup>m</sup>²) \* 成果の認証・登記 平成20年度～継続地区  
 小野崎 地区(0.42K<sup>m</sup>²) \* 成果の閲覧・認証 平成21年度～継続地区  
 小野崎 地区(0.41K<sup>m</sup>²) \* 一筆地調査・測量 平成22年度～新規地区

【事業の成果及び効果】

< 成果 >

事業完了

地区名	面積	筆数	地権者数	地籍図	地籍簿
小野崎 地区	0.42K <sup>m</sup> ²	857筆	244名	38枚	1冊

< 効果 >

- (1) 公共事業の円滑化  
 精度の高い地籍図に基づき事業計画・設計・用地買収等が円滑に行える。
- (2) 土地の権利関係の明確化  
 一筆毎の筆界・面積が登記事務に反映されるため、所有権が確実に保護される。
- (3) 公租・公課等の負担の公平化  
 土地の正確な地番・地目・地積の測定が行われるので課税等の公平化が図られる。 等

事業名：共同溝維持管理に要する経費

都市建設部 道路課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
08	04	08	11	本年	35,538		752		36,290	35,733	98.5	
				前年	35,463		1,124		36,587	35,469	96.9	
				比較	75		372		297	264		

【事業の目的】

学園地区内に整備されている共同溝を適正に維持するため

【事業の概要】

市中心部に設置されている共同溝の維持管理及び各占用企業者間の調整 (占用企業者 8者)

【事業の成果及び効果】

共同溝の機能が保たれた。

事業名：センター広場・駅前広場維持管理に要する経費

都市建設部 都市施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
08	04	09	11	本年	39,620			96	39,524	37,277	94.3	
				前年	36,154		6,500		29,654	26,318	88.8	
				比較	3,466		6,500	96	9,870	10,959		

【事業の目的】

各広場機能の維持及び環境の整備を図り、市民及びつくば市を訪れる人々に憩いと安らぎの空間を提供するため

【事業の概要】

- (1) センター広場設備等保守管理及び施設の清掃、植栽等の維持管理業務委託
- (2) センター広場の平板舗装修繕及び設備修繕
- (3) TX各駅前広場設備等保守管理及び施設の清掃、植栽等の維持管理業務委託

【事業の成果及び効果】

各広場施設の適正な維持管理、施設修繕等を行い快適な環境を提供した。

事業名：建築確認事務に要する経費

都市建設部 建築指導課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
08	04	10	11	本年	17,627	1,020	4,684		13,963	10,212	73.1	312
				前年	142,754	929	4,571		139,112	132,601	95.3	1,020
				比較	125,127	91	113		125,149	122,389		708

【事業の目的】

建築基準法に規定する特定行政庁として、建築物の安全確保のため、完了検査率の向上、違反是正の強化等を推進し、建築規制の実効性を確保することにより、本格的な「都市発展期」に対応できるきめ細かな建築行政を推進するため

【事業の概要】

- (1) 建築確認に関する事務
- (2) 計画変更確認に関する事務
- (3) 適合性判定機関に関する事務
- (4) 建築基準法許可等に関する事務
- (5) 完了検査に関する事務
- (6) 中間検査に関する事務
- (7) 長期優良住宅認定に関する事務
- (8) 中高層建築物協議に関する事務
- (9) 敷地認定に関する事務
- (10) 道路整備要綱事務に関する事務
- (11) 門塀等撤去補助事業に関する事務
- (12) 建設リサイクル法届出に関する事務
- (13) ひとにやさしいまちづくり条例届出に関する事務
- (14) バリアフリー法に関する事務
- (15) 省エネルギー法届出に関する事務
- (16) 証明書発行に関する事務
- (17) 写しの交付に関する事務
- (18) 定期報告(特殊建築物、昇降機、省エネルギー法)に関する事務
- (19) 木造住宅耐震診断事業(茨城県建築士会筑波支部に委託)に関する事務
- (20) パトロール(違反建築物調査、建設リサイクル法)に関する事務
- (21) 指定確認検査機関物件の管理に関する事務

(22) 耐震改修促進計画に基づく耐震啓発事業

(23) 応急危険度判定活動

【事業の成果及び効果】

	事業	平成22年度	平成21年度
(1)	建築確認	119件(内,計画通知38件)	143件(内,計画通知64件)
(2)	計画変更確認	12件(内,計画通知4件)	19件(内,計画通知6件)
(3)	適合性判定機関取扱物件	13件	9件
(4)	建築基準法許可	17件	28件
(5)	完了検査済	111件(内,計画通知50件)	151件(内,計画通知68件)
(6)	中間検査合格	17件	18件
(7)	長期優良住宅認定	429件	244件(平成21年6月施行)
(8)	中高層建築物協議済	129件	112件
(9)	敷地認定	232件	223件
(10)	道路整備要綱事務	1,586件	1,443件
(11)	門塀等撤去補助事業	11件	15件
(12)	建設リサイクル法届出	466件	366件
(13)	ひとにやさしいまちづくり条例届出	10件	11件
(14)	バリアフリー法認定	1件	0件
(15)	省エネルギー法届出 *届出対象2,000㎡ 300㎡に変更	148件	26件
(16)	証明書発行	290件	231件
(17)	写しの交付	1,125件	880件
(18)	定期報告 特殊建築物 昇降機 省エネルギー法	112件 1,758件 12件	156件 1,537件 26件
(19)	木造住宅耐震診断事業 茨城県建築士会筑波支部に委託	13戸実施	33戸実施
(20)	パトロール 違反建築物調査 建設リサイクル法	4回実施 2回実施	4回実施 2回実施
(21)	指定確認検査機関物件の管理	1,429件	1,236件

違反建築物調査パトロールの実施や、建築物の中間・完了検査お知らせはがきの送付により、「中間・完了検査率の向上」及び「違反建築物対策」に関し一定の成果がみられた。

(22) 耐震改修促進計画に基づく耐震啓発事業

「つくば市耐震改修促進計画」に基づき、建築物の耐震化に関するパンフレットの配付や耐震実験用の建築物模型を作成して実演等を行い、住宅の耐震化に関する意識啓発を図った。

(23) 応急危険度判定活動

東日本大震災に係る応急危険度判定調査総数 2,430件

地震により被災した建築物について、余震等による倒壊の危険性並びに建築物の部分落下の危険性などを速やかに判定し、二次災害の防止を図った。



事業名：建築審査会に要する経費

都市建設部 建築指導課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
08	04	10	12	本年	1,024		510		514	354	68.9	
				前年	1,326				1,326	859	64.8	
				比較	302		510		812	505		

【事業の目的】

建築基準法に規定する同意や審査請求に基づく審議の場として設置された「建築審査会(建築基準法第78条)」を円滑に運営するため

【事業の概要】

つくば市建築審査会(委員7名)の開催

【事業の成果及び効果】

平成22年度 開催回数:2回(5月,9月)

平成21年度 開催回数:5回(5月,9月,11月,1月,3月)

建築基準法による特定行政庁(つくば市長)の許可にあたり,建築審査会に対し,以下のとおり付議した。

< 建築同意 >

建築基準法第48条第6項ただし書(第2種住居地域における建築物に関する許可) 2件

< 建築報告 >

建築基準法第43条第1項ただし書(敷地等と道路との関係) 3件

事業名：ホテル等建築審議会に要する経費

都市建設部 建築指導課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
08	04	10	13	本年	471		186		285	146	51.2	
				前年	483		352		131	72	55.0	
				比較	12		166		154	74		

【事業の目的】

つくば市ラブホテルの建築等規制条例の施行に関する重要事項を調査審議の場として設置された,「つくば市ホテル等建築審議会(つくば市ラブホテルの建築等規制条例第16条)」を円滑に運営するため

【事業の概要】

つくば市ホテル等建築審議会(委員7名)の開催

【事業の成果及び効果】

平成22年度 開催回数:1回(11月)

平成21年度 開催回数:1回(2月)

つくば市ラブホテルの建築等規制条例施行の施行により,ラブホテルの建築等が制限され,市民の健全な生活環境の保全及び青少年の健全な育成が図られた。

平成22年度ホテル等建築等確認実績報告 3件

完了検査実績報告 2件

事業名： 駐車場・駐輪場に要する経費

都市建設部 都市施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
08	04	11	11	本年	81,829				81,829	72,926	89.1	
				前年	96,275				96,275	92,250	95.8	
				比較	14,446				14,446	19,324		

【事業の目的】

駐車場及び駐輪場の適正な管理を図り市民の円滑な利用を促すため

【事業の概要】

- (1) つくばセンタービル地下駐車場の維持管理業務委託
- (2) 駐輪場施設管理及び施設清掃, 設備保守点検等業務委託
- (3) 放置自転車等の防止指導及び撤去業務委託

【事業の成果及び効果】

施設の適正な維持管理, 施設修繕等を行い, TX各駅利用者に快適な環境を提供した。

事業名： 新線開発推進に要する経費

都市建設部 TX・まちづくり推進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
08	04	12	11	本年	19,187	2,625	2,240		19,572	9,280	47.4	9,209
				前年	19,427	4,358	4,777		19,008	12,838	67.5	2,625
				比較	240	1,733	2,537		564	3,558		6,584

【事業の目的】

PR誌の作製配布やバスツアー等を実施することで, TX沿線地区への定住促進を図るため。また, 中根・金田台地区, 上河原崎・中西地区の「景観緑地のある住宅地」における景観緑地の整備, 維持及び制度化等の実現化への支援・推進を行い, 整備促進を図るため

さらに, TX沿線地区居住者が実施する交流イベントの支援を行い, 地域コミュニティの形成を促進し, 安心・安全な地域づくりへとつなげることや, 上河原崎・中西地区へのインターチェンジ(IC)の設置を図ることにより, 同地域の交通の利便性と住環境の向上, 及び地域流通産業活性化を図るため

【事業の概要】

- (1) まちづくりPR事業  
市外在住者を対象としたつくばの魅力PRのための定住促進バスツアーの開催  
定住促進PR誌「くらすむ」の作製及び配布
- (2) 沿線コミュニティ支援事業  
TX駅周辺の防犯団体・PTA・まちづくり協議会等により組織された実行委員会が, つくば駅を除く市内3駅の駅前において協働でイルミネーションツリーのライトアップを実施
- (3) 緑住農一体型住宅地まちづくり推進事業  
「景観緑地のある住宅地」の実現に向けた管理組織, まちづくりルール・景観緑地制度の整理, 土地所有者との調整, 支援
- (4) スマートICの設置  
対象路線部分の, 有料道路制度化決定の動向に注視し, 同決定後に勉強会から地区協議会へ速やかに移行できるように, 測量等を含めた「直結型スマートIC」のより現実的な検証を実施

【事業の成果及び効果】

- (1) まちづくりPR事業  
定住促進バスツアーの開催  
開催回数: 2回 参加者数: 延べ52人  
つくばの魅力や特徴を実体験として理解してもらうことができた。  
定住促進PR誌「くらすむ」の作製及び配布  
作製部数: 20,000部 配布先: 駅, 高速道路パーキング, 道の駅, 茨城空港等

(2) 沿線コミュニティ支援事業

地域による清潔で明るいまちづくりの実現，地域全体の防犯意識の向上が図られた。  
駅周辺における犯罪の抑止が図られるとともに，地域コミュニティ形成のきっかけの創出となった。

(3) 緑住農一体型住宅地まちづくり推進事業

地権者懇談会を開催するとともに，景観緑地を管理する管理組織及び景観緑地制度やまちづくりルールの整理を行った。

(4) スマートICの設置

主体であった県から検討成果を引き継ぎ，有料道路事業認可後の速やかな事業展開を目指し，測量の実施など，事業実現のための精度を高めた整理を行った。

事業名：圏央道推進事業に要する経費

都市建設部 道路課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
08	04	13	11	本年	53	3,896	0		3,949	3,949	100.0	0
				前年	53	0	4,000		4,053	53	1.3	3,896
				比較	0	3,896	4,000		104	3,896		3,896

【事業の目的】

事業者，地元，地権者の調整を図りながら，首都圏中央連絡自動車道の整備を推進するため

【事業の概要】

首都圏中央連絡自動車道に関する地元対策協議会との調整及び関係機関との調整

事業者 国土交通省(常総国道事務所)

地元対策協議会 5協議会

【事業の成果及び効果】

平成22年4月24日につくば中央IC～つくばJCT区間が開通し，開通記念イベントを開催した。

事業名：つくばエクスプレス関連土地区画整理事業に要する経費

都市建設部 TX・まちづくり推進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
08	04	14	11	本年	707,062	301,127	150,270		857,919	758,726	88.4	99,192
				前年	1,050,512	101,272			1,151,784	850,650	73.9	301,127
				比較	343,450	199,855	150,270		293,865	91,924		201,935

【事業の目的】

TX沿線開発の各土地区画整理事業者が行う都市計画道路の整備に対し，つくば市道分に対する事業費の一部を「覚書及び協定書」に基づき市が負担することにより，円滑な事業の推進を図るため

【事業の概要】

茨城県が施行する島名・福田坪，上河原崎・中西地区や都市再生機構が施行する葛城，萱丸，中根・金田台地区の土地区画整理事業の国庫補助事業費に対して，協定書等に基づく事業費の一部を負担する。

【事業の成果及び効果】

都市計画道路の市道分の整備に必要な事業費の一部負担を行った結果，事業が円滑に推進された。

平成22年度地区別土地区画整理事業市負担金

地区名	島名・福田坪	上河原崎・中西	葛城	萱丸	中根・金田台
市負担額	39,924,450円	117,940,800円	378,600,000円	102,750,000円	119,500,000円

事業名： つくばセンター地区再整備に要する経費

都市建設部 都市施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
08	04	15	11	本年	18,000	696,968	499,952	96	1,215,016	1,214,700	100.0	
				前年	1,403,566	224,400	114,977		1,512,989	815,231	53.9	696,968
				比較	1,385,566	472,568	614,929	96	297,973	399,469		696,968

【事業の目的】

TXの開業に伴う駅前機能の充実や施設の老朽化等の諸問題の解決に向け、円滑な交通処理機能や賑わい機能、施設の案内誘導機能、ユニバーサルデザイン対応のセンター地区として再構築するため

【事業の概要】

つくば駅前広場とセンター広場の連携をスムーズにし、ターミナル機能の強化及び施設の案内誘導などセンター街区全体の活気と魅力づくりの為に再整備事業

- (1) つくば駅前広場整備工事
- (2) つくばセンター広場整備工事

【事業の成果及び効果】

- (1) つくば駅前広場整備工事  
(新バスターミナル築造工, 送迎用一般駐車場築造工, トイレ築造工, 環境配慮工, サイン整備工)  
ユニバーサルデザイン及び環境に配慮した新設バスターミナル(バス乗降場・タクシー乗降場・公衆トイレ・大階段)の全面供用の開始により、誰でも使いやすく美しい街の玄関口となった。
- (2) つくばセンター広場整備工事  
(2FペDESTリアンデッキ改修工, サイン整備工7基, トイレ改修工)  
センター広場2FペDESTリアンデッキの経年劣化による段差及び破損を改修したことにより、利用者の利便性・安全性の向上が図れた。また、駅前広場と統一的な公共サインを設置したことにより、市民・来訪者に対して施設等への円滑な案内誘導を図ることができた。

事業名： 住宅維持管理に要する経費

都市建設部 営繕・住宅課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
08	05	01	11	本年	163,472				163,472	152,758	93.4	
				前年	167,145				167,145	164,739	98.6	
				比較	3,673				3,673	11,981		

【事業の目的】

住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で市営住宅を賃貸または転貸し、その入居者の良好な住環境を図るための維持管理を実施することにより、市民生活の安定と社会福祉の増進に寄与するため

【事業の概要】

- (1) 申込みから入居に至るまでの事務全般
- (2) 入居後の家賃徴収に伴う事務全般
- (3) 定期的に住宅及び関連施設等の維持管理業務を委託にて実施
- (4) 住宅及び関連施設等の機能回復または維持のための修繕を実施
- (5) 退去時の検査及び空き部屋の経年劣化部修繕を実施

【事業の成果及び効果】

- (1) 入居申込件数 : 84件  
新規入居件数 : 47件
- (2) 家賃収納額(現年度) : 180,564,490円  
(過年度) : 10,520,660円
- (3) 住宅等の維持管理業務委託件数 : 27件
- (4) 住宅等の修繕件数 : 296件
- (5) 住宅退去件数 : 59件

事業名：住宅建設に要する経費

都市建設部 営繕・住宅課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
08	05	02	11	本年	55,512		0		55,512	51,727	93.2	
				前年	317,485		68,700		248,785	247,196	99.4	
				比較	261,973		68,700		193,273	195,469		

【事業の目的】

「住生活基本計画」(全国計画)及び「茨城県住生活基本計画」に基づき、つくば市における住宅施策に係る現状、課題等を把握し、住宅施策を総合的かつ計画的に推進し、住宅セーフティネットの確保や住生活の質の向上を図るとともに、真に困窮する者に対しては適正・適格に市営住宅を提供するため

【事業の概要】

- (1) つくば市の実情に適した市営住宅の役割・活用方針を定め、市営住宅の廃止、建替、維持管理計画などの施策を推進する。
- (2) 市内の住生活の現状を把握し、県への情報提供や住民への普及・啓蒙活動等を実施する。

【事業の成果及び効果】

- (1) 市営住宅の廃止、建替、維持管理計画などの施策の推進
  - 大曽根住宅解体・外構工事・・・ 2棟6戸の解体・外構工事,地権者へ借地返還
  - 飯田団地解体工事・・・ 入居者の移転,5棟20戸解体工事,地権者へ借地返還
  - 社会資本整備総合交付金・・・ 住環境向上を図るため社会資本整備総合交付金を活用し各種事業の推進を図った。

事業名：消防総務に要する経費

消防本部 消防総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
09	01	01	11	本年	32,897				32,897	31,739	96.5	
				前年	31,664		156		31,820	30,531	95.9	
				比較	1,233		156		1,077	1,208		

【事業の目的】

消防活動，消防事務の円滑な推進と消防職員として，災害の実情に応じた質の高い消防防災能力を育成し，市民の生命・身体及び財産を守ることを使命とする消防責務の一層の向上を図るため

【事業の概要】

- (1) 各職種に応じた高度で専門的な知識と技術の修得に必要な研修教育の実施
- (2) 24時間の交代制勤務に必要な日常品及び消防で使用する共有消耗品等の計画的な執行

【事業の成果及び効果】

(1) 研修職員（39名）

実践的な研修教育を通じ，高度で専門的な知識と技術を習得させ，使命感及び士気の高揚，規律の保持，協調精神の醸成を図り，市民の期待に十分に答えることができるよう，39名の職員を各種研修に入校させた。

研修教育先	科目	人員	研修教育先	科目	人員
消防庁消防大学校	新任消防長科	1名	県立消防学校	救急科	6名
消防庁消防大学校	警防科	1名	県立消防学校	救助科	1名
消防庁消防大学校	予防科	1名	県立消防学校	初級幹部科	1名
救急救命東京研修所	救急救命士研修	2名	県立消防学校	操法指導者研修会	1名
救急救命九州研修所	救命士薬剤投与研修	3名	県立消防学校	薬剤投与講習会	1名
			茨城県	気管挿管再教育講習会	5名
県立消防学校	初任科	6名			
県立消防学校	新任消防長教育訓練	1名	安全運転中央研修所	緊急自動車運転技能四輪課程	2名
県立消防学校	特殊災害科	1名	消防庁	安全衛生研修会	1名
県立消防学校	危険物科	1名	茨城県公安委員会	安全運転管理者講習会	3名
県立消防学校	火災調査科	1名			

- (2) 物品調達計画に基づき，年度3回の調達事務が効率的かつスムーズに執行でき，また，各所属の消耗品予算執行の明確化及び在庫管理の適正化が図られた。

事業名： 予防広報業務に要する経費

消防本部 予防広報課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
09	01	01	12	本年	5,176				5,176	4,859	93.9	
				前年	5,175				5,175	4,929	95.2	
				比較	1				1	70		

【事業の目的】

消防法に基づき消防行政が実施すべき事務及び市民に対する火災予防広報等を実施し、防火対象物や危険物施設を法令に従った秩序ある状態に維持させることによって、市民生活の安全を確保するため

【事業の概要】

- (1) 建築確認における建築主事に対する同意事務
- (2) 防火対象物への消防設備等の設置指導及び検査
- (3) 危険物施設の設置, 変更に対する許可, 検査事務
- (4) 防火対象物, 危険物施設への立入検査
- (5) 防火管理者, 防災管理者等の資格取得講習
- (6) 事業所, 自治会等に対する防災指導
- (7) 火災予防PRイベント等による広報活動
- (8) 火災調査, 火災統計, 罹災証明等の事務
- (9) 消防音楽隊の育成及び火災予防PR事業
- (10) 幼年少年婦人防火委員会の運営

【事業の成果及び効果】

< 成 果 >

- (1) 消防同意件数 428件
- (2) 消防設備等検査済証交付件数 794件
- (3) 危険物施設設置, 変更許認可件数 41件
- (4) 防火対象物, 危険物施設への立入検査  
防火対象物への立入検査件数 987件  
危険物施設への立入検査件数 387件
- (5) 防火管理者, 防災管理者等の資格取得講習  
防火管理者資格取得者 394人  
防災管理者資格取得者 87人  
防火管理再講習受講者 25人
- (6) 事業所, 自治会等に対する訓練等の防災指導 331件
- (7) 火災予防広報活動  
イーアスつくば・筑波山観光案内所・筑波山登山道・梅祭り・市文化祭における広報活動  
消防車輛による火災予防広報 横断幕・のぼり旗の掲出 市広報紙に火災予防PR掲載  
つくばケーブルテレビによる住宅火災警報器の設置啓発CM放送  
つくば市防火安全教育指導事業として, 市内の宿泊施設・福祉施設39施設(自動火災報知設備の設置義務がない施設)に住宅用火災警報器を設置  
つくばフェスティバル, グリーンフェスティバル, まつりつくば, 消防フェア等における住宅用火災警報器の普及推進活動  
市内の「野焼き」に対する対策会議の開催と各該当区長への説明及び協力要請
- (8) 火災調査, 火災統計, 罹災証明交付事務  
火災調査(67件)を実施し, 罹災証明(79件)を発行
- (9) 消防音楽隊活動  
11件のイベントにおいて演奏を行い, 火災予防思想の普及啓発を実施
- (10) 幼年, 少年, 婦人防火委員会事業  
花火教室・消防署見学の実施 婦人防火クラブ指導者研修参加  
茨城県幼年少年婦人防火委員会会長表彰 幼年消防クラブの部受賞(大穂幼稚園)  
茨城県消防協会会長表彰 優良クラブ員の部受賞(柳橋・新井婦人消防隊員)

< 効果 >

上記事業の成果のとおり、市の消防事務の重要な要素である防火対象物や危険物施設の火災予防に大きな効果を発揮するとともに、市民の防災意識の高揚を図り、市民に対する良好な生活環境の提供に大きな効果があった。

事業名： 警防業務に要する経費

消防本部 警防課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
09	01	01	13	本年	25,807			91	25,898	24,402	94.2	
				前年	27,850				27,850	26,087	93.7	
				比較	2,043			91	1,952	1,685		

【事業の目的】

消防法に定められている消防活動、救急活動及び救助活動等の業務全般(警防業務)について人員、施設を効果的に活用し、併せて火災等の災害防除活動を円滑に実施することにより、災害等から市民を守る消防業務を遂行するため

【事業の概要】

- (1) つくば市、常磐道及び圏央道(分担区域)に発生した火災等の災害(救急を含む。)に出動
- (2) 応急処置を市民に普及啓もうするため救急講習会の開催
- (3) 緊急消防援助隊茨城県隊に登録されている部隊の育成、訓練への参加
- (4) TX鉄道人身障害事故合同訓練の実施
- (5) 東日本大震災の被災地に緊急消防援助隊茨城県隊として、つくば消防の部隊を派遣

【事業の成果及び効果】

- (1) 災害等出動状況(平成22年4月1日から平成23年3月31日)

種別	火災	救急	救助	災害	合計
件数	91件	7,571件	143件	917件	8,722件

- (2) 救命率の向上を図るため救急車が到着するまでの間、心肺停止患者に対する心肺蘇生法(人工呼吸、心臓マッサージ)、AED操作を含む応急手当要領を習得する救急講習会を通年で開催した。

救急講習実施状況(平成22年4月1日から平成23年3月31日)

種別	上級	普通		その他	合計
		一般	市職員		
件数	12件	173件	1件	108件	294件
人員	204人	3,334人	22人	2,432人	5,992人

その他とは、上級及び普通講習の修了証を交付できない短時間講習を指す。

- (3) 緊急消防援助隊の訓練として、愛知県知多市で開催された全国合同訓練と東京都で開催された関東ブロック合同訓練に茨城県隊の一員として参加、大規模災害時の参集及び部隊活動の連携運用の能力向上が図れた。
- (4) 実際に運行しているTX車両を使用する実践的訓練を終電後につくば駅構内で実施し、実災害時の鉄道会社、警察との通報、連携体制の再確認が図れた。
- (5) 東日本大震災に伴う福島県原子力災害地域の救急活動協力として、茨城県隊の一員としてつくば消防が出動した。茨城県隊の放射線被ばく測定(スクリーニング)に大きな力を発揮した。



事業名：消防指令業務に要する経費

消防本部 消防指令課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
09	01	01	14	本年	39,634		1,501		38,133	34,015	89.2	2,205
				前年	34,933				34,933	33,937	97.1	
				比較	4,701		1,501		3,200	78		2,205

【事業の目的】

市民の生命、身体、財産を火災から保護するとともに、災害による被害を軽減し、「安全で安心なまち」で市民が暮らせるよう消防通信体制の維持強化を図るため

【事業の概要】

- (1) 高機能消防指令センター施設及び関連機器並びに無線設備の機能を正常に運用させるための保守点検整備
- (2) 「119番の日」実施に伴い、地域住民に対するPR活動
- (3) 119番ファックス登録者(聴覚・言語障害者等)に対してのファックス送受信通報訓練
- (4) 地図データ更新

市内の道路・住宅地図情報システムデータの更新

【事業の成果及び効果】

- (1) 消防本部及び8署所の高機能消防指令センター施設及び関連機器並びに無線設備の保守点検整備を実施し、正常な機器の運用が図られた。

< 119番着信件数 >

(単位:件)

種 別	着信件数	119番通報内訳			その他の内訳			
		NTT	IP電話	携帯電話・PHS	緊急通報システム	高速道路・ガス専用線	加入一般・携帯電話	その他
火 災	84	18	9	47	0	1	9	0
救 急	7,203	2,956	1,024	2,104	28	15	885	191
救 助	53	12	3	22	0	1	13	2
災 害	192	35	23	78	8	1	42	5
病院案内	522	181	105	234	0	0	2	0
まちがい	786	318	82	386	0	0	0	0
同 報	66	24	11	31	0	0	0	0
問い合わせ	1,436	593	198	617	0	0	28	0
その他	1,515	1,180	108	223	0	0	2	2
計	11,857	5,317	1,563	3,742	36	18	981	200

< 消防無線の配置状況 >

(単位:台)

	消防本部	中央消防署	豊里分署	桜分署	並木分署	北消防署	筑波分署	南消防署	荃崎分署	計
車載無線機	2	13	3	3	3	5	4	5	3	41
携帯無線機	4	10	3	3	4	6	4	6	3	43
計	6	23	6	6	7	11	8	11	6	84

- (2) 「119番の日」として、地域住民に消防に対する理解と認識を深めるために、「11月9日は「119番の日」です・119番通報は正確に伝えよう」の横断幕を消防本部西側(国道408号線)歩道橋南側に掲示するとともに、つくば市ホームページへも掲載し、PR活動を実施した。
- (3) 119番ファックス登録者(聴覚・言語障害者等)37名に対し、ファックス送受信通報訓練を実施した。この訓練の実施により、火災・救急発生時の119番ファックス通報に備えることができた。
- (4) 最新の地図データを取得することにより、現場到着までの時間短縮が図られ、初動体制が強化された。

事業名： 運営事業に要する経費

消防本部 地域消防課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
09	01	02	11	本年	166,427		3,271	1,272	164,428	164,176	99.8	
				前年	167,607		4,728		162,879	155,263	95.3	
				比較	1,180		1,457	1,272	1,549	8,913		

【事業の目的】

消防団員の強固な消防精神を養成し、厳正な規律と旺盛な士気のもとに教育訓練を行い、消防技術の向上と技能の高度化に努め、消防体制を強化するため

【事業の概要】

- (1) 消防ポンプ操法県南北部地区大会
- (2) つくば市消防団団員訓練 「3年未満団員規律訓練」  
「幹部規律訓練」(班長以上)  
「消防ポンプ操法訓練」(約半年間)
- (3) つくば市消防団秋季点検 (全国火災予防週間において各支団毎に実施)
- (4) つくば市消防団出初式 (1月16日に実施)
- (5) つくば市消防団夜警警戒 (12月～2月に実施)

【事業の成果及び効果】

- (1) 第61回茨城県消防ポンプ操法県南北部地区大会(平成22年10月24日つくば市において実施)  
「つくば市、つくばみらい市、土浦市、石岡市、かすみがうら市」の14団体が参加
- (2) 団員歴3年未満の者については、入団から3年連続規律訓練を実施することにより、消防の基礎となる訓練礼式を習得させ、消防団としての伝達命令等の一元化が図られた。  
消防操法訓練は、消火活動の基本訓練であり、この訓練において分団の組織強化が図れるとともに、有事の際における円滑な消防体制の確立を図ることができた。

事業名： 総合防災訓練に要する経費

環境生活部 生活安全課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
09	01	02	12	本年	2,149				2,149	1,898	88.3	
				前年	1,835				1,835	1,376	75.0	
				比較	314				314	522		

【事業の目的】

地震による被害発生を想定した総合防災訓練を実施することにより、防災活動の習熟及び関係機関相互の協力体制を強化するとともに、市民の防災に対する理解と防災意識の高揚を図るため

【事業の概要】

各種訓練の実施

初動対応・災害対策本部設置、住民広報、交通規制・交通整理、避難誘導、被害情報収集、被害情報把握、拠点救護所設置、応急救護・応急医療、給食・給水、緊急物資搬送、ガス復旧、電力復旧、電話復旧、高圧ガス・危険物災害、初期消火、総合消防演習(救出・救助、消火)

【事業の成果及び効果】

関係機関等と緊密な連携及び市民の参加のもと、すべての訓練が沈着かつ迅速に行われ、当初の訓練目的を達成することができた。

実施日 平成22年9月26日(日)

場所 つくば市役所 防災スペース

参加団体 35団体

参加者数 417人 見学者を含めると約700名

事業名：地域防災計画に要する経費

環境生活部 生活安全課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
09	01	02	13	本年	25,530		6,211		19,319	18,882	97.7	
				前年	16,889		1,250		15,639	14,599	93.3	
				比較	8,641		4,961		3,680	4,283		

【事業の目的】

市民の生命と財産を災害から守るため、平常から周到な地域防災計画を作成し、関係機関等と緊密な連絡調整を図り、総合的かつ実践的な防災対策を実施するため

【事業の概要】

- (1) 災害用備蓄品の購入
- (2) つくば市地域防災計画修正事業
- (3) 防災関連施設の維持管理

【事業の成果及び効果】

- (1) 災害用備蓄品
 

飲料水	80箱(500ml・24本入り)
クラッカー	20缶(35食入り)
アルファ米	40箱(50食入り)
高圧加工米飯セット	20箱(30食入り)
発電機	2台
- (2) 地域防災計画修正事業
 

新庁舎開業及び市役所内部の機構改革等に伴って防災計画の見直し、また、国・県等の総合防災計画の修正等により、つくば市地域防災計画の修正版の作成を実施した。

事業名：国民保護に要する経費

環境生活部 生活安全課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
09	01	02	14	本年	1,387	4,657	360		5,684	3,974	69.9	
				前年	110		4,657		4,767	9	0.2	4,657
				比較	1,277	4,657	5,017		917	3,965		4,657

【事業の目的】

武力攻撃事態等における有事に対処するため、つくば市国民保護計画を作成し、市民の避難、救援、復旧等の措置を実施するため

【事業の概要】

- (1) 国民保護計画に基づく伝達訓練の実施(国・県並びに職員)
- (2) つくば市国民保護計画修正事業
- (3) 全国瞬時警報システム設置工事

【事業の成果及び効果】

- つくば市国民保護計画を作成し、武力攻撃事態等が発生し、被害が発生した場合、市民の保護のための措置を的確かつ迅速に実施することが可能となる。
- (1) 国民保護計画に基づく伝達訓練の実施(国・県並びに職員)
  - (2) 国民保護計画修正事業
 

新庁舎開業及び市役所内部の機構改革等に伴って国民保護計画の見直し、また、国・県等の総合国民保護計画の修正等により、つくば市国民保護計画の修正版の作成を実施した。
  - (3) 全国瞬時警報システム設置工事
 

消防庁にて「経済危機対策」に基づいた平成21年度補正予算において、防災情報通信設備事業交付金を新設し、国費により全国瞬時警報システムを全国一斉整備することになった。市は交付金を繰越し、情報の受信システムを設備した。

事業名：常備消防施設に要する経費

消防本部 消防総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
09	01	03	11	本年	83,058	17,079			100,137	94,849	94.7	
				前年	85,916		10,732		96,648	73,416	76.0	17,079
				比較	2,858	17,079	10,732		3,489	21,433		17,079

【事業の目的】

防災拠点となる消防庁舎の計画的整備促進及び、施設・設備の機能保全と消防庁舎としての性格を見据えた執務機能の充実を図るため

【事業の概要】

- (1) 消防庁舎8庁舎の職場環境保全として、床・窓清掃、空調、給水設備、電気工作物、浄化槽点検委託
- (2) 建物、設備等の修繕及び機能強化に係る業務
  - 豊里分署庁舎防水塗装改修工事
  - 地デジアンテナ設置工事
  - 筑波分署下水道接続工事
  - エアコン設備交換工事
  - 桜分署浴室改修工事
  - 中央署受変電設備改修工事
  - 消防本部・新庁舎間電話対応改修工事
  - その他、各種施設修繕等
- (3) 消防事務連絡車(バイク含む)21台の維持管理

【事業の成果及び効果】

- (1) 庁舎、設備の維持管理委託により、効率的で快適な職場環境を保つことができた。

	本部 中央署	北署	南署	豊里 分署	桜 分署	筑波 分署	荃崎 分署	並木 分署
床・窓清掃	年2回	年2回	年2回	年2回	年2回	年2回	年2回	年2回
空調設備点検	年2回	年2回	年2回	年2回	年2回	年2回	年2回	年2回
給水設備点検	月1回	月1回	月1回	月1回	なし	なし	なし	月1回
電気工作物点検	隔月1回	隔月1回	隔月1回	月1回	なし	なし	なし	月1回
浄化槽点検	なし	なし	なし	月1回	なし	月1回	なし	なし

- (2) テレビのアナログ放送からデジタル放送に対応するための工事や、庁舎の維持、建て替え時期の延長を図る等、各種工事、修繕を施工し、庁舎、施設の維持、機能強化が図れた。
- (3) 車検整備車両7台及び各種修繕を実施し、公用車の安全運行が確保された。  
また、業務出向及び研修先への公用車の円滑、適正な使用が図られた。

事業名：常備消防車両に要する経費

消防本部 警防課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
09	01	03	12	本年	77,558		6,551	91	70,916	69,171	97.5	
				前年	71,922		27,957		99,879	98,370	98.5	
				比較	5,636		34,508	91	28,963	29,199		

【事業の目的】

市民ニーズ及び各種災害の多様化に対応するため、車両の更新等を年次計画に基づき実施し、装備の充実強化を図るため

【事業の概要】

消防法に定められている目的遂行に必要な消防活動、救急活動及び救助活動等の業務全般(警防業務)を実施するために必要な消防自動車、救急自動車等の装備強化、更新及び維持管理の実施

【事業の成果及び効果】

- (1) 組織的・効果的な指揮が行える体制を構築するために中央消防署の指令車を指揮車に更新強化し、消防力の指針に基づく指揮体制への移行促進を図った。
- (2) 南消防署の水槽付消防ポンプ自動車を緊急消防援助隊仕様の消防車に装備を強化して、配備するとともに3月には緊急消防援助隊用の支援車を国から無償貸与され、大規模災害時の消防力が強化された。また、貸与された支援車は福島県への緊急消防援助隊派遣部隊の中核として活躍中である。
- (3) 車両の維持管理については、消防車両の配備状況を再検討し、非常用消防車の1台削減を実施した。消防力の低下については、車検の計画的な実施により支障を生じさせずに経費の節減が図れる状況である。

**事業名：非常備消防施設に要する経費**

消防本部 地域消防課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
09	01	03	13	本年	84,547		7,300	1,272	75,975	75,003	98.7	
				前年	104,421		12,700		91,721	90,418	98.6	
				比較	19,874		5,400	1,272	15,746	15,415		

【事業の目的】

消防組織法及び消防力の基準に基づく市町村計画により、消防水利を計画的に整備し、地域における市民の生命財産を守ることに寄与するため

【事業の概要】

- (1) 消火栓新設及び補修
- (2) 防火水槽新設及び補修

【事業の成果及び効果】

- (1) 消火栓新設(5基)
- (2) 消火栓修繕(4箇所)
- (3) 防火水槽新設工事(耐震性40m<sup>3</sup>型・7基)
- (4) 消防用施設補修等工事(火の見補修:2箇所, 詰所補修:15箇所, 防火水槽修繕:7箇所)

**事業名：非常備消防車両に要する経費**

消防本部 地域消防課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
09	01	03	14	本年	35,705				35,705	34,576	96.8	
				前年	55,923		2,070		53,853	51,828	96.2	
				比較	20,218		2,070		18,148	17,252		

【事業の目的】

つくば市消防団に配備している消防車両及び消防指令車について、円滑な活動を行うため、常時点検整備を行い有事に備えるため

【事業の概要】

消防車両及び消防指令車の維持管理

- (1) 消防ポンプ自動車 52台(水槽付ポンプ自動車 8台, ポンプ自動車 44台)
- (2) 可搬ポンプ積載車 27台
- (3) 消防指令車 7台
- (4) 消防連絡車 1台
- (5) ワゴン型貨物車 1台

上記車両の点検整備並びに車両の更新

【事業の成果及び効果】

- (1) ポンプ自動車等の車検整備 48台
- (2) ポンプ自動車購入(CD-1型) 1台

事業名：水防訓練に要する経費

消防本部 地域消防課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
09	01	04	11	本年	4,281		439		3,842	3,634	94.6	
				前年	2,823				2,823	2,682	95.0	
				比較	1,458		439		1,019	952		

【事業の目的】

出水期における河川の氾濫や洪水に備え、水防資機材の備蓄・水防体制の充実強化を図るため

【事業の概要】

- (1) 鬼怒川・小貝川沿岸5市町で構成される「鬼怒・小貝水防連合体」による水防訓練を、年1回市町持ち回りで開催し、有事に備える。(つくば市・常総市・下妻市・八千代町・つくばみらい市)
- (2) 利根川水系の三組合(利根川水系県南水防事務組合、稲敷地方広域市町村圏事務組合、常総地方広域市町村圏事務組合)による水防訓練を行い、有事に備える。

【事業の成果及び効果】

- (1) 平成22年7月4日につくば市が開催当番となり、第51回鬼怒・小貝水防訓練が実施された。  
この訓練は、出水期における河川の氾濫や洪水を想定し、様々な水防工法を施しながら水防工法の技術習得を図るとともに、地域住民の方々に防災意識の高揚を促すものである。
- (2) 平成22年6月27日に取手市において、三組合合同による水防訓練を実施した。  
この訓練は、災害予防責任者が共同して水防訓練を実施し、防災活動の円滑化と関係機関相互の協力体制を強化し、技能の練達向上を図り非常時の万全を期すと共に、あわせて地域住民の防災意識の普及啓発及び防災意識の高揚を図った。

事業名：教育委員会に要する経費

教育委員会事務局 教育総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	01	01	11	本年	3,677				3,677	3,491	94.9	
				前年	3,729				3,729	3,437	92.2	
				比較	52				52	54		

【事業の目的】

教育委員会の会議等を円滑に実施するため

【事業の概要】

教育委員会の会議等に関わる事務  
毎月1回の定例会及び必要に応じて臨時会を開催

【事業の成果及び効果】

定例会を12回及び臨時会を1回開催した。  
教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針や教育委員会規則、規程等の制定を行った。  
議案41件を審議する他、教育行政全般についてその権限に属する事務を行った。

事業名：奨学資金に要する経費

教育委員会事務局 教育総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	01	02	11	本年	2,252				2,252	2,192	97.3	
				前年	2,252				2,252	2,242	99.6	
				比較						50		

【事業の目的】

高等学校に在学する者で経済的理由で修学が困難であると認められるものに対して奨学金を支給し、  
教育の機会均等や有用な人材育成を図るため

【事業の概要】

- (1) 奨学金の支給決定に際し、年1回、つくば市奨学生選考委員会の開催  
選考委員の構成 議会推薦者2名、学校代表者6名、民生委員6名、市職員1名、
- (2) 奨学金の支給が決定された者(つくば市奨学生20人)に対し、高等学校在学中の正規の在学期間  
に、月額 9,000円を支給

【事業の成果及び効果】

- (1) つくば市奨学生選考委員会(1回開催)
- (2) 選考委員会の議を経て、下記のとおり奨学金支給を決定した。  
内訳：19人×12月×9,000円＝2,052,000円  
1人×8月×9,000円＝72,000円 総額2,124,000円  
11月に1名が成績不良と判明したため、12月～3月までの4ヶ月分(36,000円)について、  
奨学金支給を停止した。

事業名：英語指導助手に要する経費

教育委員会事務局 教育総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	01	02	12	本年	58,630		2,876		55,754	55,381	99.3	
				前年	60,300		4,280		56,020	55,463	99.0	
				比較	1,670		1,404		266	82		

【事業の目的】

外国人による英語教育を通して、児童・生徒が語学力の向上と広い視野を培うことにより、国際理解教育を推進し、実践的コミュニケーション能力の向上を図るため

【事業の概要】

15人の英語指導助手を雇用し、市内の幼稚園、小学校、中学校にて指導を行い、英語教育、国際理解教育を推進する。

【事業の成果及び効果】

子どもたちが生きた英語や外国の文化に接し、体験することで、外国語に親しみながら外国語教育を受け入れる環境を提供することができた。また、国際理解教育を推進し、コミュニケーション能力の向上が図れた。

英語指導助手訪問回数(平均)

幼稚園 1園× 1日×17園

小学校 1校× 49日×37校

中学校 1校×180日×14校

事業名：教育施設維持管理に要する経費

教育委員会事務局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	01	02	13	本年	1,989				1,989	1,490	74.9	
				前年	2,987	29,925			32,912	32,624	99.1	
				比較	998	29,925			30,923	31,134		

【事業の目的】

教育施設を適正に管理するため

【事業の概要】

- (1) 教育施設維持管理  
旅費, 需用費, 役務費, 使用料
- (2) 学校施設台帳加除委託料

【事業の成果及び効果】

- (1) 教育施設維持管理を行うための一般事務必要経費の支出
- (2) 学校施設台帳加除委託料



事業名： 公用車管理に要する経費

教育委員会事務局 教育総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	01	02	14	本年	6,731		1,503		5,228	4,694	89.8	
				前年	6,185		1,068		5,117	4,944	96.6	
				比較	546		435		111	250		

【事業の目的】

学校教育専用バス(大型2台)を市内幼稚園,小中学校が実施する園外保育・校外学習等の事業において,適正かつ円滑に利用できるようにするため

【事業の概要】

- (1) 学校教育用バス2台の運転業務委託
- (2) 教育長専用の公用車の賃借

【事業の成果及び効果】

市内幼小中学校が行う園外保育や校外学習等体験活動を行う機会を提供し,児童生徒の豊かな心の成長と多様な教育を受ける機会の充実を図るために,学校教育専用バスの運転業務を委託し,適正管理に努めた。

- (1) 学校教育用バス2台の運転業務委託  
稼働日数 : 50人乗り 154日(前年度比: + 16日)  
55人乗り 162日(前年度比: + 5日)
- (2) 教育長専用の公用車の賃借料  
60,375円 × 12月 = 724,500円

事業名： 情報教育振興に要する経費

教育委員会事務局 教育指導課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	01	02	15	本年	16,286				16,286	16,020	98.4	
				前年	19,033				19,033	18,282	96.1	
				比較	2,747				2,747	2,262		

【事業の目的】

小中学校における学力向上のためのICT教育の振興を図るため

【事業の概要】

- (1) ICT研修を充実させ,授業支援体制(ICT巡回支援業務)を整え,各小中学校で,学力向上のための道具としてICT機器が効果的に活用できるようにする。
- (2) 教育用ポータルサイト作成業務を委託してホームページの作成管理やヘルプデスク(学校からの問い合わせに対応するシステム)を行う。
- (3) デジタルコンテンツを市内小中学校51校全校で活用するとともに,学力向上とデジタルコンテンツ活用との関係を研究する。

【事業の成果及び効果】

- (1) ICT巡回支援委託では,各学校からの要請にもすぐに対応し,授業でのICT活用を図ることができた。
- (2) ポータルサイト作成委託では,全校のホームページ,学習ポータルサイトを充実させ,震災時においても,ホームページを通して,保護者に情報提供することができた。
- (3) 日本最大級のパソコンコンクールである「マイタウンマップコンクール」にて「共同通信社賞」を受賞。また東京書籍教育賞の論文にて,つくば市のICT教育が「全国優秀賞」を受賞。

事業名：学校教育活動支援・助成に要する経費

教育委員会事務局 教育総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	01	02	16	本年	25,521		2,250		23,271	20,981	90.2	
				前年	24,774		600		24,174	23,267	96.2	
				比較	747		1,650		903	2,286		

【事業の目的】

児童生徒及び教職員の各種活動を支援・助成することにより、児童生徒の健全な育成を図るため

【事業の概要】

「総合的な学習の時間」支援事業、視聴覚事業、ボランティア活動支援事業、各種団体への補助など様々な支援・助成を行い、子ども達の教育環境の充実を図る。

これらの支援・助成を行うことにより、文化・体育活動、情操教育、体験学習、教職員の研修・研究、不登校対策などを充実させ、児童生徒の健全育成を図る。

【事業の成果及び効果】

様々な支援・助成事業により、教育環境の充実が図れた。

(1) 支援事業

- 総合的な学習の時間支援 (373,800円)
- 視聴覚事業 (6,142,520円)
- ボランティア保険加入 (315,120円)
- 小中学校音楽会 (285,420円)
- ゲストティーチャー事業 (333,000円)

(2) 助成事業

- 教職員研修費補助金 (2,979,000円)
- 市小学校体育連盟補助金 (700,000円)
- 市中学校体育連盟補助金 (2,999,667円)
- 全国大会出場補助金 (2,608,191円)
- 教育研究会補助金 (2,169,261円)
- 市PTA連絡協議会補助金 (389,410円)
- 聴覚障害者のための講座開催補助金 (200,000円)
- 不登校児童生徒教室運営支援補助金 (1,486,000円)

事業名：指導主事・社会教育主事に要する経費

教育委員会事務局 教育指導課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	01	02	17	本年	100,935				100,935	95,503	94.6	
				前年	97,301				97,301	95,561	98.2	
				比較	3,634				3,634	58		

【事業の目的】

新しい時代をたくましく生きる力を育てる創意ある学校(幼稚園)づくりのため

【事業の概要】

- (1) 指導課内に指導主事を配置
- (2) 指導課内に社会教育主事を配置
- (3) 教育相談センターに指導主事を配置
- (4) 学校指導訪問
- (5) 研修講座

【事業の成果及び効果】

学校指導訪問・研修講座・相談活動を通して、学校経営や教育課程等に係わる指導や助言を継続し実施したことにより学力面では県平均を大きく上回り、生活面においても問題行動等は少ない状況にあった。

相談事業についても専門的で高度な支援ができたことで、問題の未然防止、早期発見、早期対応が図れた。

各学校や幼稚園への指導助言等を組織的・効果的に推進することにより、つくば市の学校教育のより一層の充実と教職員の資質の向上が図れた。

- (1) 指導課内に指導主事7人を配置し、市内小中学校の総括を行い、各学校の教育目標の達成と教育力の向上に向けて指導助言を行うとともに学校教職員の資質向上を目指し各種研修講座を実施した。
- (2) 社会教育主事1人を指導課内に配置し、学校と地域社会との連携を図り、児童生徒の学校外の社会教育活動の推進を図った。
- (3) 教育相談センターに指導主事2人を配置し、不登校やいじめ等に悩む子どもや保護者・教員等に対して電話相談・面接相談・学校訪問相談を実施し、不登校の児童生徒が学校に復帰するための適応指導教室を開催した。
- (4) 学校指導訪問  
計画指導訪問、要請指導訪問、生徒指導訪問、特別支援教育指導訪問、指定校指導訪問等  
年間316回
- (5) 研修講座  
管理職研修・学習指導法指導研修・ICT研修・特別支援研修・英語活動研修・日本語指導研修等  
48研修講座

**事業名：つくば市教育相談センター運営に要する経費**      **教育委員会事務局**      **教育相談センター**

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	01	02	18	本年	31,592				31,592	30,075	95.2	
				前年	30,557		1,035		31,592	30,538	96.7	
				比較	1,035		1,035			463		

**【事業の目的】**

つくば市における教育上の諸問題に対する相談・指導・助言等を行うため

**【事業の概要】**

(1) 教育相談

指導主事2名(常勤)、相談員9名(非常勤)により相談・指導・助言等を行うとともに、適応指導教室「つくしの広場」通級生に対する援助・指導等を行う。

(2) スクールカウンセラー

県配置事業及び市独自事業により市内14中学校と2小学校及び市内2小学校にスクールカウンセラーを各1名配置し、生徒・保護者・教諭等に対する相談・指導・援助等を行う。

(3) スクールサポーター

市内14中学校にスクールサポーターを各2名配置し、学校内で苦戦をしている生徒への援助・支援を行い、ストレスの緩和や問題行動の未然防止に努める。

(4) スクールライフサポーター

県の委託事業として市内3小学校に各1、2名ずつ配置し不登校の未然防止に努める。

**【事業の成果及び効果】**

相談等の状況

(1) 教育相談

相談件数(延べ)	1,638件	適応指導教室	通級者数	17名
電話相談	69件	「つくしの広場」	通級人数(延べ)	587名

(2) スクールカウンセラー

県配置	16校	相談者数	430名
市配置	2校	相談回数(延べ)	1,048回

(3) スクールサポーター

全中学校に各2名配置 年間450時間勤務

授業中の支援や給食中・清掃中の支援・援助を行った。

(4) スクールライフサポーター

県配置 3校 年間345時間勤務

学校内で苦戦している子供達の話し相手になったり、遊び相手になったりして支援を行った。

児童・生徒の心の安定と保護者及び教師の精神的負担の軽減・教育相談の充実と学校生活適応への支援が図られた。また、児童・生徒の情緒不安や不登校の解消に寄与した。

事業名：学校災害賠償保険に要する経費

教育委員会事務局 教育総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	01	02	19	本年	6,191				6,191	6,070	98.0	
				前年	6,174				6,174	6,043	97.9	
				比較	17				17	27		

【事業の目的】

市が、園児・児童・生徒または第三者に対し、学校施設の構造上欠陥や管理上の不備による事故あるいは学校業務を遂行中の不注意による事故に起因する法律上の損害賠償責任を負う場合の損害を保険金により補填するため。また、偶然の事故により学校施設の物件に傷害が生じたとき、その損害を補填するため

【事業の概要】

損害賠償保険等の加入事務及び保険金請求事務

(1) 学校災害賠償補償保険

学校施設の構造上の欠陥や管理上の不備による事故あるいは学校業務を遂行中に不注意による事故に起因して、児童生徒または第三者が身体を害しまたは財物の損壊を被ったことにより、市が法律上の賠償責任が生じることによって被る損害を補填

(2) 建物総合損害共済

学校施設の物件が、偶然の事故(災害等)による損害が生じたとき、その損害を補填

【事業の成果及び効果】

保険加入事務を適切に処理した。

(1) 学校災害賠償補償保険

(2) 建物総合損害共済

幼稚園18園 現幼稚園,真瀬幼稚園(休園)

小学校38校 現小学校,旧大形小学校(廃校)

沼崎幼稚園及び筑波第一小学校については、教育財産から普通財産へ所管替えしたため、平成21年10月1日更新時に削除。(管財課で新規加入)

中学校14校

吾妻教職員住宅

学校バス車庫 (谷田部車庫)

事業名：学校、幼稚園公用車管理に要する経費

教育委員会事務局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	01	02	20	本年	363				363	363	100.0	
				前年	363				363	363	100.0	
				比較								
<p>【事業の目的】 学務課及び幼稚園で使用する公用車を適正に管理するため</p> <p>-----</p> <p>【事業の概要】 学務課管理の公用車3台(岩崎幼稚園1台,学務課2台)の点検・整備・修理等の管理</p> <p>-----</p> <p>【事業の成果及び効果】 定期点検を全車両実施し,車両の整備を行った。</p>												

事業名：少人数指導非常勤講師配置事業に要する経費

教育委員会事務局 教育総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	01	02	21	本年	26,681		800		25,881	25,142	97.1	
				前年	26,681		2,354		29,035	28,655	98.7	
				比較			3,154		3,154	3,513		
<p>【事業の目的】 小中学校における学習内容の多様化等を背景に,習熟度等に応じたきめ細やかな学習指導を充実させ,児童生徒の学力向上を図るため</p> <p>-----</p> <p>【事業の概要】 県による少人数指導加配等の非常勤講師の配置対象とならない小中学校を中心に,チーム・ティーチングを行うための非常勤講師(つくば市立学校市費負担非常勤講師)を市独自に雇用し配置する。</p> <p>-----</p> <p>【事業の成果及び効果】</p> <p>(1) 計14の小中学校に市費負担非常勤講師を1名ずつ配置し,各講師が週29時間以内(年間1,015時間以内)の勤務条件で,担任教諭とのチーム・ティーチングによる授業を実施した。 ( 前年対比2名減。県による加配人数が増加したことによる。)</p> <p>(2) 市費負担非常勤講師の配置校では,対象学級において教員2名体制で授業を行うことができるため,児童に対してきめ細やかな学習指導を実践することができた。また,非常勤講師が担任教諭をサポートすることによって,より円滑な学級運営が可能となった。</p> <p>(3) 本事業は県の学校活性化支援事業費補助金の対象となり,14名の非常勤講師のうち1名分の配置に要する経費相当額が補助金として交付された。</p>												

事業名：特別支援教育支援員配置事業に要する経費

教育委員会事務局 教育指導課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	01	02	22	本年	29,818				29,818	27,532	92.3	
				前年	28,946				28,946	26,850	92.8	
				比較	872				872	682		
<p>【事業の目的】 学校生活上自立や集団参加が困難と認められる児童生徒が在籍する小学校または中学校に特別教育支援員を配置し,学校の円滑な運営を図るため</p> <p>-----</p> <p>【事業の概要】 障害のある児童生徒が在籍する学校から申請を受け,申請書や学校指導訪問や巡回相談などを勘案して教育支援員を配置して,学校運営の改善を図る。</p> <p>-----</p> <p>【事業の成果及び効果】 学級等を担任する教員の負担が軽減され,児童生徒の安全確保及び学級の運営の改善が図られた。 教育支援員の配置:24校に54人配置</p>												

事業名：学校管理に要する経費

教育委員会事務局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	01	02	23	本年	2,062				2,062	2,038	98.8	
				前年	2,253				2,253	2,110	93.7	
				比較	191				191	72		
<p>【事業の目的】</p> <p>システムにより就学や就学援助に関する事務を迅速かつ正確に遂行するため</p> <p>-----</p> <p>【事業の概要】</p> <p>(1) 旅費, 消耗品一式購入, 就学申立書印刷, 就学事務電算処理委託,                  (2) 教科書集計システムパソコン賃借料, 就学援助事務電算処理委託</p> <p>-----</p> <p>【事業の成果及び効果】</p> <p>システムの使用により, 事務を正確かつ効率的に進めることができた。</p>												

事業名：教育総務に要する経費

教育委員会事務局 教育総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	01	02	24	本年	17,347		633		16,714	15,795	94.5	
				前年	15,907		590		15,317	14,656	95.7	
				比較	1,440		43		1,397	1,139		
<p>【事業の目的】</p> <p>職員の人事管理その他の事務局全般に関する事務を適正に実施するため</p> <p>-----</p> <p>【事業の概要】</p> <p>(1) 人権教育関係研修, 社会科副読本, つくばの教育概要及び教育広報の編集印刷, 教育委員会関係事務機器の管理                  (2) 教育広報「つくばの学び舎」の発行                  (3) つくば市教育行政懇談会の開催</p> <p>-----</p> <p>【事業の成果及び効果】</p> <p>(1) 人権教育関係研修, 社会科副読本, つくばの教育概要及び教育広報の編集印刷, 教育委員会関係事務機器の管理等事務について適切に処理した。                  (2) 平成22年度から教育広報「つくばの学び舎」を発行し, 市立の小中学校、幼稚園の教育活動や市教育委員の取り組みなどの情報を発信した。                  (3) つくば市教育行政懇談会を3回開催し, 教育委員会の事務の管理及び執行の状況について, 学識経験者(懇談会委員3名)の知見の活用を図りながら, 点検・評価を行い, その結果に関する報告書を作成し, 議会に提出し公表した。</p>												

事業名：学校教育研究支援事業に要する経費

教育委員会事務局 教育指導課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	01	02	25	本年	1,307		1,110		2,417	1,974	81.7	
				前年	1,878				1,878	1,481	78.9	
				比較	571		1,110		539	493		
<p>【事業の目的】</p> <p>学習指導法の研究開発及びその普及を図り, 教職員一人一人の資質を向上させるため</p> <p>-----</p> <p>【事業の概要】</p> <p>(1) つくば市教育委員会により, 教育研究のモデル校として教育研究校の指定をし, 指導法や教材の研究開発を図るとともに発表会の開催                  (2) 教育委員会主催の各種研修講座に専門家の招聘や視察研修</p> <p>-----</p> <p>【事業の成果及び効果】</p>												

教育研究校として5校を指定し、各教科・領域にわたり指導法の研究を行い研究開発を図るとともに発表会を開催し、市内教職員の資質の向上を図った。

**事業名：国際理解教育推進事業に要する経費**

教育委員会事務局 教育指導課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	01	02	26	本年	1,782				1,782	1,171	65.7	
				前年	2,304				2,304	1,465	63.6	
				比較	522				522	294		

【事業の目的】

AETや地域人材等の効果的な活用を含めた実践的な取組を推進し、小学校における英語活動等国際理解教育について指導方法の確立を図るため

【事業の概要】

- (1) 各小学校の計画により、AETや地域の外国人等を活用した国際理解集会を開く。  
児童が体験的な学習を行い、興味をもって外国語に触れたり外国の生活・文化に慣れ親しみながら異文化理解を促進できるようにする。
- (2) 各小学校での実践終了後には、その成果を『小学校外国語活動資料(「Motivation Mood Makers for English Classes ver.12」)』に掲載し、各小学校の実践について情報を共有する。

【事業の成果及び効果】

「音声を中心に外国語に慣れ親しませる活動を通して、言語や文化について体験的に理解を深めるとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成し、コミュニケーション能力の素地を養うこと」を目的に取り組んできた結果、4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)の総合的な育成を図ることができた。

**事業名：キャリア教育に要する経費**

教育委員会事務局 教育総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	01	02	27	本年	2,904		954		1,950	1,585	81.3	
				前年	4,475		1,455		3,020	2,910	96.4	
				比較	1,571		501		1,070	1,325		

【事業の目的】

児童生徒の発達段階に応じたキャリア教育を推進し、児童生徒に望ましい勤労観や職業観を育成していくため。また、キャリア教育を推進する中で、早い段階で将来の夢や目標を持つことにより、学習意欲を向上させるため

【事業の概要】

- (1) 教職員に対し思考・探求型、企業連携型のキャリア教育の研修を実施する。
- (2) 上記研修を生かした、キャリア教育研究授業を実施する。

【事業の成果及び効果】

- (1) 教職員に対し思考・探求型、企業連携型のキャリア教育の研修を実施  
全小中学校のキャリア教育担当者を対象とする全体研修の実施(3回実施)  
特定の中学校区を対象とするブロック研修の実施(3ブロックの各学校×2回)
- (2) 上記研修を生かした、キャリア教育研究授業を実施  
(小小連携・小中連携・企業との連携等の研究授業を実施)

事業名： 幼保小連携教育推進事業に要する経費

教育委員会事務局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	01	02	28	本年	710				710	548	77.2	
				前年	610				610	524	85.9	
				比較	100				100	24		

【事業の目的】

幼稚園、保育所及び小学校間が連携して交流事業や講演会などを実施し、幼児教育から小学校教育へのスムーズな接続を図るため

【事業の概要】

幼稚園、保育所及び小学校間が連携して交流事業や講演会などの実施

【事業の成果及び効果】

幼児が児童や小学校教員と交流することで、小学校入学への不安感が軽減できた。また、幼児施設及び小学校の教員が、相互の課題を共有し検討することによって、幼保小連携に対する意識の高揚が図られた。

- (1) 実施校: 手代木南小学校, 田水山小学校, 大曽根小学校, 谷田部南小学校, 荃崎第三小学校
- (2) 幼稚園児・保育所児童と小学生の交流事業として、小学校での運動遊びや合同芋掘り等を実施
- (3) 教師間の連携事業としては、合同研修会等を実施した。

事業名： 学校支援のための地域本部事業に要する経費

教育委員会事務局 教育指導課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	01	02	29	本年	3,602		1,348		2,254	1,383	61.4	
				前年	3,811		1,510		2,301	2,018	87.7	
				比較	209		162		47	635		

【事業の目的】

地域コーディネーターが学校の要望している活動についてボランティアを調整し、学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てる体制を整えるため

【事業の概要】

学校の要望している活動を実施するために、必要な学校支援ボランティアの人材の確保や日程調整などを行う。

平成20年度から竹園東中学校、竹園東小学校、竹園西小学校の3校で取り組んでおり、学校と地域の橋渡し役として、地域コーディネーターを各学校に3名ずつ配置

【事業の成果及び効果】

ボランティアの実施回数は、3校で54回、参加した学校支援ボランティアは延べ541人であった。地域コーディネーターを中心として、自主的な学校支援活動が定着した。



事業名：教育振興基本計画策定に要する経費

教育委員会事務局 教育総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	01	02	30	本年	4,089		300		3,789	3,052	80.5	
				前年	4,721		1,581		3,140	2,890	92.0	
				比較	632		1,281		649	162		

【事業の目的】

教育を取り巻く様々な状況の変化を踏まえ、つくば市の教育の目指すべき姿を明らかにし、その実現に向けての具体的な施策をまとめ、総合的かつ計画的に事業を推進していく「つくば市教育振興基本計画」を策定するため

【事業の概要】

- (1) つくば市教育振興基本計画の策定
- (2) 策定懇談会等の開催
- (3) パブリックコメントの実施
- (4) 計画書及びダイジェスト版の印刷製本

【事業の成果及び効果】

- (1) 本計画策定により、つくば市で取り組むべき教育をめぐる課題を明らかにするとともに、「教育日本一」の実現を目指して、学校・家庭・地域社会が連携して教育を推進していくための指針としていく。
- (2)(3) 策定にあたり、学識経験者・保護者などで組織した策定懇談会の開催、パブリックコメントの実施などにより専門的な知見や外部の意見を取り入れることができた。  
(前年度はアンケート調査を実施)
- (4) 計画書(300部)及びダイジェスト版(4,000部)を作成

事業名：研究奨励助成に要する経費

教育委員会事務局 教育指導課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	01	02	31	本年	500				500	479	95.8	
				前年	500				500	441	88.2	
				比較						38		

【事業の目的】

自主的・組織的な研究を進め、成果が上がっている学校に対して、研究助成をし、当該校だけでなく市全体の教育レベルの向上を図るため。また、学力の向上や豊かな心の育成など、つくば市が重点にしている教育のさらなる充実を図るため

【事業の概要】

小中学校のうち、自主的・組織的に研究に取り組み成果をあげている学校に対する研究奨励費助成

【事業の成果及び効果】

吾妻中学校、吾妻小学校、荃崎中学校、荃崎第二小学校、荃崎第三小学校の5校が、小中一貫教育について研究成果をあげ、市内の学校の教育レベルの向上に資した。

事業名：総合教育研究所に要する経費 (教育委員会事務局 教育総務課)  
教育委員会事務局 総合教育研究所

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	01	02	32	本年	10,259	21,262	564		30,957	28,080	90.7	
				前年			22,323		22,323	987	4.4	21,262
				比較	10,259	21,262	22,887		8,634	27,093		21,262

【事業の目的】

つくば市総合教育研究所を開設し、つくば市学校教育における諸問題の調査・研究、教職員の研修、教育情報の収集・提供、教育相談、各学校(園)の課題や要請に対応した的確な助言・指導等を総合的・効果的に推進し、本市学校教育の充実と振興を図るため

【事業の概要】

- (1) 総合教育研究所の開所に向けた、内装改修工事・給排水衛生設備改修・エアコン設置・下水道接続工事等の実施
- (2) 開所後は、教職員を対象に研修の場の提供、つくば市教育の特色であるICT教育の拠点として機械操作等のサポート等、教職員の資質向上、指導力向上のための事業の推進

【事業の成果及び効果】

- (1) 7月までに改修工事を行い、総合教育研究所として8月に開所した。  
改修工事については平成21年度から繰り越して施工を行った。
- (2) 開所後は事業の実務遂行に努めた。

教育委員会教育指導課主催の研修講座を実施し、市内教職員の研修の場として利用した。市小中学校長会、教頭会、教務主任会等の会議・研修会、教育研究会等の発表会場として施設が利用されるなど、研修所としての機能を発揮した。

学校ICT教育の推進として、各教科におけるICTを活用した授業を推進するため、ICT指導員による各学校からの電話対応や派遣指導等、学校の教職員や児童生徒に対して分かりやすい適切な対応に努めた。また、ポータルサイト作成では全校のホームページ、学習ポータルサイトの管理運営を行い、充実させることができた。

教育委員会教育指導課と連携を図り、小中一貫教育と教科等研究協力員の実践報告を一冊の冊子にまとめた「つくば市小中一貫教育カリキュラムの構想各中学校区実践事例と研究協力員の提言」を発行した。

総合教育研究所施設使用実績 < 研修等使用回数:70回 延べ人数:2,023人 >

事業名：障害児就学指導に要する経費 教育委員会事務局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	01	03	11	本年	10,002				10,002	9,619	96.2	
				前年	9,837				9,837	9,542	97.0	
				比較	165				165	77		

【事業の目的】

障害を持った就学児の就学指導及び児童生徒一人一人のニーズに合った適正な就学を図るため

【事業の概要】

- (1) 関係機関との連携を持ち、就学前の早期からの障害を持った幼児の把握
- (2) 未就学児への就学相談員(4名)による関係機関への訪問及び保護者等の就学相談
- (3) 障害児就学指導委員会による審議
- (4) 障害児就学指導委員会の審議後の就学指導

【事業の成果及び効果】

- (1) 関係機関との連携を密に取り合い訪問することにより、障害のある就学児の個々について把握することができた。  
また、年少児からの早めの相談も増え保護者からの就学相談に深く関わることができた。  
相談件数も昨年より約300件増となっている。

年間相談延べ件数 908件 (その他, 電話相談869件・連携学校訪問指導220件)  
 (2) 就学指導委員会の審議は, 今年度は審議件数が多く例年9回開催のところ今年度は10回の開催となった。  
 審議判定も一人一人に合った就学の判定ができ, 就学児及び児童生徒の審議判定結果(判定)どおりに就学することができるよう就学指導も行うことができた。  
 審議件数は, 195件で, 審議結果(判定)どおりの就学は92%となっている。

**事業名 : 特別支援教育相談事業に要する経費**

教育委員会事務局 教育指導課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
10	01	03	12	本年	4,118				4,118	3,997	97.1	
				前年	2,079				2,079	2,001	96.2	
				比較	2,039				2,039	1,996		

**【事業の目的】**

発達障害等のある幼児・児童生徒への支援について, 障害児の指導に関する専門家を派遣したり, 講演・研修会を実施したりすることにより, 特別支援教育の支援体制の充実を図るため

**【事業の概要】**

- (1) 巡回相談員2人(非常勤職員)を指導課に配置して, 幼稚園・小中学校への巡回相談
- (2) 大学の教員, 病院の医師等に巡回相談依頼
- (3) 教員及び教育支援員対象の研修会の開催(年間3回)

**【事業の成果及び効果】**

- (1) 指導課に在籍する巡回相談員が幼稚園, 小中学校を訪問して巡回相談を実施した回数: 225回
- (2) つくば養護学校の教員に依頼して相談を行った回数: 5回
- (3) 特別支援教育研修会の開催回数: 2回  
 学校の要請に応じた相談や特別支援を推進する研修会ができた。  
 特別支援学級担当者だけでなく通常学級の担任を対象とした研修会を開催し, 学級経営や従業員構成に役立てるようにした。

**事業名 : 施設整備事業に要する経費**

教育委員会事務局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
10	02	01	11	本年	88,258	16,641	1,500		106,399	103,363	97.1	
				前年	160,952		60,698		221,650	192,189	86.7	16,641
				比較	72,694	16,641	59,198		115,251	88,826		16,641

**【事業の目的】**

小学校施設における教育環境の維持・向上を図るため

**【事業の概要】**

各小学校の改修, 修繕, 土木工事等の設計委託及び工事の実施

**【事業の成果及び効果】**

施設の修繕工事等を実施することで, 教育環境の維持が図れた。

**修繕工事等の実施件数**

	平成22年度	平成21年度
建築工事, 土木工事, 修繕工事	71件	85件
工事の設計委託	9件	12件

- (1) 東小学校校庭緑化事業を平成21年度から繰越し実施した。学校環境の緑化推進, 砂の飛散防止, 環境への負荷軽減などの効果が見込める。
- (2) 高圧負荷開閉器改修工事を行い, 電気系統のトラブルや落雷などによる電気事故を周辺に波及さ

- せない措置が講じられた。(吾妻・並木・手代木南・小野川・竹園東・竹園西小学校)
- (3) 竹園東小学校屋根防水工事を行い、教室等への雨漏りが防止でき、健全な環境を確保できた。
- (4) 田水山小学校渡り廊下設置工事を行い、悪天候時に教室棟から体育館にスムーズに移動できる環境を確保できた。
- (5) 北条小学校消防受変電設備改修工事を行い、消火栓や電気設備の更新を行え、安心して学校生活を送れる環境が確保出来た。

**事業名：学校管理運営に要する経費**

教育委員会事務局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	02	01	12	本年	233,015		3,093		236,108	227,551	96.4	
				前年	233,480			102	233,378	218,203	93.5	
				比較	465		3,093	102	2,730	9,348		

【事業の目的】

創造力豊かな児童の育成及びゆとりとうるおいのある教育環境の整備を図るため

【事業の概要】

- (1) 学校管理用消耗品、光熱水費等の学校管理費の執行管理
- (2) 正職員の用務員がいない学校への臨時用務員の配置
- (3) 小田小学校スクールバスの運行

【事業の成果及び効果】

- (1) 学校管理に必要な経費の支払い及び必要な消耗品等の購入により、より良い環境での学校教育推進に寄与した。
- (2) 臨時用務員を24校に配置した。

**事業名：学校保健管理に要する経費**

教育委員会事務局 健康教育課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	02	01	13	本年	60,012			89	59,923	57,432	95.8	
				前年	54,782		1,330		56,112	54,255	96.7	
				比較	5,230		1,330	89	3,811	3,177		

【事業の目的】

小学校に学校医等を配置して定期健康診断等を実施するとともに、学校管理下における児童の災害に対して給付などを行い、心身共に健全な児童の育成を図るため

【事業の概要】

- (1) 小学校の嘱託医等の配置人数 一般医 50名、歯科医 50名、眼科医 37名、薬剤師 37名
  - ・嘱託医による定期健康診断の実施
  - ・就学時健康診断の実施
  - ・薬剤師による水質検査の実施
- (2) 災害共済給付制度への加入及び給付金支給手続き
- (3) 小学校AED設置事業
- (4) 小学校スポーツテスト集計業務電算処理委託

【事業の成果及び効果】

- (1) 各学校及び嘱託医との連携により生徒の健康の保持増進を図ることができた。
- (2) 学校管理下における児童の災害に対して、給付金の支給を円滑にすすめることができた。
- (3) AEDを配置することで緊急時対応の充実が図れた。

事業名： 備品整備に要する経費

教育委員会事務局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
10	02	01	14	本年	26,946		4,980		31,926	28,803	90.2	
				前年	28,175		4,103		32,278	28,621	88.7	
				比較	1,229		877		352	182		
<p>【事業の目的】 小学校の管理備品を整備することにより、教育環境の充実に努めるため</p> <p>-----</p> <p>【事業の概要】 (1) 各小学校の備品の修繕，複写機のパフォーマンスチャージ料 (2) 各小学校管理備品の整備</p> <p>-----</p> <p>【事業の成果及び効果】 管理備品を整備することで、教育環境の向上が図れた。 (1) 備品の修繕，複写機パフォーマンスチャージ料 (2) 学校管理備品を購入(37校) 机・椅子・棚など</p>												

事業名： 学校施設取得に要する経費

教育委員会事務局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
10	02	01	15	本年	339,229				339,229	337,226	99.4	
				前年	343,432		59,618		403,050	402,279	99.8	
				比較	4,203		59,618		63,821	65,053		
<p>【事業の目的】 都市再生機構への償還のため</p> <p>-----</p> <p>【事業の概要】 都市再生機構における立替施行分の償還金</p> <p>-----</p> <p>【事業の成果及び効果】 償還金は竹園東小学校外9校分</p>												

事業名： 施設管理に要する経費

教育委員会事務局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
10	02	01	16	本年	113,086				113,086	112,090	99.1	
				前年	108,214				108,214	107,692	99.5	
				比較	4,872				4,872	4,398		
<p>【事業の目的】 法令等に基づく施設の点検等の実施により、安心安全な学校環境を作るため。また、施設の適切な維持管理を行うことで、教育環境の向上を図るため</p> <p>-----</p> <p>【事業の概要】 (1) 小学校施設の小規模な修繕や不具合の解消 (2) 浄化槽法定検査手数料 (3) 法令に基づく機器点検及び施設の維持管理のための点検等の実施 (4) 学校用地の借上げ (5) 芝管理委託 (6) 校内植栽の維持管理等</p> <p>-----</p> <p>【事業の成果及び効果】 適切な維持管理を行うことで教育環境の維持が図れた。</p>												

実施件数

	平成22年度	平成21年度
(1) 修繕	126件	113件
(2) 浄化槽法定検査	7校	9校
(3) 通常点検委託	66件	51件
(4) 用地借上げ	8校	8校
(5) 芝管理委託	7校	7校
(6) 植栽剪定等	27校	23校

- (1) 雨漏りや小規模な不具合などの修繕
- (2) 浄化槽法定検査
- (3) 消防設備, 危険物地下タンク, 電気保安業務などの法定点検及び遊具の安全点検など
- (4) 学校用地の借上げ
- (5) 芝の葉刈り・施肥
- (6) 植栽の剪定・消毒・伐採

事業名： 情報機器整備に要する経費

教育委員会事務局 教育総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	02	01	17	本年	31,345				31,345	29,038	92.6	
				前年	17,844				17,844	12,453	69.8	
				比較	13,501				13,501	16,585		

【事業の目的】

事務機器のリース導入による小学校事務の利便性の向上と効率化を図るため

【事業の概要】

- (1) 市内公立小学校(37校)における, パソコン, 複写機及び印刷機のリース導入
- (2) 校務用コンピュータのリース導入

【事業の成果及び効果】

全小学校において, パソコン, 複写機及び印刷機のリース導入により事務の効率化及び, 校務情報の一元化を図った。

< 22年度導入 複写機21台, 印刷機6台 リース期間:平成22年11月～平成28年10月 >

**事業名：特別支援教育就学奨励事業に要する経費**

教育委員会事務局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	02	02	11	本年	2,383			320	2,703	2,661	98.4	
				前年	2,267				2,267	2,252	99.3	
				比較	116			320	436	409		

【事業の目的】

小学校の特別支援学級に就学する児童の保護者の経済的な負担を軽減するとともに、児童の就学を奨励するために特別支援教育就学奨励費を支給し、特別支援教育の振興を図るため

【事業の概要】

奨励費を支給する認定をした保護者に対し各学期ごとに学校長を通じて次の費目を支給  
(学用品費, 通学用品費, 校外活動費, 新入学児童学用品費, 修学旅行費, 学校給食費)

【事業の成果及び効果】

平成22年度認定児童数89名に対し、過不足なく支給した。

**事業名：要保護等児童就学援助事業に要する経費**

教育委員会事務局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	02	02	12	本年	46,777			2,050	48,827	48,325	99.0	
				前年	44,791		1,274	700	46,765	46,746	100.0	
				比較	1,986		1,274	1,350	2,062	1,579		

【事業の目的】

小学校に就学する児童の保護者が、児童への就学義務を最優先に履行していることを前提として、経済的理由により児童の就学に支障をきたしている場合に、就学援助費を支給することにより義務教育の円滑な実施を図るため

【事業の概要】

- (1) 要保護認定児童(生活保護世帯)の保護者に対して修学旅行費を支給
- (2) 準要保護認定児童(要保護に準ずる程度に困窮していると認定された児童)の保護者に対して次の費目支給  
(学用品費, 通学用品費, 校外活動費, 新入学児童学用品費, 修学旅行費, 学校給食費, トレシャツ費, 医療費)

【事業の成果及び効果】

平成22年度要保護認定児童数27名, 準要保護認定児童数753名に対して、過不足なく支給した。

**事業名：教材整備に要する経費**

教育委員会事務局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	02	02	13	本年	34,075		5,550	2,050	37,575	31,656	84.2	5,550
				前年	35,910			710	35,200	33,376	94.8	
				比較	1,835		5,550	1,340	2,375	1,720		5,550

【事業の目的】

市立小学校37校の教材や図書備品を整備し、一人一人の児童の素質を生かす学習指導を進めるため

【事業の概要】

- (1) 図書の購入(学校教育指導方針, 教師用図書, 教師用指導書)
- (2) 理科実験用薬品等購入
- (3) 図書室用図書備品の購入
- (4) 住民生活に光をそそぐ交付金による図書備品購入(平成23年度に繰越)
- (5) 教材用消耗品購入(プリント教材用紙, 理科実験用消耗品等)

【事業の成果及び効果】

図書備品や教材の購入を行い、個々の児童にあった授業の実施に寄与した。

事業名：特別活動等助成に要する経費

教育委員会事務局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	02	02	14	本年	10,555				10,555	10,276	97.4	
				前年	10,487				10,487	10,149	96.8	
				比較	68				68	127		
【事業の目的】 行事活動や陸上記録会等による児童の健全育成に寄与するため												
【事業の概要】 (1) 卒業記念品や行事用消耗品の購入 (2) 陸上競技会大会、音楽会参加に係るバス等の自動車賃借												
【事業の成果及び効果】 行事活動や陸上記録会を通して、児童の心身の育成が図れた。												

事業名：教育振興助成に要する経費

教育委員会事務局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	02	02	15	本年	3,880				3,880	3,347	86.3	
				前年	3,172			112	3,284	3,133	95.4	
				比較	708			112	596	214		
【事業の目的】 児童の学力向上、自転車通学児童の安全確保及び遠距離通学児童の保護者の負担軽減を図るため												
【事業の概要】 (1) 学力診断テスト用紙の購入 (2) 自転車通学をする新1年生及び転入生へ自転車用ヘルメットの配布 (3) 通学距離4km以上の遠距離通学児童の保護者に対する通学費補助												
【事業の成果及び効果】 (1) 保護者の経済的負担の軽減と児童の学力把握に寄与した。 (2) 自転車用ヘルメット配布 小野川小学校 24人、荃崎第二小学校 10人 (3) 遠距離通学補助 吾妻小学校 10人、谷田部小学校 8人、小野川小学校 5人、 荃崎第一小学校 36人、荃崎第二小学校 5人												

事業名：教材備品整備に要する経費

教育委員会事務局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	02	02	16	本年	26,636	27,360	2,279		56,275	51,706	91.9	
				前年	28,307		30,570		58,877	25,330	43.0	27,360
				比較	1,671	27,360	28,291		2,602	26,376		27,360
【事業の目的】 小学校の教材備品を良好に維持することにより、教育環境の向上に努めるため												
【事業の概要】 (1) 教材備品の修繕及び整備 (2) 予算は学校に配分し、学校要望に沿って購入する。												
【事業の成果及び効果】 各学校の教科用備品を整備し、教育の向上に役立てた。 (1) 各小学校の教材備品の修繕 (2) 各小学校の教材備品の整備(37校) 理科・算数・体育教材など												



事業名：ICT教育推進に要する経費

教育委員会事務局 教育総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	02	02	17	本年	160,965				160,965	156,546	97.3	
				前年	165,774		5,870		171,644	171,432	99.9	
				比較	4,809		5,870		10,679	14,886		

【事業の目的】

パソコンの老朽化及びリース期間満了に伴い、新指導要綱にあったソフトやインターネットの環境に対応するコンピュータを導入するなど、小学校のICT整備等を進め、教育環境の維持・向上を図るため

【事業の概要】

教育用、インターネット用コンピュータ・テレビ会議システムの継続分の賃借料及び、教育用コンピュータソフト継続分の賃借料

【事業の成果及び効果】

- (1) 市内全小学校の安定運用が図られた。
- (2) コンピュータ教室の入替えを実施(2校)

事業名：学校図書館司書教諭補助員に要する経費

教育委員会事務局 教育指導課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	02	02	18	本年	13,677				13,677	12,878	94.2	
				前年	13,504				13,504	12,605	93.3	
				比較	173				173	273		

【事業の目的】

小学校に学校図書館司書教諭の補助を行う司書教諭補助員、並びに協力員(大学生ボランティア)を配置して、学校図書館の環境整備等に努めるため

【事業の概要】

- (1) 学校経営方針に基づき司書教諭指示による、司書教諭の補助として学校図書館の環境整備
- (2) 新刊本の紹介や書架の整理、休み時間の図書の貸し出し返却業務

【事業の成果及び効果】

小学校全校(37校)に補助員、2校に協力員を配置したことにより、学校図書館の業務が円滑化され、読書活動が推進された。

事業名：理科支援員等配置事業に要する経費

教育委員会事務局 教育指導課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	02	02	19	本年	2,828				2,828	2,356	83.3	
				前年	2,828				2,828	2,645	93.5	
				比較						289		

【事業の目的】

理科が得意な人材を小学校理科授業に活用し、観察・実験活動等における教員の支援や、先端科学技術に関する実験等の演習・体験活動などを行うことにより、小学校理科教育の活性化及び一層の充実を図るとともに小学校教員の理科指導力の向上を図るため

【事業の概要】

理科支援員派遣

研究者や教員のOBなど理科が得意な人材を小学校に理科支援員として派遣し、5、6年生における理科授業の観察・実験等の準備、実施支援、後片づけ等の教員の支援

【事業の成果及び効果】

理科支援員の配置により、実験・観察等の体験的な授業が充実し、児童の意欲が向上した。  
小学校13校の41学級に9名(1,780時間)の配置を行った。

事業名：小学校建設事業に要する経費

教育委員会事務局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	02	03	11	本年	1,423,599	601,268	256,553		1,768,314	1,314,751	74.4	307,377
				前年	200,547		569,750		770,297	145,908	18.9	601,268
				比較	1,223,052	601,268	826,303		998,017	1,168,843		293,891

【事業の目的】

小学校施設の新築・増改築・耐震補強等を行い、教育環境の充実に努めるため

【事業の概要】

- (1) 小学校新築事業
- (2) 小学校増築事業
- (3) 小学校耐震事業
- (4) 小学校環境対策事業

【事業の成果及び効果】

児童数増に伴う新增築事業と国の経済危機対策を活用した耐震事業を実施し、教育環境の充実と耐震化を推進した。

- (1) 小学校新築事業:1校  
春日小中建設(次年度までの継続事業)
- (2) 小学校増築事業: [建設] 2校(大曾根小, 竹園東小), [設計] 1校(沼崎小)
- (3) 小学校耐震事業:(経済危機対策含み)  
耐震診断6校, 耐震工事設計3校, 耐震工事6校(前年度から繰り越し)
- (4) 太陽光発電装置設置工事1校(前年度から繰り越し)

事業名：施設整備事業に要する経費

教育委員会事務局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	03	01	11	本年	45,279		660		45,939	43,359	94.4	
				前年	105,293		28,177		133,470	123,917	92.8	
				比較	60,014		27,517		87,531	80,558		

【事業の目的】

中学校施設の整備を行うことで、教育環境の維持・向上を図るため

【事業の概要】

- (1) 中学校施設の改修工事, 土木, 修繕工事の実施
- (2) 入札案件の設計業務委託

【事業の成果及び効果】

各中学校の修繕工事等を実施することで教育環境の向上が図れた。

実施件数

	平成22年度	平成21年度
建築工事, 土木工事, 修繕工事	37件	52件
工事の設計委託	3件	4件

荏崎中学校FF暖房機交換工事の実施

老朽化した都市ガス暖房機の改修が行えたため、故障、不完全燃焼などの不具合が解消され安全安心な学校環境が確保された。

事業名：学校管理運営に要する経費

教育委員会事務局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	03	01	12	本年	134,869				134,869	128,013	94.9	
				前年	133,161				133,161	123,247	92.6	
				比較	1,708				1,708	4,766		

【事業の目的】

創造力豊かな生徒の育成及びゆとりとうるおいのある教育環境の整備促進を図るため

【事業の概要】

- (1) 光熱水費，消耗品等の学校管理費の執行管理
- (2) 正職員の用務員がいない学校への臨時用務員の配置
- (3) 豊里中学校のプール授業実施のための施設使用および自動車の借上

【事業の成果及び効果】

- (1) 教育環境を整備し，学校教育推進に寄与した。
- (2) 臨時用務員 13校に配置
- (3) 豊里中でプール使用が不可能となったため代替措置として，民営施設を使用し授業を実施した。

事業名：学校保健管理に要する経費

教育委員会事務局 健康教育課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	03	01	13	本年	25,540				25,540	24,818	97.2	
				前年	24,503		996		25,499	24,046	94.3	
				比較	1,037		996		41	772		

【事業の目的】

中学校に学校医等を配置して定期健康診断等を実施するとともに，学校管理下における生徒の災害に対して給付などを行い，心身共に健全な生徒の育成を図るため

【事業の概要】

- (1) 中学校の嘱託医等の配置人数 一般医 21名， 歯科医 21名， 眼科医 14名， 薬剤師 14名
  - ・嘱託医による定期健康診断の実施
  - ・薬剤師による水質検査の実施
- (2) 災害共済給付制度への加入及び給付金支給手続き
- (3) 中学校AED設置事業
- (4) 中学校スポーツテスト集計業務電算処理委託

【事業の成果及び効果】

- (1) 各学校及び嘱託医との連携により生徒の健康の保持増進を図ることができた。
- (2) 学校管理下における生徒の災害に対して，給付金の支給を円滑にすすめることができた。
- (3) AEDを配置することで緊急時対応の充実が図れた。

事業名：備品整備に要する経費

教育委員会事務局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	03	01	14	本年	15,411		2,740		18,151	16,634	91.6	
				前年	13,709		1,050		14,759	11,373	77.1	
				比較	1,702		1,690		3,392	5,261		
<p>【事業の目的】 中学校の備品を整備することにより、教育環境の向上を図るため</p> <p>-----</p> <p>【事業の概要】 (1) 管理備品の修繕，複写機のパフォーマンスチャージ料 (2) 学校管理備品の整備</p> <p>-----</p> <p>【事業の成果及び効果】 各中学校の管理備品を整備することで教育環境の向上が図れた。 (1) 管理備品の修繕，複写機のパフォーマンスチャージを行った。 (2) 学校管理備品の購入(14校) 机・椅子・棚など</p>												

事業名：学校施設取得に要する経費

教育委員会事務局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	03	01	15	本年	261,576				261,576	261,571	100.0	
				前年	291,626				291,626	291,618	100.0	
				比較	30,050				30,050	30,047		
<p>【事業の目的】 学校施設を円滑に取得するため</p> <p>-----</p> <p>【事業の概要】 都市再生機構における立替え施工分の償還</p> <p>-----</p> <p>【事業の成果及び効果】 償還金は並木中学校外5校分</p>												

事業名：施設管理に要する経費

教育委員会事務局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	03	01	16	本年	48,958				48,958	48,548	99.2	
				前年	49,535				49,535	48,741	98.4	
				比較	577				577	193		
<p>【事業の目的】 法令等に基づく施設の点検等の実施により安心安全な学校環境を作るため。また、施設の適切な維持管理を行うことで、教育環境の向上を図るため</p> <p>-----</p> <p>【事業の概要】 (1) 中学校施設の小規模な修繕や不具合の解消 (2) 浄化槽法定検査手数料 (3) 法令に基づく機器点検及び施設の維持管理のための点検等の実施 (4) 学校用地の借上げ (5) 校内植栽の維持管理等</p> <p>-----</p> <p>【事業の成果及び効果】 各中学校の適切な維持管理を行うことで教育環境の維持が図れた。</p>												

実施件数

	平成22年度	平成21年度
(1) 修繕	46件	41件
(2) 浄化槽法定検査	2校	2校
(3) 通常点検委託	31件	42件
(4) 用地借上げ	5校	5校
(5) 植栽剪定等	10校	10校

- (1) 小規模な雨漏りや施設不具合等の修繕  
 (2) 浄化槽法定検査  
 (3) 消防設備, 危険物地下タンク, 電気保安業務などの法定点検及び遊具の安全点検など  
 (4) 学校用地の借上げ  
 (5) 植栽の剪定・消毒・伐採

事業名：情報機器整備に要する経費

教育委員会事務局 教育総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	03	01	17	本年	14,759				14,759	14,163	96.0	
				前年	9,605				9,605	7,437	77.4	
				比較	5,154				5,154	6,726		

【事業の目的】

事務機器のリース導入による中学校事務の利便性の向上及び効率化を図るため

【事業の概要】

- (1)市内公立中学校(14校)における, パソコン, 複写機及び印刷機のリース導入  
 (2)校務用コンピュータのリース導入

【事業の成果及び効果】

全小学校において, パソコン, 複写機及び印刷機のリース導入により事務の効率化及び, 校務情報の一元化を図った。

事業名：特別支援教育就学奨励事業に要する経費

教育委員会事務局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	03	02	11	本年	1,356			230	1,126	1,083	96.2	
				前年	1,410				1,410	996	70.6	
				比較	54			230	284	87		

【事業の目的】

中学校の特別支援学級に就学する生徒の保護者の経済的な負担を軽減するとともに, 生徒の就学を奨励するために特別支援教育就学奨励費を支給し, 特別支援教育の振興を図るため

【事業の概要】

奨励費支給の認定をした保護者に対し, 各学期ごとに学校長を通じて次の費目を支給  
 (学用品費, 通学用品費, 校外活動費, 新入学児童学用品費, 修学旅行費, 学校給食費)

【事業の成果及び効果】

平成22年度認定生徒数25名に対し, 過不足なく支給した。

**事業名：要保護等生徒就学援助事業に要する経費**

教育委員会事務局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	03	02	12	本年	51,889			1,400	53,289	52,695	98.9	
				前年	47,783		4,063		51,846	51,553	99.4	
				比較	4,106		4,063	1,400	1,443	1,142		
【事業の目的】 中学校に就学する生徒の保護者が、生徒への就学義務を最優先に履行していることを前提として、経済的理由により生徒の就学に支障をきたしている場合に、就学援助費を支給することにより義務教育の円滑な実施を図るため												
【事業の概要】 (1) 要保護認定生徒(生活保護世帯)の保護者に対して、修学旅行費を支給 (2) 準要保護認定生徒(要保護に準ずる程度に困窮していると認定された生徒)の保護者に対して次の費目を支給 (学用品費, 通学用品費, 校外活動費, 新入学児童学用品費, 修学旅行費, 学校給食費, トレシャツ費, 医療費)												
【事業の成果及び効果】 平成22年度要保護認定生徒数18名, 準要保護認定児童数484名に対して, 過不足なく支給した。												

**事業名：教材整備に要する経費**

教育委員会事務局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	03	02	13	本年	17,220		7,000	800	23,420	15,953	68.1	7,000
				前年	17,310				17,310	16,352	94.5	
				比較	90		7,000	800	6,110	399		7,000
【事業の目的】 市立中学校14校の教材を整備し、一人一人の生徒の素質を生かす学習指導を展開するため												
【事業の概要】 (1) 図書の購入(学校教育指導方針, 教師用図書, 教師用指導書) (2) 理科実験用薬品等購入 (3) 図書室用図書備品購入 (4) 住民生活に光をそそぐ交付金による図書備品購入(平成23年度に繰越) (5) 教材用消耗品購入(理科実験用消耗品等)												
【事業の成果及び効果】 図書備品や教材の購入を行い、個々の児童にあった授業の実施に寄与した。												

**事業名：特別活動等助成に要する経費**

教育委員会事務局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	03	02	14	本年	17,762				17,762	17,575	98.9	
				前年	18,062				18,062	17,943	99.3	
				比較	300				300	368		
【事業の目的】 行事等を実施するために必要な消耗品等の購入及び部活動に必要な経費を助成し、環境整備に努めるため												
【事業の概要】 (1) 卒業記念品や行事用消耗品の購入 (2) 市立中学校14校への部活動補助金交付												
【事業の成果及び効果】 行事活動や部活動を通して、生徒の心身の育成に寄与した。また、保護者の負担軽減を図ることができた。												

事業名：教育振興助成に要する経費

教育委員会事務局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	03	02	15	本年	11,367			370	10,997	10,445	95.0	
				前年	11,957				11,957	10,698	89.5	
				比較	590			370	960	253		
<p>【事業の目的】 生徒の学力向上，自転車通学生徒の安全確保及び遠距離通学生徒の保護者の負担軽減を図るため</p> <p>【事業の概要】 (1) 学力診断テスト用紙の購入 (2) 新1年生及び転入生の自転車用ヘルメット購入 (3) 遠距離通学生徒の保護者に対する通学費補助</p> <p>【事業の成果及び効果】 保護者の経済的負担の軽減と生徒の学力把握に寄与した。 (1) 学力診断テスト用紙の購入 (2) 自転車用ヘルメット配布 中学校14校へ1,702個を配布 (3) 遠距離通学補助金交付 大穂中学校 29名，谷田部東中2名，谷田部中学校3名，筑波東中学校37名，荃崎中学校7名</p>												

事業名：教材備品整備に要する経費

教育委員会事務局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	03	02	16	本年	13,130	10,395	800		24,325	20,740	85.3	
				前年	13,270		10,500		23,770	11,521	48.5	10,395
				比較	140	10,395	9,700		555	9,219		10,395
<p>【事業の目的】 中学校の教材備品を良好に維持することにより，教育環境の向上を図るため</p> <p>【事業の概要】 (1) 教材備品の修繕及び整備 (2) 理科教材備品購入及び地デジ対応テレビ整備事業(次年度繰越)</p> <p>【事業の成果及び効果】 中学校の教科用備品を整備することで，学習環境の向上を図った。 (1) 各中学校の教材備品の修繕 (2) 各中学校の教材備品の整備(14校) 理科・算数・体育教材など</p>												

事業名：ICT教育推進に要する経費

教育委員会事務局 教育総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	03	02	17	本年	66,058				66,058	64,125	97.1	
				前年	70,528				70,528	70,249	99.6	
				比較	4,470				4,470	6,124		
<p>【事業の目的】 パソコンの老朽化及びリース期間満了に伴い，新指導要綱にあったソフトやインターネットの環境に対応するコンピュータを導入するなど，中学校のICT整備を進め，教育環境の維持・向上を図るため</p> <p>【事業の概要】 教育用，インターネット用コンピュータ・テレビ会議システムの継続分の賃借料及び，教育用コンピュータソフト継続分の賃借料</p> <p>【事業の成果及び効果】</p>												

- (1) 市内全中学校の安定運用が図られた。  
 (2) コンピュータ教室の入替えを実施(2校)

**事業名： 学校図書館司書教諭補助員に要する経費** **教育委員会事務局 教育指導課**

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
10	03	02	18	本年	349				349	32	9.2	
				前年	270				270	73	27.0	
				比較	79				79	41		

【事業の目的】

中学校に学校図書館司書教諭の補助を行う協力員(大学生ボランティア)を2校に配置して、学校図書館の環境整備等に努めるため

【事業の概要】

- (1) 学校経営方針に基づき司書教諭指示による、司書教諭の補助として学校図書館の環境整備  
 (2) 新刊本の紹介や書架の整理、休み時間の図書の貸し出し返却業務

【事業の成果及び効果】

中学校2校に補助員を配置したことにより、学校図書館の業務が円滑化され読書活動が推進された。

**事業名： 放課後学習チューター事業に要する経費** **教育委員会事務局 教育指導課**

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
10	03	02	19	本年	2,408				2,408	2,297	95.4	
				前年	2,800				2,800	1,970	70.4	
				比較	392				392	327		

【事業の目的】

市内の全中学校に筑波大を中心とした大学生ボランティアを派遣し、生徒の学習支援を行い、学力の向上を目指すため

【事業の概要】

全国学力学習状況調査等の結果を分析し、各中学校の学習上の課題を明確にしたうえで、大学生ボランティア(筑波大・筑波学院大と連携)を各中学校へ派遣し、生徒の学習支援を行う。

【事業の成果及び効果】

参加した大学生ボランティア延べ1,010人 実施日数372日

中学生の学習意欲の向上と学力向上に資したとともに、参加した大学生にはボランティア精神の高揚に役立った。

**事業名： 中学校建設事業に要する経費** **教育委員会事務局 教育施設課**

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
10	03	03	11	本年	924,937	335,915	68,831		1,192,021	776,191	65.1	354,784
				前年	406,273		251,267		657,540	305,309	46.4	335,915
				比較	518,664	335,915	320,098		534,481	470,882		18,869

【事業の目的】

中学校施設の新築・増改築・耐震等を行い、教育環境の充実に努めるため

【事業の概要】

- (1) 中学校新築事業  
 (2) 中学校耐震事業

【事業の成果及び効果】

生徒数増に伴う新增築事業と国の経済危機対策を活用した耐震事業を実施し、教育環境の充実と耐



震化を推進した。

(1) 中学校新築事業:1校

春日小中建設(次年度までの継続事業)

(2) 中学校耐震事業:(経済危機対策含み)

耐震診断3校,耐震工事設計2校,耐震工事2校(前年度から繰り越し)

**事業名 : 施設整備事業に要する経費**

教育委員会事務局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	04	01	11	本年	19,320	86,070	920		104,470	98,858	94.6	
				前年	98,116		32,800		130,916	38,234	29.2	86,070
				比較	78,796	86,070	33,720		26,446	60,624		86,070

【事業の目的】

幼稚園施設の修繕等を実施し,教育環境の維持・向上を図るため

【事業の概要】

- (1) 改修工事,土木工事,修繕工事の設計委託及び工事の実施
- (2) 幼稚園移転事業

【事業の成果及び効果】

各幼稚園の修繕工事等を実施することで教育環境の維持が図れた。

実施件数

	平成22年度	平成21年度
(1) 建築工事,土木工事,修繕工事	27件	22件
(2) 工事の設計委託	0件	2件

吾妻幼稚園屋根外改修工事及び谷田部幼稚園移転工事の実施

**事業名 : 幼稚園管理運営に要する経費**

教育委員会事務局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	04	01	12	本年	134,858			690	134,168	128,537	95.8	
				前年	134,500		3,831		130,669	124,271	95.1	
				比較	358		3,831	690	3,499	4,266		

【事業の目的】

幼児期にふさわしい教育環境整備や幼児教育及び保育の充実を図るため。さらに,職員の資質向上を図るため

【事業の概要】

- (1) 幼稚園臨時教諭の補充(特別支援を要する園児の介助,育休代替,未就園児体験保育指導員等)
- (2) 幼稚園管理及び環境整備のための消耗品等の購入
- (3) 教職員の研修受講のための旅費
- (4) 通園バス委託

【事業の成果及び効果】

- (1) 17園全部で実施している未就園児体験保育は,5,293人の参加があり,子育ての支援と就園への意欲の向上が図られた。
- (2) 必要に応じた消耗品等を購入し適切な幼稚園管理ができた。

事業名： 幼稚園保健管理に要する経費

教育委員会事務局 健康教育課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
10	04	01	13	本年	8,062				8,062	7,694	95.4	
				前年	7,669		180		7,849	7,582	96.6	
				比較	393		180		213	112		

【事業の目的】

幼稚園に学校医等を配置して定期健康診断等を実施するとともに、幼稚園管理下における園児の災害に対して給付などを行い、心身共に健全な園児の育成を図るため

【事業の概要】

- (1) 嘱託医等の配置人数 一般医 17名, 歯科医 17名, 薬剤師17名
  - ・嘱託医による定期健康診断の実施
  - ・就園児健康診断
  - ・薬剤師による水質検査の実施
- (2) 災害共済給付制度への加入及び給付金支給手続き

【事業の成果及び効果】

- (1) 各園及び嘱託医との連携により園児の健康の保持増進を図ることができた。
- (2) 園児の災害に対して、給付金の支給を円滑にすすめることができた。

事業名： 私立幼稚園就園奨励事業に要する経費

教育委員会事務局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
10	04	01	14	本年	126,634		23,260	784	104,158	104,158	100.0	
				前年	119,637		1,461		118,176	117,125	99.1	
				比較	6,997		21,799	784	14,018	12,967		

【事業の目的】

市内に住所を有し、私立幼稚園に幼児を就園させている保護者へ保護者の所得状況に応じて補助金を交付することにより経済的負担を軽減及び公立幼稚園との格差を是正し、幼児教育の振興に資するため

【事業の概要】

私立幼稚園在園児(満3歳児以上)の保護者に、国の定める所得基準に応じて補助金を交付する(国庫補助事業)

【事業の成果及び効果】

- (1) 私立幼稚園に就園させている保護者の経済的負担の軽減を図ることができた。
- (2) 私立幼稚園 1,170名に所得基準に応じて交付することができた。

事業名： 幼児教育振興に要する経費

教育委員会事務局 学務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
10	04	01	15	本年	5,662			94	5,568	4,814	86.5	
				前年	5,644				5,644	4,951	87.7	
				比較	18			94	76	137		

【事業の目的】

幼稚園での教育活動や行事を通して地域に根ざした幼児教育を実践するため。また、研修機会の充実により教職員の資質の向上を図るため

【事業の概要】

- (1) 教材用消耗品・行事用消耗品購入
- (2) 県国公立幼稚園長会等負担金，各種講習会等の受講料負担
- (3) 要保護家庭からの就園のための給食費等補助

【事業の成果及び効果】

- (1) 行事等教育活動の充実
- (2) 各種研修会及び講習会等への参加することにより教職員の資質の向上が図られた。
- (3) 生活保護受給家庭における幼児教育を受ける機会の拡大が図られた。

事業名： 施設管理に要する経費

教育委員会事務局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
10	04	01	16	本年	19,616				19,616	19,471	99.3	
				前年	19,919		1,370		21,289	21,213	99.6	
				比較	303		1,370		1,673	1,742		

【事業の目的】

法令等に基づく施設の点検等の実施により，安全安心な幼稚園環境を作るため。また，適正に施設の維持管理を行い，教育環境の向上を図るため

【事業の概要】

- (1) 幼稚園施設の小規模な修繕や不具合の解消
- (2) 浄化槽の法定検査の実施
- (3) 施設の管理委託の実施
- (4) 幼稚園用地の借上げ
- (5) 園内植栽の維持管理

【事業の成果及び効果】

適切な維持管理により幼稚園環境の維持が図れた。

< 実施件数 >

	平成22年度	平成21年度
(1) 修繕	51件	48件
(2) 浄化槽法定検査	4園	4園
(3) 通常点検委託	31件	28件
(4) 用地借上げ	2園	2園
(5) 植栽剪定等	6園	6園

- (1) 施設不具合等の修繕
- (2) 浄化槽法定検査
- (3) 施設の清掃，警備，電気保安業務委託等
- (4) 幼稚園用地の借上げ
- (5) 植栽の剪定・消毒・伐採

事業名： 幼稚園施設取得に要する経費

教育委員会事務局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
10	04	01	17	本年	28,896				28,896	28,894	100.0	
				前年	28,886				28,886	28,885	100.0	
				比較	10				10	9		
【事業の目的】 幼稚園施設を円滑に取得するため												
【事業の概要】 幼稚園施設取得に係る立替施行分の都市再生機構への償還金及び利子												
【事業の成果及び効果】 償還金及び利子 幼稚園2園分												

事業名： 備品整備に要する経費

教育委員会事務局 教育施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
10	04	01	18	本年	10,095	5,100			15,195	13,586	89.4	
				前年	6,422		5,100		11,522	5,290	45.9	5,100
				比較	3,673	5,100	5,100		3,673	8,296		5,100
【事業の目的】 幼稚園の備品を整備することにより、幼稚園教育の向上を図るため												
【事業の概要】 (1) 備品の修繕，複写機のパフォーマンスチャージ料 (2) 幼稚園管理備品の整備												
【事業の成果及び効果】 (1) 備品の修繕，パフォーマンスチャージ料全幼稚園分 (2) 幼稚園管理備品の購入(全17園分) 机・椅子・棚など												

事業名： 情報機器整備に要する経費

教育委員会事務局 教育総務課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
10	04	01	19	本年	4,391				4,391	4,278	97.4	
				前年	4,740				4,740	4,672	98.6	
				比較	349				349	394		
【事業の目的】 事務機器のリース導入による幼稚園事務の利便性の向上及び効率化を図るため												
【事業の概要】 市内公立幼稚園における、パソコン、プリンター、複写機及び印刷機のリース導入。												
【事業の成果及び効果】 全幼稚園において、パソコン、複写機及び印刷機のリース導入により事務の効率化が図られた。 < 22年度導入 複写機2台、印刷機7台 リース期間:平成22年11月～平成28年10月 >												

事業名：社会教育指導員に要する経費

市民部 生涯学習課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	05	01	11	本年	20,466				20,466	20,138	98.4	
				前年	20,466				20,466	19,464	95.1	
				比較						674		

【事業の目的】

社会教育指導員を配置し、社会教育の特定分野についての直接指導、学習相談又は社会教育団体の育成等にあたるため

【事業の概要】

社会教育指導員(教育委員会委嘱)を社会教育施設(公民館)と生涯学習課に配置し、家庭教育学級への指導や助言を行う。また、放課後子ども教室(主管課は教育指導課)への協力を行う。

【事業の成果及び効果】

- (1) 社会教育指導員配置数:16名(社会教育施設(公民館)14名,生涯学習課(2名))
- (2) 社会教育事業(家庭教育学級,家庭教育に関するセミナー,放課後子ども教室)の推進に寄与した。
- (3) 社会教育指導員で役割分担をし、互いに協力し合いながら事業を推進することが出来た。

社会教育指導員役割分担

社会教育指導員連絡会(月例・臨時会議の開催,議事進行,記録の役割については全指導員による当番制)

家庭教育学級班(指導者情報等の収集・発信等に関すること)

乳幼児班(乳幼児学級等に関すること)

講演会班(家庭教育に関する講演会の企画・運営等に関すること)

家庭教育セミナー班(就学時検診や入学説明会時での家庭教育学級説明会に関すること)

研修班(社会教育指導員の資質向上を図るための研修等に関すること)

家庭教育推進班(その他家庭教育の推進に関すること)

事業名：社会教育委員に要する経費

市民部 生涯学習課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	05	01	12	本年	300				300	124	41.3	
				前年	300				300	92	30.7	
				比較						32		

【事業の目的】

社会教育委員を委嘱し、社会教育に関し教育長を経て教育委員会への助言を得るため

【事業の概要】

社会教育事業に関し、教育委員会の諮問に応じ、意見を述べるとともに、社会教育事業の調査・研究を実施する。委員15名(任期2年)

【事業の成果及び効果】

会議開催1回(平成22年8月5日,平成22年度社会教育事業に関し意見聴取)

事業名：社会教育振興に要する経費

市民部 生涯学習課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	05	01	13	本年	3,571				3,571	2,917	81.7	
				前年	6,396				6,396	5,249	82.1	
				比較	2,825				2,825	2,332		

【事業の目的】

生涯学習課所管の施設及び専用バス等の円滑な管理運営のほか、団体育成等を行い、社会教育を振興するため

【事業の概要】

- (1) 生涯学習専用バスの運転業務委託
- (2) 社会教育施設の火災保険の加入
- (3) 上大島集会所の土地賃借料の支払
- (4) 環境美化コンクールの実施
- (5) 婦人講演会の実施
- (6) 社会教育団体の育成

【事業の成果及び効果】

- (1) 生涯学習課所管の施設及び公用車(バス含む)等を管理し、事業の円滑な運営を図ることができた。  
バス利用件数 85件
- (2) 環境美化コンクール実施参加団体数5団体

事業名：成人式に要する経費

市民部 生涯学習課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	05	01	14	本年	1,179				1,179	1,088	92.3	
				前年	1,192				1,192	966	81.0	
				比較	13				13	122		

【事業の目的】

新成人としての門出を祝い、社会の一員としての自覚と責任を養うことをねらいとして成人式を実施するため

【事業の概要】

- つくば市成人の集い(成人式)  
 日時 1月の第2日曜日前後の期間  
 会場 つくばカピオ  
 実施にあたっては、新成人者による実行委員会(出身中学校からの推薦及び自己推薦により選出)を組織し、イベント内容等について企画してもらう。さらに式典当日も実行委員が中心となり運営にあたる。

【事業の成果及び効果】

- (1) 新成人者38名(男18名,女20名)で実行委員会を組織  
 8月から実行委員会を開催(計7回)し、企画・運営等について検討  
 前日の準備・リハーサルと当日の受付や進行等を担当した。  
 ・対象者数:3,009名(男1,668名,女1,341名)  
 ・参加者数:1,469名(男 743名,女 726名)
- (2) 式典の内容  
 第一部「式典」並びに第二部ステージイベントを実施  
 ステージイベント(実行委員会により次の企画を実施)  
 「中学校対抗クイズ大会」  
 「抽選会」

「スペシャルライブ」(地元出身アーティストによる演奏)  
「スライドショー～思い出のアルバム～」(出身中学ごとの思い出の写真をスライドショー形式にて上映)

当日はトラブルもなく、実行委員による手づくりの成人式が盛大に開催できた。

**事業名：地域改善対策に要する経費**

市民部 生涯学習課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	05	01	15	本年	2,557				2,557	2,393	93.6	
				前年	2,056				2,056	1,844	89.7	
				比較	501				501	549		

【事業の目的】

地域改善対策各種研修会への参加や、市民への啓発活動を行うことで、差別のない社会作りを目指すため。また、地区集会所の適正な管理運営を図るため

【事業の概要】

各種研修会への参加、啓発活動の実施  
地区集会所の維持管理

【事業の成果及び効果】

地区集会所の利用回数は41回で、延べ人数は1,567人であった。

**事業名：家庭教育支援に要する経費**

市民部 生涯学習課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	05	01	16	本年	5,539				5,539	4,435	80.1	
				前年	5,540			105	5,435	4,644	85.4	
				比較	1			105	104	209		

【事業の目的】

保護者への学習の場を提供し、家庭教育力の向上を図るため

【事業の概要】

- (1) 社会教育指導員による各家庭教育学級への指導・助言
- (2) 講座等における講師への謝礼金助成、事務用消耗品の支給(1学級5,800円以内)
- (3) 家庭教育セミナー(小学校の就学時検診や入学説明会時実施、保護者対象)

【事業の成果及び効果】

- (1) 75学級が設立し、家庭教育の勉強会や学級生の交流が図られた。(参加者数:延べ25,460人)
- (2) 家庭教育講演会4回開催(10月23日,11月27日,11月30日,12月5日)(参加者数:延べ622人)
- (3) 家庭教育セミナー(小学校37学級で実施)(参加者数:2,140人)

事業名：生涯学習事業に要する経費

市民部 生涯学習課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	05	01	17	本年	1,211				1,211	798	65.9	
				前年	751				751	441	58.7	
				比較	460				460	357		

【事業の目的】

市民が楽しく交流をしながら学習する事により、生きがいのある充実した生活を送り、その学習成果をまちづくりにも役立ててもらおうよう推進するため

【事業の概要】

- (1) 生涯学習審議会：市長の諮問に応じ、生涯学習を振興するための施策の総合的な推進に関する事項やその他生涯学習の推進に必要な事項について調査審議し、答申する。
- (2) 出前講座：市政への理解を深めてもらうために市民の学習会等に市職員を講師として派遣
- (3) つくば人間学講座：市民が実行委員となり様々な分野の講師を招き開催
- (4) 生涯学習指導者情報：生涯学習に関する指導者の登録と、市民の学習の求めに応じ指導者情報の提供

【事業の成果及び効果】

- (1) 22名の委員による生涯学習審議会を開催し、生涯学習主要施策についての報告、意見を求めた。  
(開催回数：4回)
- (2) 出前講座として市職員を派遣した。(開催回数：8回、受講者数：438人)
- (3) つくば人間学講座を開催した。(開催回数：5回、受講者数：374人)

事業名：民家園管理に要する経費

市民部 生涯学習課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	05	01	18	本年	3,707				3,707	3,319	89.5	
				前年	3,708				3,708	3,518	94.9	
				比較	1				1	199		

【事業の目的】

つくば地方の文化や伝統について触れ、楽しみ、懐古するなど、市民の憩いの場として提供するため

【事業の概要】

- (1) 一般開放(通年、平成20年より祝日の開園を始めました。)
- (2) 市民、団体借園申込による歌会・お茶会・展示会等の開催

【事業の成果及び効果】

年間来場者数 見学者 10,010人  
施設利用団体数 48団体



事業名：科学教育推進事業に要する経費

教育委員会事務局 教育指導課

款	項	目	事業年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	05	01	19	本年	11,151			10,292	9,562	92.9	
			前年	11,155			9,957	8,814	88.5		
			比較	4		339	335	748			

【事業の目的】

市内にある研究機関や学校の協力を得て、青少年を中心に科学技術に触れさせ、科学への興味・関心を高めるため

【事業の概要】

(1) つくばちびっ子博士

市内の協力研究機関等をスタンブラリー形式で見学する。見学期間終了後、提出されたパスポートの内容により最優秀ちびっ子博士・優秀ちびっ子博士・ちびっ子博士の各賞を授与するという、全国の小中学生を対象とした事業

(2) つくば科学フェスティバル

市内の小中高等学校・大学・研究機関等が科学実験等を展覧し、青少年を対象に科学の楽しさや不思議などを体験させ、楽しみながら科学への関心を高めさせる事業

(3) つくば科学出前レクチャー

学校等の希望により、事前に講師として登録した研究機関の研究員等と連絡調整し、講師派遣を行う。

【事業の成果及び効果】

当該科学3事業を行うことにより、青少年につくば市ならではの科学教育を推進することができた。

(1) ちびっ子博士事業参加者延べ63,282人

(2) 科学フェスティバル参加機関50団体、来場者延べ2万人

環境フェスティバルと同時開催

(3) 出前レクチャー12回実施、参加児童生徒数611人

事業名：市民研修センターに要する経費

市民部 生涯学習課

款	項	目	事業年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	05	01	20	本年	19,480			19,480	19,480	100.0	
			前年	20,303			20,303	20,043	98.7		
			比較	823			823	563			

【事業の目的】

市民及び市内の企業に勤務する方々に生涯学習の機会を提供し、もって教育の振興及び文化の向上に寄与するため

【事業の概要】

(1) 施設貸出業務：研修室(ホール, 会議室, 工作室, 和室), 浴室

(2) 自主事業運営業務：各種生涯学習講座及び発表会等の開催

(3) 施設維持管理業務

【事業の成果及び効果】

(1) 施設貸出業務

研修室利用件数 1,525件 同利用者数 18,864人,

浴室利用者数 12,105人

(2) 自主事業運営業務

生涯学習講座等開催件数 29講座, 延受講者数 3,495人

その他発表会, イベント等

事業名：青少年育成に要する経費

市民部 生涯学習課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	05	01	21	本年	9,812				9,812	9,583	97.7	
				前年	9,965				9,965	9,537	95.7	
				比較	153				153	46		

【事業の目的】

青少年が心身ともに健やかに育つよう、家庭・学校・地域が連携をとりながら市民総ぐるみ運動を展開し、次代を担う青少年の健全な育成を図ることを目的とするため

【事業の概要】

(1) 青少年相談員活動

教育委員会が委嘱する青少年相談員(75人)が、青少年を取り巻く社会環境を整備するための活動を、家庭・学校・地域と連携して進めている。

特に、図書自販機、コンビニエンスストアやレンタルビデオ店、カラオケボックスなどへの立入調査を実施し、青少年にとっての環境の整備に努めている。

また、夏祭りなどの地域イベントやコンビニ等青少年のたまり場になりやすい箇所においては、街頭巡回活動を実施すると共に、あいさつ声かけ運動、キャンペーン活動に取り組む。

(2) 研修会への参加

(3) 各種会議

【事業の成果及び効果】

(1) 青少年相談員活動

学校訪問(市内全小中学校及び一部高校)

巡回パトロール(長期休業期間や夏祭りなどの地域イベント、たまり場等)

『青少年の健全育成に協力する店』への登録推進活動

(青少年に関わりの深い店舗訪問, 79店舗)

図書等自動販売機立入調査(2ヶ所6台)

あいさつ声かけ運動(小中学校及び一部の高校)

薬物乱用防止キャンペーンでの啓発活動

まつりつくばにおける啓発活動

(2) 研修会への参加：茨城県青少年相談員研修大会，少年院視察訪問，第5ブロック研修会

(3) 各種会議：支部長会議(11回)，広報部会(6回)，環境部会(1回)，支部会議(随時)

事業名：ふれあいプラザ管理に要する経費

市民部 生涯学習課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	05	01	22	本年	54,515				54,515	54,494	100.0	
				前年	58,100			105	58,205	58,204	100.0	
				比較	3,585			105	3,690	3,710		

【事業の目的】

市民に自主的な活動及び交流の場を提供し、生涯にわたる学習活動を総合的に支援することにより、豊かな生涯学習社会の実現に寄与するため

【事業の概要】

(1) 施設貸出業務：

フィットネスプール，多目的ホール，研修室A,B,C，会議室，視聴覚室，軽運動室，調理実習室，市民活動室，保育室

(2) 自主事業運営業務：各種生涯学習講座及び発表会等の開催

(3) 施設維持管理業務

【事業の成果及び効果】

(1) 施設貸出業務

施設利用件数 (ホール, 研修室等)	5,624件	延利用者数	56,754人
施設利用件数 (フィットネスプール)	9,780件	延利用者数	13,861人

(2) 生涯学習講座及び発表会等の件数

184講座	延受講者数	6,023人
-------	-------	--------

事業名：つくばサイエンスラボ事業に要する経費

市民部 生涯学習課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	05	01	23	本年	1,038				1,038	608	58.6	
				前年	1,044				1,044	464	44.4	
				比較	6				6	144		

【事業の目的】

子ども達が、つくば市の地域特性である自然と科学を学び活動し、研究機関等と連携して事業を推進することにより市民の参画、交流を図るため

【事業の概要】

- (1) 夏休みのシティーセールス事業として市内及び足立区・荒川区及び千代田区の4～6年生を対象に実施
- (2) 研究機関や経済部農業課と連携して事業を推進

【事業の成果及び効果】

全5日間(7月28・30日, 8月3～4, 6日の4コース 8月3日～4日は宿泊コース)

期日	内 容	参加人数 (うち市外)
7月28日	「見て、触れて、遊んで、科学に感激!!」～世界最大級のプラネタリウムで美しい星空を楽しもう!～ (つくばエキスポセンター) 「ロボットと学ぼう新エネルギー」～ロボット工学や環境問題などをわかりやすく楽しく学ぼう～ (筑波総合体育館)	35名 (16名)
7月30日	「つくば市特産のブルーベリーを知ろう、味わおう!」～ブルーベリーの収穫体験とジャムづくり体験～ (市内ブルーベリー園, 豊里公民館) 「いろいろな食と農の科学を学ぼう」～果物の糖度を測って甘さを体験, 施設見学～ (食と農の科学館, 果樹研究所)	26名 (14名)
8月3日 ～4日 (1泊2日)	「筑波山ってどんなところ?」～日本百名山 筑波山登山～ (筑波山) 「沢の冷たい水は気持ちいい!」～沢の生き物観察会～ (筑波ふれあいの里) 「地図と測量のおもしろさに出会える」～施設見学～ (地図と測量の科学館) 「太陽からのめぐみ」～ソーラーカーを作ろう～ 一般見学施設と「きぼう」運用管制室の見学 (筑波宇宙センター)	37名 (20名)
8月6日	「いろいろな物質・材料を見てみよう!」～物質・材料の研究所見学～ (物質・材料研究機構) 「不思議な物質・材料にふれてみよう!」～超伝導や形状記憶合金など, 不思議な物質の実験～ (物質・材料研究機構)	33名 (14名)

子ども達が、つくば市のすばらしさを科学や自然の面から十分認識することができた。  
また、市内外の子どもの交流を図ることができた。  
参加した子ども達の感想では、来年も参加したいという意見が圧倒的に多かった。  
関係機関の方たちにも、事業の趣旨をご理解いただき、積極的な協力を得ることができた。

事業名：放課後子ども教室推進事業に要する経費

教育委員会事務局 教育指導課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	05	01	24	本年	4,468		2,942		1,526	1,069	70.1	
				前年	3,162		1,857		1,305	1,038	79.5	
				比較	1,306		1,085		221	31		

【事業の目的】

小学校の余裕教室等を活用し、地域の大人たちの参画を得て、体験学習・文化活動・スポーツ等の交流事業を行い、地域の子どもたちは地域全体で守り育てていくという教育環境の整備を図り、子どもたちに安心・安全な居場所を提供するため

【事業の概要】

市内小学校16校で実施し、こどもの活動の指導を行う「学習アドバイザー」や安全を見守る「安全管理員」として、地域の方々の協力を得て行う中で、地域の教育力の向上を図る。

【事業の成果及び効果】

これまで実施してきた筑波地区の8校に、豊里地区3校、荃崎地区3校、吉沼小学校、松代小学校を加えた計16校で実施

開催回数45回、児童の参加延べ1942人、

地域の方々の協力者延べ320人(安全管理員 延べ126人、学習アドバイザー延べ194人)

主な実施内容は、おはなし会・バルーンアート・昔あそび・リズム遊び・室内ゲーム・サッカー教室等

事業名：公民館長に要する経費

市民部 生涯学習課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	05	02	11	本年	13,211			5,280	18,491	18,480	99.9	
				前年	13,211		3,690		17,171	17,160	99.9	
				比較			3,690	5,280	1,320	1,320		

【事業の目的】

生涯学習の拠点としての公民館の事業企画及び職員の指揮監督等の総括的な業務を執行し、公民館の円滑的な運営を図るため

【事業の概要】

非常勤特別職の館長に要する経費

【事業の成果及び効果】

公民館の管理運営に関し、共通の認識に基づき管理運営ができるよう館長会議を開催し、相互協力や情報交換の場を設け、より効率的・効果的な管理運営ができるようになった。

公民館17館のうち非常勤特別職の館長が14名

平成22年度非常勤特別職館長

大穂・吉沼・豊里・谷田部・手代木・二の宮・春日・島名・桜・西・広岡・吾妻・小野川・荃崎

平成21年度非常勤特別職館長

大穂・吉沼・豊里・谷田部・手代木・二の宮・春日・島名・桜・広岡・吾妻・小野川・荃崎

事業名：公民館運営審議会に要する経費

市民部 生涯学習課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	05	02	12	本年	260				260	194	74.6	
				前年	260				260	222	85.4	
				比較						28		
<p>【事業の目的】 公民館の運営にあたり、各種の事業の企画実施について調査審議を行うため</p> <p>-----</p> <p>【事業の概要】 公民館運営審議会の開催(委員数13名)</p> <p>-----</p> <p>【事業の成果及び効果】 公民館講座の運営について諮問し、審議会において協議していただいた。 開催数 年2回</p>												

事業名：公民館維持管理に要する経費

市民部 生涯学習課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額															
10	05	02	13	本年	166,321			1,259	167,580	165,502	98.8																
				前年	164,090				164,090	157,724	96.1																
				比較	2,231			1,259	3,490	7,778																	
<p>【事業の目的】 生涯学習の拠点として、公民館利用者に対して、安全で快適な施設の利用環境を提供するため</p> <p>-----</p> <p>【事業の概要】 市内17の公民館の維持管理 賃金 臨時職員7名分・・・吉沼・豊里・桜・並木・竹園・広岡・荳崎 燃料費 17公民館のガソリン, 灯油, 重油代等 光熱水費 17公民館の電気, ガス, 上下水道代等 施設管理委託 17公民館の業務委託料 施設修繕 17公民館の修繕料</p> <p>-----</p> <p>【事業の成果及び効果】 (1) 経費内訳 賃金 12,160千円(臨時職員7名分・・・吉沼・豊里・桜・並木・竹園・広岡・荳崎) 燃料費 987千円(17公民館のガソリン, 灯油, 重油代等) 光熱水費 44,888千円(17公民館の電気, ガス, 上下水道代等) 施設管理委託 68,541千円(17公民館の業務委託料) 施設修繕 13,434千円(17公民館の修繕料)</p> <p>(2) 利用実績</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成21年度</th> <th>平成22年度</th> <th>対前年度比</th> <th>増減内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用件数</td> <td>45,669団体</td> <td>44,264団体</td> <td>1.0%減</td> <td>1,405団体減</td> </tr> <tr> <td>利用人数</td> <td>569,434人</td> <td>539,874人</td> <td>0.9%減</td> <td>29,560人減</td> </tr> </tbody> </table>														平成21年度	平成22年度	対前年度比	増減内容	利用件数	45,669団体	44,264団体	1.0%減	1,405団体減	利用人数	569,434人	539,874人	0.9%減	29,560人減
	平成21年度	平成22年度	対前年度比	増減内容																							
利用件数	45,669団体	44,264団体	1.0%減	1,405団体減																							
利用人数	569,434人	539,874人	0.9%減	29,560人減																							

事業名： 公民館行事に要する経費

市民部 生涯学習課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	05	02	14	本年	9,986			550	9,436	9,005	95.4	
				前年	10,243				10,243	8,967	87.5	
				比較	257			550	807	38		

【事業の目的】

公民館講座や各種サークル活動をとおして、地域住民の方々に生涯学習の機会を提供し、住民の教養向上、生活文化の振興、健康や福祉の増進に寄与するため

【事業の概要】

市内17の公民館が自主的に企画した講座の開催

【事業の成果及び効果】

講座対象	講座数	延回数	延受講者数
小中学生	4	11	206
一般	137	546	8,908
高齢者	5	31	865
その他	21	67	1,135
合計	167	655	11,114

市民ニーズを反映した親子講座などを充実させ講座数を増やした。  
今後も、多くの方が受講できるよう内容を検討していく。

事業名： 公民館図書整備に要する経費

市民部 生涯学習課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	05	02	15	本年	29,192				29,192	28,686	98.3	
				前年	28,993				28,993	28,514	98.3	
				比較	199				199	172		

【事業の目的】

多様化した市民の知的要求に応えるため、図書情報及び資料の充実を図り、図書貸出サービスを提供することで、市民の自主学習と文化的向上を図るため

【事業の概要】

- (1) 筑波・谷田部・小野川・荳崎の4公民館の図書室と中央図書館はオンライン化され、相互の貸出サービスを実施
- (2) 他の13館の図書室は、単独で小規模の貸出を実施

【事業の成果及び効果】

	平成21年度	平成22年度	対前年度比	増減内容
貸出冊数	417,357冊	405,239冊	2.9%減	12,118冊減
貸出人数	103,000人	101,357人	1.6%減	1,643人減

事業名： 公民館施設整備に要する経費

市民部 生涯学習課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
10	05	02	16	本年	37,081		600	1,315	35,166	33,916	96.4	
				前年	12,354				12,354	11,563	93.6	
				比較	24,727		600	1,315	22,812	22,353		
【事業の目的】												
生涯学習の拠点と位置づけされた公民館において、市民にサービスする学習の場を安全かつ快適な状態を提供できるようにするため												
【事業の概要】												
公民館施設の整備及び修繕												
(1) 公民館等施設整備基本計画策定支援業務委託												
(2) 豊里公民館空調機設置工事												
(3) 公民館地デジ受信設備設置工事												
(4) 荃崎公民館屋上トップライト修繕工事												
(5) 竹園公民館屋根防水及び外壁工事												
【事業の成果及び効果】												
安全かつ快適な公民館の施設環境の充実に努めた。												
(1) 公民館等施設整備基本計画策定支援業務委託 2,730千円												
(2) 豊里公民館空調機設置工事 4,607千円												
(3) 公民館地デジ受信設備設置工事 2,281千円												
(4) 荃崎公民館屋上トップライト修繕工事 2,835千円												
(5) 竹園公民館屋根防水及び外壁工事 17,535千円												

事業名： 図書館維持管理に要する経費

教育委員会事務局 中央図書館

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
10	05	03	11	本年	114,464		4,452		110,012	108,084	98.2	
				前年	131,744				131,744	124,858	94.8	
				比較	17,280		4,452		21,732	16,774		
【事業の目的】												
施設及び設備の適正な維持管理を図り、安全で利便性の高い図書館として市民の利用に供するため												
【事業の概要】												
(1) 図書館の施設及び設備に関する修繕及び維持管理業務												
(2) 図書館情報システムの運用管理												
(3) 文化会館アルスの修繕及び維持管理業務												
【事業の成果及び効果】												
文化会館アルス及び図書館の施設環境を充実させ、市民に快適な生涯学習の場を提供した。												
(1) 文化会館アルス関係修繕工事 中央監視装置交換,冷水ポンプ修繕,非常用蓄電池修繕												
(2) 図書館関係修繕工事 照明修繕,加湿器及び空調機修繕,視聴覚コーナーブース及び壁面修繕,閲覧席円形チェア座面交換												

事業名：図書館運営に要する経費

教育委員会事務局 中央図書館

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	05	03	12	本年	71,545		2,728		74,273	72,640	97.8	
				前年	66,765		939		67,704	66,461	98.2	
				比較	4,780		1,789		6,569	6,179		

【事業の目的】

資料の質的充実を図り、市民の多様な情報要求に応えることで、生涯学習を支援するため。また、積極的に情報を発信し、図書館機能をさらに高めながら、市民サービスの向上に寄与するため

【事業の概要】

- (1) 図書資料・視聴覚資料の受け入れ及び貸出
- (2) 図書館協議会の開催
- (3) 図書館ボランティアの活動支援
- (4) 図書館自主事業の開催

【事業の成果及び効果】

- (1) 資料の充実に努め、自動車図書館運行、予約・リクエスト、インターネットからの照会・検索等のサービスで市民の利便性の向上を図った。(年間受入資料17,084点、年間貸出資料1,001,056点)
- (2) ボランティアを積極的に受け入れ、自主的な活動を支援した。(登録ボランティア153名)
- (3) 図書館自主事業(平成22年度開催の主な事業)
  - ジュニア図書館員 児童に図書館業務を体験してもらう事業 (参加人数:46名)
  - 学校訪問ブックトーク 希望する学校に職員が出向き、テーマに沿った図書を紹介する事業 (訪問小学校:23校、参加人数:1,450名・中学校:2校、参加人数151名)
  - 図書リサイクル 除籍した図書を市民に無償で提供し、活用を図る事業 (参加人数:619名)
  - 文化会館アルス20周年記念行事  
おはなしフェスティバルや講演会の開催(参加人数:575名)

事業名：文化財保護審議会に要する経費

教育委員会事務局 教育総務課文化財室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	05	04	11	本年	300				300	208	69.3	
				前年	300				300	108	36.0	
				比較						100		

【事業の目的】

教育委員会の諮問などに応じて文化財の保存及び活用に関する最重要事項について調査し、教育委員会に答申などを行うため

【事業の概要】

会議・調査等を年数回実施。諮問・答申の他、文化財行政に係る重要事項について、協議・検討・報告等を行っている。

【事業の成果及び効果】

- (1) 7月29日、12月17日の2回、会議を開催した(12月は小田城発掘調査状況視察が主)。
  - 諮問・答申はなかったものの、市の文化財行政について、主要事業である「小田城跡」復元整備工事の整備手法、「金田官衙遺跡」保存用土地買収はもとより、文化財や展示施設活用の有効性、あるいは天然記念物の保護について、貴重な提言・意見を得た。
  - これらのうち、特に天然記念物については、現況把握調査の実施に至り、今後の保存対策を計画する上で具体的なデータを得ることができた。
- (2) 2月17日には、小学校の社会科用副読本編集委員会と合同の指定文化財実見研修を開催し、学校教育との連携を、一部だが達成した。



事業名：文化財調査に要する経費

教育委員会事務局 教育総務課文化財室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	05	04	12	本年	4,660				4,660	4,073	87.4	
				前年	4,660			170	4,490	3,735	83.2	
				比較				170	170	338		

【事業の目的】

市内に所在する各種文化財(無指定を含む)の基本調査を行うことで、今後の文化財保存対策を立案するためのデータを収集するため

【事業の概要】

- (1) 史跡小田城跡内での個人住宅現状変更申請地や各種開発予定地内での遺跡有無照会への対応(文献・試掘・確認調査,調整)
- (2) 市事業・個人非営利事業での記録保存に伴う本発掘調査,未指定文化財その他各種(悉皆)調査
- (3) 文化財指定天然記念物樹木の診断

【事業の成果及び効果】

(1) 開発他事業関連

遺跡の有無照会(文書照会56ヶ所,窓口・電話照会771ヶ所。21年度は76ヶ所,513ヶ所)に対応して諸調整を行った。

試掘・確認調査6ヶ所・約213㎡,本発掘調査115㎡(21年度は計8ヶ所・約410㎡)を実施して調査報告書を作成したことで,各種開発他事業と文化財の保存とを円滑に調整できた。

新たに確認された遺跡の出土品等,市の歴史を知るための学術資料が蓄積された。

21年度と比べ調査を要する件数・面積は減少したが,各種開発等に伴う照会・調整件数は連続して増加(約1.5倍)しており,全国的に開発が減少化していると言われる中で,各種開発等の多い本市では不可欠な事業となっている。

(2) 悉皆調査

昨年度に続き都市化によって失われつつある伝統行事等の民俗文化財調査を筑波大学民俗学研究室に委託し,実施した。

主要行事7件について実地・聞き取り等を詳細調査し,映像等の記録も行った。

(3) 文化財指定天然記念物樹木の診断

樹勢が思わしくない物件への対応及び震災影響の現地確認を目的に,12件の文化財指定天然記念物中,樹木全11件についての目視診断,うち1件の詳細診断を樹木医へ委託  
現状把握と今後の樹勢回復・維持対策の基礎資料を得ることができた。

事業名：文化財維持管理に要する経費

教育委員会事務局 教育総務課文化財室

款	項	目	事業年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	05	04	13	本年	14,689		761	13,928	13,112	94.1	
				前年	14,990		700	14,290	13,635	95.4	
				比較	301		700	362	523		

【事業の目的】

市内に所在する国・県・市指定文化財等の良好な保存・管理及び活用を図るため

【事業の概要】

(1) 国・県・市の指定文化財等の保存・維持管理業務

指定文化財の民間所有・管理者の行う保存・修繕・管理事業に対する補助事業，市が所有・管理する史跡等草刈りその他の維持管理事業，指定文化財説明板等の設置事業，市文化財専門員その他の文化財巡視（定期・臨時）等による指導・報告等の実施

(2) 文化財保護の啓発事業

指定文化財（建造物）管理者に文化財の防火・防犯対策徹底の周知及び文化財防火デーの関連事業の実施

(3) 文化財保護指導員の設置

文化財の専門的知識を有する文化財保護指導員を委嘱し，文化財の保護・活用を図る。

【事業の成果及び効果】

(1) 国・県・市の指定文化財等の保存・維持管理業務

有形・無形指定文化財について，民間所有者等が実施した保存・修繕・管理事業の経費の一部補助や市管理史跡等の草刈り等維持管理業務を実施し，適切に保存・管理ができた。また，指定文化財等の東北地方太平洋沖地震による被害については，直後に現地確認調査等を実施し，状況把握に努めるとともに一部で応急措置対応及び修繕補助事業を実施した。

事業の種類	件数	備考
火災報知設備管理事業補助	1件	重要文化財大塚家住宅
火災報知設備修繕事業補助	1件	重要文化財大塚家住宅
指定文化財修繕事業補助	1件	市指定文化財
防火・防犯設備設置事業補助	1件	市指定文化財
無形民俗文化財保存事業補助	2件	市無形民俗文化財保存団体
指定文化財草刈り等業務委託	4件	国史跡小田城跡 ほか3件
指定文化財管理業務委託	1件	県史跡五角堂

国指定史跡平沢官衙遺跡において，復元建物の活用を図るため新たに説明板を設置し，説明者なしでも見学者に建物の構造等概要を紹介できるようにした。

巡視により文化財の保存管理状況を把握し，必要に応じ国・県文化財担当部局や市文化財保護指導員からの助言・指導を受け，管理者に対する適切な指導や国・県への報告を行うことができた。

報告の種類	件数	備考
定期的巡視及び県への報告	26件	国・県指定史跡・建造物，埋蔵文化財

(2) 文化財保護の啓発事業

事業の一環として，1月26日の文化財防火デーにあたり，指定文化財（建造物）管理者に防火・防犯対策の徹底について通知文を発送，周知した。なお，平沢官衙遺跡歴史ひろばにおいて，防火訓練関連行事を実施した（後述，文化財展示施設管理に要する経費）。

(3) 文化財保護指導員の設置（1名，勤務場所は出土文化財管理センター）

文化財保護指導員が，各種文化財調査の確認指導，出土物・史資料等整理作業の指導，見学者に対する解説等の業務を適切に実施した。文化財の保存や市民への文化財愛護の啓発にも寄与した。

事業名：市史編纂に要する経費

教育委員会事務局 教育総務課文化財室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	05	04	14	本年	4,775				4,775	4,292	89.9	
				前年	4,790				4,790	4,223	88.2	
				比較	15				15	69		

【事業の目的】

歴史資料を体系的・分類的に調査・整理・記録し、郷土の歴史を正しく、後世へ伝えるため

【事業の概要】

(1) 本来、編纂室もしくは係を設けて本格的に取り組むべきだが、諸般の事情で厳しい状況にあり、当面は以下のように、史料散逸を防ぐための調査・解読等の作業を行い、集まり次第、資料集を刊行する。

保有及び未発見史・資料の整理、解読作業  
史・資料集の刊行(歳入に利すため有償頒布する。)

(2) 収集した史料を利用し、古文書講座を開催する。

【事業の成果及び効果】

(1) 史料散逸を防ぐための調査・解読等の作業

資料整理により、各種問い合わせに対する回答データが揃いつつある。

『つくば市史史料集 第八編 村の年代記』を刊行した。

市町村史類の年間販売数、売上げは、単価の高い書籍があまり販売できなかったため(PR不足が主要因と思われる)、86冊、140,800円と、21年度比で25冊増ながら74,550円の減だった。

(2) 古文書講座

前年度同様に前期(7～10月)・後期毎に(11～2月)各8回開催した。

前期24人(前年度26人)、後期25人(前年度25人)と約20人の募集を上回る人数の参加があり、依然反応は良い。

事業名：小田城跡に要する経費

教育委員会事務局 教育総務課文化財室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	05	04	15	本年	142,236	17,702	42,367		117,571	87,623	74.5	28,105
				前年	92,718		21,500	170	71,388	52,851	74.0	17,702
				比較	49,518	17,702	20,867	170	46,183	34,772		10,403

【事業の目的】

中世(鎌倉・室町時代)に常陸南部の中心であった国指定史跡「小田城跡」について、土地を公有化し、発掘調査を行い、復元整備することで、史跡の保存と活用を積極的に推進する。特に、整備は、全国的に珍しい平城形式の中世城郭を体感できるように実施し、平沢官衙遺跡に続く文化財保護の拠点とするため

【事業の概要】

(1) 保存整備委員会

委員会及び専門部会の組織において、以下の各事業についての協議等を行う。

土地公有化 発掘調査 復元整備事業 管理・活用 その他保存整備に必要な事業

(2) 復元整備

平成20年度までに、遺構整備ゾーン(城跡中心の本丸跡を主に重点整備を行う地区)の面的本発掘調査、整備基本設計が終了

平成21年度から復元整備工事(～27年度予定)

(3) 史跡内容確認(発掘)調査

遺構保全ゾーン(本丸周辺の簡易整備を目指す地区)での部分的な確認調査(～27年度予定)

【事業の成果及び効果】

- (1) 保存整備委員会  
委員会会議  
施工業者主催の起工式が時期的に重なったことから、その際に(現地で)本年度事業の概略を説明し、委員会としては開催しなかった。  
専門部会会議  
6月18日, 8月4日, 11月10日の3回開催  
適宜, 会議を欠席した委員からも個別指導を受けた。  
本年度も, とくに専門部会において, 全国レベルでの指導を受けながら, 整備工事での整備手法や, 確認調査での遺構や遺物の評価や位置付けにおいて貴重な助言を得ている。
- (2) 復元整備工事  
遺構整備ゾーン内で, 関東鉄道筑波線跡地より南西側, 約18,000㎡の設計及び整備工事を行った。本丸内部は盛土造成と暗渠排水までとし(池や建物等の遺構は後年), 防御施設である土盛り土塁, 本丸を囲む堀, 出入口である南西虎口を復元整備し, 一つ外側に位置する区画(昨年度整備)への橋を架けた。県土木事務所などとの手続きが, 当初1ヶ月程度の予定が2ヶ月以上遅れたことにより, 繰越事業とせざるをえなかった。
- (3) 史跡内容確認(発掘)調査  
22年度は9月~2月まで, 本丸東方の曲輪とその北側の曲輪及び周囲の堀跡を対象として約820㎡を調査した。調査の結果, 曲輪では中世期遺構面5枚, 東と北で土塁跡4面を確認し, 同曲輪が大規模に造り替えられていることが判明した。このほか, 周囲の堀跡の構造や北側の曲輪の規模等も把握することができ, 貴重な成果を得ることができた。  
現地説明会には, 昨年度(257人)とほぼ同数の236人の参加者があった。平成20年度までの面的本発掘調査における参加人数と比べると少ないが, 調査規模や周辺市町村の同様な説明会参加人数等を考慮すると, 多い人数である。

**事業名：文化財展示施設管理に要する経費**

教育委員会事務局 教育総務課文化財室

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	05	04	16	本年	16,442			728	17,170	16,120	93.9	
				前年	15,529		1,155		16,684	15,936	95.5	
				比較	913		1,155	728	486	184		

**【事業の目的】**

下記の文化財展示施設3館の施設及び谷田部郷土資料館を含めた4館の展示・収蔵資料について, 適切に管理しその活用を図り, 来訪者に郷土の歴史と文化に関する知識と理解を深める機会を提供するため

**【事業の概要】**

- (1) 施設や資料の管理・整理, 案内・清掃業務  
桜歴史民俗資料館(旧桜村の歴史・産業・生活文化関係資料の保存, 整理, 展示)  
出土文化財管理センター(市内出土文化財の保存, 整理, 展示や受贈図書等の管理)  
平沢官衙遺跡歴史ひろば(古代の郡役所跡を復元した建物の管理, 展示等の活用)  
谷田部郷土資料館(旧谷田部町関係の谷田部藩や飯塚伊賀七の資料の展示, 管理)
- (2) 小中学校の社会科学習や団体等の見学時の市文化財専門員による解説, 収蔵資料や施設の利用申込みに対する許認可事務

**【事業の成果及び効果】**

- (1) 施設については, 定期的な清掃業務・点検業務等を実施し, 全体的に良好に維持管理ができた。
- 桜歴史民俗資料館  
・展示・収蔵資料の保存管理のため, 展示室内の燻蒸処理を実施した。  
・展示内容の一部変更による改装を行った。
- 出土文化財管理センター  
展示内容の一部変更による改装を行った。

平沢官衙遺跡歴史ひろば

- ・説明板の設置(文化財維持管理に要する経費に記載)などを行うことで、見学者へのサービス向上等の充実を図り、かなり詳細な展示説明が可能となった。
- ・文化財の学習機会の提供のほか観光資源としても有効に活用し、文化財室主催で「夏のライトアップ」「文化財防火デーと新春芝焼き」など施設を活用したイベントを実施した(市観光物産課主催のつくば物語は、雨天により当施設でのイベントを中止)。
- ・歴史文化愛好家・登山・ウォーキング等の個人・団体がリピーターも含み年々増加しており、22年4月には25万人を突破、7～8月にかけてその記念事業を実施した。

谷田部郷土資料館

展示・収蔵資料の保存管理のため、展示室内の燻蒸処理を実施した。

なお、22年5月から桜窓口センターが併設された桜歴史民俗資料館では、センター来庁者の見学もあり、見学者数はほぼ倍増した(下表)。

平成22年度各展示施設の見学等利用者数		
施設名称	来館者数(人)	備考
桜歴史民俗資料館	2,152 (21年度比1,117名増)	桜窓口センター開庁と同時の5月に再開館。東北地方太平洋沖地震発生後、3月末まで休館
出土文化財管理センター	305 (21年度比204名増)	東北地方太平洋沖地震発生後、3月末まで展示室を休室
平沢官衙遺跡歴史ひろば	39,498 (21年度比1,206名減)	東北地方太平洋沖地震発生後、3月末まで休館

- (2) 資料・遺物等貸出、閲覧、講師派遣依頼及び施設利用許可申請等を適切に事務処理し、小学校(社会科校外学習)や一般団体からの説明依頼には、文化財専門員が各施設に出向き対応した。また、出前講座等の教材として各施設の収蔵資料を有効に活用した。

平成22年度施設利用許可等申請・職員派遣依頼件数		
種別	件数	備考
講師派遣・解説依頼・市出前講座	25件	うち市内小学校からの依頼12件
文化財展示施設等所蔵資料利用許可申請	41件	
文化財展示施設利用許可申請	15件	うち行政財産使用許可申請4件

事業名：金田官衙遺跡に要する経費

教育委員会事務局 教育総務課文化財室

款	項	目	事業年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	05	04	17	本年	123,666		33	123,699	123,699	100.0	
			前年								
			比較	123,666		33	123,699	123,699			

【事業の目的】

独立行政法人都市再生機構(以下、UR)が施行する中根・金田台特定土地区画整理事業地内に所在する奈良・平安時代の河内郡役所跡、国指定史跡「金田官衙遺跡」を公有化して保存し、将来的な活用を検討するため

【事業の概要】

平成21年度に市とURとで締結した協定書に基づき、平成22年度～33年度に市立桜中学校敷地を除く史跡指定地約7.1haを、URから計画的に買収する。土地買収は国庫補助事業として実施する。

【事業の成果及び効果】

平成22年度は計画的買収の初年度で、URや文化庁等と買収に際しての手続きを調整し、史跡南東部の4筆4,134.90㎡を保存・活用用地として購入した。

事業名：市民ホール管理に要する経費

市民部 生涯学習課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	05	05	11	本年	57,406			1,510	58,916	58,447	99.2	
				前年	56,392			496	55,896	54,386	97.3	
				比較	1,014			2,006	3,020	4,061		

【事業の目的】

地域の芸術、文化の向上を目的とし、市民が文化的な生活を営むため、また、市民の文化活動の拠点としての施設の整備・管理を行うため

【事業の概要】

4つの市民ホールにおいて、文化福祉施設として、市民のみならず広域的な文化圏を形成する上での自主的な文化・芸術活動の発表・鑑賞等の場として施設を提供していく。

【事業の成果及び効果】

項目	平成21年度	平成22年度	対前年度比	増減内容
利用件数	2,052件	1,900件	7.4%減	152件減
利用人数	124,857人	98,108人	21.4%減	26,749人減

事業名：市民ホール施設整備に要する経費

市民部 生涯学習課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	05	05	12	本年	7,519			904	6,615	6,615	100.0	
				前年	8,190		788	496	9,474	9,408	99.3	
				比較	671		788	1,400	2,859	2,793		

【事業の目的】

4カ所の市民ホールの適切な施設整備を行い、多様な市民活動の拠点として安心・安全な場を提供し、生活文化の振興と健康増進に寄与するため

【事業の概要】

- (1) 市民ホールつくばね耐震診断委託
- (2) 市民ホールつくばね外壁防水塗装工事

【事業の成果及び効果】

市民ホールの施設環境の充実が図られた。

- |                       |         |
|-----------------------|---------|
| (1) 市民ホールつくばね耐震診断委託料  | 5,597千円 |
| (2) 市民ホールつくばね外壁防水塗装工事 | 1,019千円 |

事業名：各種委員に要する経費

市民部 スポーツ振興課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	06	01	11	本年	2,552		496		2,056	1,482	72.1	
				前年	2,552				2,552	2,078	81.4	
				比較			496		496	596		

【事業の目的】

生涯スポーツの普及活動及びスポーツの指導、並びに大会開催の助言等を行い、市民に広くスポーツについての理解と関心を深めるとともに、積極的にスポーツをする意欲を高揚させるため

【事業の概要】

- (1) スポーツ振興審議会委員  
スポーツ振興事業等について、審議会委員の意見等を求め、各種施策に反映させていく。
- (2) 体育指導委員  
市において開催するスポーツイベント等の企画に対する助言及び補助員としての活動  
つくば市体育協会スポーツ振興会活動の助言指導  
茨城県生涯スポーツ指導員の資格等の取得活動  
ニュースポーツ等の技術の習得及び普及活動

【事業の成果及び効果】

- (1) スポーツ振興審議会委員  
平成22年度は、7月に開催し、実施事業について説明し、審議していただいた。  
特に、6月にオープンしたつくばウエルネスパークについては、現地に出向き視察をし、詳細な説明を行った。
- (2) 体育指導委員  
ウォークラリー大会・つくばマラソン・つくば健康マラソンに役員として協力、大会運営の円滑化に貢献した。  
市で年1回研修を主催。県、関東大会、女性体指等の研修会にも委員を派遣、参加している。

事業名：体育振興事業に要する経費

市民部 スポーツ振興課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	06	01	12	本年	21,108				21,108	20,429	96.8	
				前年	20,087				20,087	19,533	97.2	
				比較	1,021				1,021	896		

【事業の目的】

市民がよりスポーツに親しめるよう年間スポーツ行事の広報や学校体育施設の開放等を行うことで、スポーツをより身近なものとするため。また、つくば市体育協会と共にスポーツの振興を図るため

【事業の概要】

- (1) スポーツ事業の広報  
広報紙(5月1日号)により、本市において開催しているスポーツ教室・スポーツイベント及び市内の体育施設の位置を知らせる。
- (2) 学校体育施設開放事業  
生涯スポーツの振興を図るため、学校教育に支障のない範囲において、市民に開放している。
- (3) つくば市体育協会補助  
スポーツ振興について市だけでは、できない事が多いので、体育協会と協力して各種事業を実施している。年間19,000千円の補助金を計上

【事業の成果及び効果】

- (1) スポーツ事業の広報  
広報紙(5月1日号)に掲載した。

(2) 学校体育施設開放事業

学校開放については、小中学校47校432団体8,540人、高校3校9団体134人登録、ほとんど空きがない状態になっている。

(3) つくば市体育協会補助

体育協会については、専門部18部門、スポーツ振興会6支部、スポーツ少年団13部門、約10,000人が加盟。年間を通して各種大会等を開催

事業名：スポーツ教室開催に要する経費

市民部 スポーツ振興課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	06	01	13	本年	11,062		240		10,822	2,260	20.9	
				前年	11,073		570		10,503	8,244	78.5	
				比較	11		330		319	5984		

【事業の目的】

スポーツに対する関心及び要望が高まる中で、多くの市民に応えるべく、軽スポーツから競技スポーツを開催するなど、生涯にわたる健康増進や多くの方とスポーツを通して交流ができる環境を提供するため

【事業の概要】

開催しているスポーツ教室

- (1) エアロビ&ウエートトレーニング
- (2) オリジナルヨガ
- (3) ゴルフ
- (4) 幼児 & 学童水泳(夏休み中)
- (5) バドミントン
- (6) 硬式テニス
- (7) チビッコスキー(群馬県2泊3日)

各教室とも初心者及び中級者の方(在住・在勤者)を対象に基本を中心に指導を行う。

また、各教室とも終了後、少グループで継続的に活動ができるよう助言・指導等も行っている。

指導者及び補助員は、筑波大学、つくば市体育協会専門部等に委託している。

【事業の成果及び効果】

スポーツ教室名	開催日	参加者数
エアロビ&ウエートトレーニング	5月21日～7月2日	延196名
オリジナルヨガ	9月14日～10月26日	延357名
ゴルフ	6月6日～7月25日	延192名
水泳	7月19日～7月23日	延325名
バドミントン	10月5日～23日	延198名
硬式テニス	10月26日～11月13日	延165名

チビッコスキー(3/26～28、190名申込)については震災の影響により、残念ながら中止した。



事業名：スポーツ大会開催に要する経費

市民部 スポーツ振興課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	06	01	14	本年	19,794				19,794	19,176	96.9	
				前年	15,844		3,950		19,794	19,122	96.6	
				比較	3,950		3,950			54		

【事業の目的】

各種スポーツ大会を開催することにより、スポーツの楽しみや健康の増進、さらには技術の向上並びに参加者の交流の場を提供するため

【事業の概要】

- (1) U15・U18つくば市長杯サッカー大会
- (2) 高等学校硬式野球大会(市内3校によるリーグ戦)
- (3) つくば学園ウォークラリー大会(オープン)
- (4) 茨城オープンつくば市長杯テニス大会(プロ及び県内トップ選手)
- (5) 東西インカレバレーボール(学生)
- (6) 荒川区とのスポーツ交流事業(サッカー、少年野球)
- (7) つくばマラソン(つくば市民ランナー及び全国の市民ランナー)
- (8) 健康マラソン大会(小学生から高齢者)
- (9) ソフトミニバレーボール大会(男子の部・女子の部・混合の部)
- (10) 近隣中学校球技大会(バレーボール・軟式野球・ソフトテニス・サッカー・バスケットボール)

【事業の成果及び効果】

- (1) U15・U18つくば市長杯サッカー大会(4/2～4開催 U18・8チーム、8/23～25 U15・15チーム)
- (2) 高等学校野球大会(5/29開催。市内3校によりリーグ戦)
- (3) つくば学園ウォークラリー大会(6/19荃崎第二小学校、204名が参加)
- (4) 茨城オープンつくば市長杯テニス大会(6/26～7/4開催)
- (5) 東西インカレバレーボール大会(8/7,8 東西各2チーム計4チーム)
- (6) 荒川区とのスポーツ交流  
(サッカー9/18女子・中学校男子計6チーム交流試合、野球10/11スポ少4チーム交流)
- (7) つくばマラソン(11/22開催。フル12,019名・10キロ2,850名、計14,869名が参加)
- (8) 健康マラソン大会(1/29開催。小学生・中学生・一般高校・シニア・ファミリー合計1,647名が参加)
- (9) ソフトミニバレーボール大会(2/13開催。男子5チーム・女子4チーム・混合22チームが参加)
- (10) 近隣中学校球技大会  
(バレーボール52チーム・野球28チーム・ソフトテニス48チーム・サッカー24チーム・バスケットボール48チームが参加)

事業名：学校保健に要する経費

教育委員会事務局 健康教育課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	06	01	15	本年	24,365			89	24,454	22,366	91.5	
				前年	23,791		1,401		22,390	22,015	98.3	
				比較	574		1,401	89	2,064	351		

【事業の目的】

学校保健安全法に基づく検診を実施することにより、教職員・児童生徒等の健康管理、健康増進を図るため

【事業の概要】

(1) 学校保健安全法に基づく各種検診の実施

幼児・児童・生徒：尿検査(全幼・小・中学生対象)、  
結核検査(問診で検査が必要と認められた者が対象。112名)  
寄生虫検査(幼～小3対象)  
心臓病検査(小1,小4,中1対象)

教職員：定期健康診断(結核,血圧,尿,胃,心電図等の検査)

(2) 学校保健関係消耗品の購入

【事業の成果及び効果】

園児,児童・生徒及び教職員の健康管理と疾病異常の早期発見を行うことができた。

事業名：体育施設維持管理に要する経費

都市建設部 都市施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	06	02	11	本年	206,787	14,805	16,000		205,592	201,302	97.9	
				前年	168,292		5,000	58	163,350	142,946	87.5	14,805
				比較	38,495	14,805	11,000	58	42,242	58,356		14,805

【事業の目的】

利用者の利便性を確保し、利用促進に努めるため

【事業の概要】

市内19ヶ所の体育施設(グラウンド9,テニスコート2,体育館7,柔剣道場)の維持管理

【事業の成果及び効果】

施設名	利用者数	利用件数	前年度 利用者数	施設名	利用者数	利用件数	前年度 利用者数
吉沼野球場	4,973	159	6,895	筑波総合体育館	31,950	1,323	32,766
谷田部野球場	11,477	454	12,564	桜総合体育館	100,511	5,935	84,457
豊里多目的広場	11,573	419	20,159	谷田部総合体育館	72,231	11,007	76,574
高崎サッカー場	10,446	281	10,152	大穂体育館	15,235	1,055	17,733
高見原ソフトボール場	5,905	235	5,889	吉沼体育館	20,305	955	24,561
フットボールスタジアムつくば	47,135	1,475	32,178	東光台体育館	15,382	1,303	16,701
スポーツフィールド	1,129	35	0	豊里体育館	14,276	1,065	24,713
谷田部テニスコート	26,641	3,428	25,168	<b>体育館計</b>	<b>269,890</b>	<b>22,269</b>	<b>277,505</b>
豊里テニスコート	8,176	755	17,656	豊里柔剣道場	8,004	500	14,847
<b>屋外施設計</b>	<b>127,455</b>	<b>7,241</b>	<b>130,661</b>	<b>総合計</b>	<b>405,349</b>	<b>30,384</b>	<b>423,013</b>

事業名： 体育施設整備事業に要する経費

都市建設部 都市施設課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	06	02	12	本年		55,304			55,304	40,812	73.8	
				前年	1,593,353	27,419	113,441		1,734,213	1,605,130	92.6	55,304
				比較	1,593,353	27,885	113,441		1,678,909	1,564,318		55,304

【事業の目的】

健康づくり拠点整備事業として、クリーンセンターの余熱を有効利用した健康増進施設(プール・温浴施設)及びサッカー場・多目的フィールド等を整備し、市民の健康増進に寄与するため

【事業の概要】

平成19年度～平成21年度の3ヶ年継続事業

健康増進施設 プール・浴室・トレーニングルーム  
 サッカー場 クラブハウス・夜間照明  
 多目的フィールド グランドゴルフ・サッカー・ラグビー

【事業の成果及び効果】

健康増進施設 平成22年3月完成  
 サッカー場 平成21年3月完成  
 多目的フィールド 平成22年3月完成

- (1) 3ヶ年事業の完成に伴い、平成22年5月30日より健康増進施設をオープンした。
- (2) 芝生の養生のため、多目的広場は平成22年9月にオープンした。

事業名： 給食センター運営審議会に要する経費

教育委員会事務局 健康教育課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	06	03	11	本年	344				344	214	62.2	
				前年	344		492		836	364	43.5	
				比較			492		492	150		

【事業の目的】

つくば市立学校給食センター条例に基づいて、教育委員会の諮問に応じ学校給食の運営に関する重要事項について審議・助言し、学校給食の適切かつ円滑な運営を図るため

【事業の概要】

給食センター運営審議会の開催

委員22名(市議会議員5名、学校長4名、学校医1名、学校薬剤師1名、学校歯科医師1名、保健所長、保護者代表5名、学識経験者4名)

学校給食の運営に関する重要事項及び学校給食センター整備基本計画について審議する。

【事業の成果及び効果】

運営審議会は、7月と12月の2回開催した。

学校給食センター整備基本計画(案)などについて審議した。

審議結果を踏まえて、平成22年11月に学校給食センター整備基本計画を策定した。

事業名：給食センター管理運営に要する経費

教育委員会事務局 健康教育課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	06	03	12	本年	1,313,517		1,800	922	1,312,639	1,274,339	97.1	
				前年	1,318,189	1,869	1,800		1,318,258	1,306,471	99.1	
				比較	4,672	1,869		922	5,619	32,132		

【事業の目的】

学校給食施設の適切な管理運営を実施し、成長段階にある児童生徒等に栄養バランスの取れた献立と安全安心な学校給食を提供することにより、児童生徒の心身の健全な発達に寄与するため

【事業の概要】

- (1) 学校給食センター6施設において、1日当り21,554名(平成22年5月1日現在)の給食を実施

内 訳

・幼稚園17園	1,228名
・小学校37校	12,932名
・中学校15校	5,857名 (並木中等教育学校含む)
・教職員等	1,537名

計 21,554名

給食の年間実施回数

幼稚園 166回、小・中学校 193回の実施を予定していたが、東日本大震災により3月の給食が一部中止となり、幼稚園 年間164回、小・中学校 187回となった。

ご飯・パン・麺及び牛乳などは(財)茨城県学校給食会と契約し、各学校に直接配達される。各給食センターで調理される副食の材料等の購入

野菜類、肉・魚類、その他(調味料など共通のもの)

- (2) 給食センターの施設管理等の委託(警備、消防設備点検、廃棄物処理、沈殿槽管理等)  
 (3) 給食センターの厨房備品修繕、施設修繕など

【事業の成果及び効果】

- (1) 栄養バランスの取れた学校給食を安定的に提供することができた。  
 (2) 給食センターの施設管理等の委託  
 (3) 老朽化に伴う施設の維持修繕や厨房備品の修繕を実施し、円滑な学校給食の運営が図ることができた。

事業名：給食配送業務に要する経費

教育委員会事務局 健康教育課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	06	03	13	本年	113,302				113,302	113,300	100.0	
				前年	113,302				113,302	113,300	100.0	
				比較								

【事業の目的】

「学校給食衛生管理基準」に定められた衛生面に配慮すること。また、安全で安定した配送業務を実施し、調理した食品を2時間以内に給食できるように努めるため

【事業の概要】

- (1) 配送事業内訳(平成22年5月1日現在)

	配送台数(2t車)	配送学校等数	給食対象人員
大穂学校給食センター	2台	5校	1,703人
豊里学校給食センター	2台	6校	1,843人
谷田部学校給食センタ	5台	17校	6,020人
桜学校給食センター	5台	17校	6,222人
筑波学校給食センター	4台	13校	2,379人
荳崎学校給食センター	3台	11校	3,387人
合計	21台	69校	21,554人

(2) 年間配送回数

幼稚園:164回

小・中学校:187回

【事業の成果及び効果】

各学校への配送時間を設定し、給食配膳に必要な時間までに、安全で安定した学校給食の配送業務を実施することが出来た。

事業名：給食センター施設整備事業に要する経費

教育委員会事務局 健康教育課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
10	06	03	14	本年	31,479			922	30,557	30,376	99.4	
				前年	56,566		17,923		38,643	37,062	95.9	
				比較	25,087		17,923	922	8,086	6,686		

【事業の目的】

学校給食の円滑かつ安定した提供を行うため

【事業の概要】

衛生的な施設の維持管理と効率的な作業環境の整備を実施する。

(1) 老朽化した厨房備品の購入

(2) 修繕工事の実施

【事業の成果及び効果】

適正な給食施設の確保に努め、より安全で衛生的な学校給食の提供に努めることができた。

(1) 主な購入備品

二重保温食缶(33個),皮むき機(1台),カッターミキサー(2台),消毒保管庫(2台)等

(2) 主な修繕工事

筑波学校給食センター給水管修繕工事

桜学校給食センター排煙窓修繕工事

荃崎学校給食センター調理室床修繕工事

豊里学校給食センター調理室床修繕工事

事業名： 災害復旧に要する経費

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額	
11	01	01	11	本年	1		500,000	22,241	522,242	69,140	13.2	453,102	
				前年	1				1				
				比較			500,000	22,241	522,241	69,140		453,102	

【事業の目的】

台風、豪雨などの異常気象現象により、道路、橋梁等の公共土木施設が被災した場合に、早急に被災施設を復旧させるため

【事業の概要】

被災した公共施設の復旧に係る予算措置

【事業の成果及び効果】

平成23年3月11日の東日本大震災により、被災した公共施設の復旧費用5億円を補正予算措置した。その結果、被災した市道等の生活関連インフラの早急な復旧が図られた。

事業名： 元金の償還に要する経費

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
12	01	01	11	本年	5,884,477		42,770		5,927,247	5,927,243	100.0	
				前年	6,071,664				6,071,664	6,071,661	100.0	
				比較	187,187		42,770		144,417	144,418		

【事業の目的】

道路・義務教育施設・消防施設などの社会資本の整備に充てるために借り入れた市債の元金を償還するため

【事業の概要】

市債発行時の約定に従い、平成22年度の所要額を全額償還する。

【事業の成果及び効果】

- (1) 繰上償還の実施 (繰上償還総額 169,947千円)
  - 公的資金補償金免除繰上償還 (償還額 42,770千円)
  - 市町村振興資金の繰上償還 (償還額 127,177千円)
- (2) 平成22年度中に償還した元金の総額は、一般廃棄物処理施設整備事業債及び臨時経済対策事業債のうち平成21年度をもって償還が終了した市債があり、上記繰上償還を実施したが、前年度より144,418千円減少した。
- (3) 市債残高

平成22年度末	平成21年度末	対前年度(対前年度比)
59,217,157千円	60,141,469千円	924,312千円( 1.5%)

事業名： 利子の償還に要する経費

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額						
12	01	02	11	本年	1,003,256				1,003,256	938,111	93.5							
				前年	1,005,041				1,005,041	947,914	94.3							
				比較	1,785				1,785	9,803								
<p>【事業の目的】 道路・義務教育施設・消防施設などの社会資本の整備に充てるために借り入れた市債の利子を支払うため</p> <p>-----</p> <p>【事業の概要】 市債の利子を支払う。</p> <p>-----</p> <p>【事業の成果及び効果】 (1) 平成22年度中に償還した利子の総額は、昭和59年度から平成3年度の高金利発行の市債が、償還の終了時期を迎えていることに加え、近年は1%台という低金利で市債を発行していることにより、前年度に比べ9,803千円減少した。 (2) 利子残高</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>平成22年度末</td> <td>平成21年度末</td> <td>対前年度(対前年度比)</td> </tr> <tr> <td>5,849,593千円</td> <td>6,197,337千円</td> <td>347,744千円( 5.6%)</td> </tr> </table>													平成22年度末	平成21年度末	対前年度(対前年度比)	5,849,593千円	6,197,337千円	347,744千円( 5.6%)
平成22年度末	平成21年度末	対前年度(対前年度比)																
5,849,593千円	6,197,337千円	347,744千円( 5.6%)																

事業名： 地方債の登録等に要する経費

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
12	01	03	11	本年	10		10					
				前年	10		10					
				比較								
<p>【事業の目的】 地方債の登録に必要な場合がある登録手数料や公債取扱手数料に充てるため</p> <p>-----</p> <p>【事業の概要】 地方債の証券借入による発行手数料及び償還に係わる取扱事務手数料</p> <p>-----</p> <p>【事業の成果及び効果】 手数料等が不要であったため、執行しなかった。</p>												

事業名： 土地取得に要する経費

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
13	01	01	11	本年	1				1			
				前年	1				1			
				比較								
<p>【事業の目的】 普通財産の取得(土地の購入)のため</p> <p>-----</p> <p>【事業の概要】 普通財産の取得に関すること</p> <p>-----</p> <p>【事業の成果及び効果】 普通財産の取得がなかったため、執行しなかった。</p>												

事業名： 財政調整基金積立金

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
13	02	01	11	本年	2,690		559,759		562,449	562,449	100.0	
				前年	5,907		80,237	148	86,292	86,292	100.0	
				比較	3,217		479,522	148	476,157	476,157		

【事業の目的】

災害により生じた経費，市債の繰上償還に要する経費又は緊急に実施することが必要となった大規模な建設事業の経費その他やむを得ない理由により生じた経費の財源に充て，市財政の健全な運営に資するために設置されたつくば市財政調整基金への積立てのため

【事業の概要】

財政調整基金への積立て

【事業の成果及び効果】

- (1) 政策的積立557,317千円と預金利子5,132千円の積立てを行った。
- (2) 基金を692,682千円取崩し，東日本大震災により被害を受けた公共施設の復旧等に対する補正予算の財源として充当した。
- (3) 平成22年度末基金残高は，3,881,450千円

事業名： 減債基金積立金

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
13	02	02	11	本年	601		106		707	707	100.0	
				前年	1,284		486		1,770	1,770	100.0	
				比較	683		380		1,063	1,063		

【事業の目的】

市債の償還に必要な財源を確保し，もって将来にわたる市財政の健全な運営に資するために設置されたつくば市減債基金への積立てのため

【事業の概要】

減債基金への積立て

【事業の成果及び効果】

- (1) 預金利子707千円の積立てを行った。
- (2) 基金を127,177千円取崩し，茨城県振興資金借入れの繰上償還の財源として充当した。
- (3) 平成22年度末基金残高は，731,756千円

事業名： 土地開発基金繰出金

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
13	02	03	11	本年	126		14		112	112	100.0	
				前年	269		49		318	318	100.0	
				比較	143		63		206	206		

【事業の目的】

公用若しくは公共用に供する土地，または公共の利益のために取得する必要がある土地をあらかじめ取得することにより，事業の円滑な執行を図るために設置されたつくば市土地開発基金への積立てのため

【事業の概要】

土地開発基金への積立て

【事業の成果及び効果】

- (1) 預金利子112千円の積立てを行った。
- (2) 平成22年度末基金残高は，土地24,706千円，預金179,792千円



事業名：奨学資金給付基金積立金

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
13	02	04	11	本年	10		4		6	6	100.0	
				前年	22			22	22	100.0		
				比較	12		4	16	16			

【事業の目的】

高等学校に在籍する者で経済的理由により就学が困難であると認められるものに奨学金を給付するため設置されたつくば市奨学資金基金への積立のため

【事業の概要】

奨学資金給付基金への積立

【事業の成果及び効果】

- (1) 預金利子6千円の積立を行った。
- (2) 基金を2,124千円取崩し、奨学資金給付事業の財源として充当した。
- (3) 平成22年度末基金残高は、11,924千円

事業名：公共施設整備基金積立金

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
13	02	05	11	本年	936		300,146		301,082	301,082	100.0	
				前年	2,003		57	1,946	1,946	100.0		
				比較	1,067		300,203	299,136	299,136			

【事業の目的】

公共施設整備資金に充てるため設置されたつくば市公共施設整備基金への積立のため

【事業の概要】

公共施設整備基金への積立

【事業の成果及び効果】

- (1) 政策的積立300,000千円と預金利子1,082千円の積立を行った。
- (2) 平成22年度末基金残高は、1,638,148千円

事業名：国際交流基金積立金

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
13	02	06	11	本年	2				2	2	100.0	
				前年	3		1	4	4	100.0		
				比較	1		1	2	2			

【事業の目的】

国際交流事業に要する経費の財源に充てるために設置されたつくば市国際交流基金への積立のため

【事業の概要】

国際交流基金への積立

【事業の成果及び効果】

- (1) 預金利子2千円の積立を行った。
- (2) 平成22年度末基金残高は、1,826千円

事業名： つくばエクスプレス対策基金積立金

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
13	02	07	11	本年	45		3		48	48	100.0	
				前年	95		48		143	143	100.0	
				比較	50		45		95	95		

【事業の目的】

つくばエクスプレスの建設促進及びこれに係る地域整備に要する経費の財源に充てるために設置されたつくば市つくばエクスプレス対策基金への積立のため

【事業の概要】

つくばエクスプレス対策基金への積立

【事業の成果及び効果】

- (1) 預金利子48千円の積立を行った。
- (2) 平成22年度末基金残高は、63,318千円

事業名： 福祉振興基金積立金

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
13	02	08	11	本年	198		35		163	163	100.0	
				前年	423		5		428	428	100.0	
				比較	225		40		265	265		

【事業の目的】

福祉事業を推進し、快適な生活環境の形成を図るために設置されたつくば市福祉振興基金への積立のため

【事業の概要】

福祉振興基金への積立

【事業の成果及び効果】

- (1) 預金利子163千円の積立を行った。
- (2) 平成22年度末基金残高は、282,215千円

事業名： ふるさと創生基金積立金

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
13	02	09	11	本年	2				2	2	100.0	
				前年	4		1		5	5	100.0	
				比較	2		1		3	3		

【事業の目的】

つくば市が自ら考え自ら実践する地域づくり事業に要する経費の財源に充てるために設置されたつくば市ふるさと創生基金への積立のため

【事業の概要】

ふるさと創生基金への積立

【事業の成果及び効果】

- (1) 預金利子2千円の積立を行った。
- (2) 平成22年度末基金残高は、2,531千円

事業名： 廃棄物管路輸送施設事業積立金

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
13	02	10	11	本年	23		2		21	21	100.0	
				前年	107		18	19	144	144	100.0	
				比較	84		20	19	123	123		

【事業の目的】

廃棄物管路輸送施設事業に要する経費の財源に充てるために設置されたつくば市廃棄物管路輸送施設事業基金への積立のため

【事業の概要】

廃棄物管路輸送施設事業基金への積立

【事業の成果及び効果】

- (1) 預金利子21千円の積立を行った。
- (2) 平成22年度末基金残高は、32,654千円

事業名： 南筑波土地改良区対策基金積立金

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
13	02	11	11	本年	7		3		4	4	100.0	
				前年	17		1		16	16	100.0	
				比較	10		2		12	12		

【事業の目的】

南筑波土地改良区の排水路管理に資するために設置されたつくば市南筑波土地改良区対策基金への積立のため

【事業の概要】

南筑波土地改良区対策基金への積立

【事業の成果及び効果】

- (1) 預金利子4千円の積立を行った。
- (2) 基金を1,800千円取崩し、南筑波土地改良区対策事業の財源として充当した。
- (3) 平成22年度末基金残高は、7,650千円

事業名： まちづくり事業基金積立金

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補 正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
13	02	12	11	本年	511		1,320		1,831	1,831	100.0	
				前年	1,091		2,553		3,644	3,644	100.0	
				比較	580		1,233		1,813	1,813		

【事業の目的】

合併まちづくり計画に定められた事業に要する経費の財源に充てるために設置されたつくば市まちづくり事業基金への積立のため

【事業の概要】

まちづくり事業基金への積立

【事業の成果及び効果】

- (1) 預金利子1,831千円の積立を行った。
- (2) 平成22年度末基金残高は、734,152千円

事業名：学校教育施設整備基金積立金

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
13	02	13	11	本年	659		777,653		778,312	778,312	100.0	
				前年	1,663		461		1,202	1,202	100.0	
				比較	1,004		778,114		777,110	777,110		

【事業の目的】

学校教育施設の整備の財源に充てるために設置されたつくば市学校教育施設整備基金への積立てのため

【事業の概要】

学校教育施設整備基金への積立て

【事業の成果及び効果】

- (1) 政策的積立777,373千円と預金利子939千円の積立てを行った。
- (2) 平成22年度末基金残高は、1,723,422千円

事業名：アイラブつくばまちづくり寄附基金積立金

(市長公室 政策審議室)  
企画部 企画課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
13	02	14	11	本年	4,003		700	815	5,518	5,518	100.0	
				前年	2		5,914	2,600	8,516	8,516	100.0	
				比較	4,001		5,214	1,785	2,998	2,998		

【事業の目的】

つくば市に対する寄附金を適切に管理・執行するために基金の積立てのため

【事業の概要】

アイラブつくばまちづくり寄附基金への積立て

【事業の成果及び効果】

- (1) アイラブつくばまちづくり寄附のあった49件、5,515千円と預金利子3千円の積立てを行った。
- (2) 基金を2,050千円取崩し、アイラブつくばまちづくり活動支援事業の財源として充当した。
- (3) 平成22年度末基金残高は、13,209千円

事業名：環境保全基金積立金

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次年度 繰越額
13	02	15	11	本年	1				1	1	100.0	
				前年	2		75		77	76	98.7	
				比較	1		75		76	75		

【事業の目的】

環境保全活動の推進に要する経費の財源に充てるために設置されたつくば市環境保全基金への積立てのため

【事業の概要】

環境保全基金への積立て

【事業の成果及び効果】

- (1) 基金利子1千円の積立てを行った。
- (2) 基金を600千円取崩し、アイラブつくばまちづくり活動(環境部門)支援事業の財源として充当した。
- (3) 平成22年度末基金残高は、477千円

事業名：地域雇用創出推進基金積立金

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年 繰越	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
13	02	16	11	本年	219		93		126	126	100.0	
				前年			312,368		312,368	312,368	100.0	
				比較	219		312,461		312,242	312,242		

【事業の目的】

地域における雇用の創出を推進するための事業の財源に充てるために設置したつくば市地域雇用創出推進基金への積立のため

【事業の概要】

地域雇用創出推進基金への積立

【事業の成果及び効果】

- (1) 預金利子126千円の積立を行った。
- (2) 平成22年度末基金残高は、312,494千円

事業名：グリーンニューディール基金積立金

(環境生活部 環境政策課)  
環境生活部 環境都市推進課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年 繰越	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額	
13	02	17	11	本年			58,553	2	58,555	58,555	100.0		
				前年									
				比較			58,553	2	58,555	58,555			

【事業の目的】

つくば市におけるグリーンニューディール(地球温暖化対策の一環として温室効果ガスの排出量の削減を図り、併せてこれにより地域経済の振興及び雇用機会の創出にも資する政策をいう。)の実施に要する経費の財源に充てるため

【事業の概要】

グリーンニューディール基金への積立

【事業の成果及び効果】

- (1) 国から交付される地域環境保全対策費補助金58,540千円と預金利子15千円の積立を行った。
- (2) 基金を2,625千円取崩し、つくば市におけるグリーンニューディール事業の実施に要する経費の財源として充当した。
- (3) 平成22年度末基金残高は、55,930千円

事業名：予備費

財務部 財政課

款	項	目	事業	年度	当初予算額 (単位:千円)	前年度 繰越額	補正 予算額	流充用額	予算現額	支出済額	執行 率(%)	次 年 度 繰 越 額
14	01	01	11	本年	50,000			39,169	10,831			
				前年	50,000			19,664	30,336			
				比較				19,505	19,505			

【事業の目的】

当初予測していない予算外の支出が生じた時や、歳出予算計上額が不足した時に充用するため

【事業の概要】

必要が生じた事業へ充用する。

【事業の成果及び効果】

- 予備費を主に東日本大震災関連の事業へ充用した。
- < 充用額 > 民生費： 15,791千円(災害救助費12,672千円含む。)
- 教育費： 320千円
- 災害復旧費： 22,241千円
- 基金積立金： 817千円
- 総額： 39,169千円